

平成27年度

# 学生による授業評価実施報告書

平成29年3月

鳴門教育大学 学校教育学部

## はしがき

社会のグローバル化や価値の多様化に伴い、現在大学生に求められ、身につけるべき能力も変化しつつある。そのような変化に大学の教育は十分に対応できているのであろうか。

次期学習指導要領の改訂では、子どもたちに思考力・判断力・表現力等を習得されるためのアクティブ・ラーニングによる教育が掲げられている。これは初等中等教育だけでなく、高等教育にも通ずるところがある。当然知識の習得の重要性も十分に考慮しなければならない。また対話型教育も人だけでなく書物や芸術作品などを介しての時代を超えた対話も組み入れなければならないし、また現在、教員養成大学として新たな教育活動をすすめていかなければならない。

さて、大学教育の基幹は授業である。その授業をいかに改善し充実したものにするか、常に大学の教員はこの課題と真摯に向き合わなければならない。

授業の改善をはかる手段として、学生たちの授業評価は重要なデータである。教員が受講生に伝えたい内容や能力が十分に伝えられているか、受講生が授業に期待していた内容が組み込まれたものとなっているか、受講生の主体的な学びへと導くものになっているかなど、様々な観点から検討し、授業の充実に努めることが大切である。

大学教員は、研究者としてはプロであるが、また教育者としてもプロでなくてはならない。プロとしての意識を持ち、社会そして学生が求める能力を自らの専門性から提供していかなければならない。

教員養成大学として社会に貢献していくためにも、この学生の授業評価は重要な基本データである。大いに活用され、本学の教育の改善に役立つことを期待している。

平成29年3月 学校教育学部教務委員会 委員長 大石 雅章



# 目 次

## はしがき

I 学生による授業評価の意義 .....	1
II 学生による授業評価の結果と考察 .....	3
1. 調査の方法と種類別回答数 .....	3
2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴 .....	5
3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴 .....	7
4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴 .....	8
5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴 .....	10
6. アンケート様式 .....	16
III 学部授業評価の結果報告書 .....	19

## あとがき



I

学 生 に よ る  
授 業 評 価 の 意 義



## I 学生による授業評価の意義

鳴門教育大学は、大学の機能別分化の方向性をふまえ、高度専門職業人としての教員の養成を大学の目的としている。教員養成目的大学としての本学の教育の質を確保し、その成果を学生や学校、そして地域社会に還元していくためには、大学として常に学生の学修成果の評価と、それをふまえた教育評価（カリキュラム・授業評価）に取り組んでいかねばならない。特に今日、大学教育の質保障に関しては、「教員の視点に立った教育（教員が何を教えるか、教えたか）」から「学生の視点に立った教育（学生がどのような知識・能力・態度を身に付けたか）」への視点の転換が強く求められている。

こうした現状認識と問題意識のもとで、本学の教員養成教育の質の評価・改善のために重要な役割を担っているのが、学生による授業評価である。本学では、平成8年よりFD（Faculty Development）に取り組んでおり、その一環として学生による授業評価が位置づけられている。

FDはコース等におけるあるいは大学全体における教員各自の授業の在り方を考える機会になっており、教員同士が授業を相互に公開し授業研究会等をもつことで今日的課題を共有し、教員養成としてよりよい授業を考える機会になっている。それに比較して授業評価は学生から見た授業内容と授業方法などにおける課題及び学生自身の取り組みなどについての調査であり、次年度以降の授業の内容を分析・考察するよい資料として教員に提示されている。授業者にとって授業を行うことに付随した当然の調査であり、必要不可欠な試みである。いずれにしても、評価結果をどのように授業に反映するのかは教員の真摯な姿勢にかかっており、教員の授業評価に対する誠実な対応が期待されている。





## II

# 学生による授業評価の 結果と考察



## Ⅱ 学生による授業評価の結果と考察

### 1. 調査の方法と種類別回答数

調査は各教員（嘱託講師を含む）が原則として開講されているすべての授業で実施することとした。但し、実地教育科目および卒業研究は対象外とした。実地教育関連科目（「ふれあい実習」を含む）における調査は、別途実地教育専門部会で独自に行われるためである。加えて、本年度から学生の立場を考慮し、受講生が3人以下の授業は同じく対象外とした。

最終授業を行う教員がアンケート用紙を配布し、「無記名」での実施とし、記入後、受講生が回収、ただちに教務企画課に提出するものとした。アンケートの内容は、従来の質問項目を精選し、全ての授業科目に共通する11項目と、教育実践コア科目にのみ関連する3項目を設定した。また、教員が授業に合わせて、質問項目をあらかじめ削除することや、独自の設問を設定できるものとしている。尚、アンケート用紙の大項目1, 2, 4, 5の平均点を総合評価とした。

質問内容の大枠は次のとおりである。以下の大項目の下に質問項目が設けられた。

1. 授業の計画と内容について（質問項目：4）
2. 授業の進め方について（質問項目：3）
3. あなたの授業への取り組みについて（質問項目：3）
4. 教育実践コア科目について（コア科目のみ回答）（質問項目：3）
5. 授業に対する総合的評価（質問項目：1）

各質問項目に「5. そう思う」「4. ややそう思う」「3. どちらとも言えない」「2. あまりそう思わない」「1. そう思わない」の5件法で答える形式になっている。

有効回答数、実施授業科目数は次の頁のとおりである。

表1 学生による授業評価の種類別有効回答数

	有効回答数
教養基礎科目	903
教育実践コア科目	443
教職共通科目	3,613
専修専門科目	3,729
合 計	8,688

表2 学生による授業評価の種類別実施授業科目数

	授業科目数
教養基礎科目	34
教育実践コア科目	44
教職共通科目	77
専修専門科目	216
合 計	371

## 2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

平成 27 年度に実施された教養基礎科目に対する授業評価の実施授業科目は 34 (昨年度 40) 科目、有効回答人数は 903 (同 1,184) 名であった。平成 21 年度から、質問項目の「3 あなたの授業への取り組みについて」は、受講者の取り組みに対する評価であるため、総合評価から外して集計することになった。

評価結果については、12 頁の図 1 に示している。この図では、全 11 の質問項目を「1 授業の計画と内容について」、「2 授業の進め方について」、「3 あなたの授業への取り組みについて」、「4 授業に対する総合的評価」の 4 つの大項目に区分した。各質問項目は 5 段階評価に分類して回答を求め、その実数と帯グラフで表示している。これらの図と大項目ごとの平均値や質問項目ごとの平均値をもとに以下に調査結果の概要を述べる。

教養基礎科目の授業に対する「3 あなたの授業への取り組みについて」の 3 項目を除く 8 項目の評価の総合平均値は「4.3 (昨年度 4.2)」で昨年度とほぼ同じ値である。各大項目では、「1 授業の計画と内容について」の 4 つの質問項目の平均値は「4.3 (同 4.2)」、 「2 授業の進め方について」の 3 つの質問項目の平均値は「4.4 (同 4.3)」であった。「3 あなたの授業への取り組みについて」の 3 つの質問項目の平均値は「4.1 (同 4.0)」であった。大項目 3 のうち、「授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした」の項目については「3.9 (同 3.7)」である。この項目については、受講者の自己評価となっており、平均値が他の項目に比べて低かったが、昨年度と比較し、0.2 ポイント改善が見られた。最後に、「4 授業に対する総合的評価」の項目の平均値は「4.3 (同 4.3)」であった。

昨年度と比較すると、全項目を通して今年度も評価平均値がほぼ同じ値であり、教養基礎科目に関しては、大きな変化は見受けられなかった。

### 2) 評価結果の特徴

質問項目ごとの特徴をみると以下のようなになる。

「1 授業の計画と内容について」の「シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画、課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した」では、「どちらとも言えない」を含めると 11% (昨年度 15%) の学生が否定的な回答をよせている。また、「授業内容は、シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた」では

12% (同 15%), 「授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった」では 13% (同 17%), 「シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された」では 15% (同 21%) の学生が否定的な回答をよせている。全体的に昨年度より改善が見られるが、今後も、各授業者による実際の授業内容や評価方法の検討が必要であろう。

「2 授業の進め方について」では、「教員の授業に取り組む姿勢は適切なものだった」についてでは 90% (同 83%) の学生が教員の姿勢は適切であったと回答している(「あまりそう思わない」と「そう思わない」は合計 1%)。「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」においては 83% (同 78%) が肯定的に回答し(否定的な回答は 3%), そして「授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた」においては 85% (同 79%) の学生が肯定的な回答をしている。すべての項目において改善が見られ、教員の授業改善の努力の成果と考えられる。

「3 あなたの授業への取り組みについて」では、「授業によく出席し、積極的に取り組んだ」学生は 88% (同 84%) となり、昨年度より改善された。一方で「授業内容をよく理解するために予習・復習を行った」学生は 69% (同 61%), 「教員に質問したり、他の学生と話し合った」学生は 75% (同 61%) であり、これらの項目でも改善がみられた。「予習・復習」を行わなかった(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計) 学生は 9% (同 13%) と低下しており、学生自身が授業へ取り組む姿勢は改善されていると考えられる。しかし、「とてもそう思う」と答えた学生は授業の出席に関する項目以外では三分の一程度であり、「どちらでもない」と答えた学生も多く、学生のさらに積極的な取り組みが望まれると同時に、それを促す授業者の工夫も必要となるだろう。

全体として教養基礎科目では今年度すべての項目において改善がみられ、それは評価すべきことだろう。しかし、授業評価アンケートの実施科目について目を向けると、今年度の実施率は 65.4% となっており、高いものとは言えず、今後授業評価アンケート実施の徹底が望まれる。

教養基礎科目は、学識を深め、幅広く教養を身につけることを目的とする基礎的な科目である。しかし、そのため早く専門的な教職の知識に触れたいと考える学生にとっては、自ら学ぶ意識が高まりにくい科目でもある。学生の意識を向上させるために、どのような方策があるのか、今後、それぞれの授業者が考えつつ、進めていく必要があるだろう。

### 3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴

#### 1) 評価結果の概要

平成 27 年度に実施された、教職実践コア科目に対する授業評価の実施授業科目数は 44 科目であり、有効回答人数は 443 人であった。13 頁の図 2 は、教育実践コア科目に対する評価結果を表す。

図 2 から、5 つの大項目の下に設けられた 14 の質問項目のうちの 13 の質問項目では、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が 80% 以上であったことが分かる。80% に達していなかった 1 つの質問項目は、大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」の下に設けられた「授業内容をよく理解するために予習・復習をした。」であるが、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人数は合わせて 353 人であり、有効回答人数の約 80% であることが分かる。大項目「5 授業に対する総合的評価」の質問項目「総合的に評価してこの授業が満足できるものであった」に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の人数はそれぞれ、276 人、132 人であり、有効回答人数の約 92% であることが分かる。

評価平均値は、大項目「1 授業の計画と内容について」の 4 つの質問項目においては 4.4~4.5、「2 授業の進め方について」の 3 つの質問項目においては 4.4~4.5、「3 あなたの授業への取り組みについて」の 3 つの質問項目においては 4.2~4.5、「4 教育実践コア科目について」の 3 つの質問項目においては 4.4~4.5、「5 授業に対する総合的評価」の 1 つの質問項目においては 4.6、総合評価は 4.5 である。

これらのことは、学生の大多数は教職実践コア科目の授業内容、授業方法、自己の取り組み方を肯定的に捉えていること、授業に満足していることを示していると考えられる。

#### 2) 評価結果の特徴

教職実践コア科目では、評価平均値は最も低い質問項目でも 4.2 あり、全ての質問項目の評価は高い。その理由として、教科の成り立ちの理解と人間理解を通したあるべき教師像の形成や教師として必要な実践的指導力の育成等を目的とする科目であるため、各授業で実施する内容・方法は指導者としての資質・能力の向上に直接関連することが多く、受講する学生が自己の将来像に照らして授業の意義を実感できたことがあると考えられる。

大項目「4 教育実践コア科目について」では、3 つの質問項目とも 90 人近い無回答者がいるが、他の大項目の 11 の質問項目では無回答者は 0 人から 13 人である。何故、大項目 4 の質問項目だけ無回答者が特に多いのか、原因を探る必要がある。



## 4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

平成 27 年度の教職共通科目は全 77 科目、授業評価有効回答人数は 3,613 人で、昨年度よりも 2 科目減、91 人の回答数減であった。

評価結果は 14 頁の図 3 に積層型棒グラフ (100 %) で示されている。まず全般的に言えることは、昨年度と同様に 5 番の回答選択肢「そう思う」がいずれの評価項目においても最も多い回答選択肢になっていることである。しかもその傾向は、昨年度より顕著になっていることが指摘される。全体の回答数は減っているものの、この傾向は生の回答選択人数で見ても確認されるほど明確な結果となっている。

しかもこの傾向は、評価項目 3「あなたの授業への取り組みについて」にも同様に現れ、授業者の提示・運営する直接内容のみならず、受講者みずからの受講姿勢にも反映されている。その結果、当然の帰結として、評価項目 4「授業に対する総合評価」の向上につながった。とりわけ評価項目 4 の総合評価で、回答選択肢 5 番への回答増加傾向が際立っていることは特記されよう。これに対して、回答選択 2「あまりそう思わない」と 1「そう思わない」の選択が、昨年度同様きわめて少なくなっているのも安定した評価結果となっている。

回答選択肢の 5～1 の比率の順位や全般的パターンは昨年度と同様で、5 番から 1 番へとその回答比率は減少し、評価項目間の相対的位置づけもほぼ同様である。また昨年度と同様であるが、高評価でありながらも、評価項目 3「あなたの授業への取り組みについて」の「授業内容をよく理解するために予習・復習をした」と「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」の評価における 5 番の回答選択が他と比べて少なくなっていることは特記される。同じ 3 でも「授業によく出席し、積極的に取り組んだ」は、出席という比較的容易で明確な行動結果における評価は他の評価項目と同様に高かった。

### 2) 評価結果の特徴

いずれの評価項目においても高評価が多く、しかもこの傾向が昨年度よりも高まったことは、そのままに解釈すると授業者の授業内容と運営がより向上したことを示し、また受講学生の授業への積極的取り組みも同時に向上したことを意味している。統計的な分析は行っていないのでこれが意味のある結果かどうかは不明であるが、鳴門教育大学の教職共通科目における授業評価の全数であるので、統計分析を要する問題でもないであろう。

ただこのような高評価の中でも、受講者自ら積極的に授業に取り組み、理解を深める姿勢が昨年同様に不足していたことは残念である。なぜながら、目下の学校教員に欠如している姿勢や資質の1つはまさにこの点に関連していて、自ら創造的に取り組む姿勢につながるこの特性は教職課程の普段の授業から育成する必要があるからである。この点は、本大学の教職課程の授業として最優先で改善をはかる必要であろう。

また、この授業評価は毎年評価結果パターンが安定していることにも留意する必要がある。つまり、全体の傾向を知るためならば毎年やる必要はないことを示しており、隔年実施など効率化を計る必要もある。また、評価パターンの安定化や恒常化は、回答選択肢が5番から1番に列挙され、時間をかけず半ば自動的化する回答姿勢等の存在が疑われ、評価以外の反応傾向が大きく影響をしている可能性もあり、今後検討が必要であろう。

また、回答選択5番の「そう思う」の回答比率が高すぎることを考えれば、この回答選択の水準をさらに細分化する必要があると示唆されている。つまり、「そう思う」で一括するのではなくその程度を細分化して評価を得なければ評価結果の情報量として低水準に留まることが指摘され、今後の重大な検討事項になる。これらは、教職共通科目に特化した指摘ではないが、あえてこの場で強調しておきたい。

## 5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

平成 27 年度に実施された専修専門科目に対する授業評価科目数は 216 科目（昨年度 256 科目）、有効回答人数は 3,729 名（同 4,069 名）であった。これは授業評価実施科目の 58%、有効回答人数の 43%を占めている。15 頁の図 4 は専修専門科目の評価結果である。総合評価の平均は 4.4（同 4.4）で、「授業に対する満足度」の評価平均も 4.4（同 4.4）であり、3 点台の項目は一つもなく、昨年度と同様に良好な評価を得ていると思われる。個別の評価項目での評価も全体的に高い。「1 授業の計画と内容について」と「2 授業の進め方について」の各 3 つの質問項目の平均値は 4.4 と高かった。一方、「3 あなたの授業への取り組みについて」では、評価の平均としては 4.3 ではあったが、「授業内容をよく理解するために予習や復習（または、準備やまとめ）をした」では 4.1（同 4.0）、「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」では 4.2（同 4.1）と、出席を除いた取り組みに関しては、評価はやや低めである。この結果は、平成 21 年度から同様な傾向が続いているが、昨年度に比べ共に 0.1 ポイントずつ改善が見られた。

全体としては、昨年度も、専修専門科目に関しては高い評価が得られていたが、今年度も高い評価が得られたと言えよう。

### 2) 評価結果の特徴

評価結果を大項目別に検討すると、教員の授業への取り組みに関わる大項目「授業の計画と内容について」、「教員の授業の進め方について」のすべての下位項目の評価は、昨年度同様 4.3 以上であった。そして、否定的な回答（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）も各 3 項目すべてで 2-5%にとどまっておき、肯定的な評価を裏付けている。

それに対して、学生の授業への取り組みに関わる大項目「あなたの授業への取り組みについて」では、高い評価を得たのが「授業によく出席した」で 4.5（昨年度 4.4）であり、先に述べたように低い評価項目は「授業内容をよく理解するために予習や復習（または、準備やまとめ）をした」と「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」であった。「授業内容をよく理解するために予習や復習をした」では否定的な評価が 6%（「どちらとも言えない」を含めると 26%）、「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」では 5%（同 21%）あり、学生自身も取り組みの不十分さについてある程度自覚しているものと思われる。

平成 21 年度から指摘されているように、学生は授業によく出席し、教員の説明をよく聞き、授業に積極的に取り組むが、授業外での予習や復習などを行わない、授業で分からなかったことを調べるなどの活動が少ないなど、学生の受動的な姿勢についての課題がまだ残されている。特に授業評価での評価の高い専修専門科目であるからこそ、さらに主体的

に学ぶことを促進できる方策を各授業者が考えることが可能なのではないだろうか。また、今年度の専修専門科目での授業評価の実施率は 78.0%となっているが、さらに実施率を高めるといふ課題もあることが分かった。

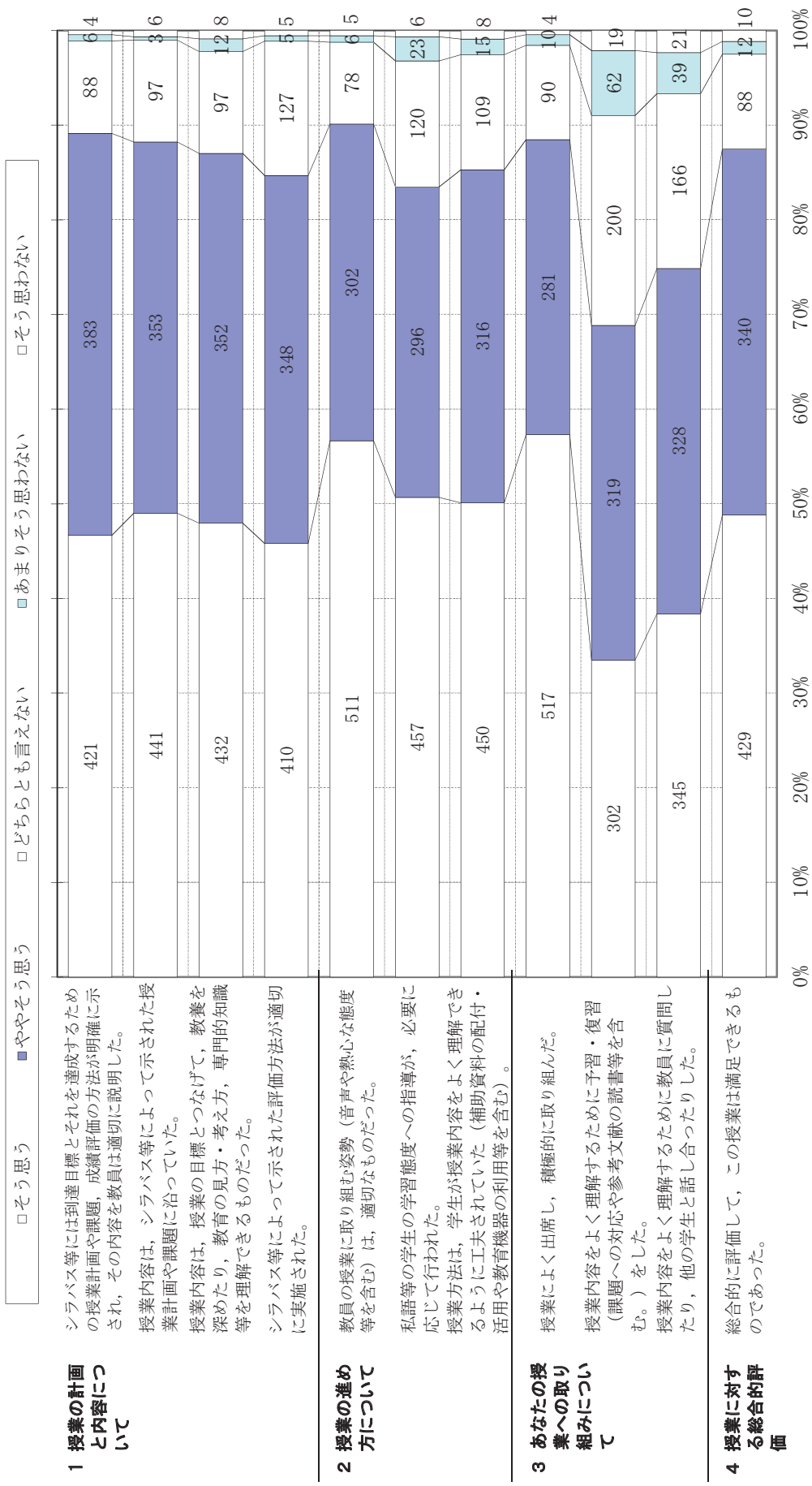


図1 教養基礎科目に対する評価結果

シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。

授業内容は、シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。

授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。

シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。

教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。

私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。

授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。

授業によく出席し、積極的に取り組んだ。

授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。

授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。

総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。

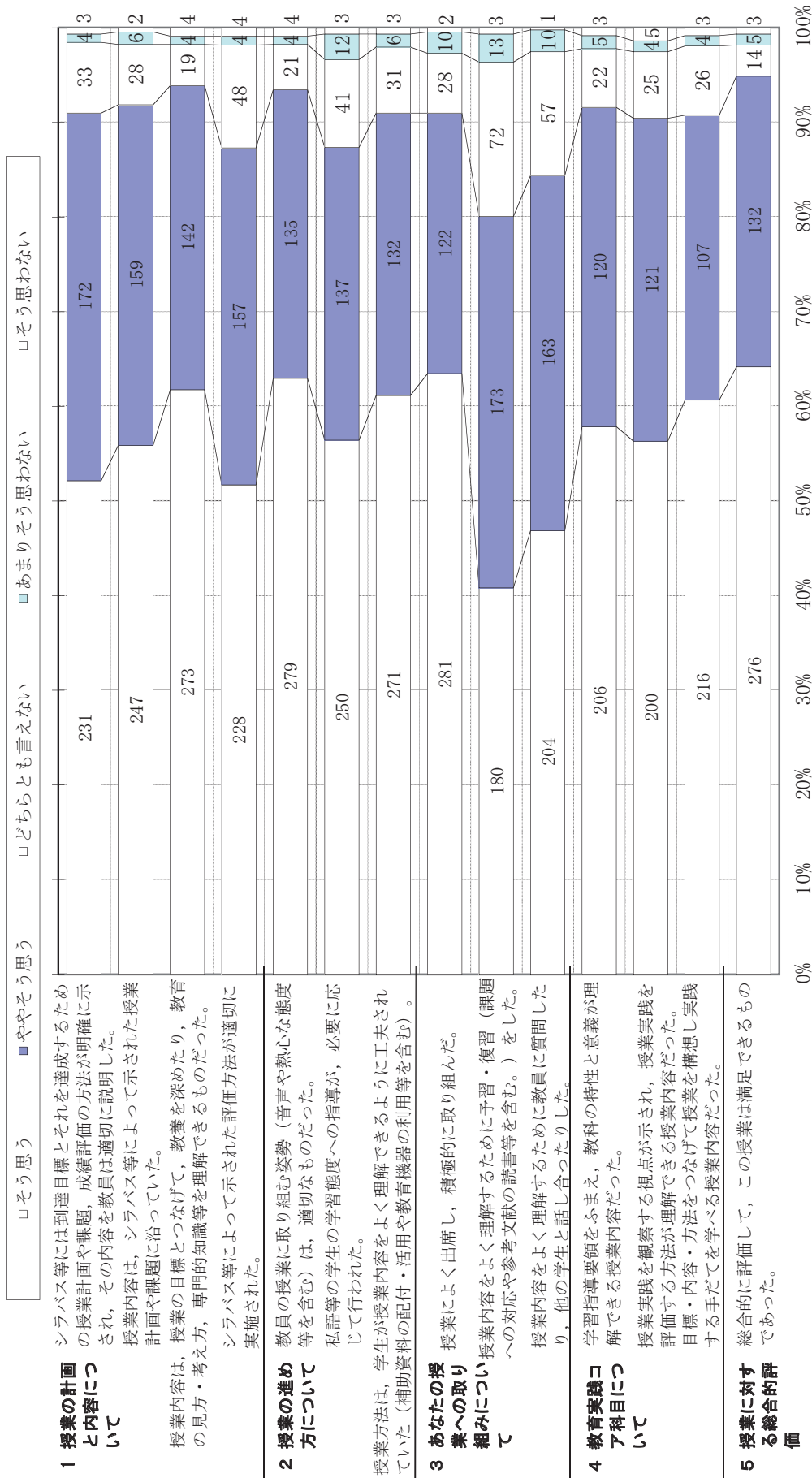
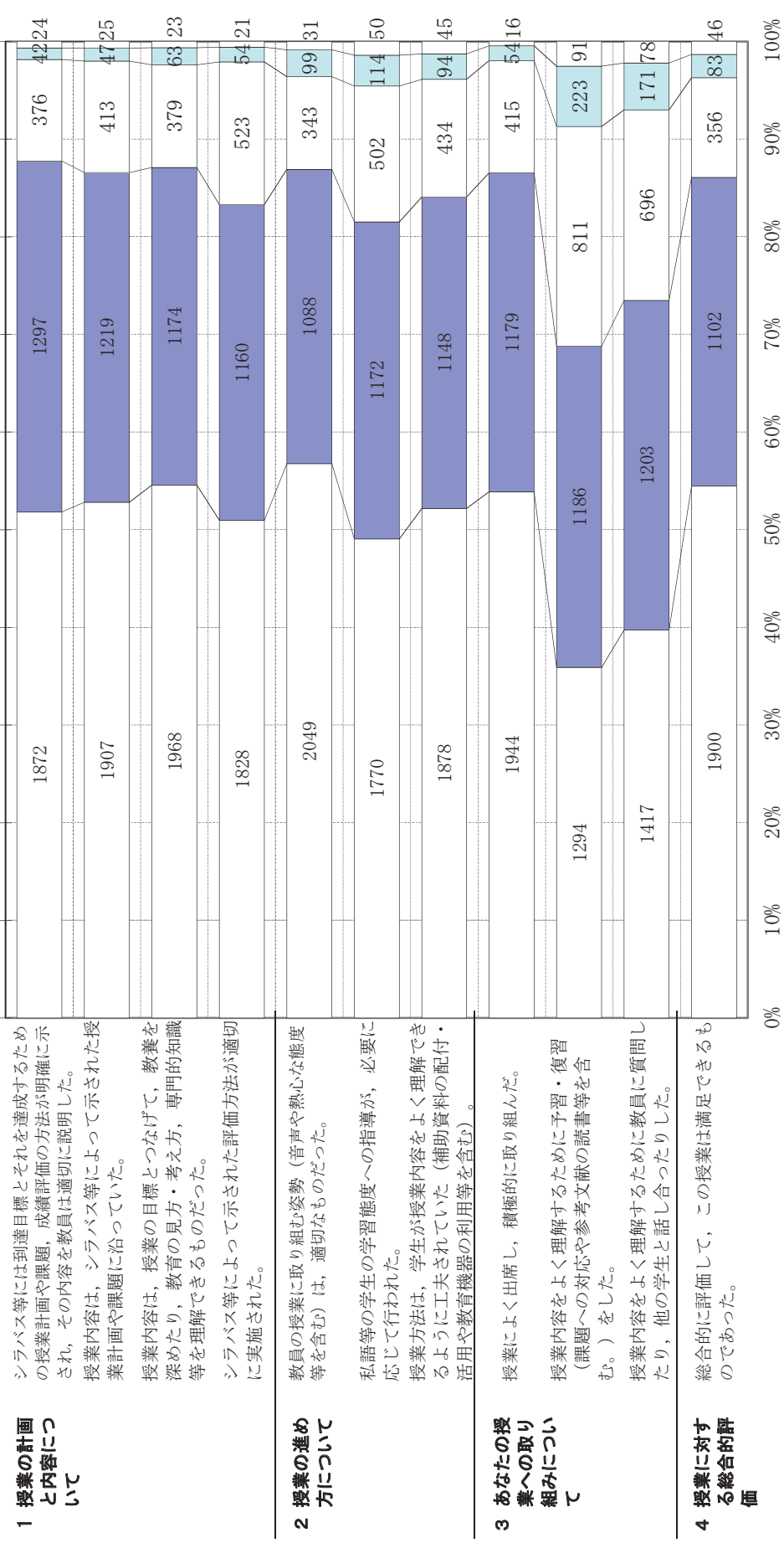


図2 教育実践コア科目に対する評価結果

そう思う   
  ややそう思う   
  どちらとも言えない   
  あまりそう思わない   
  そう思わない



シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。  
 授業内容は、シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。  
 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。  
 シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。  
 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。  
 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。  
 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。  
 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。  
 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。  
 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。  
 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。

図3 教職共通科目に対する評価結果



図4 専修専門科目に対する評価結果




様式（共通）

## 平成 27 年度 学部 授業 評価 アンケート 調査

評価実施日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 授業科目名 \_\_\_\_\_ 前期 ・ 後期 \_\_\_\_\_ 曜日 \_\_\_\_\_ 時限  
 授業区分 1. 教養基礎科目 2. 教育実践コア科目 3. 教職共通科目 4. 専修専門科目  
 担当教員名 \_\_\_\_\_ 受講者数 \_\_\_\_\_ 名

このアンケート調査は、今後の学部の授業の改善に役立てることを目的として行うものです。  
 以下の各項目について、次の5段階で回答し、その該当する番号をマークしてください。なお、アンケート回収後にコンピュータ処理を行いますので、下記の「マークのしかた（良い例）」のとおりマークしてください。  
 このアンケートの結果が皆さんの成績などに影響することはありませんので、率直に回答してください。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

マークのしかた  
 良い例 悪い例  


### 1 授業の計画と内容について

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| (1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (2) 授業内容は、シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。                             | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (3) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。         | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。                                   | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

### 2 授業の進め方について

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| (5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。                    | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (6) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。                             | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (7) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

### 3 あなたの授業への取り組みについて

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| (8) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。                         | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。      | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

### 4 教育実践コア科目について（コア科目以外の場合は(14)へ）

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| (11) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。         | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (12) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。    | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

### 5 授業に対する総合的評価

- |                                 |   |   |   |   |   |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|
| (14) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|

### 6 先の1から5の項目以外で、本授業で設定する項目（※独自の設問を設定できます。）

- |     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
| (1) | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (2) | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

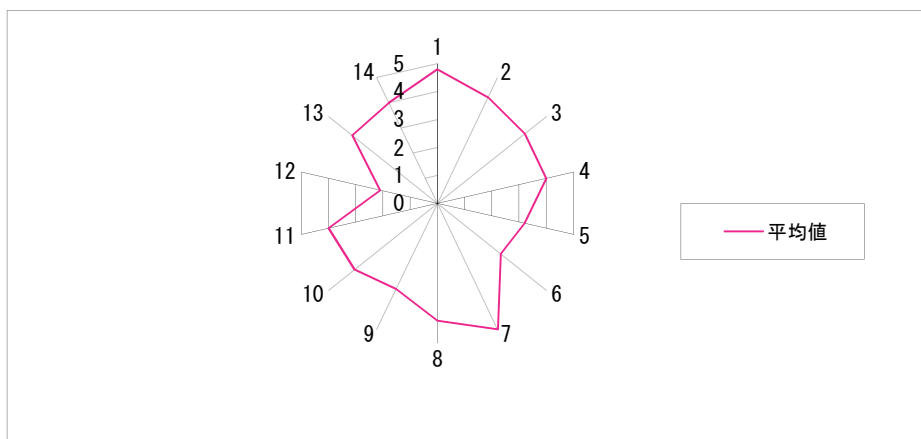
あなたの満足度に対する理由と授業改善にむけての提言

【ご協力ありがとうございました。】

授業科目名 ○○○○教育論  
 評価実施日 平成 年 月 日  
 担当教員名 ○○ ○○

回答者数 ○○名

質問項目	評価選択人数					N.A	平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は、シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						3.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						2.9
	(7)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)～)	(11)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.0
	(12)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						2.1
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						3.9
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.0



**総合評価**  
 ※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



# III

## 学部授業評価の 結果報告書

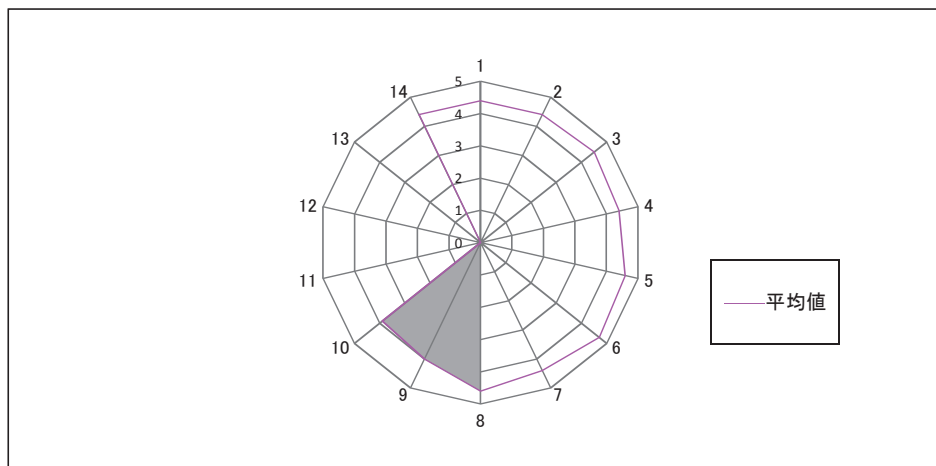


# 教 養 基 礎 科 目

授業科目名 日本国憲法  
 評価実施日 平成27年8月4日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 130名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	68	49	8	3	1	1	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	66	51	8	2	2	1	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	68	53	4	1	3	1	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	66	48	9	3	2	2	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	92	29	5	2	2	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	97	24	6	1	2	0	4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	70	45	6	5	3	1	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	91	29	7	1	2	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	51	46	18	10	5	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	48	39	25	9	9	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	65	44	7	3	2	9	4.4



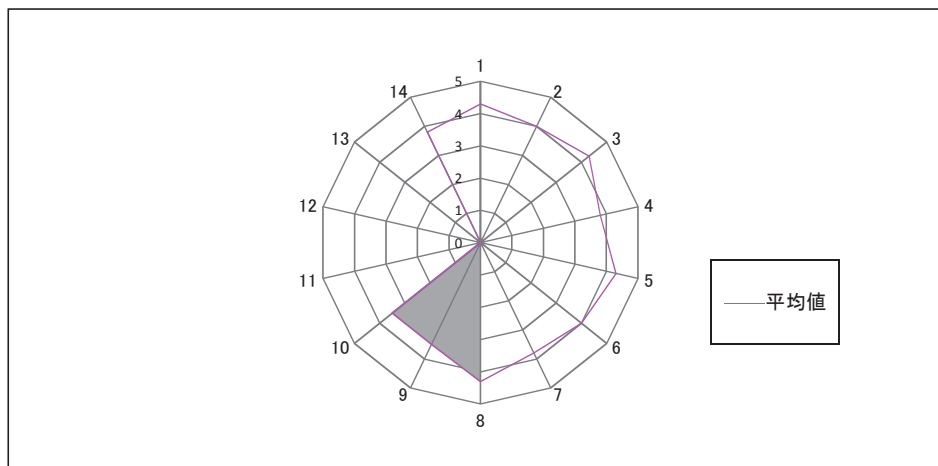
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 科学と環境  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 武田 清, 工藤 慎一, 近森 憲助

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.8



総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



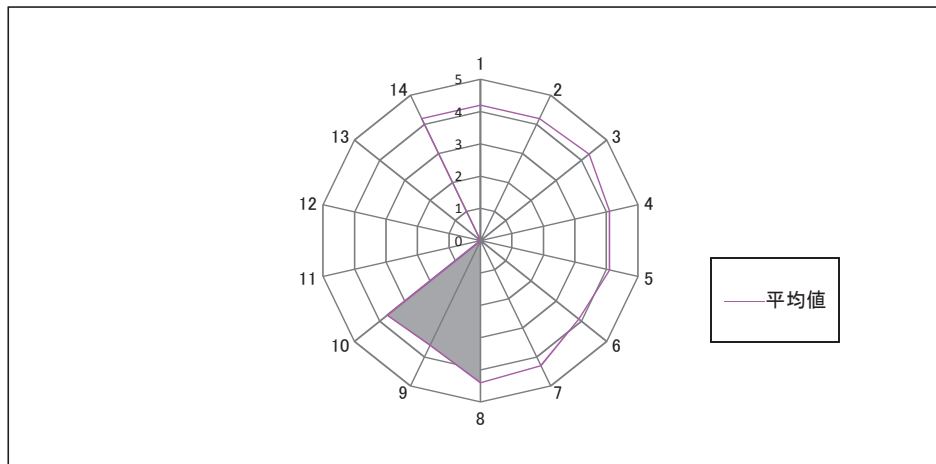
授業科目名 生体メカニズムと生命倫理

評価実施日 平成27年7月27日

担当教員名 田中 淳一, 乾 信之, 廣瀬 政雄, 古川 洋和

回答者数 47名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 市民社会と公共性

評価実施日 平成27年7月6日

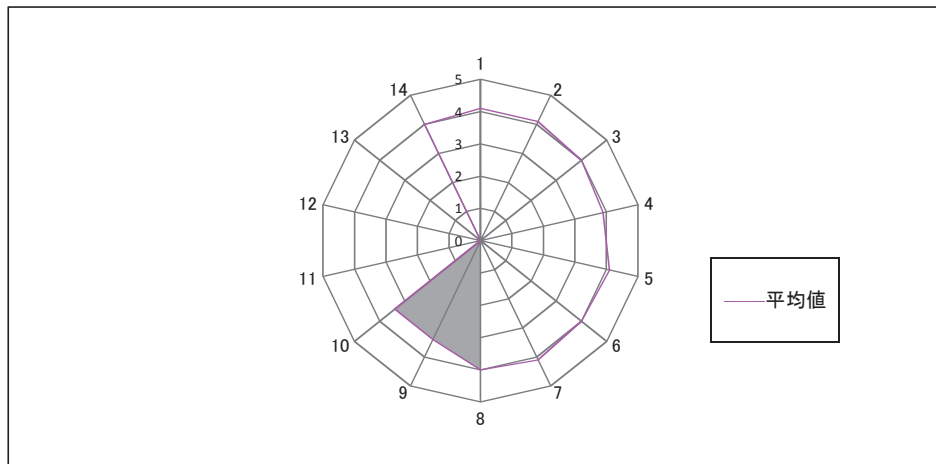
担当教員名

青葉 暢子, 高原 光恵, 浜崎 隆司, 山本 準, 小西 正雄, 立岡 裕士

回答者数

61名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.0



総合評価	4.0
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

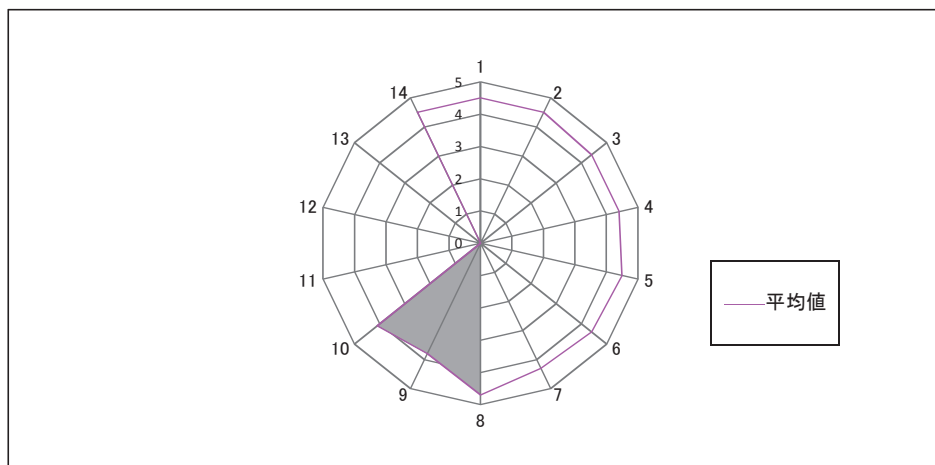
授業科目名 阿波学(地域文化研究)

評価実施日 平成27年10月7日

担当教員名 内藤 隆, 皆川 直凡, 中津 郁子, 久米 禎子, 小倉 正義, 田村 隆宏, 山森 直人, 大石 雅章, 立岡 裕士, 畠山 輝雄, 町田 哲, 山本 準, 栗原 慶, 山根 秀憲, 木原 資裕, 町田 哲, 山本 準, 栗原 慶

回答者数 91名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



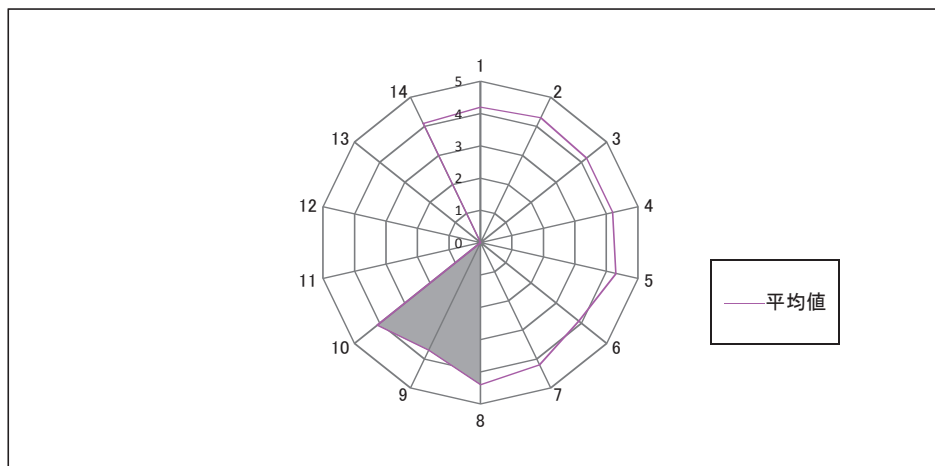
総合評価	4.4
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 基礎情報教育A・B  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 曽根 直人, 伊藤 桃代, 大野 将樹

回答者数 102名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	34	51	16	1	0	0	4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	41	49	10	1	0	1	4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	32	57	11	1	0	1	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	35	50	15	1	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	40	45	16	0	0	1	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	26	42	24	9	0	1	3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	35	46	20	0	0	1	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	50	38	13	1	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	25	33	34	7	3	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	39	36	18	7	2	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	25	57	17	1	1	1	4.1



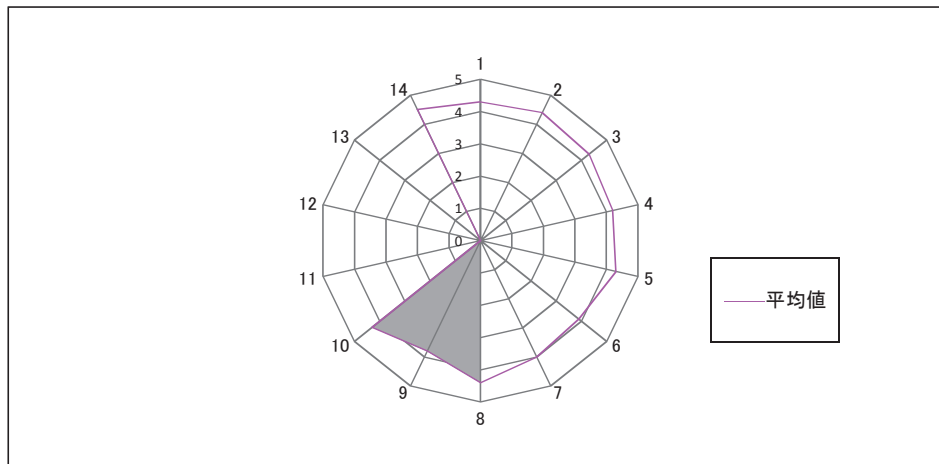
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 実践情報教育 I A  
 評価実施日 平成27年8月7日  
 担当教員名 大野 将樹

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



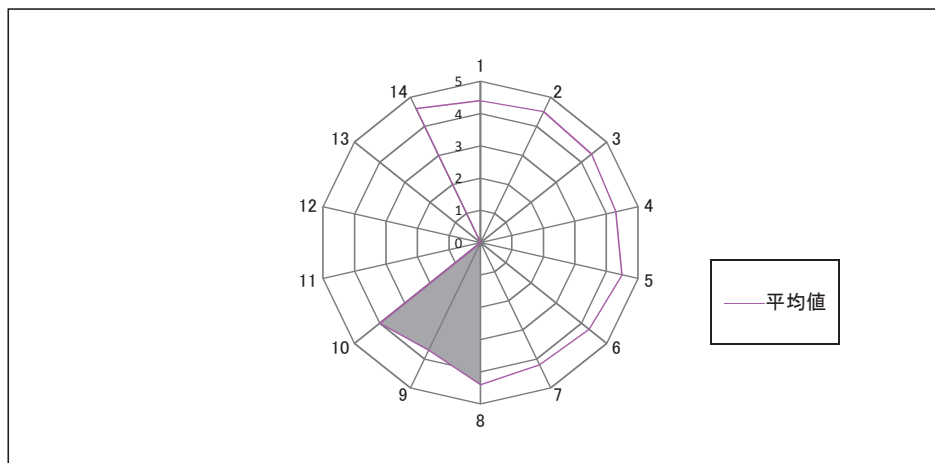
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育 I B  
 評価実施日 平成27年8月7日  
 担当教員名 大野 将樹

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



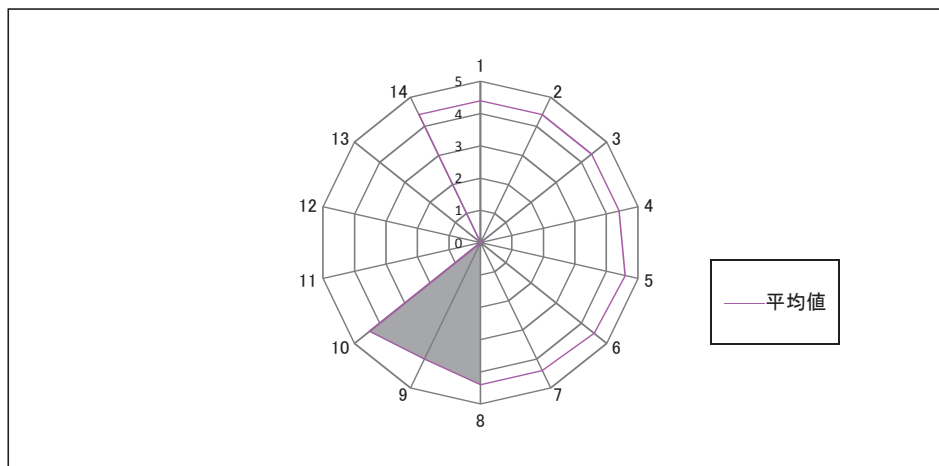
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育ⅡA  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



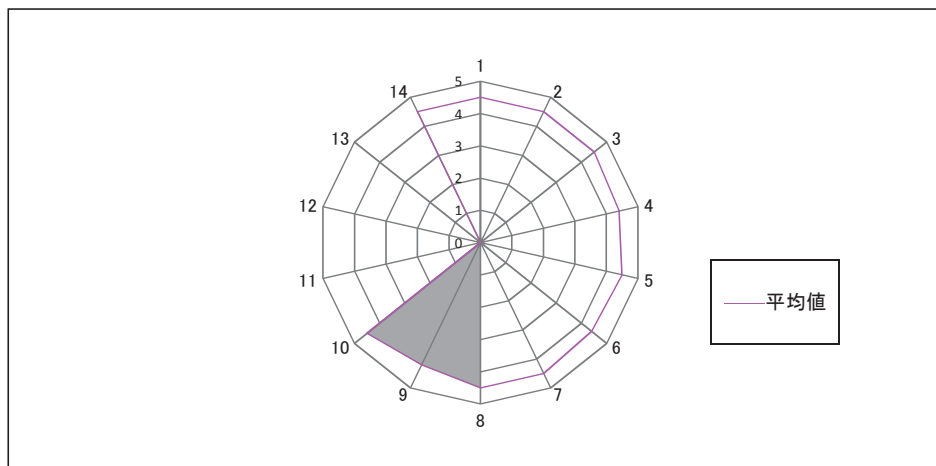
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育ⅡB  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 31名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 **4.5**

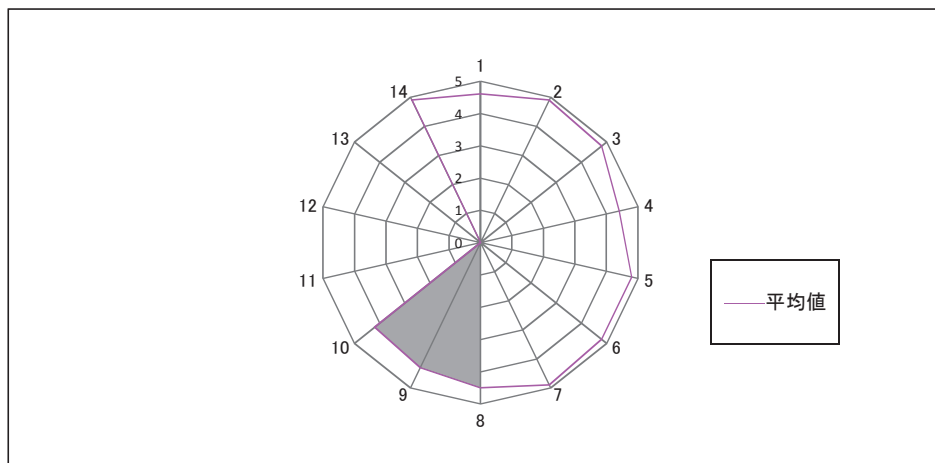
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 実践情報教育Ⅲ  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 長濱 太造

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	9	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	2	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	5	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	5	3	0	0	1	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	3	0	0	0	1	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	6	2	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	9	3	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	4	6	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	3	0	0	0	0	4.9



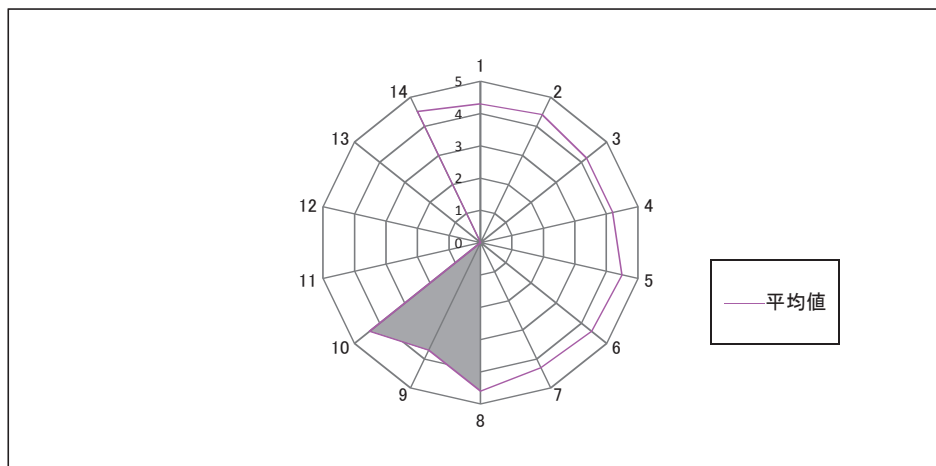
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I C  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



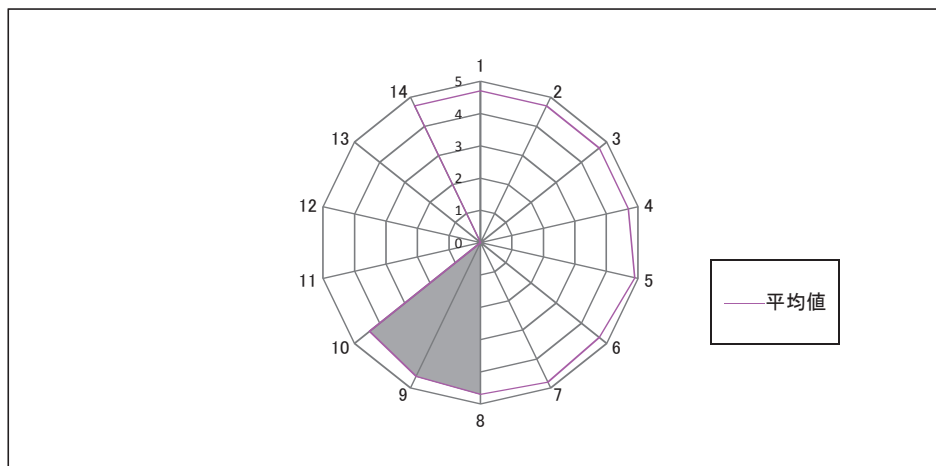
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I D  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 ノリー・マシュー・マドックス

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	5	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	5	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	5	0	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	2	1	0	0	0	4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	5	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	4	0	0	0	0	4.7



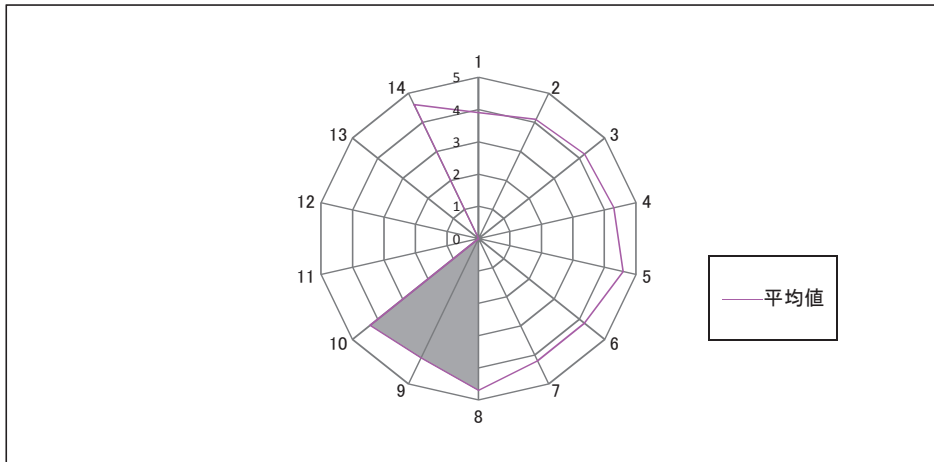
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I E  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	9	6	0	0	0	3.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	10	4	0	0	0	4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	10	3	0	0	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	9	3	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	6	1	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	9	2	1	0	0	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	10	3	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	7	0	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	12	3	0	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	11	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	8	0	0	0	0	4.6



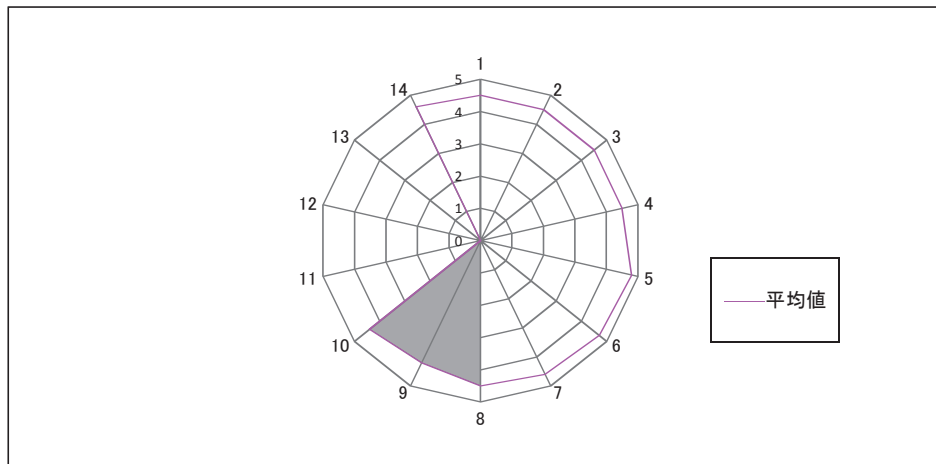
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢA  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	6	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	7	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	6	2	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	6	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	3	1	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	3	2	0	0	0	4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	5	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	5	3	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	6	4	1	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	7	3	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	3	3	0	0	0	4.6



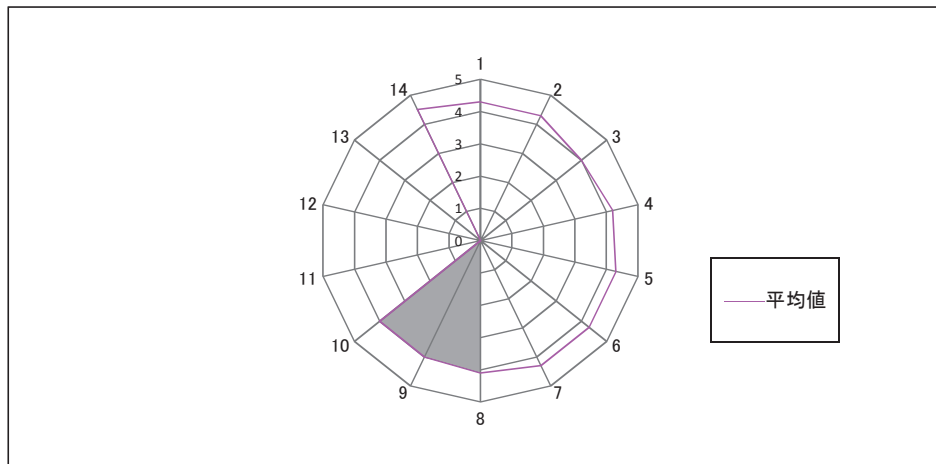
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢB  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 ノリー・マシュー・マドックス

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	8	1	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	8	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	7	3	0	0	0	4.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	7	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	6	2	0	0	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	8	1	0	0	0	4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	8	1	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	6	3	0	0	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	8	3	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	7	3	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	6	0	0	0	1	4.5



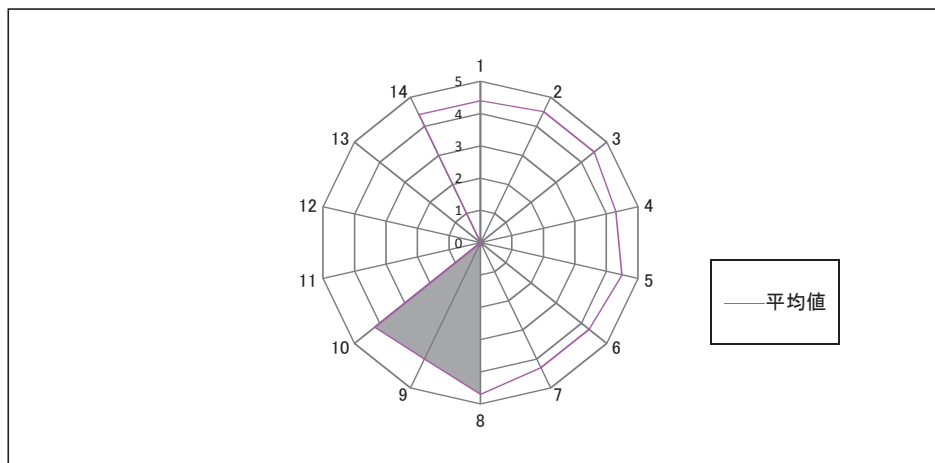
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢD  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



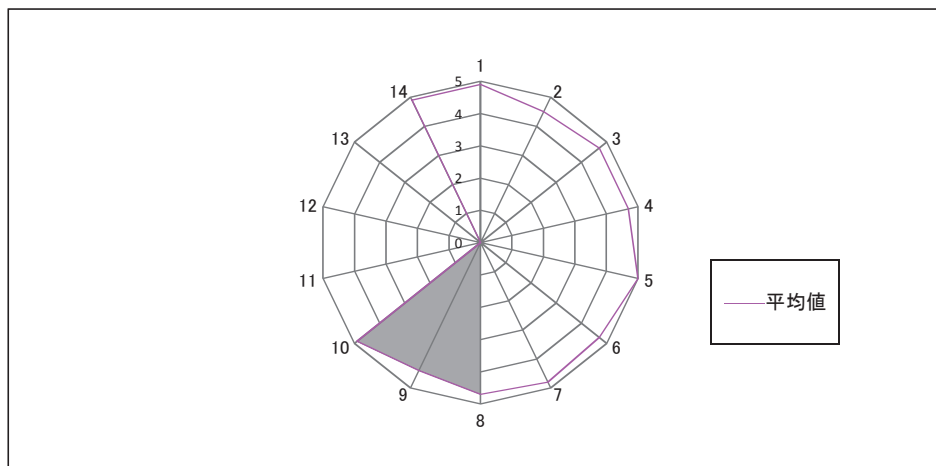
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢE  
 評価実施日 平成27年8月4日  
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.8**

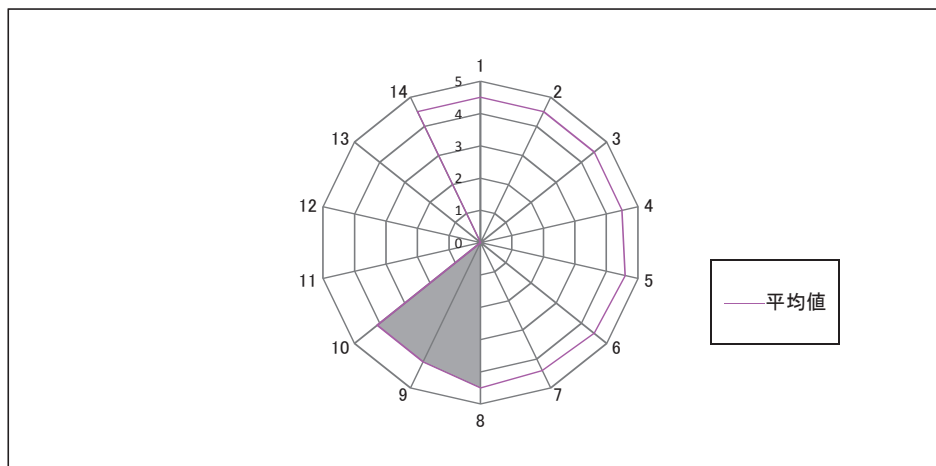
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語リーディング I B  
 評価実施日 平成27年8月7日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 39名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	22	15	1	0	1	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	23	13	2	0	1	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	23	13	1	1	1	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	22	13	3	0	1	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	27	10	1	0	1	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	27	5	6	0	1	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	21	14	3	0	1	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	26	8	4	0	1	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	17	12	6	2	2	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	17	13	6	1	2	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	22	13	3	0	1	0	4.5



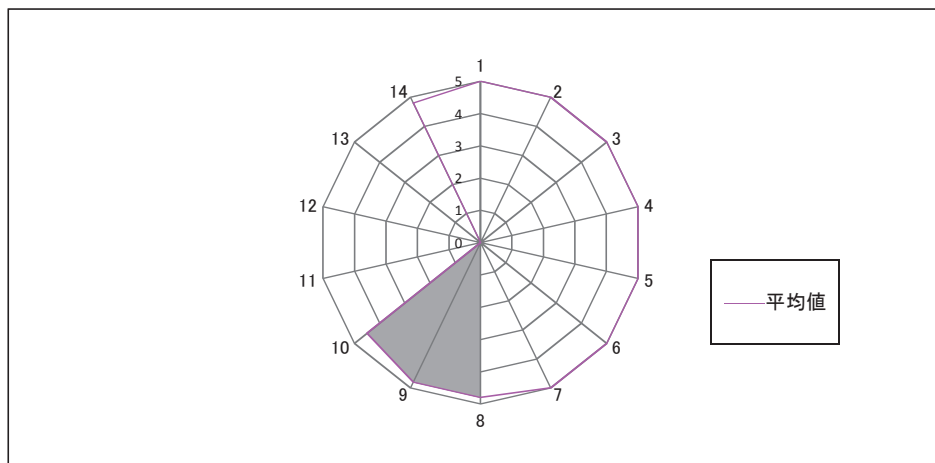
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅢ  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



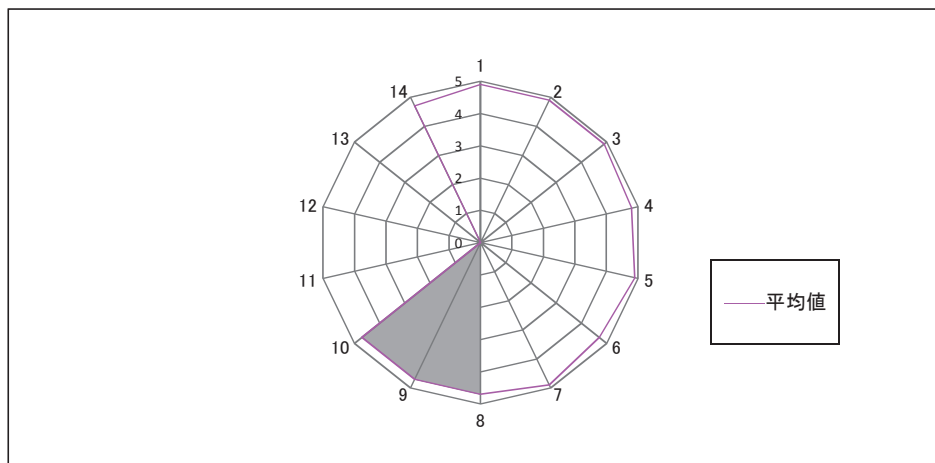
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英会話  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



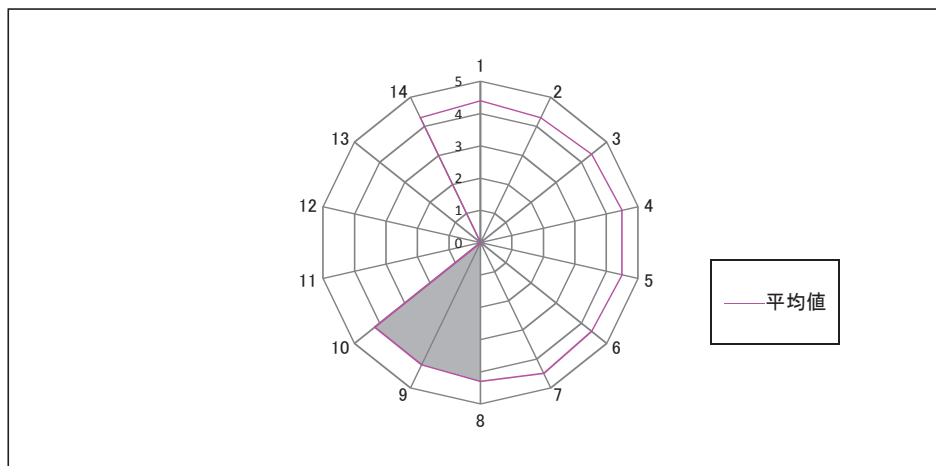
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 西洋の文化研究  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 小川 勝, 吉川 エリザベス, 山田 啓明

回答者数 33名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	20	0	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	20	2	0	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	21	0	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	16	1	0	0	1	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	18	0	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	23	0	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	17	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	14	5	0	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	13	6	1	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	16	6	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	19	1	0	0	3	4.3



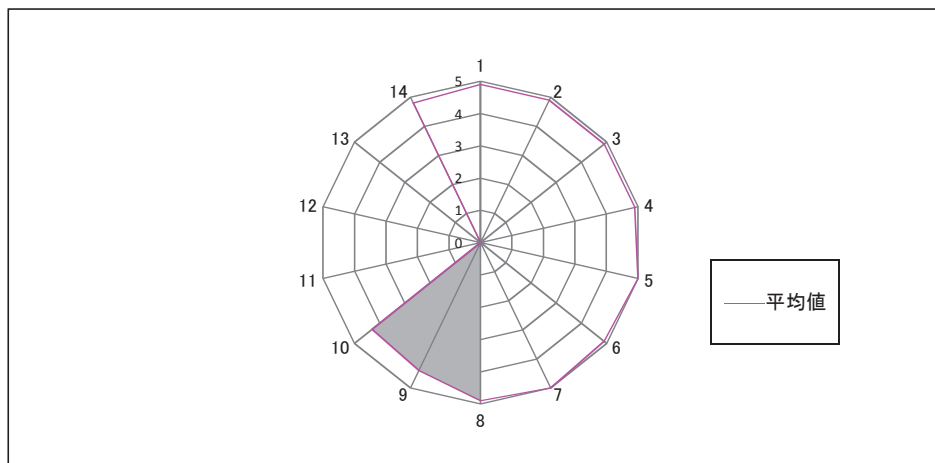
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本事情・日本文化  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 田中 大輝

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



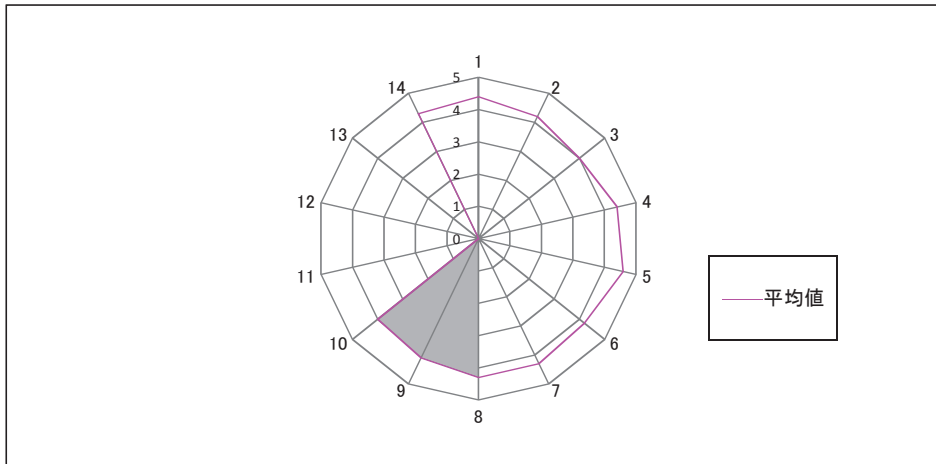
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡA  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 24名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	12	2	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	10	5	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	8	5	2	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	6	5	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	5	3	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	4	5	2	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	6	6	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	6	5	1	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	6	5	2	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	6	4	3	0	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	7	5	0	0	0	4.3



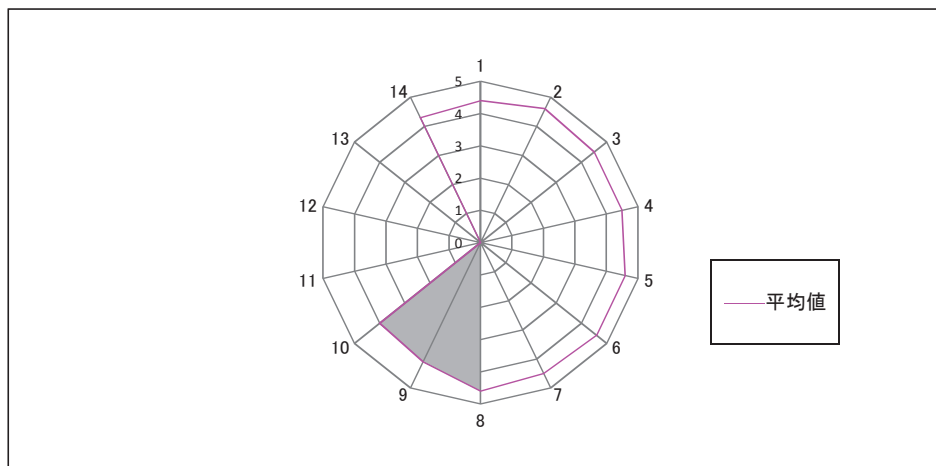
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡB  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 25名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	7	4	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	6	3	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	4	5	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	7	3	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	6	2	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	16	7	2	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	3	5	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	8	1	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	12	4	1	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	7	7	2	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	9	4	0	0	1	4.3



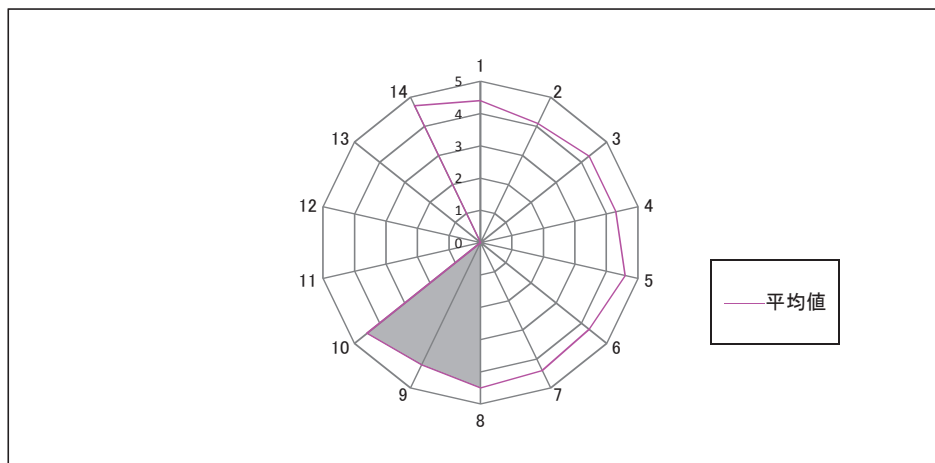
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡD  
 評価実施日 平成28年2月16日  
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	7	1	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	5	4	0	0	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	8	0	1	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	7	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	6	0	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	6	2	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	5	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	5	2	1	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	4	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	0	0	0	2	4.7



総合評価 **4.4**

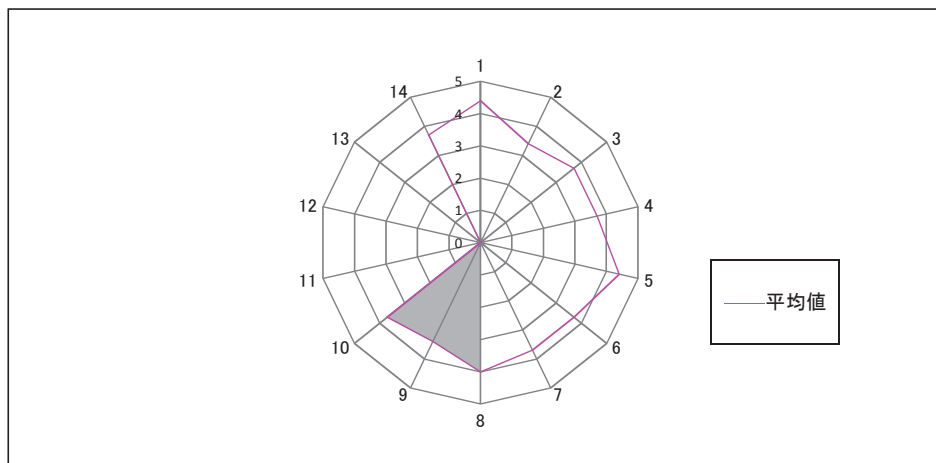
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語コミュニケーションⅣA  
 評価実施日 平成28年2月16日  
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.7



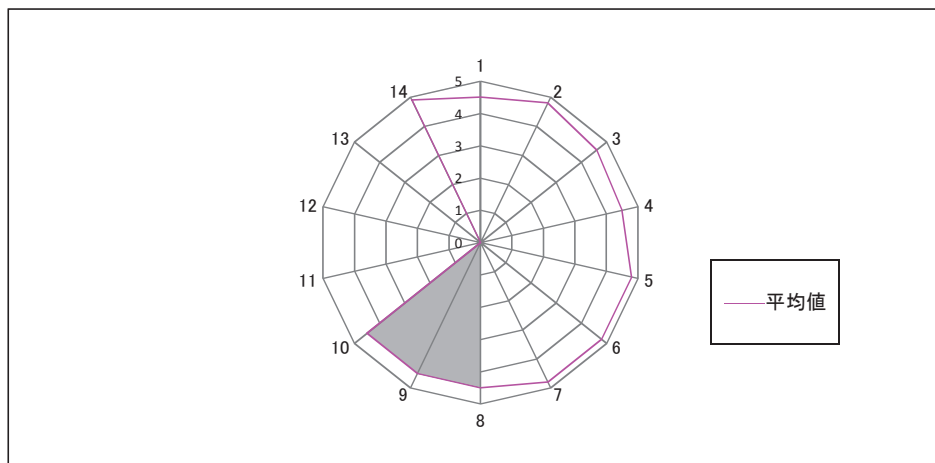
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVC  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



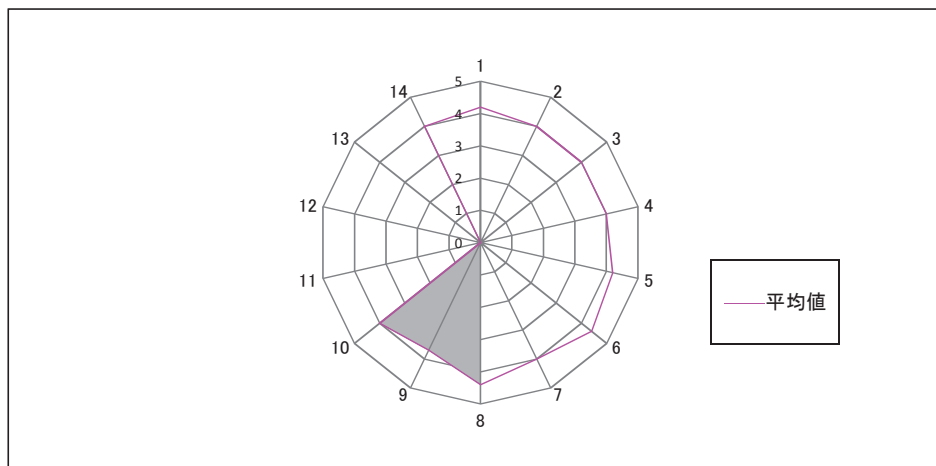
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVD  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 26名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



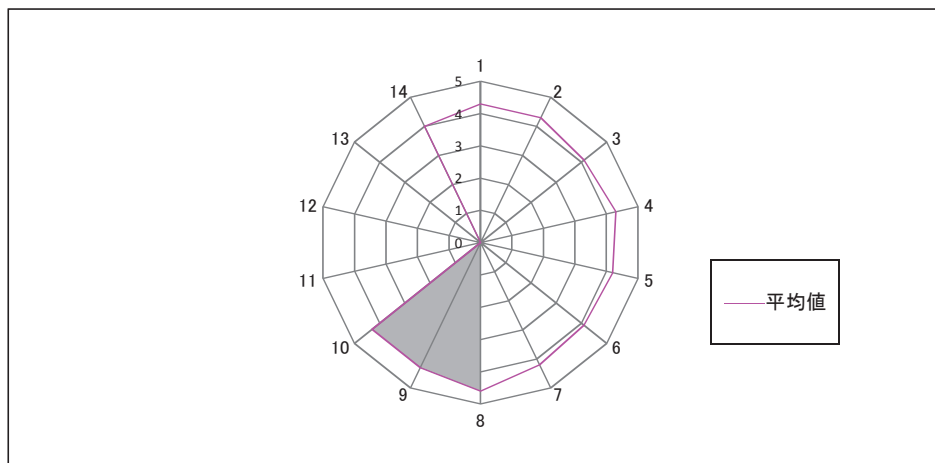
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡC  
 評価実施日 平成28年2月12日  
 担当教員名 石濱 博之

回答者数 40名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	20	15	3	0	2	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	15	4	0	2	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	19	12	5	2	2	0	4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	20	14	5	0	1	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	20	12	5	1	2	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	16	16	5	1	2	0	4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	19	12	4	2	2	1	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	27	9	2	2	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	19	16	3	2	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	20	15	2	3	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	13	3	3	3	2	4.0



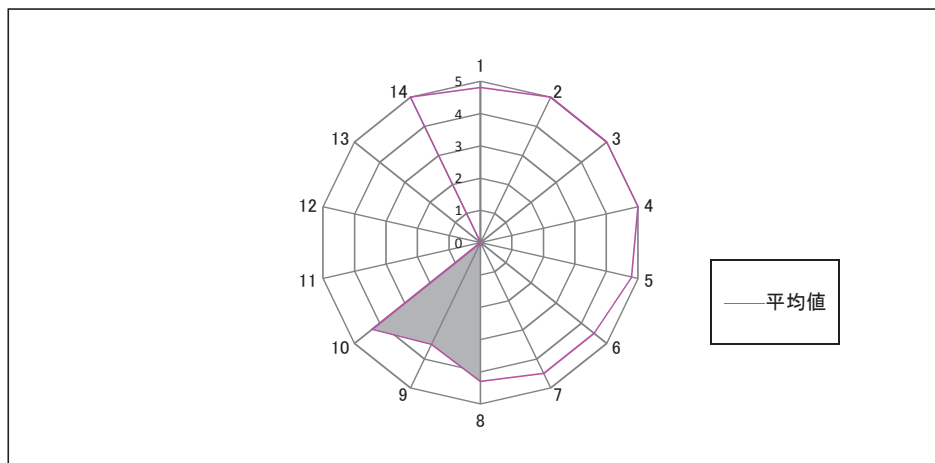
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ドイツ語 I  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 桂 修治

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



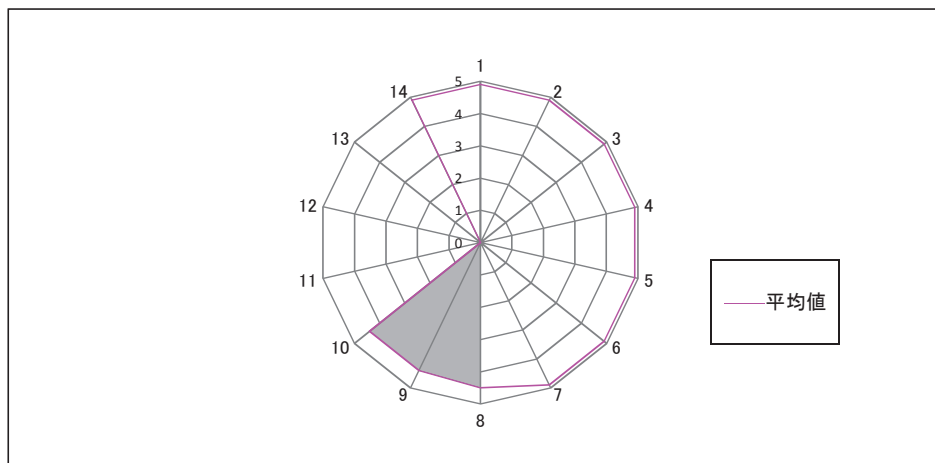
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 フランス語 I  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 木村 敦子

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	4	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



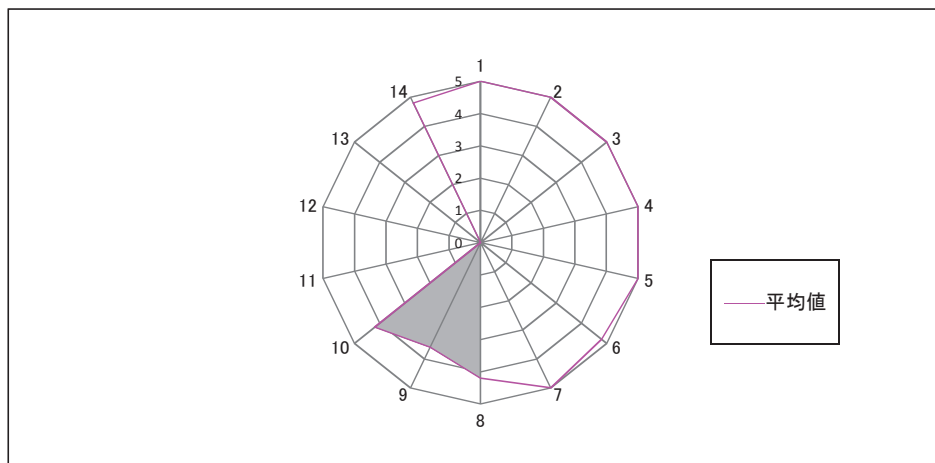
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 フランス語Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 木村 敦子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	1	5.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	1	1	0	0	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



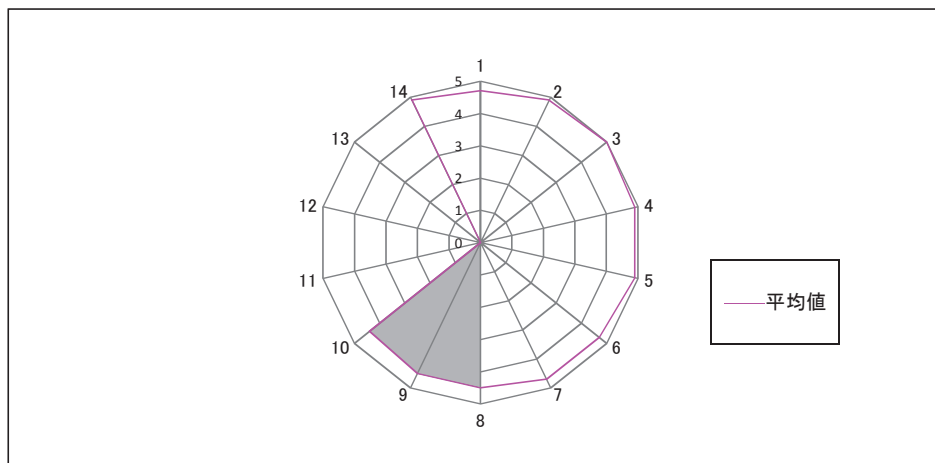
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中国語 I  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 金 英杰

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

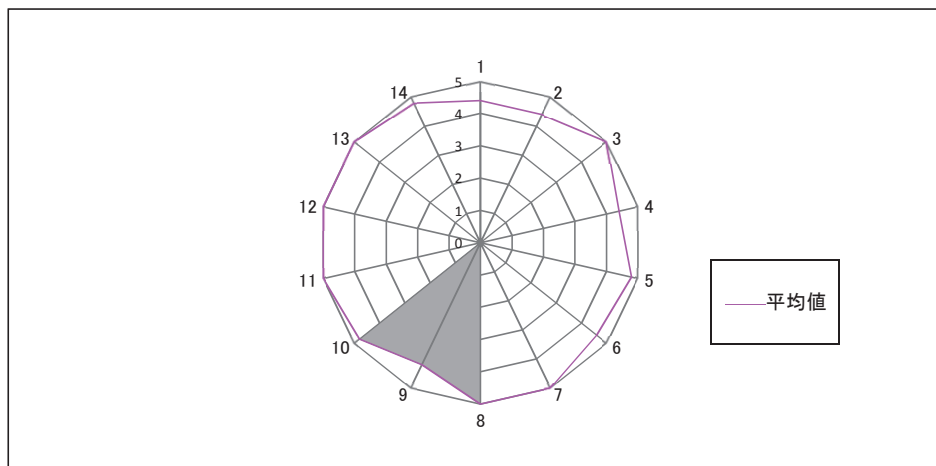




# 教育実践コア科目

授業科目名 幼児教育実践基礎演習  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 湯地 宏樹, 塩路 晶子, 木村 直子, 湯口 雅史 回答者数 5名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	1	5.0
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	1	5.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	0	0	0	0	1	5.0
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.8**

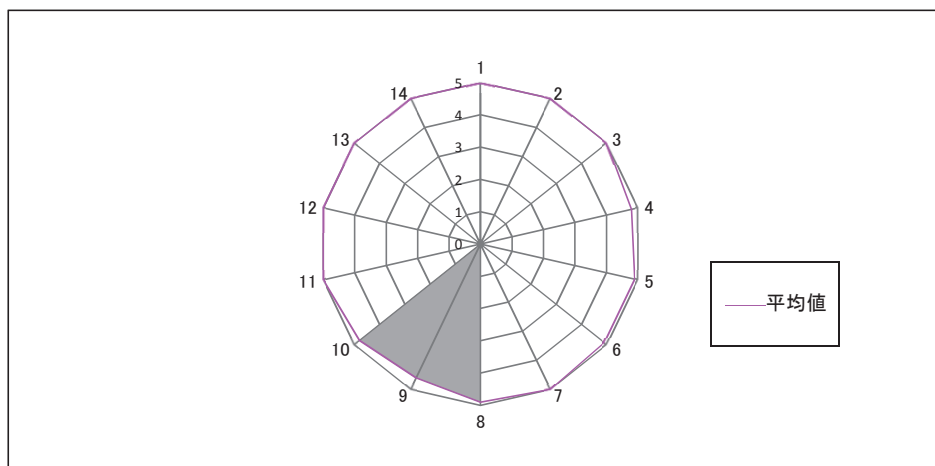
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習学校教育実践

評価実施日 平成27年7月29日

担当教員名 木下 光二, 葛上 秀文, 藤原 伸彦, 前田 洋一, 阿形 恒秀, 佐古 秀一, 川上 綾子, 江川 克弘, 湯口 雅史, 回答者数 7名  
泰山 裕

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						5.0
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						5.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						5.0
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 5.0

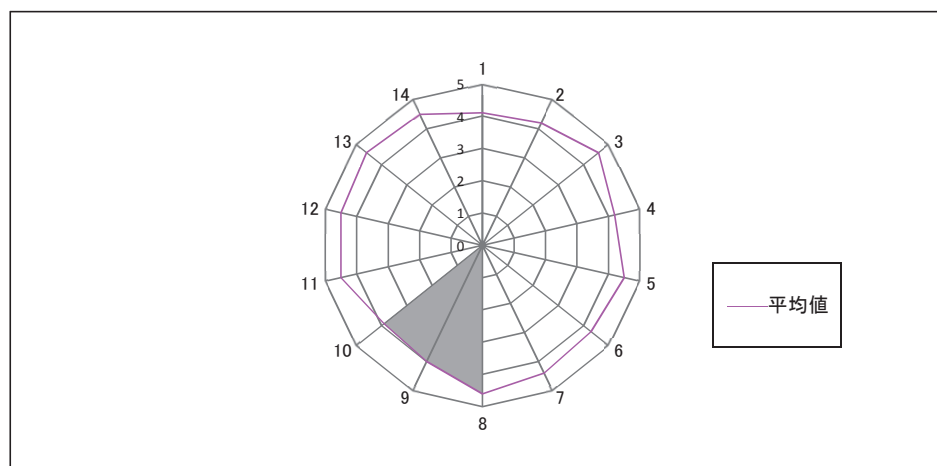
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(国語)

評価実施日 平成27年7月29日

担当教員名 村井 万里子, 田中 大輝, 黒田 俊太郎, 小島 明子, 原 卓志, 小野 由美子, 湯口 雅史 回答者数 11名

質 問 項 目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.5
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5

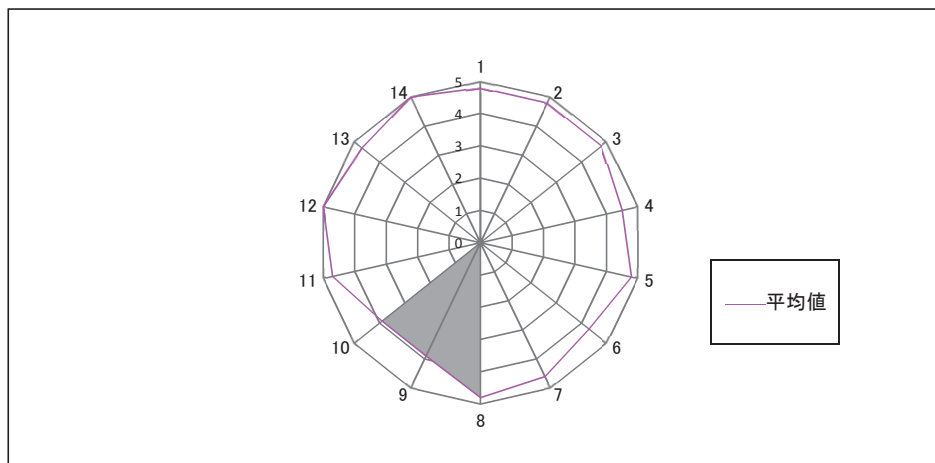


総合評価	4.4
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(英語)  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 前田 一平, 山森 直人, 眞野 美穂, 湯口 雅史 回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						5.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.7**

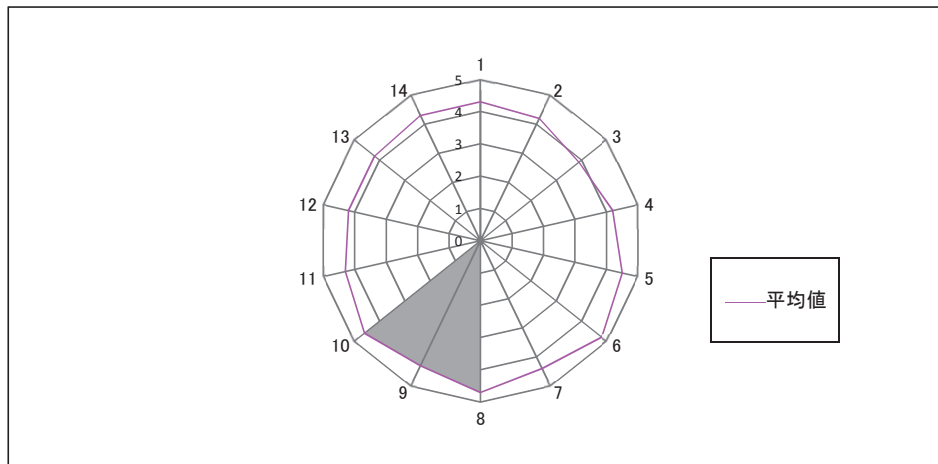
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(社会)

評価実施日 平成27年7月29日

担当教員名 町田 哲, 伊藤 直之, 麻生 多聞, 湯口 雅史 回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	4	2	0	0	0	4.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	5	3	0	0	0	3.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	9	0	1	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	2	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	5	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	3	1	0	0	3	4.3
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	4	1	0	0	3	4.2
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	4	1	0	0	3	4.2
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	5	1	0	0	1	4.3



総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(算数・数学)

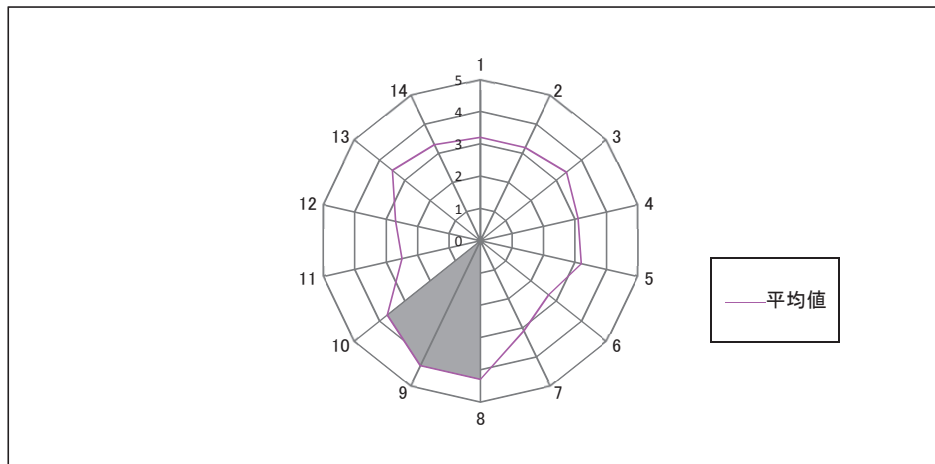
評価実施日 平成27年7月29日

担当教員名 平野 康之, 湯口 雅史

回答者数

13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.2
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						3.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.1
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						2.7
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						2.5
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						2.7
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						3.5
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.3



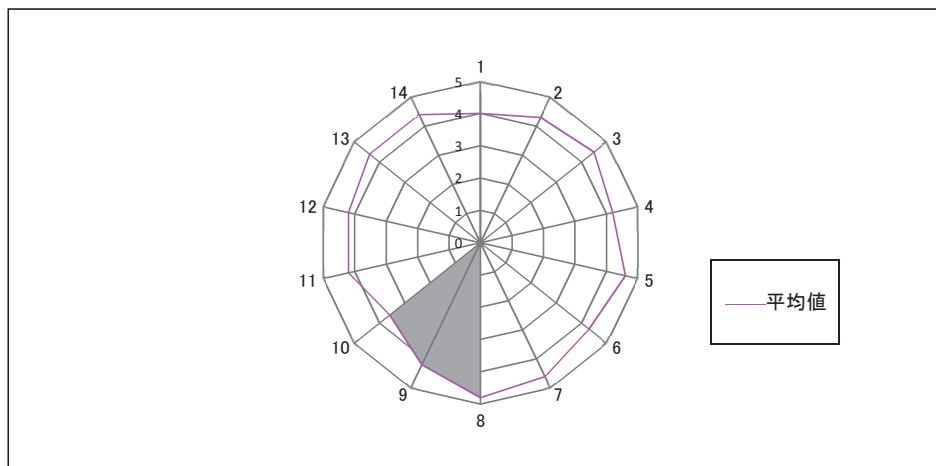
総合評価 3.1

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(理科)  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 寺島 幸生, 工藤 慎一, 早藤 幸隆, 村田 守, 湯口 雅史 回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.2
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.2
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

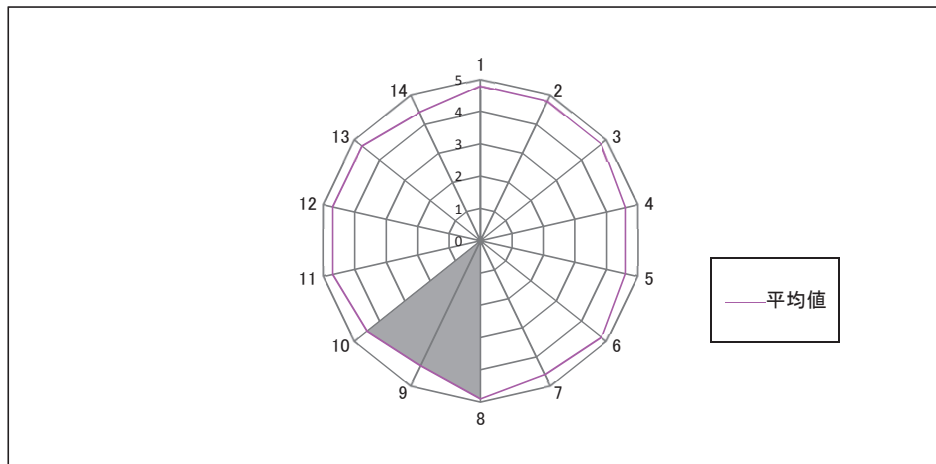
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(音楽)

評価実施日 平成27年7月29日

担当教員名 山田 啓明, 小山 英恵, 湯口 雅史

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

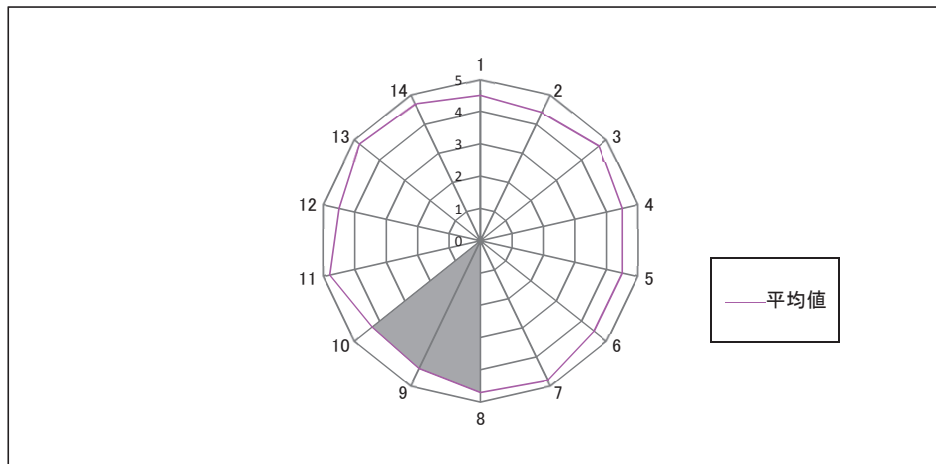
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(図工・美術)

評価実施日 平成27年7月29日

担当教員名 山木 朝彦, 湯口 雅史

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(体育・保体)

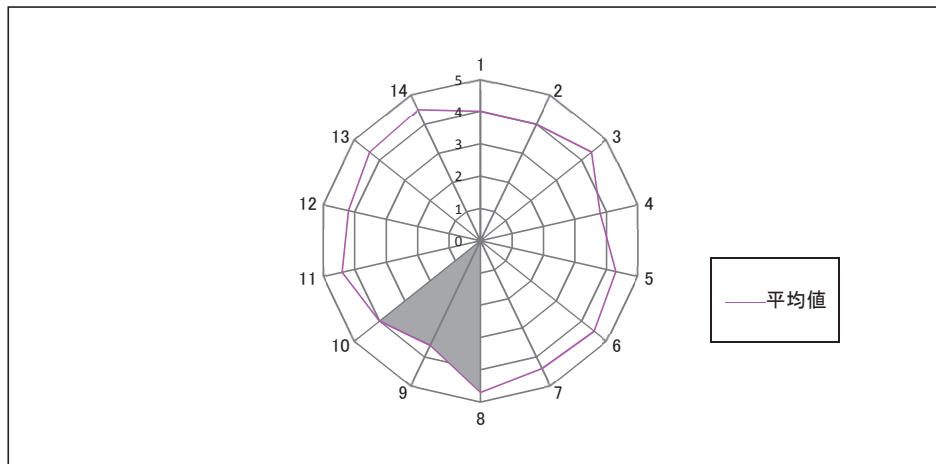
評価実施日 平成27年7月22日

担当教員名 梅野 圭史, 藤田 雅文, 湯口 雅史

回答者数

12名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	9	2	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	4	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	6	1	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	7	4	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	7	1	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	6	0	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	8	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	4	3	1	1	0	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	7	3	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	7	0	0	0	1	4.4
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	5	2	0	0	1	4.2
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	3	2	0	0	1	4.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	6	0	0	0	0	4.5



総合評価 4.3

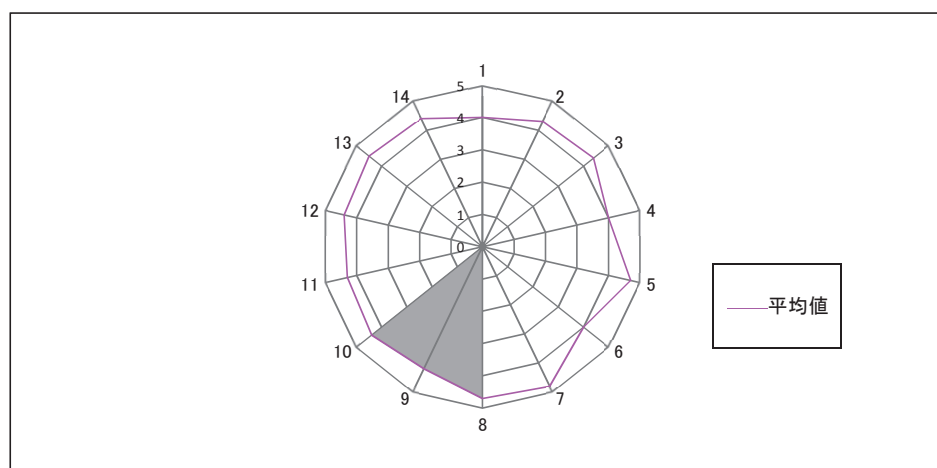
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(技術)

評価実施日 平成27年7月15日

担当教員名 尾崎 士郎, 伊藤 陽介, 菊地 章, 宮下 晃一, 宮本 賢 回答者数 8名  
 治, 米延 仁志, 湯口 雅史

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.3
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価	4.3
------	-----

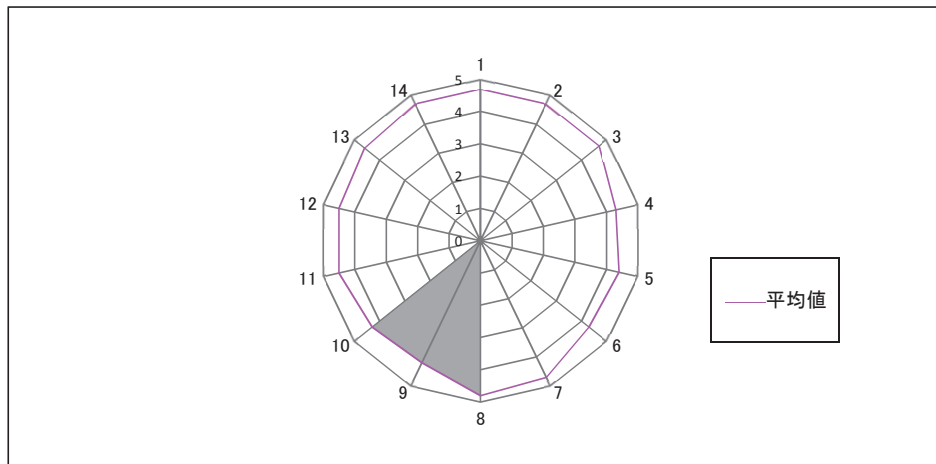
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(家庭)

評価実施日 平成27年7月29日

担当教員名 金 貞均, 黒川 衣代, 西川 和孝, 湯口 雅史 回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.5
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.6

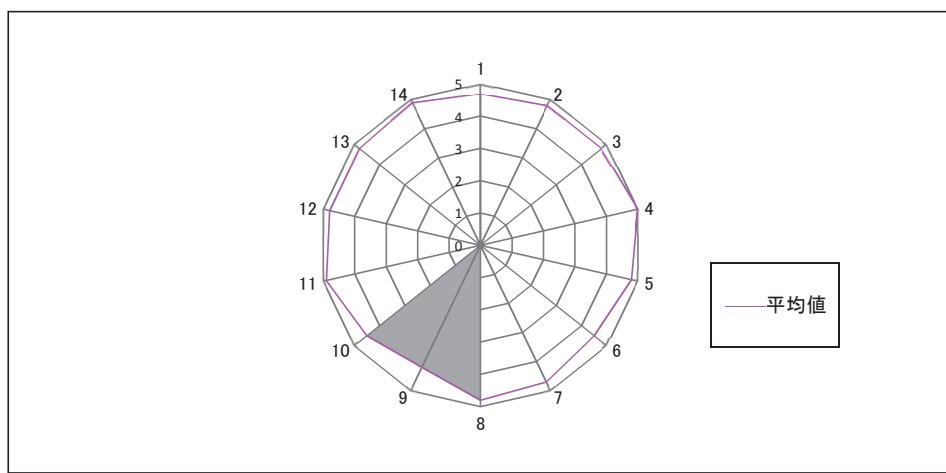
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 学校教育実践 I

評価実施日 平成27年7月30日

担当教員名 藤原 伸彦, 木下 光二, 葛上 秀文, 前田 洋一, 阿形 恒秀, 佐古 秀一, 川上 綾子, 江川 克弘 回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.9
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価	4.8
------	-----

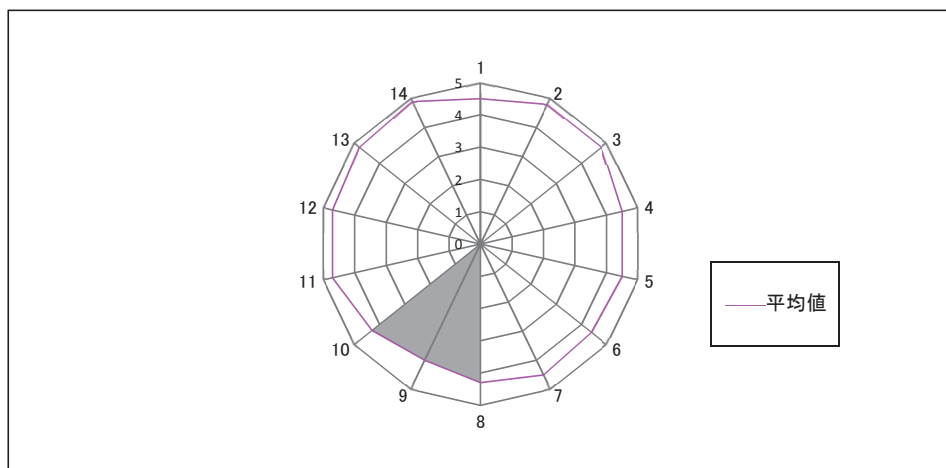
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校教育実践Ⅱ

評価実施日 平成27年7月31日

担当教員名 葛上 秀文, 木下 光二, 藤原 伸彦, 前田 洋一, 阿形 恒秀, 佐古 秀一, 川上 綾子, 江川 克弘, 金児 正史, 回答者数 8名  
池田 誠喜, 西村 公孝

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A.	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

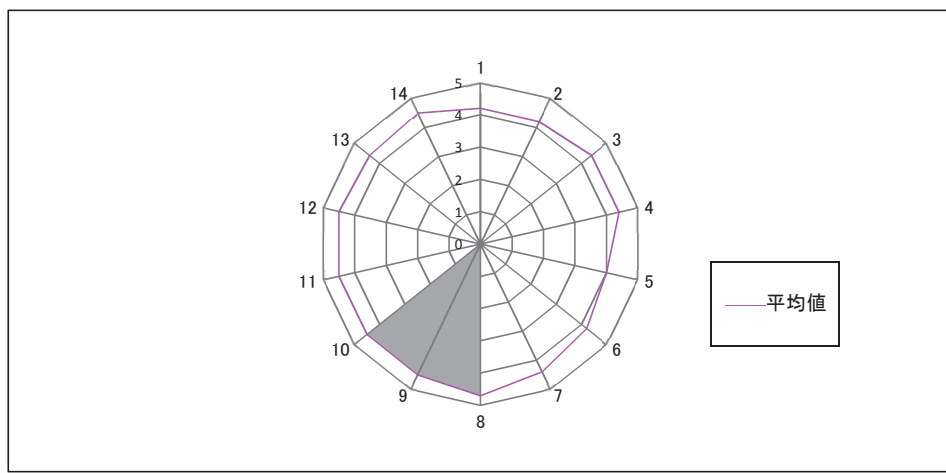


授業科目名 特別支援教育実践基礎演習

評価実施日 平成27年7月29日

担当教員名 高原 光恵, 大谷 博俊, 井上 とも子, 島田 恭仁, 津田 芳見, 田中 淳一, 高橋 眞琴, 湯口 雅史 回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A.	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.5
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 4.3

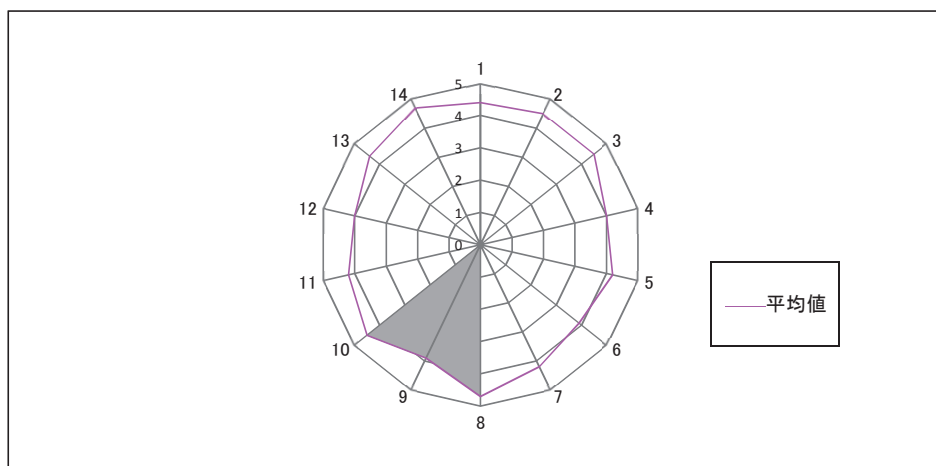
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 特別支援教育実践 I

評価実施日 平成27年7月15日

担当教員名 高原 光恵, 大谷 博俊, 井上 とも子, 島田 恭仁, 津田 芳見, 田中 淳一, 高橋 眞琴, 湯口 雅史 回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.2
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.3

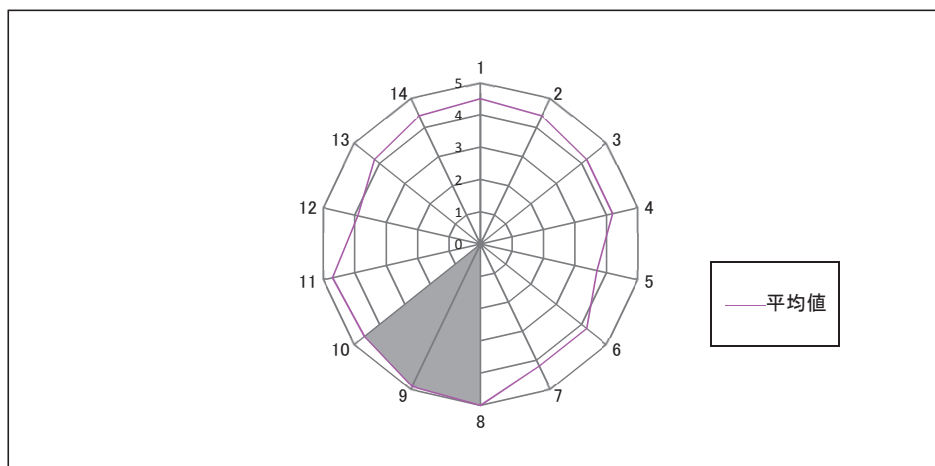
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 特別支援教育実践Ⅱ

評価実施日 平成27年7月30日

担当教員名 島田 恭仁, 大谷 博俊, 井上 とも子, 津田 芳見, 高原 光恵, 田中 淳一, 高橋 眞琴 回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.9
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.2
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(国語)

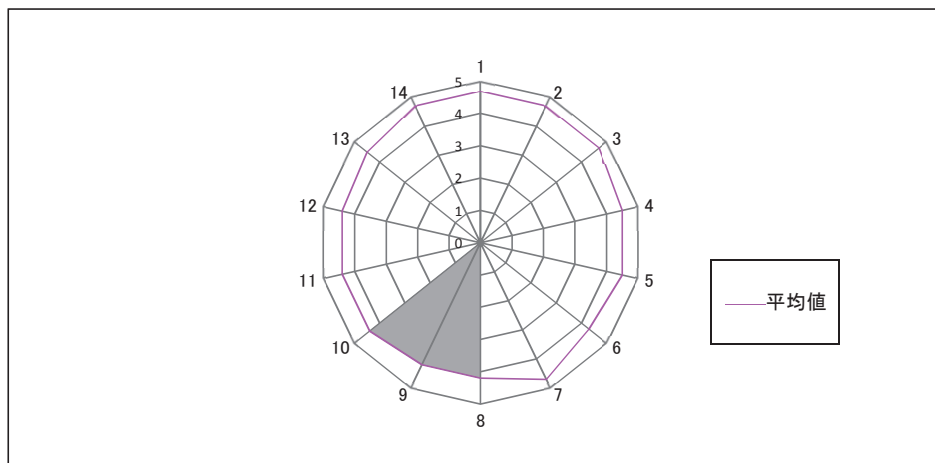
評価実施日 平成27年7月30日

担当教員名 幾田 伸司, 黒田 俊太郎

回答者数

22名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1 N.A	(項目別)	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	15	7	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	8	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	13	8	0	0	0	1	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	7	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	12	9	1	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	12	5	4	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	16	4	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	11	2	1	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	8	11	2	1	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	10	10	1	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	6	2	0	0	6	4.4
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	8	6	2	0	0	6	4.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	9	6	1	0	0	6	4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	14	7	0	0	0	1	4.7



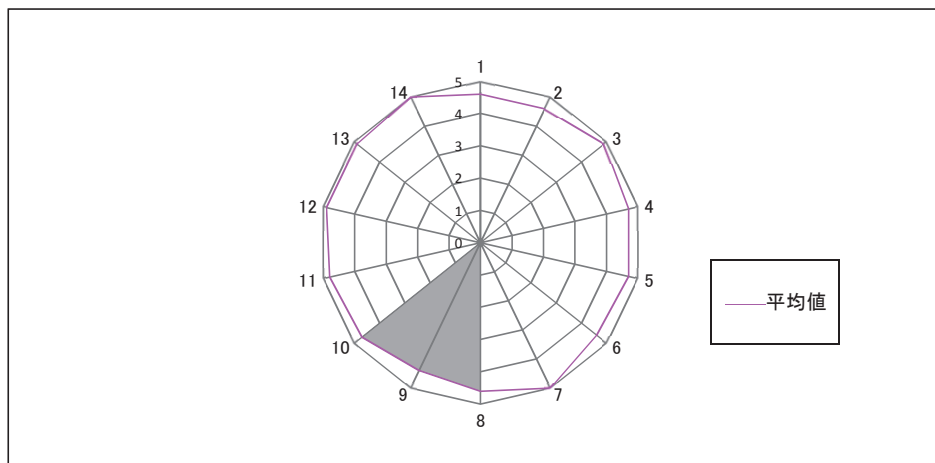
総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(英語)  
 評価実施日 平成27年7月23日  
 担当教員名 山森 直人, 杉浦 裕子

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.9
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(算数・数学)

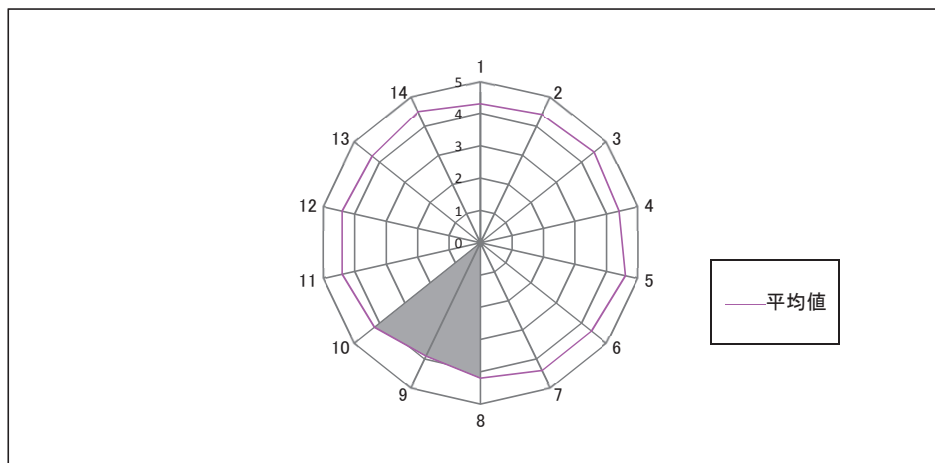
評価実施日 平成27年7月31日

担当教員名 松岡 隆, 秋田 美代

回答者数

18名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	8	1	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	7	1	1	0	0	4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	10	7	1	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	9	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	11	6	1	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	9	1	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	7	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	10	3	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	8	6	0	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	7	4	0	0	1	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	4	1	0	0	8	4.4
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	4	1	0	0	8	4.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	5	1	0	0	8	4.3
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	8	1	0	0	0	4.5



総合評価 4.4

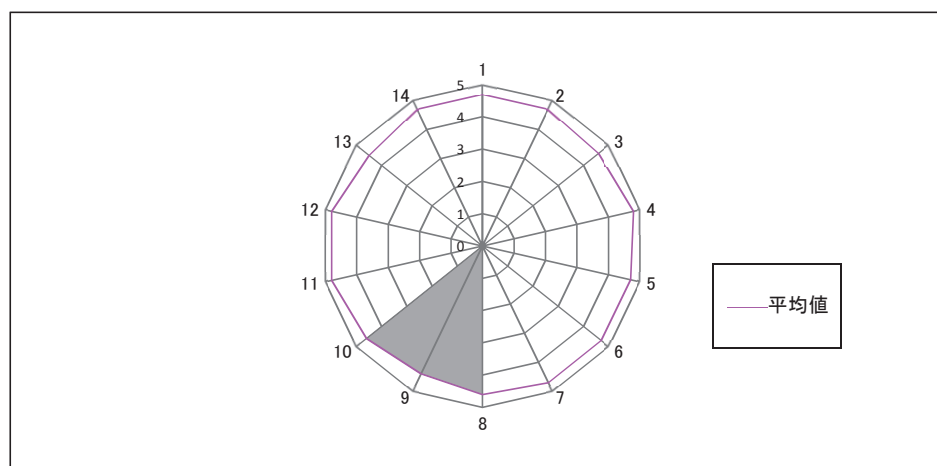
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(理科)

評価実施日 平成27年7月30日

担当教員名 武田 清, 本田 亮, 香西 武, 佐藤 勝幸, 工藤 慎一, 村田 守, 早藤 幸隆, 寺島 幸生 回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



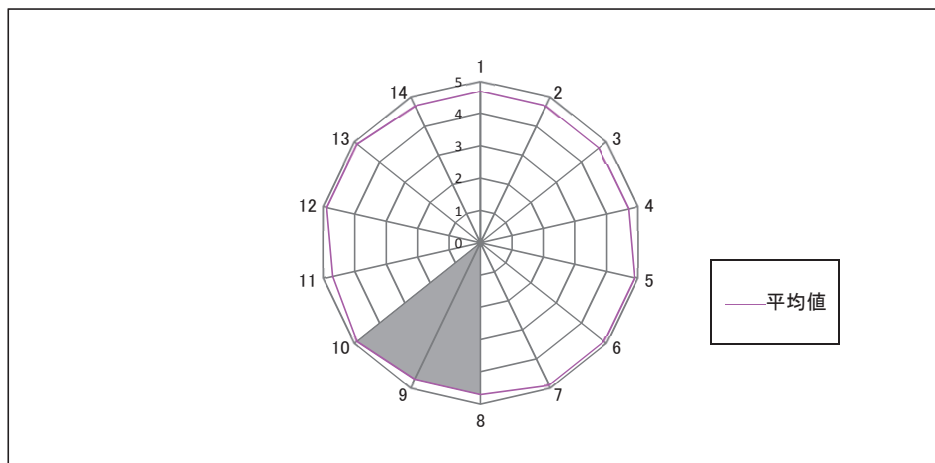
総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(音楽)  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 長島 真人, 松岡 貴史

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.9
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



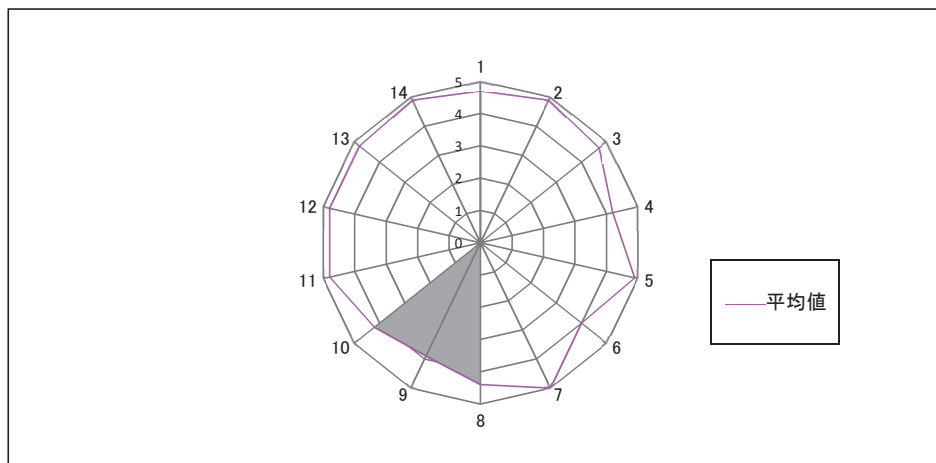
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(図工・美術)

評価実施日 平成27年7月23日

担当教員名 小川 勝, 野崎 窮, 内藤 隼

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(体育・保体)

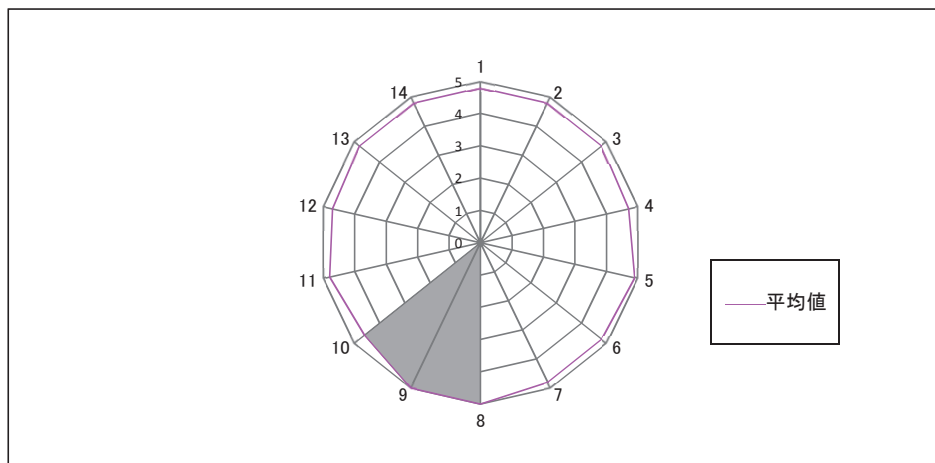
評価実施日 平成27年7月30日

担当教員名 松井 敦典, 田中 弘之, 乾 信之, 南 隆尚

回答者数

10名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1 N.A	(項目別)	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	9	0	0	0	0	1	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	2	4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	1	1	0	0	2	4.7
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	2	0	0	0	2	4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



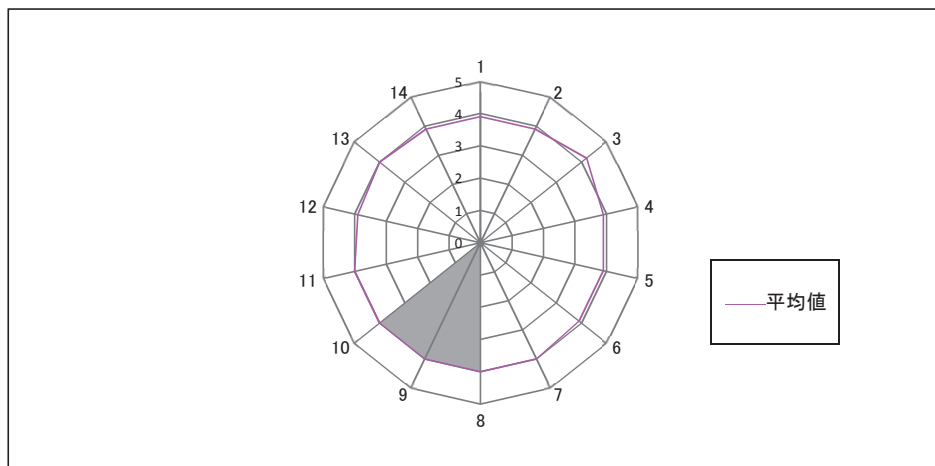
総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(技術)  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 伊藤 陽介, 菊地 章

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.0
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.9
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.0
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.9



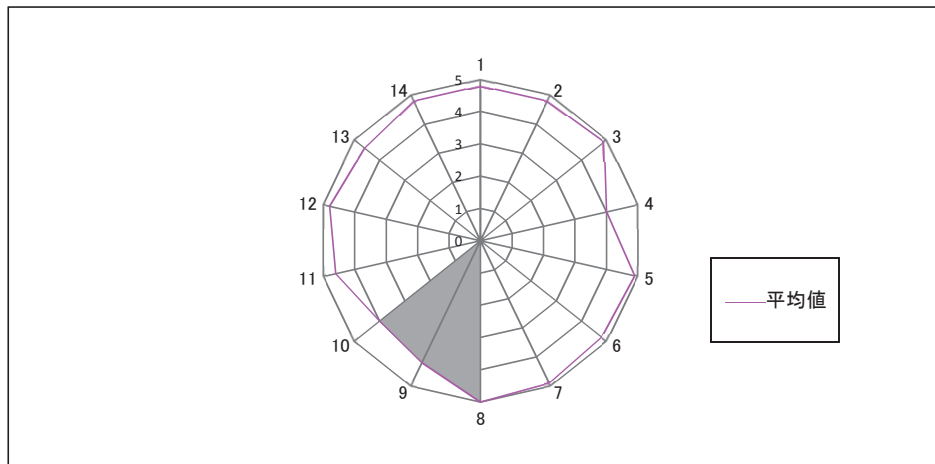
総合評価 4.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(家庭)  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 速水 多佳子, 西川 和孝, 金 貞均

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 4.7

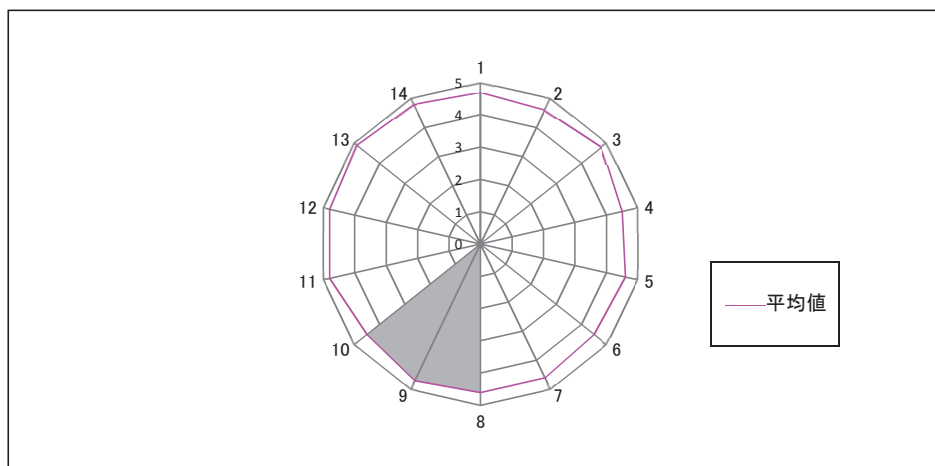
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 学校教育実践Ⅱ(授業設計)

評価実施日 平成28年2月19日

担当教員名 葛上 秀文, 前田 洋一, 木下 光二, 藤原 伸彦, 阿形 恒秀, 佐古 秀一, 川上 綾子, 江川 克弘 回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.9
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



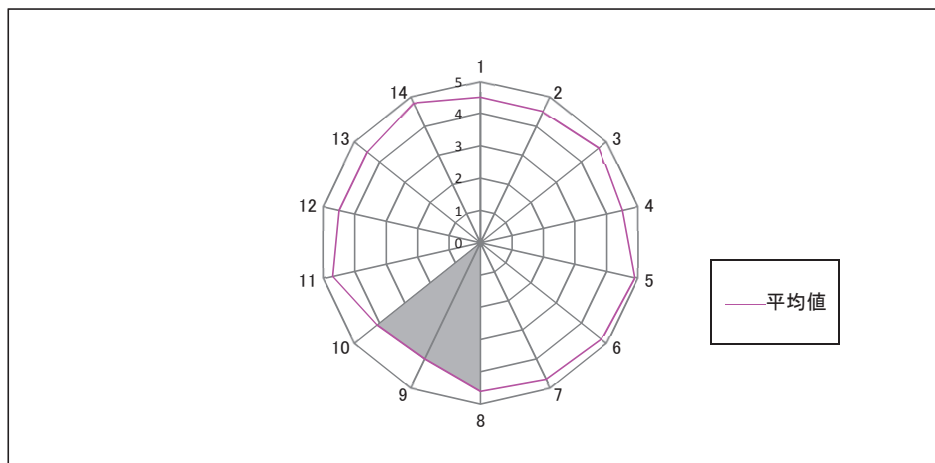
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (国語)  
 評価実施日 平成28年1月27日  
 担当教員名 余郷 裕次, 原 卓志, 湯地 宏樹

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



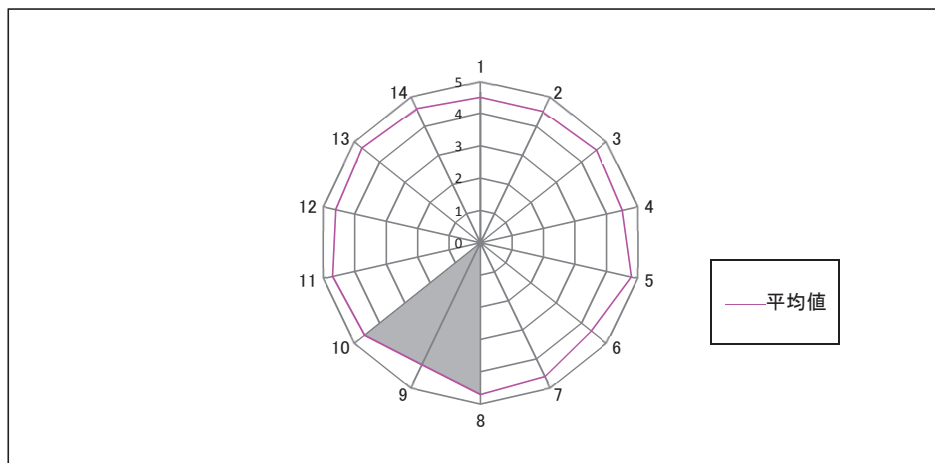
総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (英語)  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 畑江 美佳, 敷下 克彦, 湯地 宏樹

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.6
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6

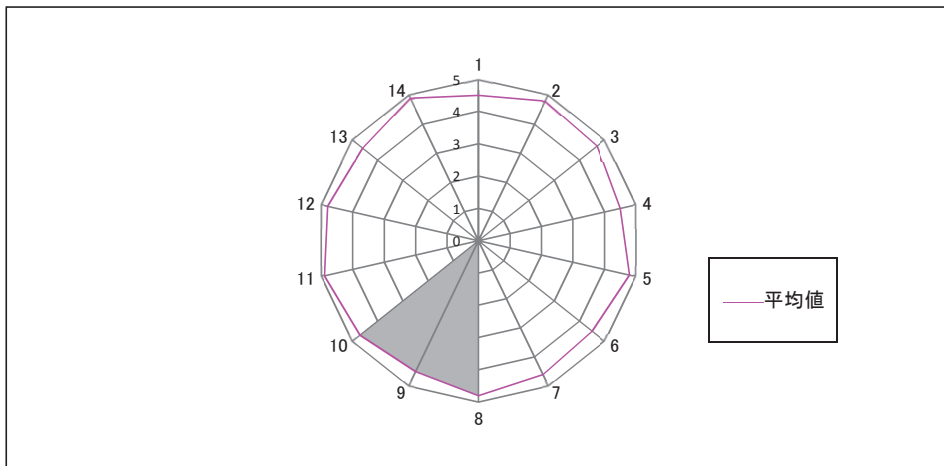


総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (社会)  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 伊藤 直之, 青葉 暢子, 立岡 裕士, 湯地 宏樹      回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.9
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



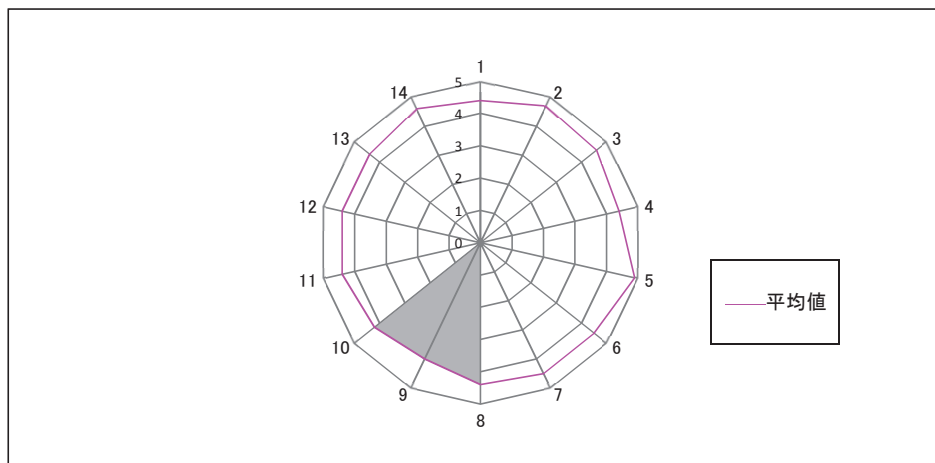
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (算数・数学)

評価実施日 平成28年2月3日

担当教員名 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 湯地 宏樹

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	6	2	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	4	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	7	0	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	7	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	13	3	0	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	9	6	0	1	0	0	4.5
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	5	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	3	2	1	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	8	4	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	8	3	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	7	1	0	0	1	4.4
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	8	5	2	0	0	1	4.4
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	7	1	0	0	1	4.4
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	5	1	0	0	0	4.6



総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

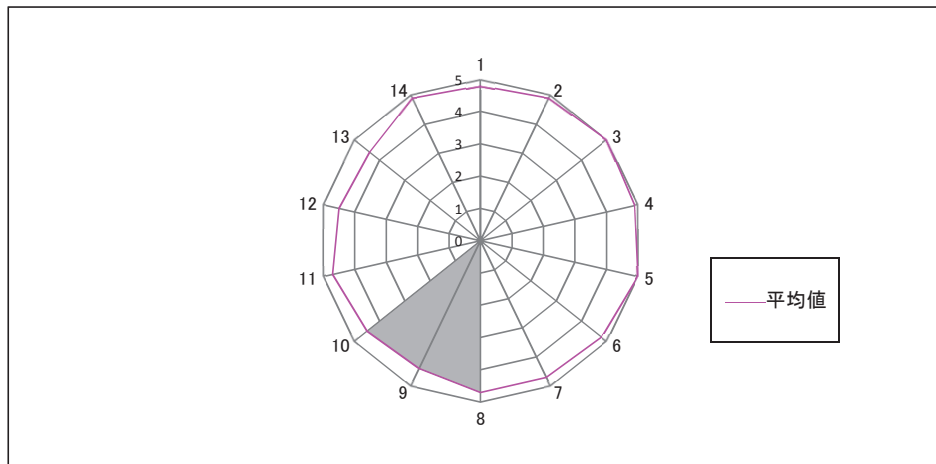
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (図工・美術)

評価実施日 平成28年2月3日

担当教員名 小川 勝, 山田 芳明, 湯地 宏樹

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



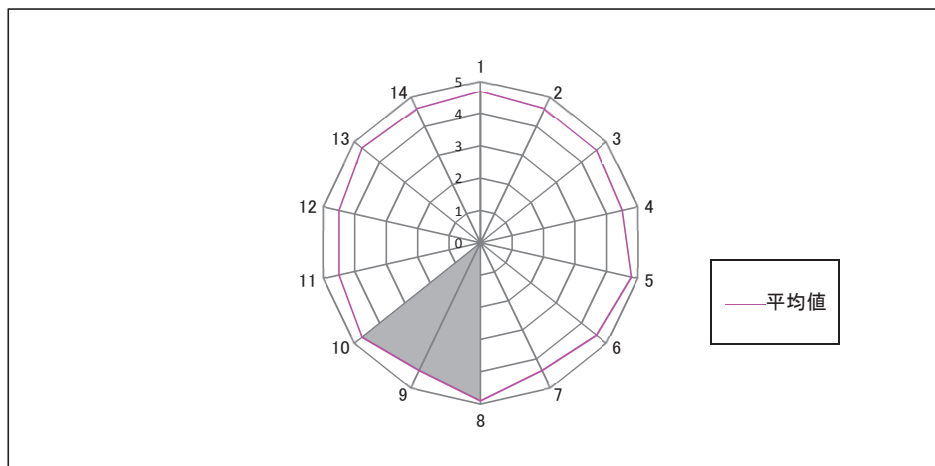
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (音楽)  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 小山 英恵, 頃安 利秀, 湯地 宏樹

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.9
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.5
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6



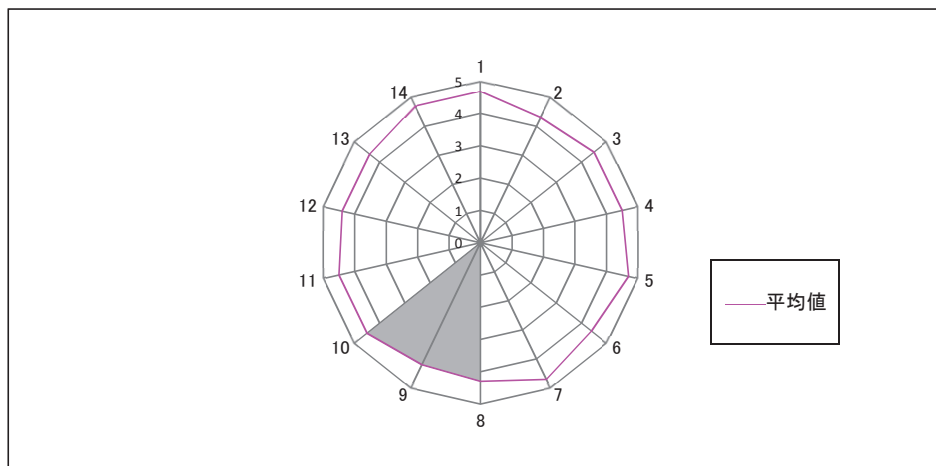
総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (技術)  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 尾崎 士郎, 米延 仁志, 湯地 宏樹

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.5
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.4
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.5

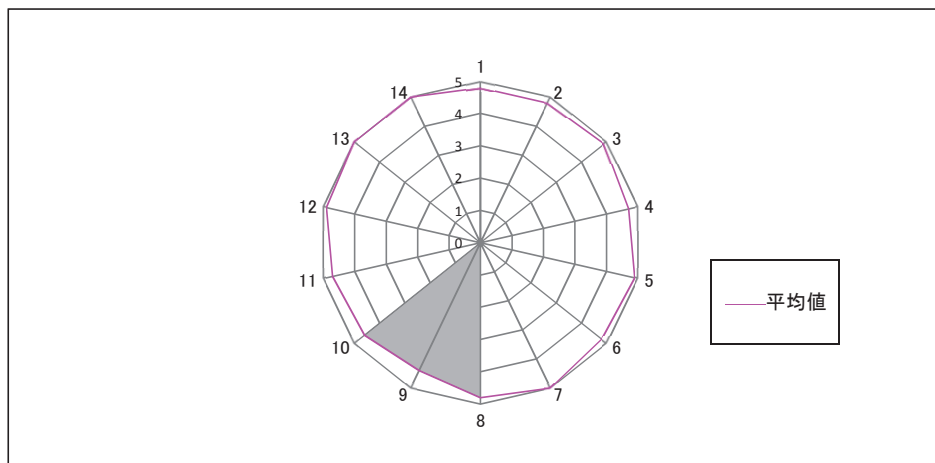
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (家庭)

評価実施日 平成28年1月27日

担当教員名 黒川 衣代, 金 貞均, 速水 多佳子, 松永 哲郎, 坂本 有芳, 湯地 宏樹 回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						5.0
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



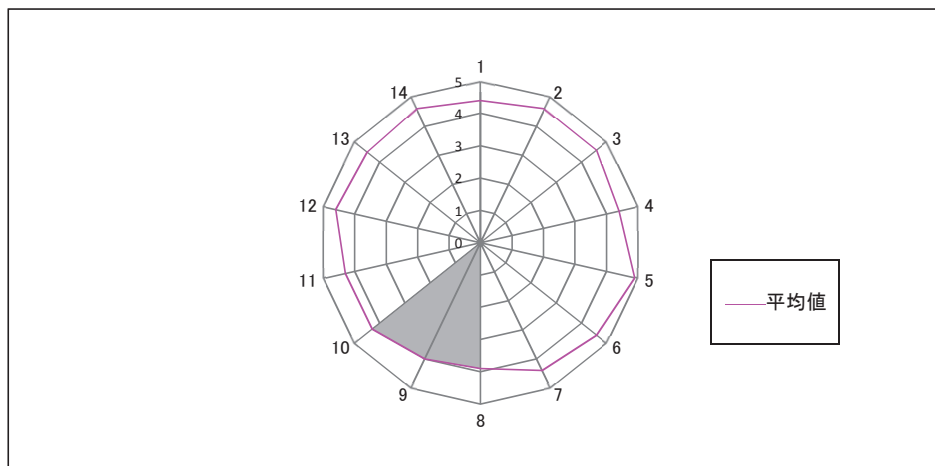
総合評価 4.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(国語)  
 評価実施日 平成28年2月2日  
 担当教員名 村井 万里子, 小島 明子

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.3
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.6
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6



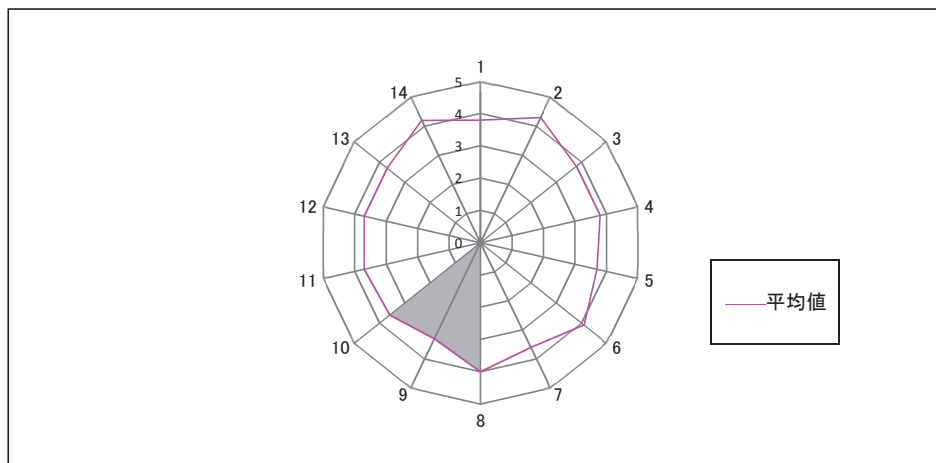
総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(英語)  
 評価実施日 平成28年1月21日  
 担当教員名 石濱 博之, 眞野 美穂

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						3.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.7
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						3.7
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



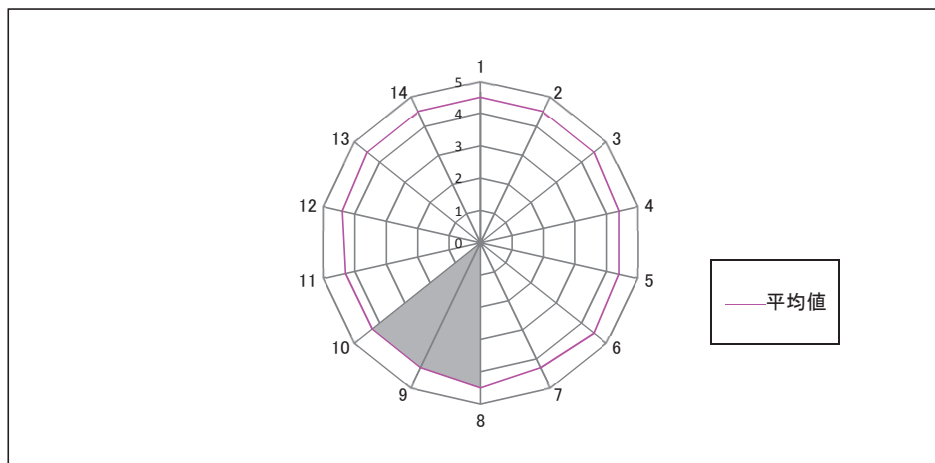
総合評価 3.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(社会)  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 梅津 正美, 町田 哲

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.3
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 4.4

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



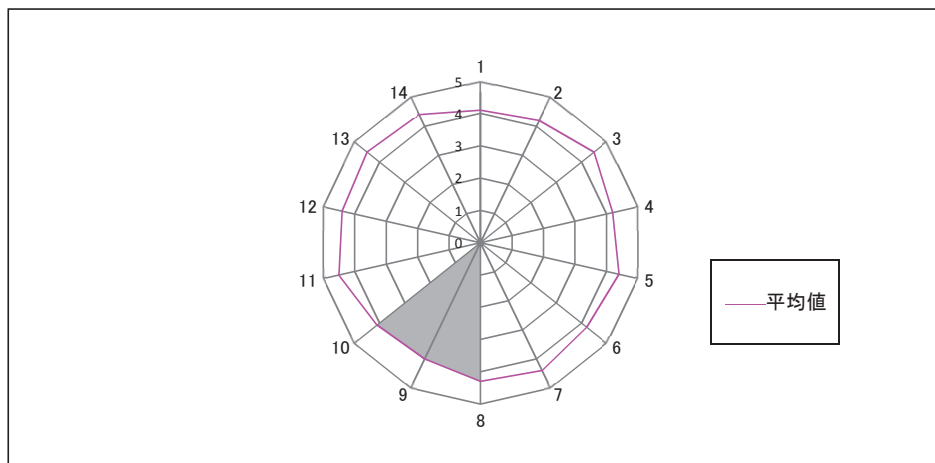
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(算数・数学)

評価実施日 平成28年2月9日

担当教員名 松岡 隆, 秋田 美代

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.5
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



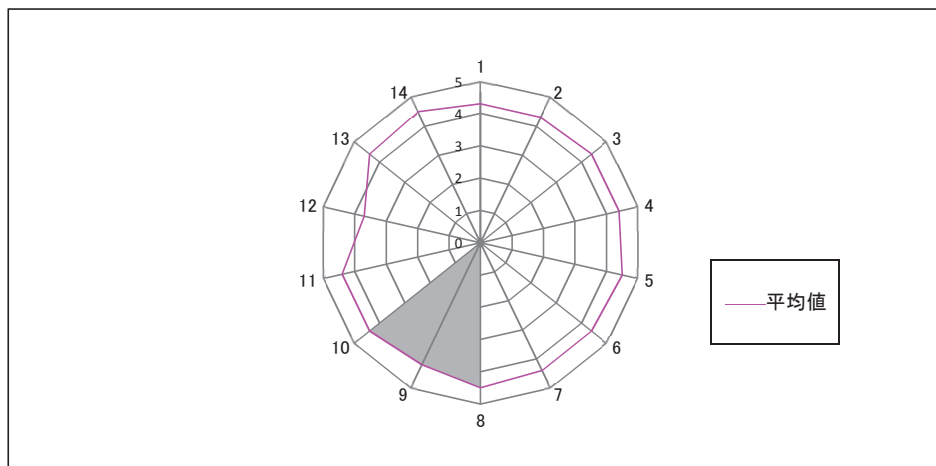
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(音楽)  
 評価実施日 平成28年2月16日  
 担当教員名 長島 真人, 森 正

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.4
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.7
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



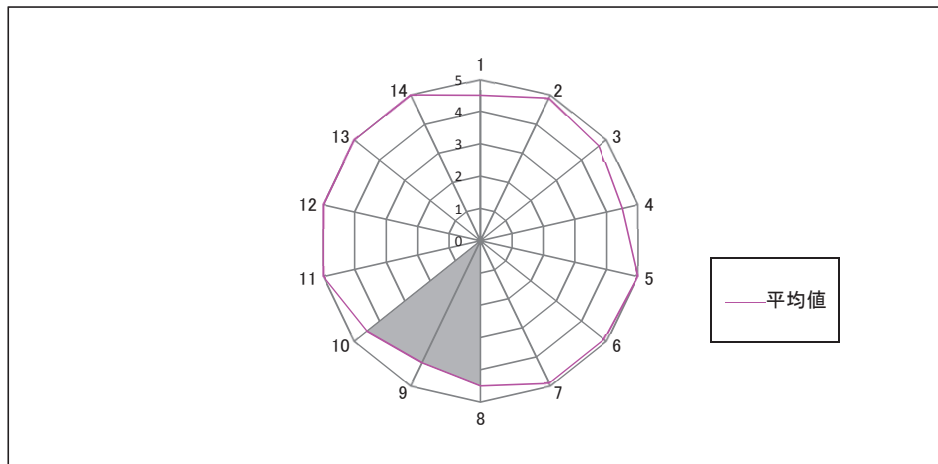
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(図工・美術)  
 評価実施日 平成28年2月2日  
 担当教員名 山田 芳明, 鈴木 久人, 栗原 慶

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						5.0
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						5.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						5.0
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(体育・保体)

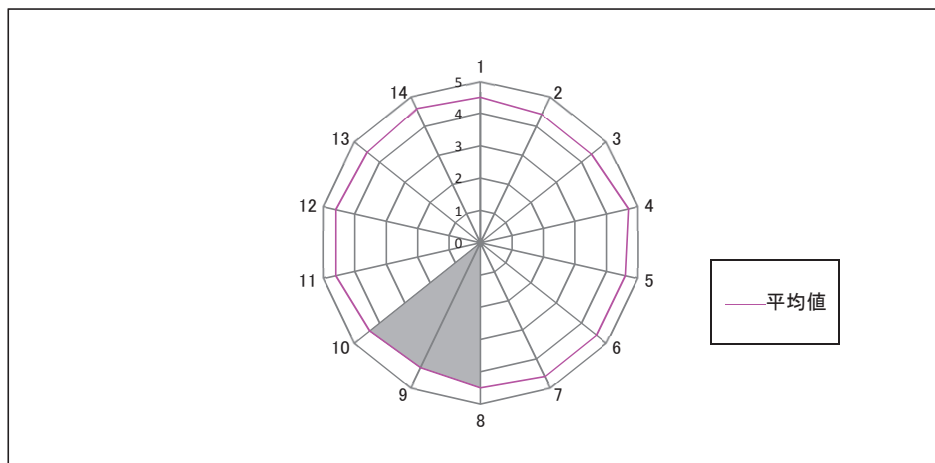
評価実施日 平成28年2月2日

担当教員名 梅野 圭史, 藤田 雅文

回答者数

16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.6
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6

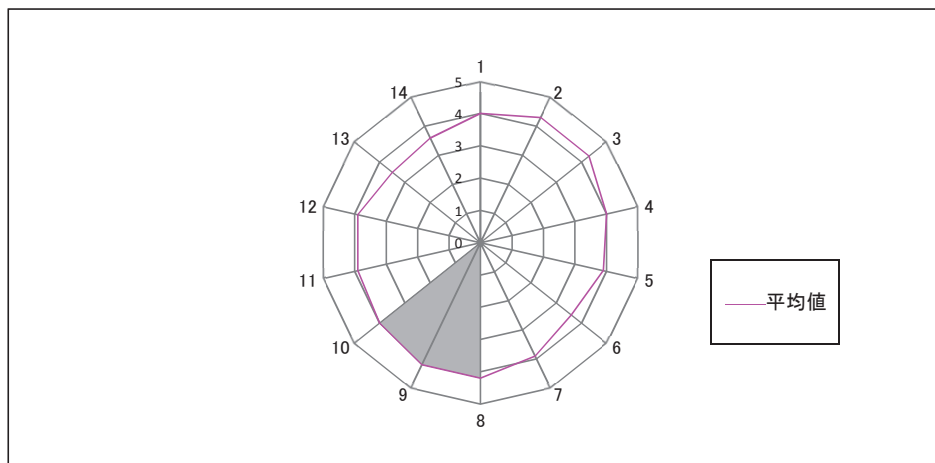


総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(技術)  
 評価実施日 平成28年2月2日  
 担当教員名 宮下 晃一, 宮本 賢治, 尾崎 士郎, 畑中 伸夫 回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						3.9
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.9
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						3.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.6

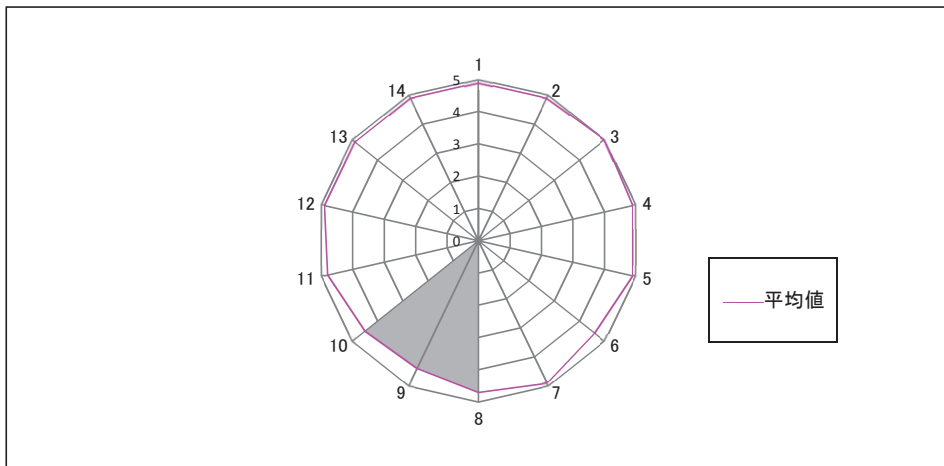


総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(家庭)  
 評価実施日 平成28年1月19日  
 担当教員名 福井 典代, 黒川 衣代, 速水 多佳子, 坂本 有芳 回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	4	1	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	2	0	0	0	2	4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	2	4.9
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	1	0	0	0	2	4.9
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	0	4.9



総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



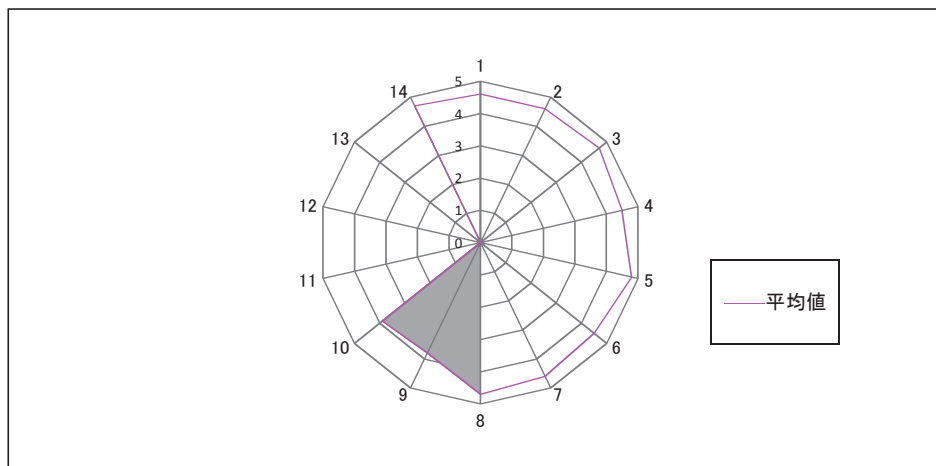
# 教 職 共 通 科 目



授業科目名 教職論  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 阪根 健二, 湯地 宏樹

回答者数 135名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



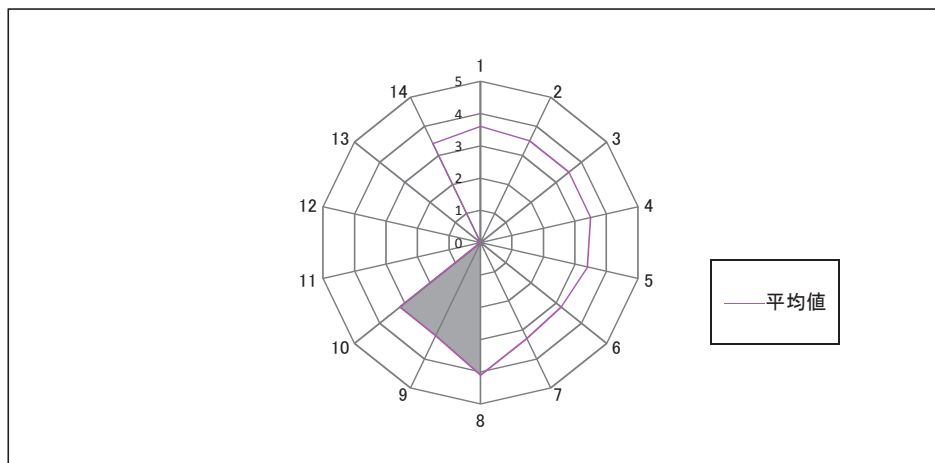
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 人間形成原論  
 評価実施日 平成27年8月3日  
 担当教員名 木内 陽一

回答者数 145名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.4



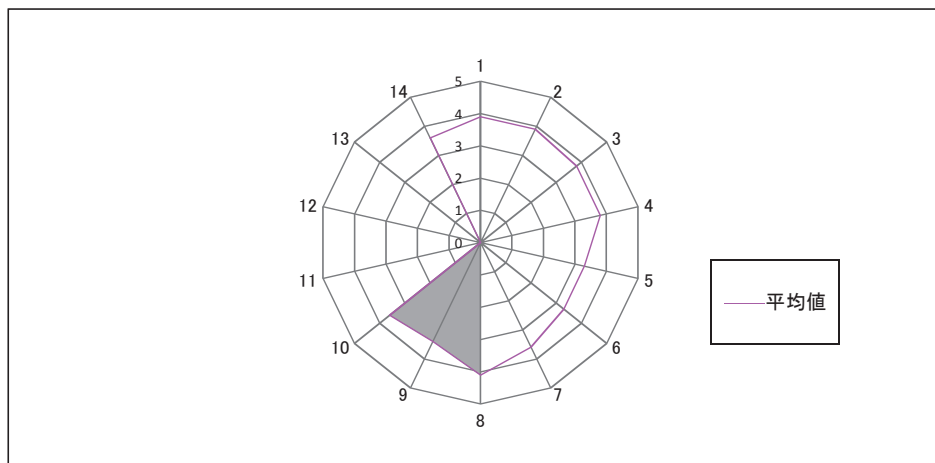
総合評価 **3.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育心理学  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 皆川 直凡

回答者数 73名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.6



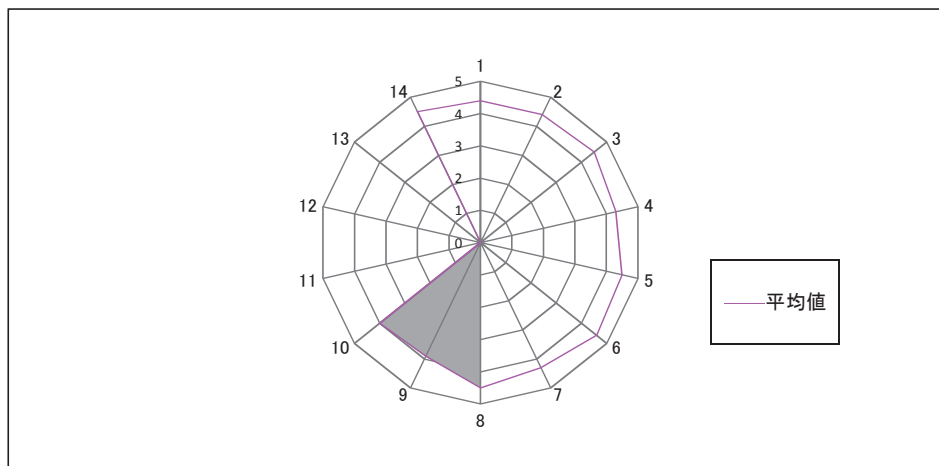
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育制度・経営論  
 評価実施日 平成27年8月3日  
 担当教員名 石村 雅雄

回答者数 93名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	43	38	12	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	44	34	15	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	50	32	11	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	40	31	21	0	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	55	29	9	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	60	25	8	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	43	33	15	2	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	52	30	11	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	27	33	29	1	2	1	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	31	35	22	4	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	49	27	9	1	0	7	4.5



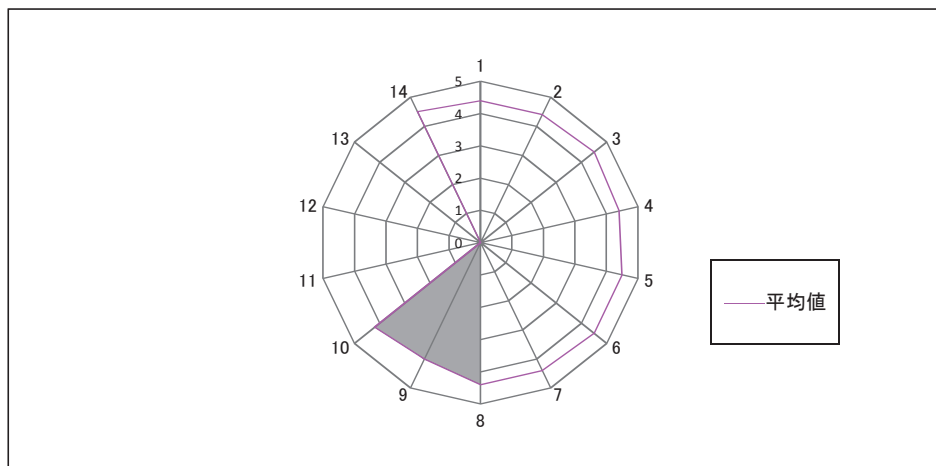
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育課程論  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 村川 雅弘, 前田 洋一

回答者数 159名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	77	63	18	1	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	79	61	18	1	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	90	53	14	1	1	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	77	61	18	0	0	3	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	97	44	15	2	1	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	84	60	11	3	1	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	81	52	17	5	2	2	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	86	47	23	3	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	54	58	31	12	4	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	65	58	25	7	2	2	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	87	50	14	3	1	4	4.5



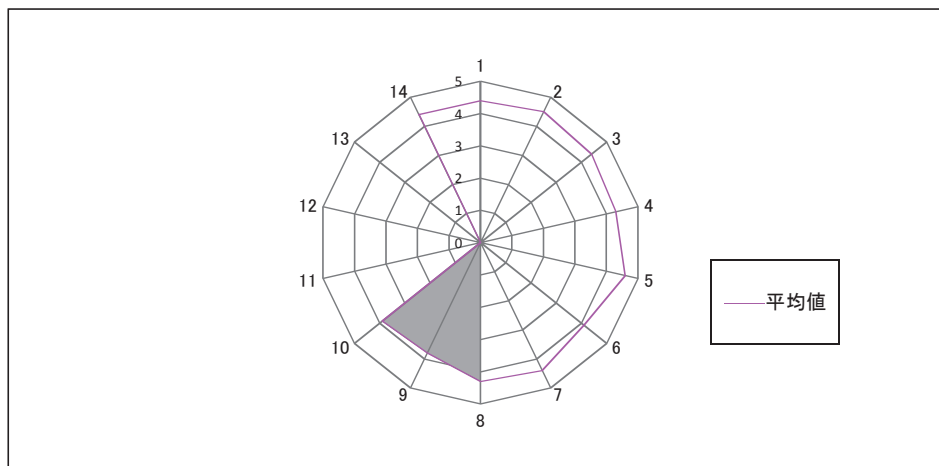
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語科教育論A  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 73名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	36	28	9	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	37	31	5	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	39	25	8	1	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	32	28	11	0	0	2	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	46	21	6	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	27	25	18	2	1	0	4.1
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	37	28	7	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	31	30	11	1	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	21	21	23	5	2	1	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	21	29	16	4	3	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	33	31	6	1	0	2	4.4



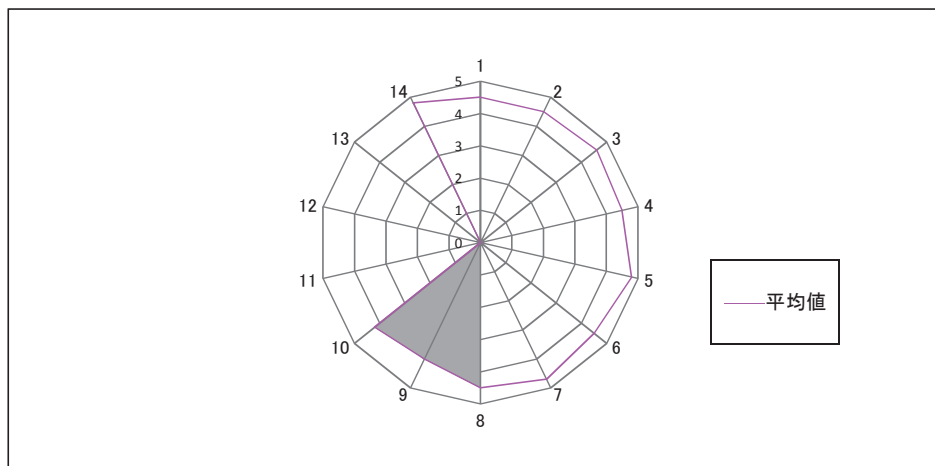
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語科教育論B  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 64名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	36	23	5	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	35	26	2	0	1	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	41	18	5	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	33	26	4	1	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	48	14	1	1	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	37	20	6	0	1	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	45	18	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	36	22	6	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	24	22	10	7	1	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	29	23	6	6	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	52	11	1	0	0	0	4.8

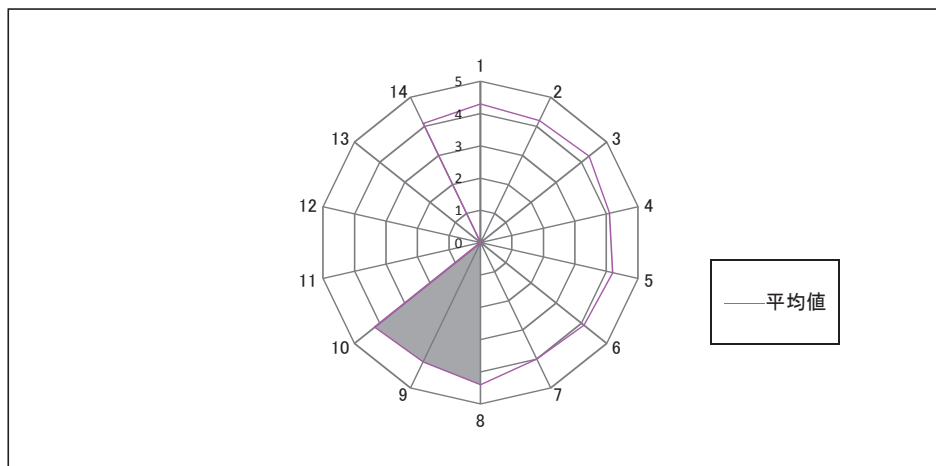


総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等理科教育論  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 本田 亮, 香西 武, 佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 森 繁 回答者数 138名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.1
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.1



総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値(大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

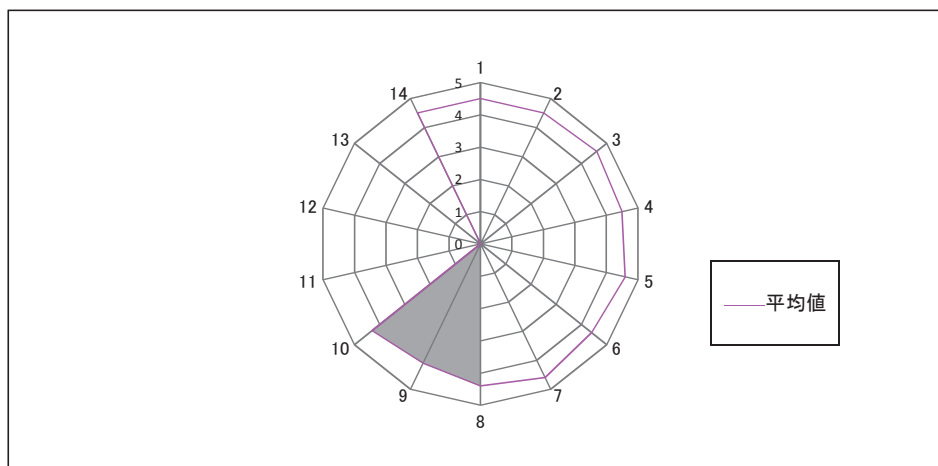


授業科目名 小学校英語教育論

評価実施日 平成27年7月31日

担当教員名 石濱 博之, 畑江 美佳, ジェラード マーシェソ, 山森 直人, 前田 一平, 敷下 克彦, 杉浦 裕子, 眞野 美穂 回答者数 99名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



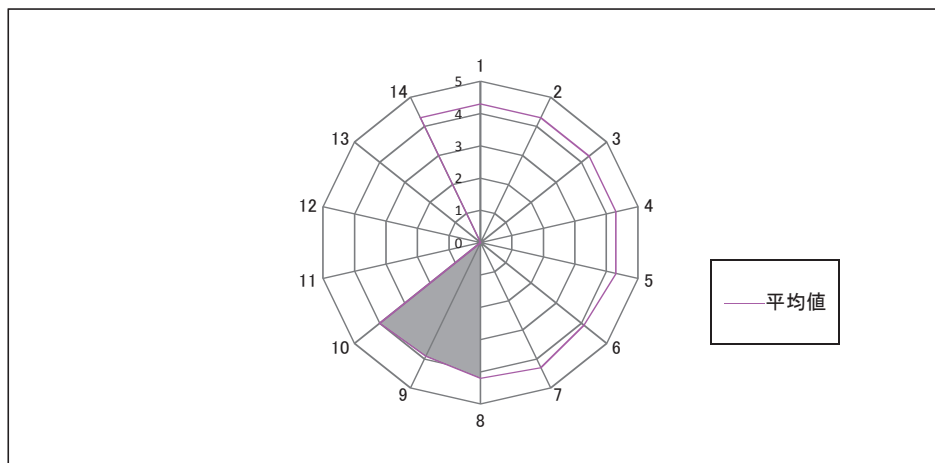
総合評価	4.5
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 特別活動指導論A  
 評価実施日 平成27年8月3日  
 担当教員名 葛上 秀文

回答者数 102名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



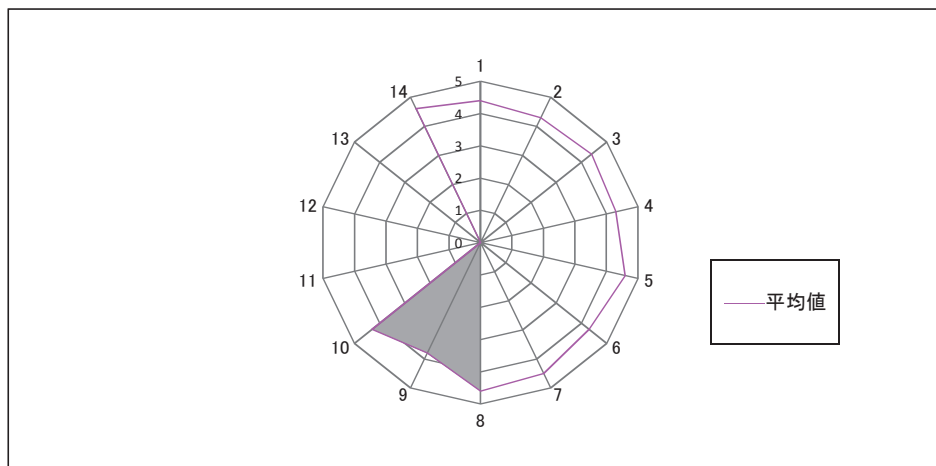
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別活動指導論B  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 森 康彦

回答者数 109名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



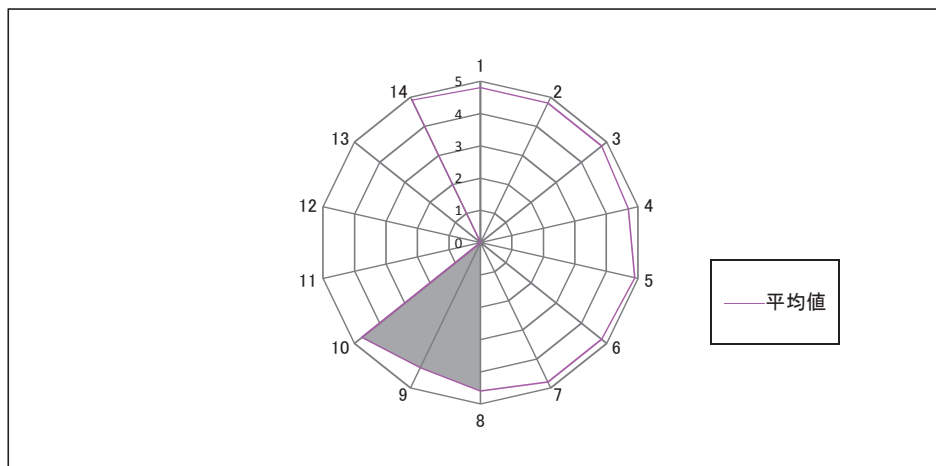
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児教育課程論  
 評価実施日 平成27年8月3日  
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 34名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	26	8	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	10	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	26	8	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	23	9	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	29	4	1	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	27	6	1	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	25	8	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	20	13	1	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	17	11	5	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	23	11	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	28	5	0	0	0	1	4.9



総合評価 **4.8**

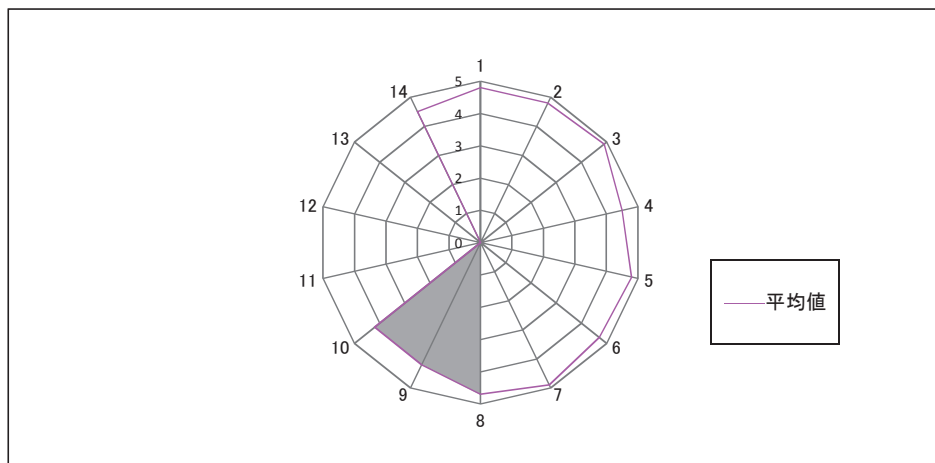
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容総論

評価実施日 平成27年7月30日

担当教員名 塩路 晶子, 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 湯地 宏樹 回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



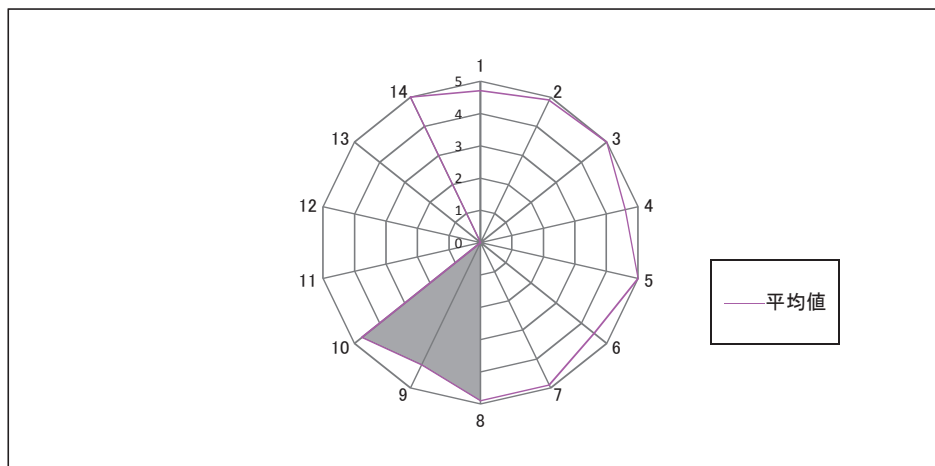
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(言葉)  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 近藤 慶子

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



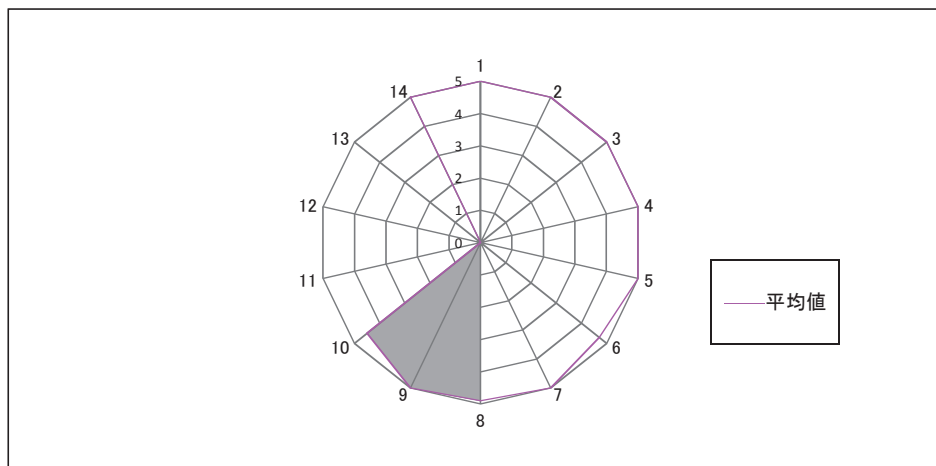
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現I)A  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	1	5.0



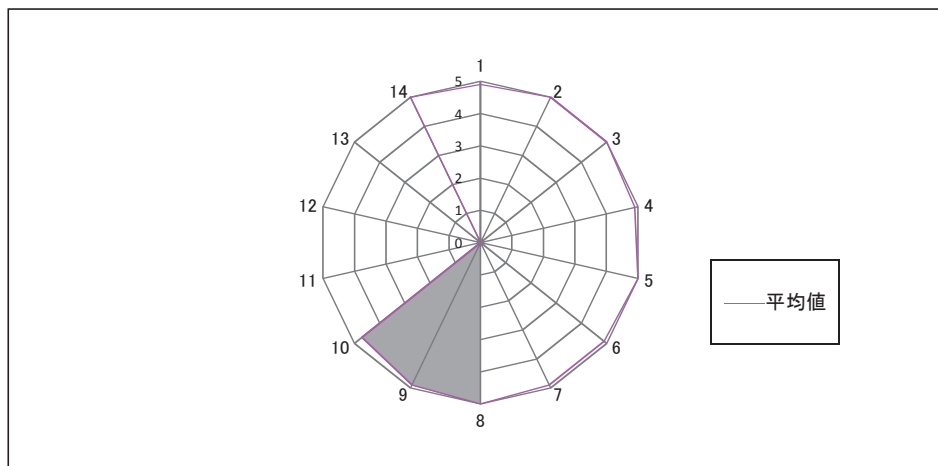
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現I)B  
 評価実施日 平成27年8月6日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **5.0**

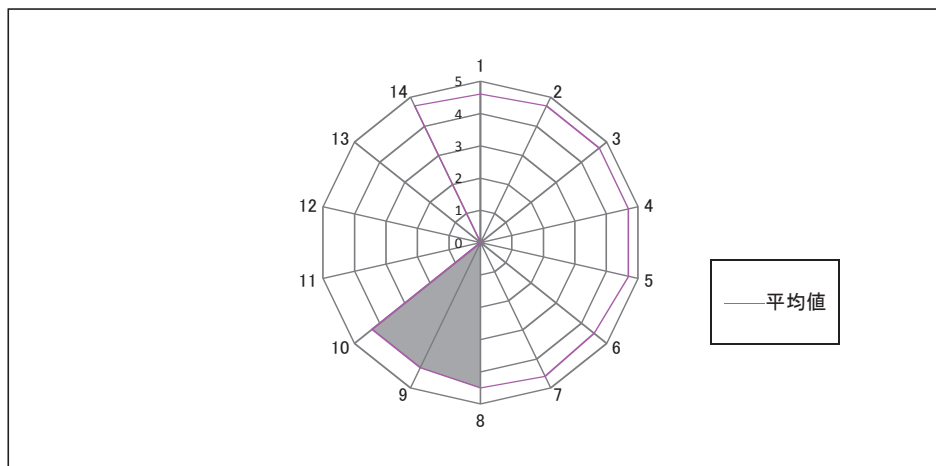
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 教育評価論  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 前田 洋一, 川上 綾子

回答者数 105名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	66	34	5	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	71	30	4	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	74	27	4	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	69	30	5	0	0	1	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	73	28	4	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	59	38	8	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	63	39	3	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	61	35	8	1	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	47	39	14	5	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	51	37	11	5	0	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	70	27	3	1	0	4	4.7



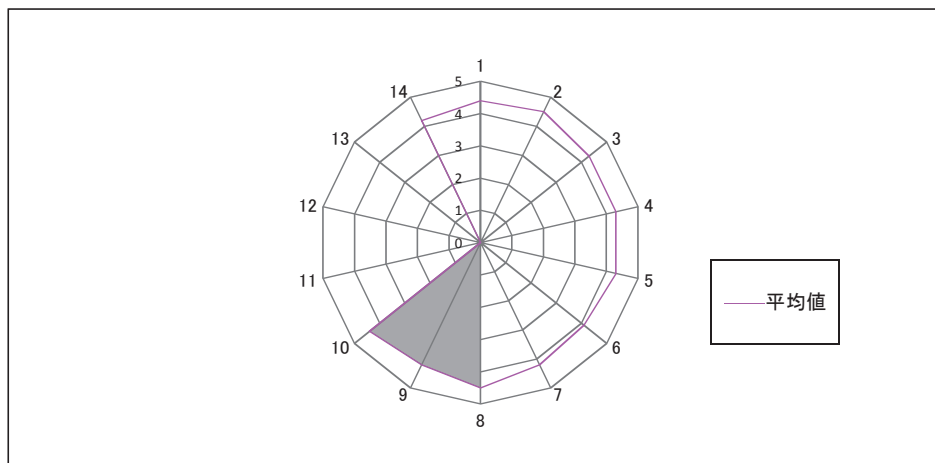
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 乳幼児心理学  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 田村 隆宏

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2

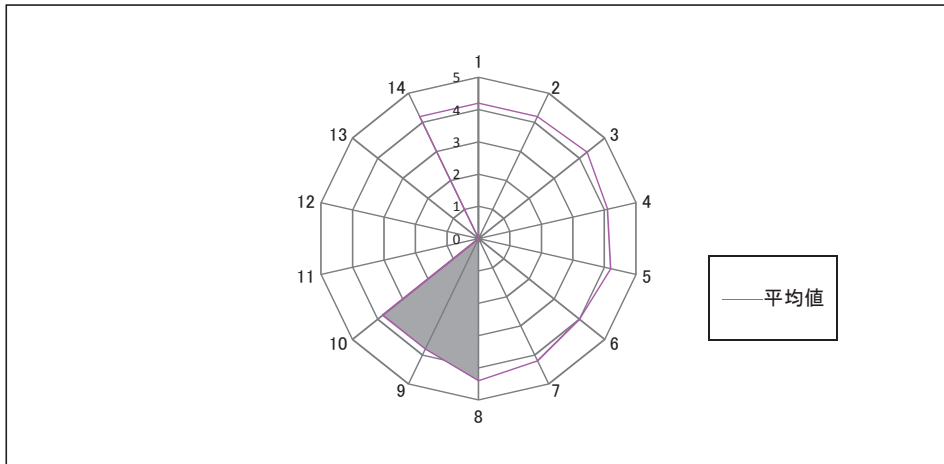


総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名                                                                                                                                                                          
 カウンセリング論A・B  
 評価実施日                                                                                      
 平成27年7月31日  
 担当教員名                                                                                                                                                                          
 小倉 正義, 吉井 健治, 久米 禎子, 栗飯原 良造      回答者数      110名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	47	39	23	1	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	47	37	25	1	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	56	31	21	1	1	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	43	37	28	1	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	45	42	19	4	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	41	36	24	5	4	0	4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	46	38	22	1	3	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	57	35	17	0	0	1	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	32	36	30	5	7	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	31	38	28	9	4	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	47	35	22	3	1	2	4.2



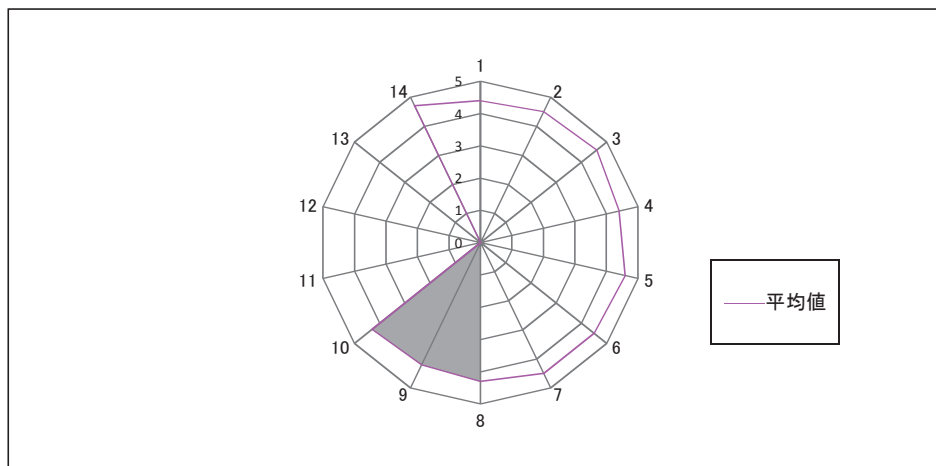
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科教育論  
 評価実施日 平成27年8月5日  
 担当教員名 原 卓志, 村井 万里子

回答者数 27名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	13	2	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	10	3	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	10	1	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	7	5	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	10	1	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	15	8	4	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	10	2	0	0	1	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	9	2	1	1	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	14	7	3	2	1	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	8	2	1	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	9	0	0	0	1	4.7



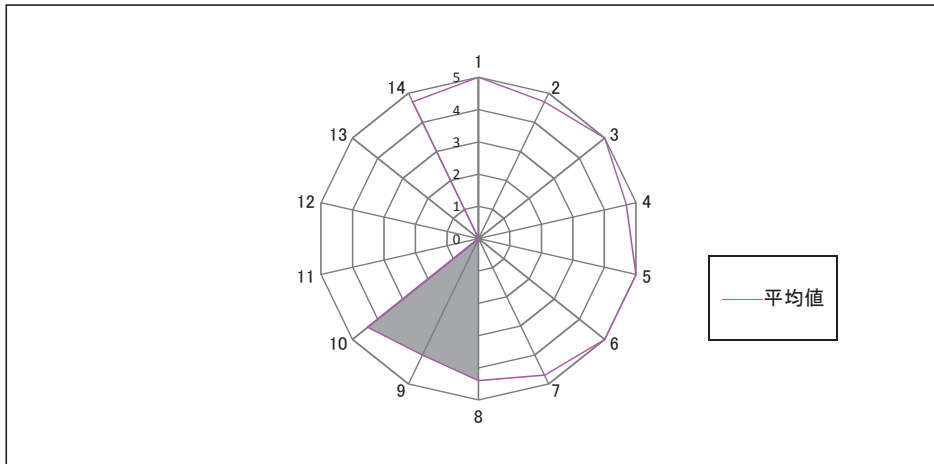
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語科教育特論  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



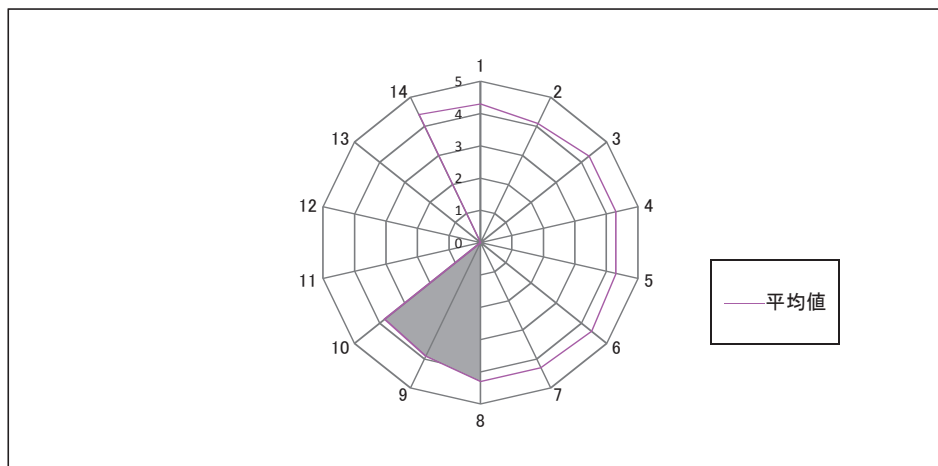
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論 I  
 評価実施日 平成27年8月5日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 23名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	6	4	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	7	4	2	0	0	4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	6	3	2	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	6	3	2	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	8	1	1	1	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	7	1	2	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	5	3	1	1	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	8	3	1	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	7	4	4	0	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	5	7	3	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	4	0	0	2	3	4.4



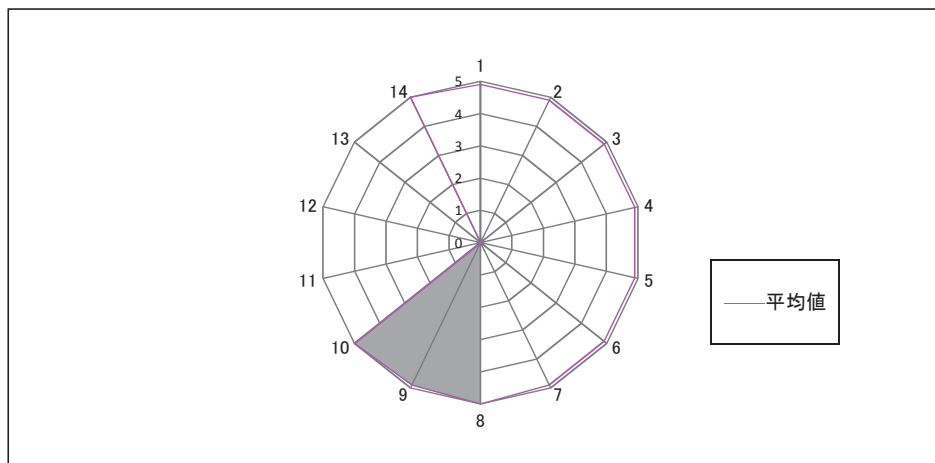
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅲ  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



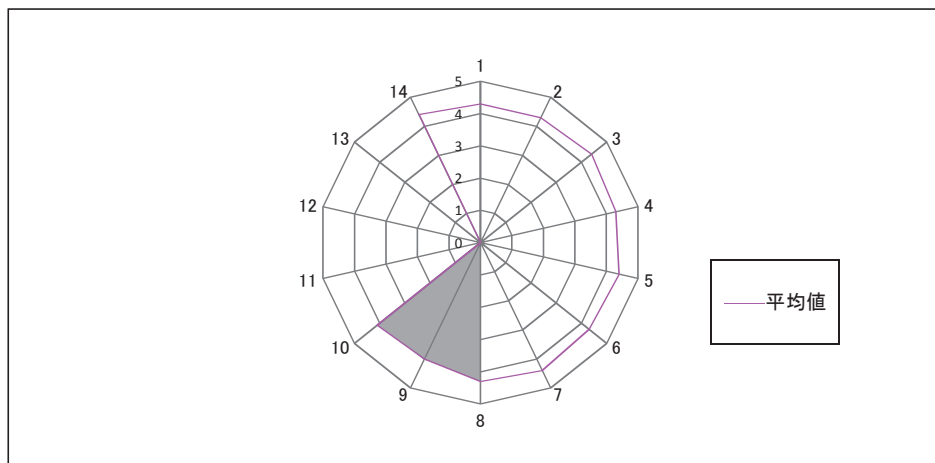
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等社会科授業論  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	15	4	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	12	6	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	13	4	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	11	4	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	8	6	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	15	11	4	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	10	4	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	11	6	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	12	11	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	14	8	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	10	5	0	0	1	4.4



総合評価 **4.4**

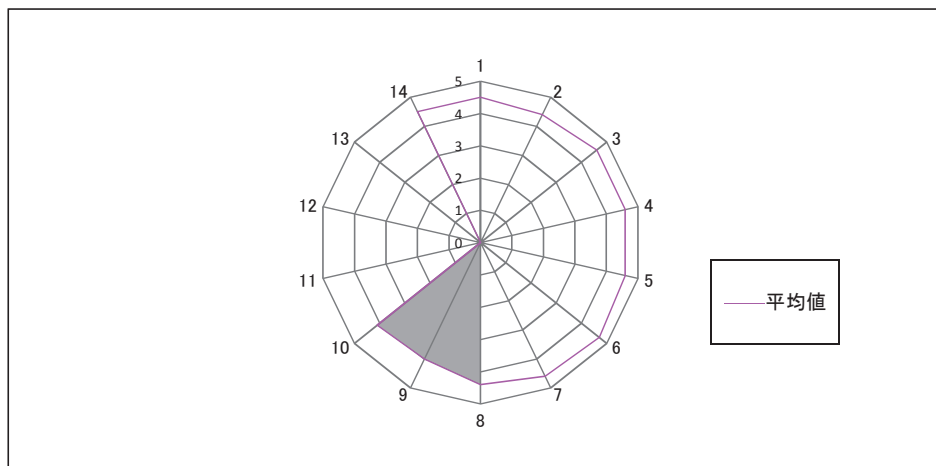
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 地理歴史科教育論  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	7	1	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	4	1	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	4	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	5	1	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	3	1	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	5	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	3	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	7	4	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	6	4	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	6	1	0	0	1	4.5



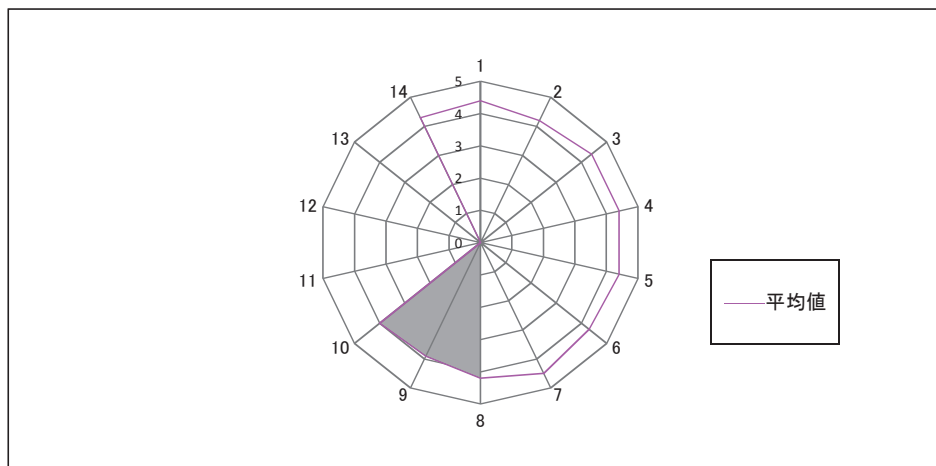
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 公民科教育論  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	7	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	9	1	0	0	0	4.2
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	7	1	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	6	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	5	2	0	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	6	2	0	0	0	4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	5	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	4	2	1	0	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	5	5	0	0	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	5	4	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	6	1	0	0	2	4.3



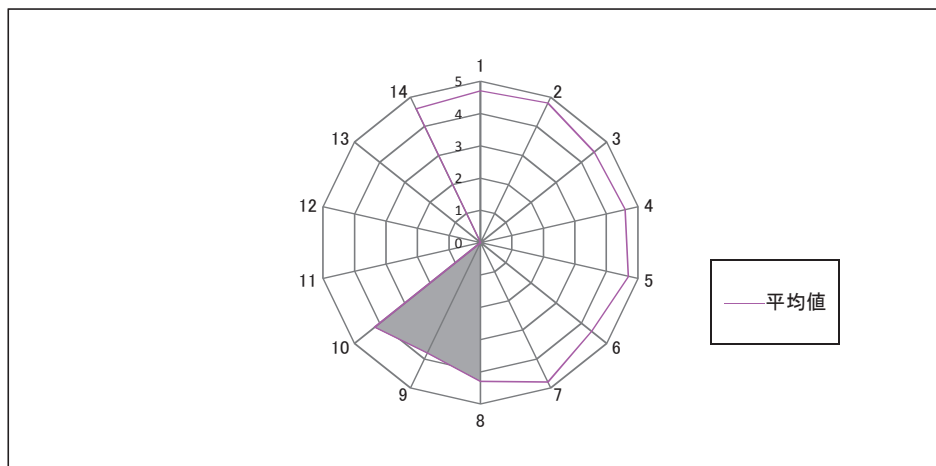
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教材論  
 評価実施日 平成27年7月21日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



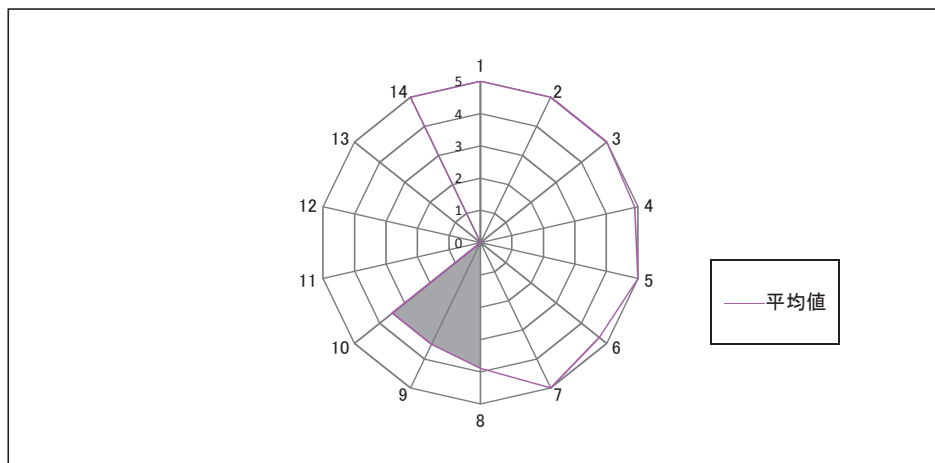
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科授業論  
 評価実施日 平成27年7月21日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



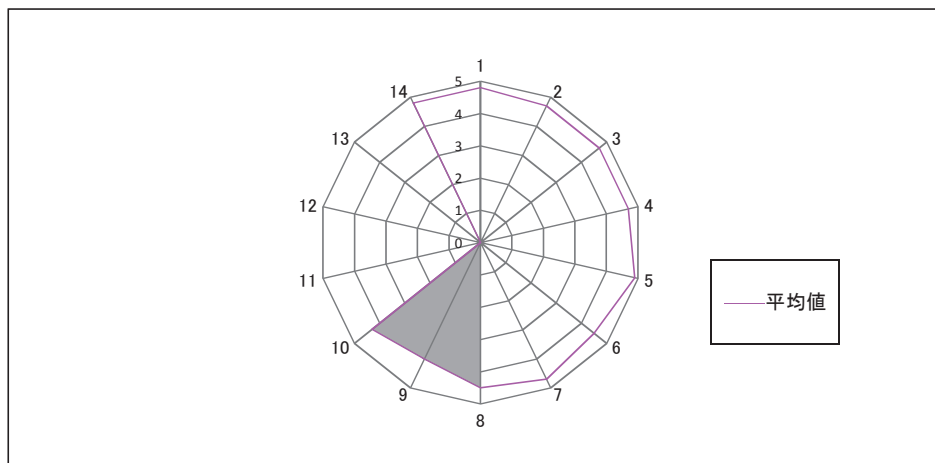
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科教育論Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 粟田 高明, 早藤 幸隆

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	5	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	6	3	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	3	0	0	0	0	4.8



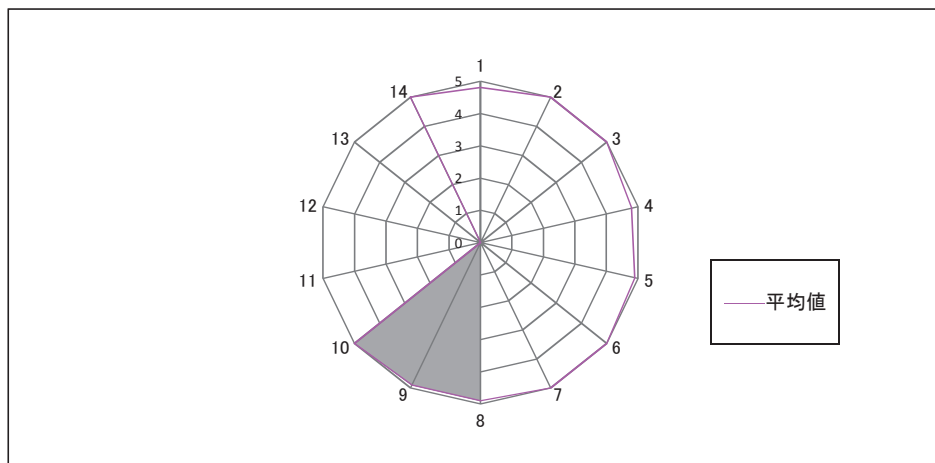
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等音楽科授業論  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 小山 英恵

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



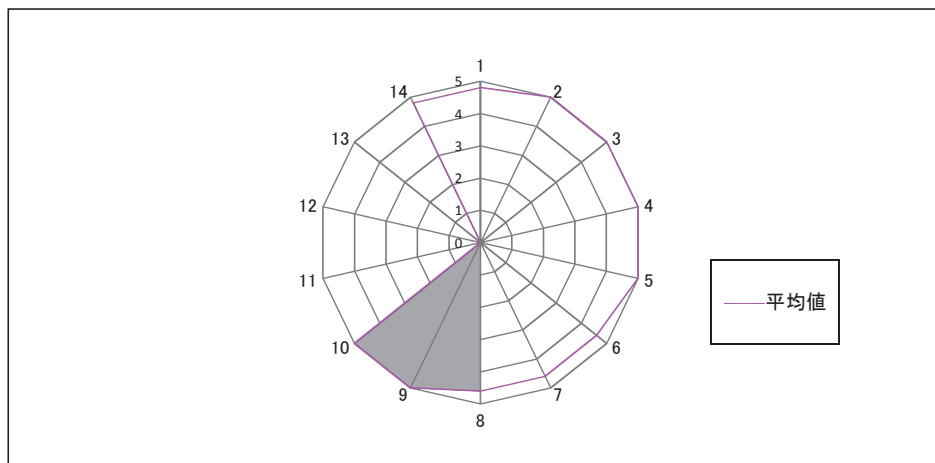
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等音楽科教材論  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 長島 真人

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



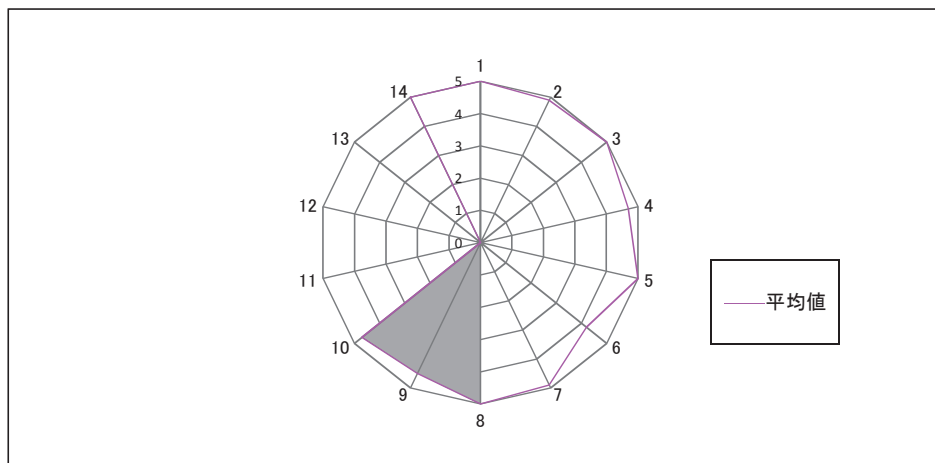
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教育論  
 評価実施日 平成27年7月23日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.8**

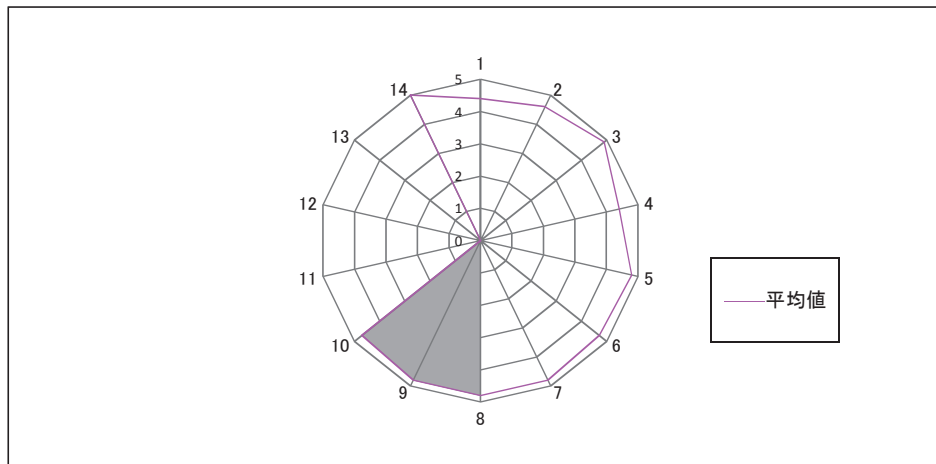
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 情報科教育論 I  
 評価実施日 平成27年8月30日  
 担当教員名 森山 潤

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



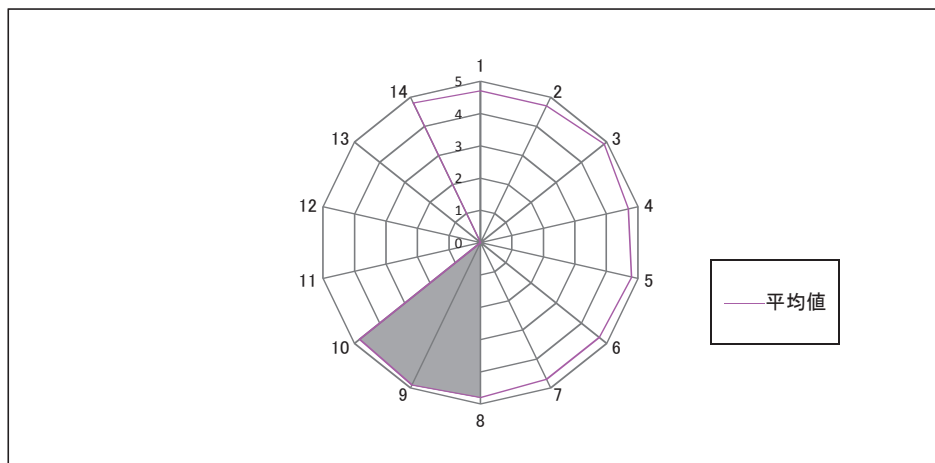
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科教育論  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



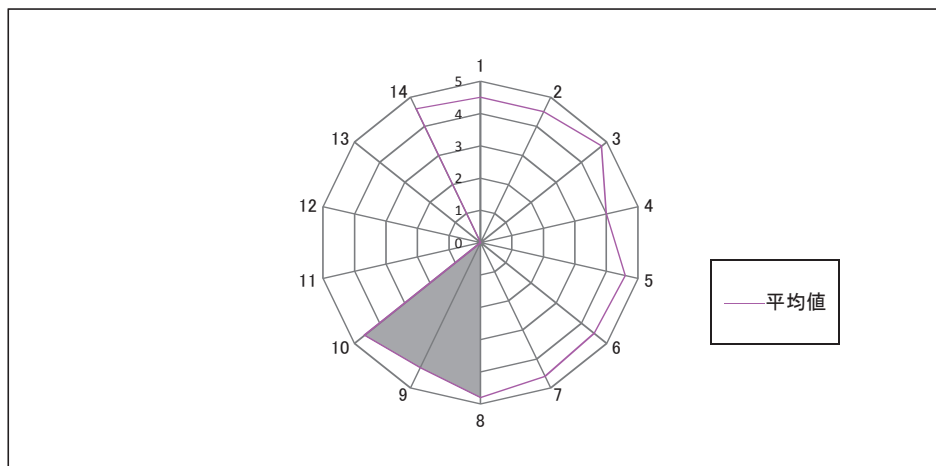
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科教材論  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 西川 和孝, 金 貞均, 坂本 有芳

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	4	1	0	0	1	4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	3	0	0	0	0	4.6



総合評価 4.5

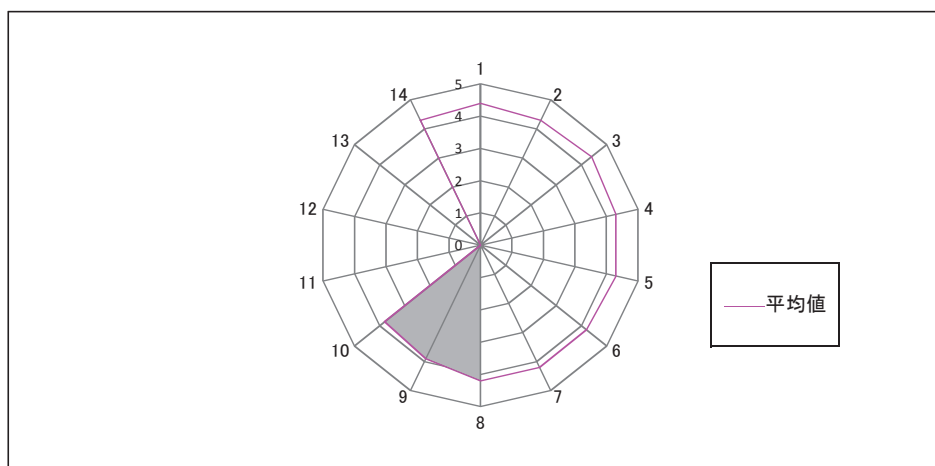
※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 発達心理学

評価実施日 平成28年2月4日

担当教員名 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 皆川 直凡, 山崎 勝之, 島田 恭仁, 小倉 正義 回答者数 85名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.3



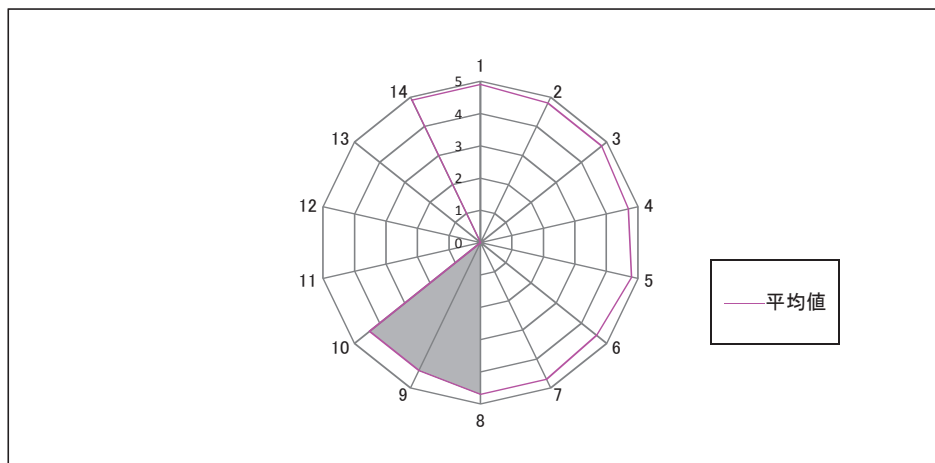
総合評価	4.3
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教育社会学  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 山本 晃輔

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

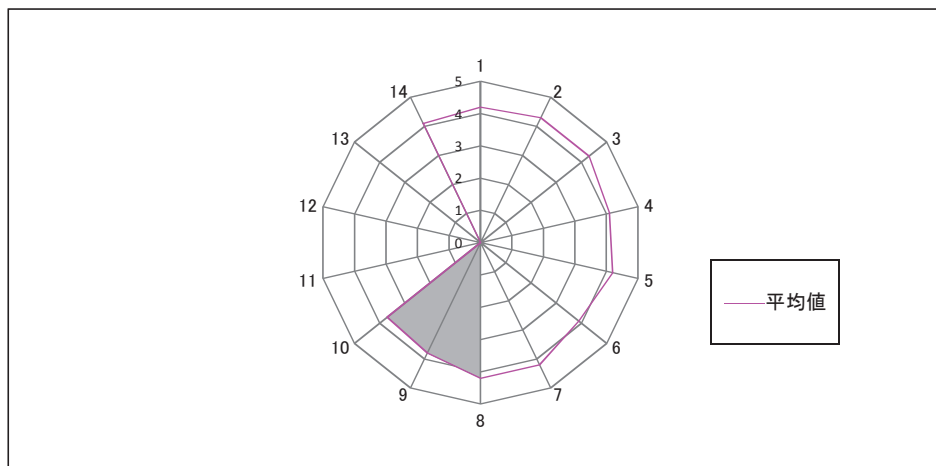
授業科目名 発達障害教育論A

評価実施日 平成28年2月8日

担当教員名 高橋 眞琴, 服部 英昭, 笠井 新一郎

回答者数 70名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.1



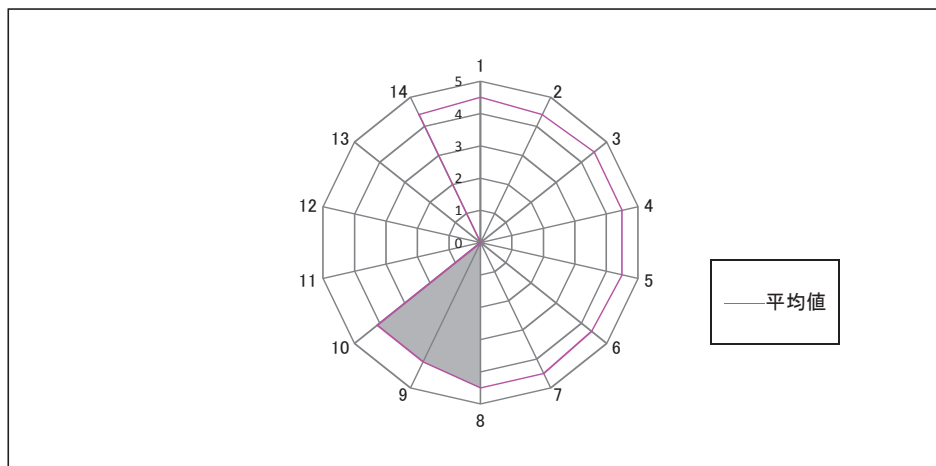
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等社会科教育論A  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 伊藤 直之

回答者数 118名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	65	45	5	3	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	62	44	10	1	1	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	64	42	9	2	1	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	66	38	9	3	0	2	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	73	34	7	4	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	66	34	15	2	1	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	65	39	12	2	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	69	36	12	1	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	50	37	22	6	3	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	50	34	26	6	2	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	54	48	8	1	1	6	4.4



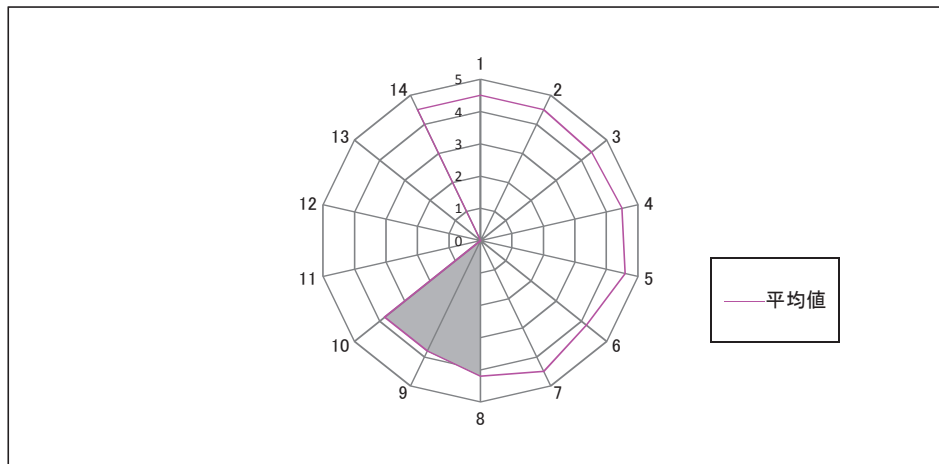
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会科教育論B  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 55名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	32	17	6	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	18	7	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	29	19	7	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	32	17	6	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	33	19	3	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	20	13	0	0	0	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	28	20	6	0	0	1	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	22	23	6	3	1	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	16	15	20	4	0	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	15	17	4	2	1	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	28	22	5	0	0	0	4.5



総合評価 4.5

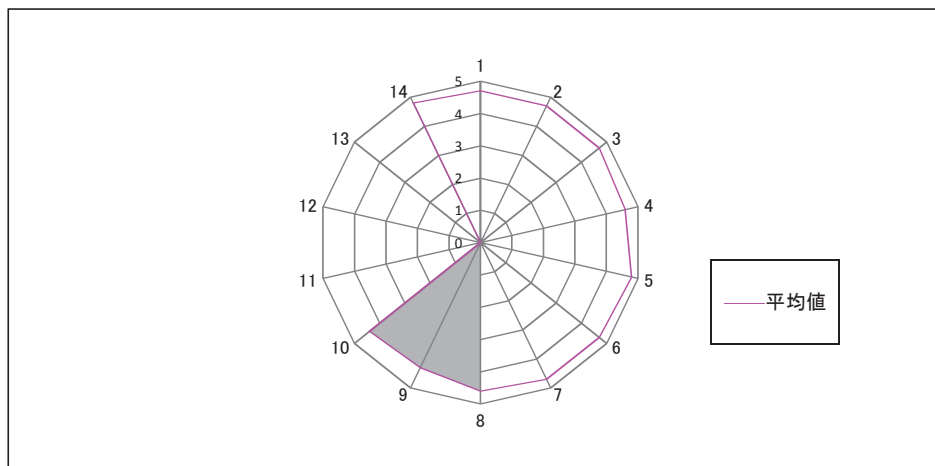
※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 算数科教育論A  
 評価実施日 平成28年2月19日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 90名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	56	34	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	62	27	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	59	27	4	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	56	27	6	0	0	1	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	64	26	0	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	57	32	1	0	0	0	4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	64	24	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	54	32	3	1	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	44	31	11	3	1	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	47	31	7	3	1	1	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	63	25	0	0	0	2	4.8



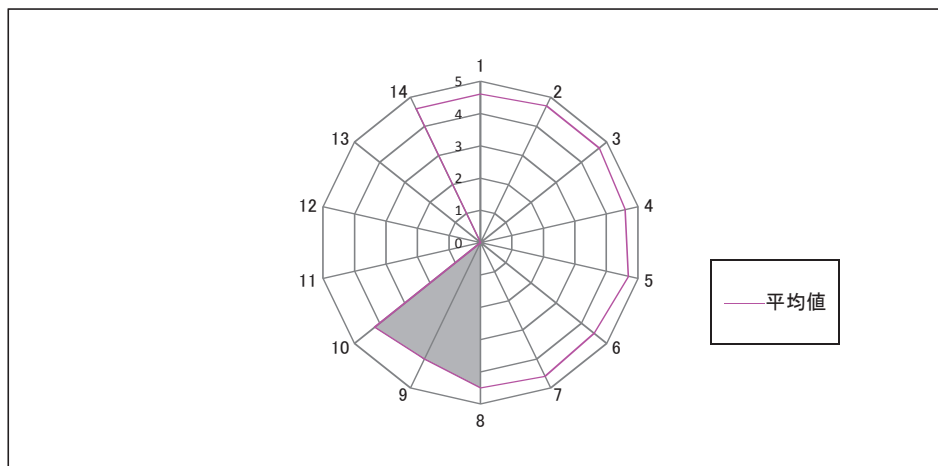
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数科教育論B  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 47名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	28	19	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	31	16	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	32	14	1	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	29	16	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	30	17	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	25	19	3	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	30	15	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	25	18	3	0	0	1	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	22	8	0	3	1	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	19	6	1	1	4	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	28	14	2	0	0	3	4.6



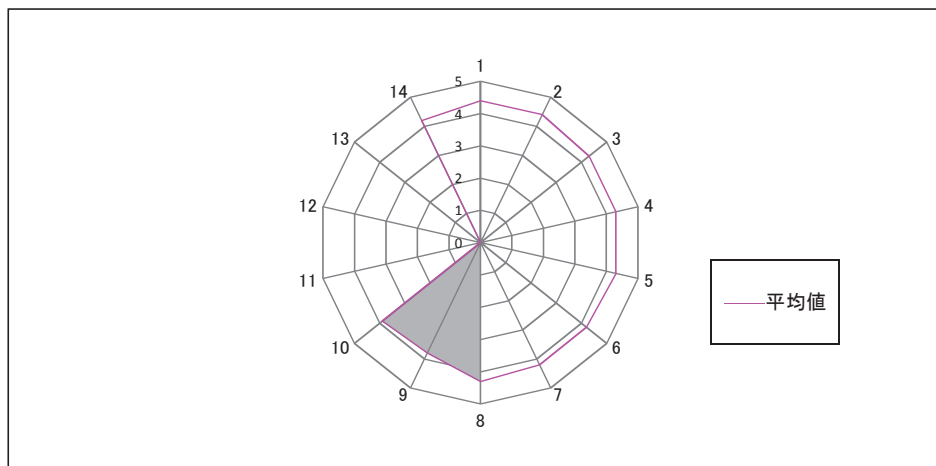
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活科教育論  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 金野 誠志

回答者数 125名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



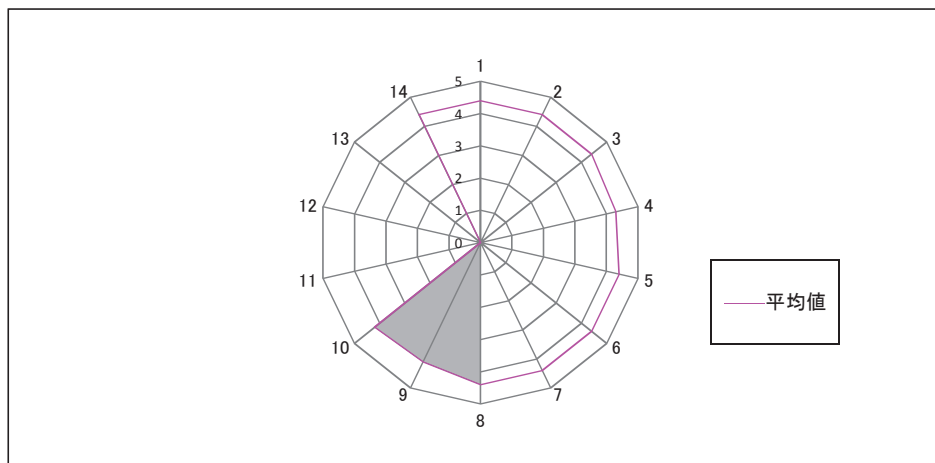
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽科教育論A  
 評価実施日 平成28年2月12日  
 担当教員名 小山 英恵

回答者数 88名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	41	41	3	3	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	45	35	6	2	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	43	37	6	2	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	43	30	12	1	2	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	44	33	11	0	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	43	37	7	0	1	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	43	35	9	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	43	32	10	3	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	31	41	10	3	3	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	35	39	9	3	1	1	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	44	34	6	2	1	1	4.4



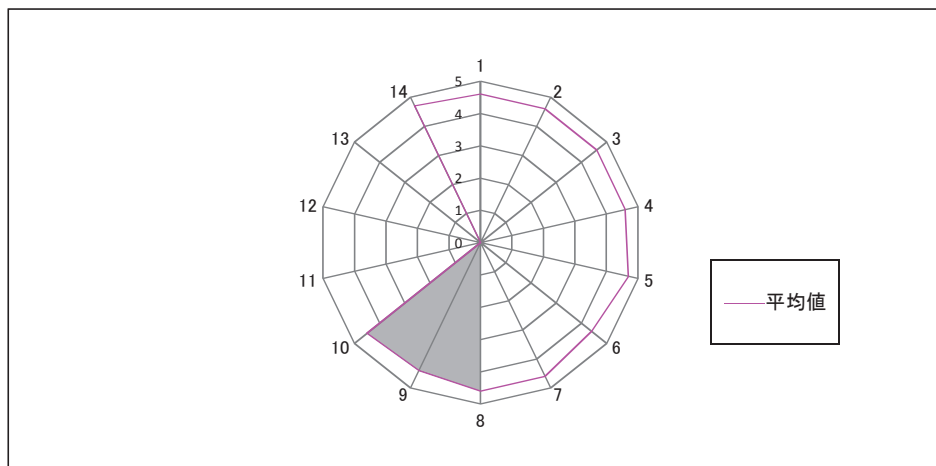
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽科教育論B  
 評価実施日 平成28年2月12日  
 担当教員名 川内 由子

回答者数 52名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	33	15	4	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	33	13	6	0	0	0	4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	31	18	2	1	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	30	19	3	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	37	14	1	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	29	14	6	2	0	1	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	32	15	3	0	0	2	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	36	11	5	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	31	11	7	1	2	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	30	15	4	1	1	1	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	35	11	3	0	0	3	4.7



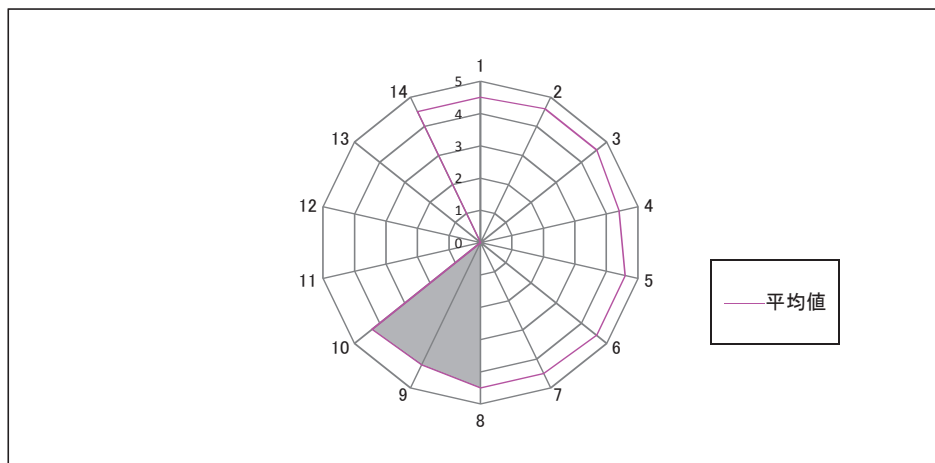
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名          図画工作科教育論A  
 評価実施日          平成28年2月9日  
 担当教員名          山田 芳明

回答者数          81名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	47	27	7	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	51	24	6	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	49	25	6	1	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	44	24	12	0	0	1	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	51	22	6	1	0	1	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	49	27	5	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	45	30	5	0	1	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	46	29	6	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	32	35	9	4	1	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	37	28	12	2	0	2	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	44	30	5	0	0	2	4.5



総合評価          4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

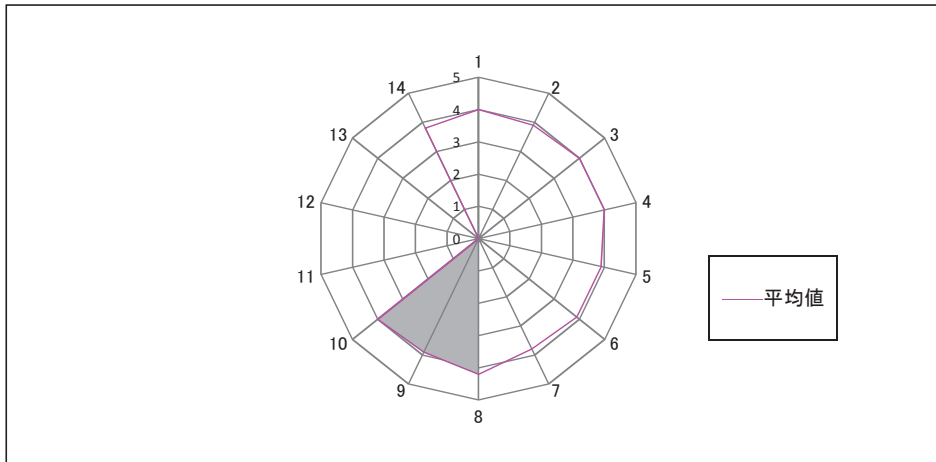
授業科目名          図画工作科教育論B

評価実施日          平成28年2月16日

担当教員名          山木 朝彦

回答者数          67名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	23	28	10	4	2	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	23	23	13	3	5	0	3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	27	20	12	4	4	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	23	27	10	3	4	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	25	20	12	6	4	0	3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	26	13	0	6	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	23	21	14	3	6	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	29	25	11	0	2	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	22	24	15	3	3	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	23	25	13	3	3	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	20	23	15	4	4	1	3.8



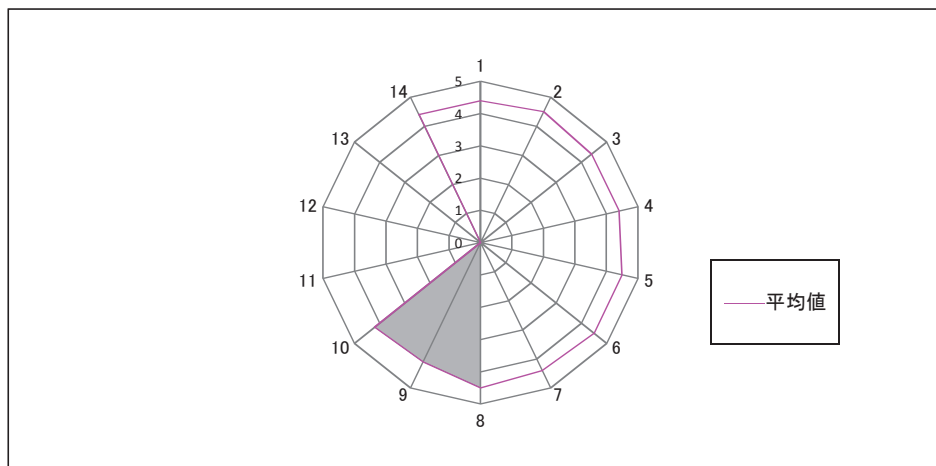
総合評価          3.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭科教育論  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 福井 典代, 速水 多佳子

回答者数 159名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 **4.4**

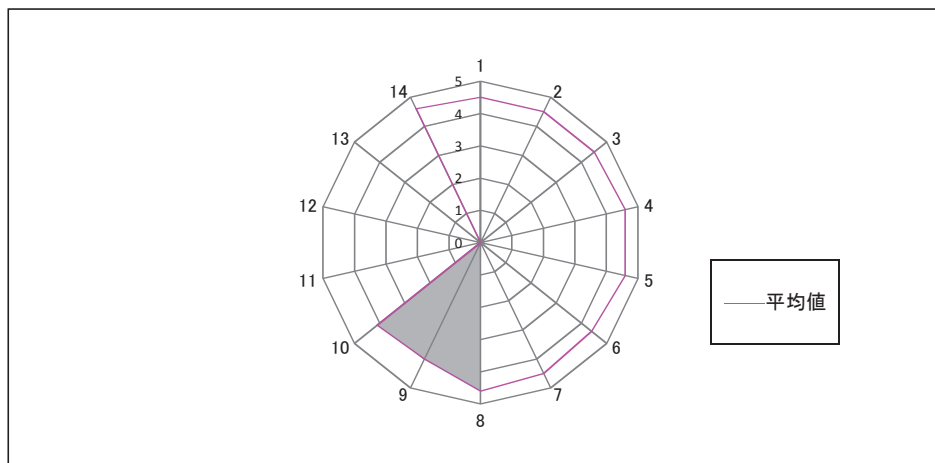
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 道徳教育指導論  
 評価実施日 平成28年2月2日  
 担当教員名 池田 誠喜

回答者数 170名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	97	58	15	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	97	59	14	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	95	63	11	0	0	1	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	102	58	10	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	105	53	10	1	1	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	86	60	20	3	1	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	92	61	13	3	0	1	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	114	42	14	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	66	51	42	7	4	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	73	53	35	6	3	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	101	49	14	1	0	5	4.6



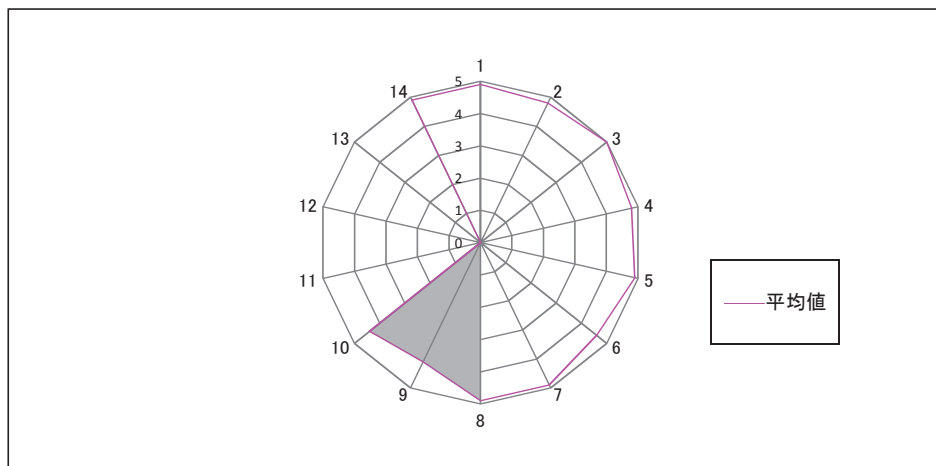
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(人間関係)  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 浜崎 隆司

回答者数 31名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



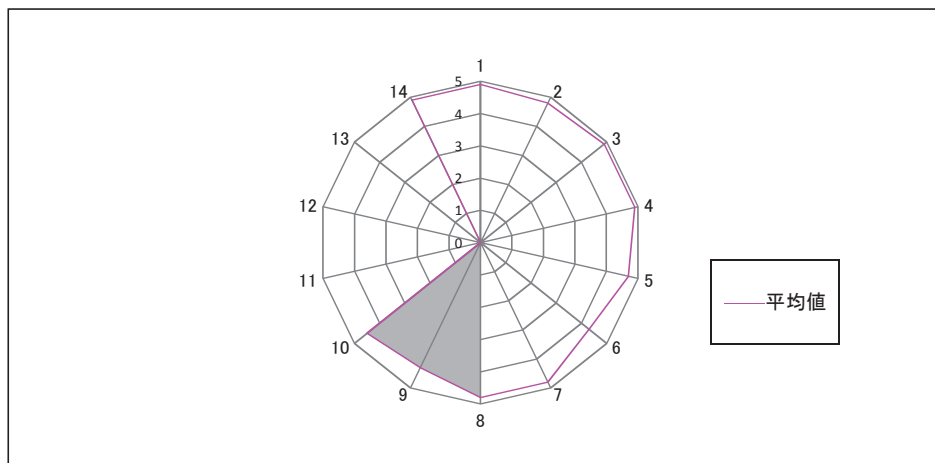
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(環境)  
 評価実施日 平成28年2月12日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 42名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



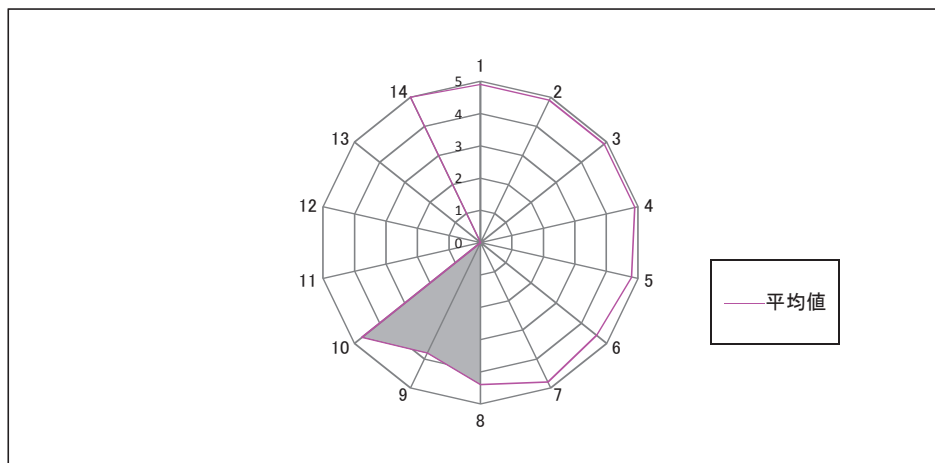
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現Ⅱ)  
 評価実施日 平成28年2月5日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



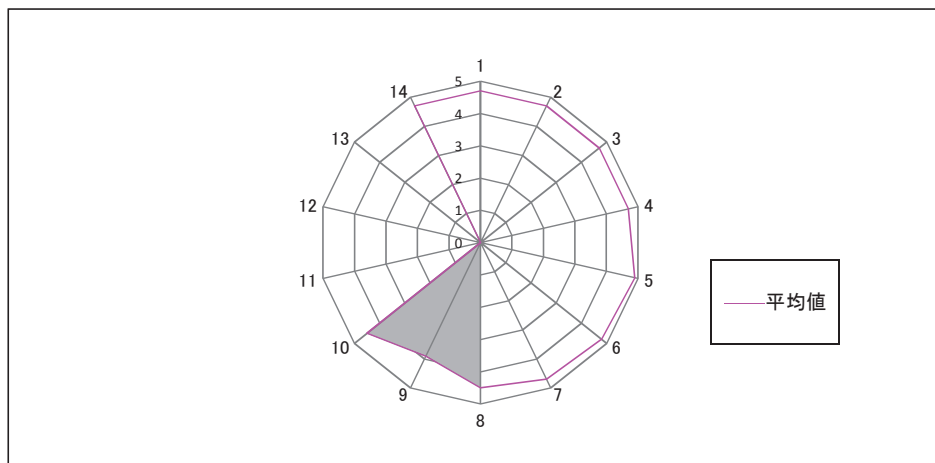
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(健康)  
 評価実施日 平成27年12月21日  
 担当教員名 長田 則子

回答者数 36名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	24	10	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	11	1	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	25	8	3	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	25	9	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	30	5	1	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	28	7	1	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	26	7	2	0	0	1	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	23	10	1	2	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	9	10	2	2	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	21	10	5	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	25	7	2	0	0	2	4.7



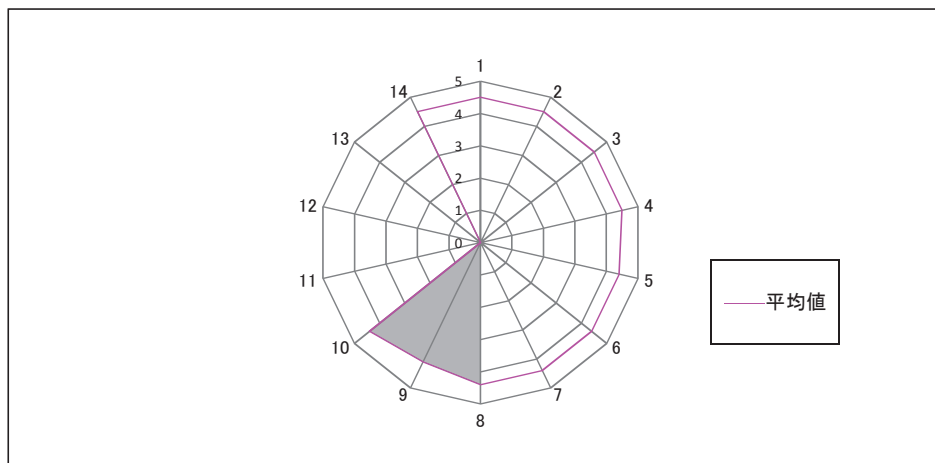
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 授業研究論  
 評価実施日 平成28年2月5日  
 担当教員名 泰山 裕

回答者数 65名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	34	24	7	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	35	23	7	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	35	24	6	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	36	21	8	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	36	20	7	2	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	32	23	9	1	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	37	17	8	3	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	36	19	10	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	25	24	13	3	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	33	22	8	2	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	36	17	7	1	0	4	4.5



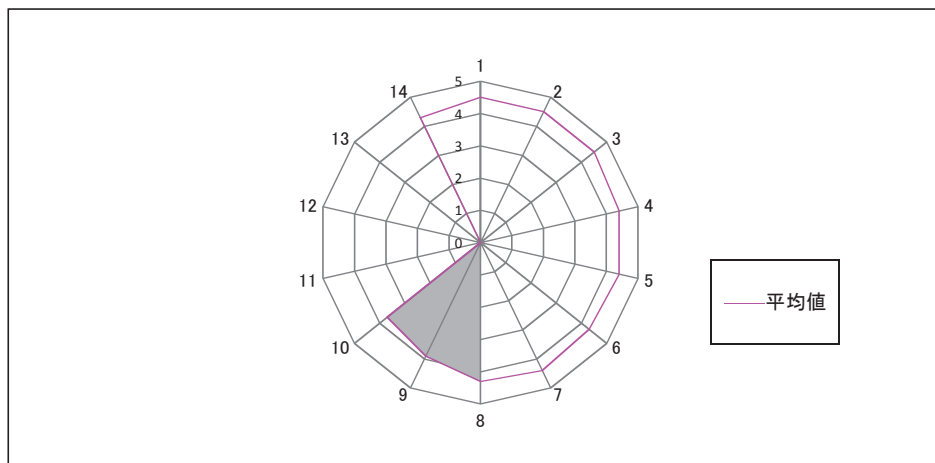
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育工学  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 川上 綾子

回答者数 48名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生徒指導論(進路指導を含む。)A

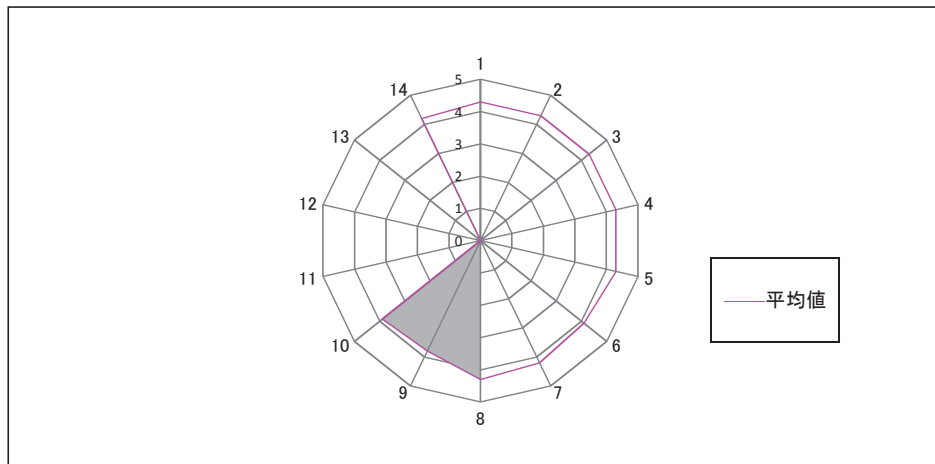
評価実施日 平成28年2月2日

担当教員名 阿形 恒秀, 葛上 秀文, 吉井 健治, 小倉 正義

回答者数

89名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	38	42	7	0	2	0	4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	39	37	11	1	1	0	4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	39	38	9	2	1	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	39	32	17	0	1	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	40	37	10	1	1	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	31	40	15	1	2	0	4.1
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	35	38	14	1	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	38	38	12	0	1	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	22	37	20	6	3	1	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	21	38	17	5	3	5	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	32	39	11	1	1	5	4.2



総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 生徒指導論(進路指導を含む。)B

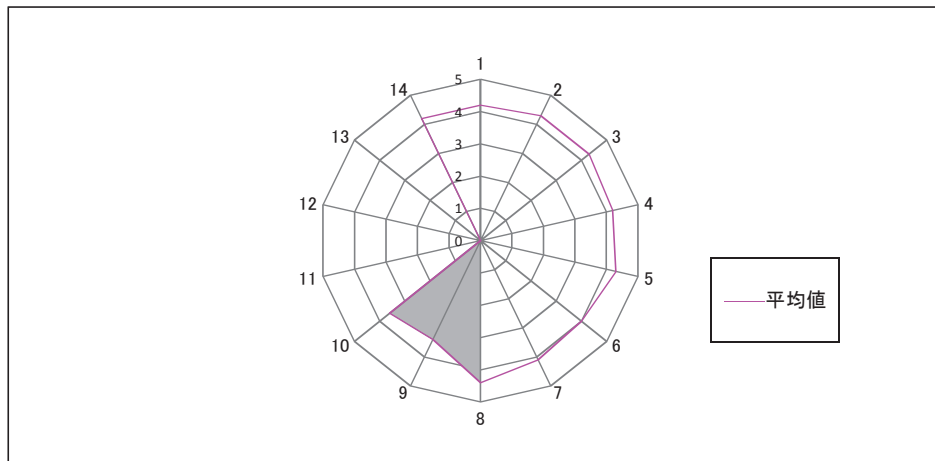
評価実施日 平成28年2月2日

担当教員名 阿形 恒秀, 葛上 秀文, 吉井 健治, 小倉 正義

回答者数

63名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	26	24	12	0	1	0	4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	29	22	10	2	0	0	4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	29	24	9	1	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	29	19	13	1	1	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	27	26	8	2	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	22	19	17	4	1	0	4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	24	21	15	2	1	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	33	20	7	3	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	16	12	21	9	5	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	16	17	19	5	6	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	27	21	11	0	3	1	4.2



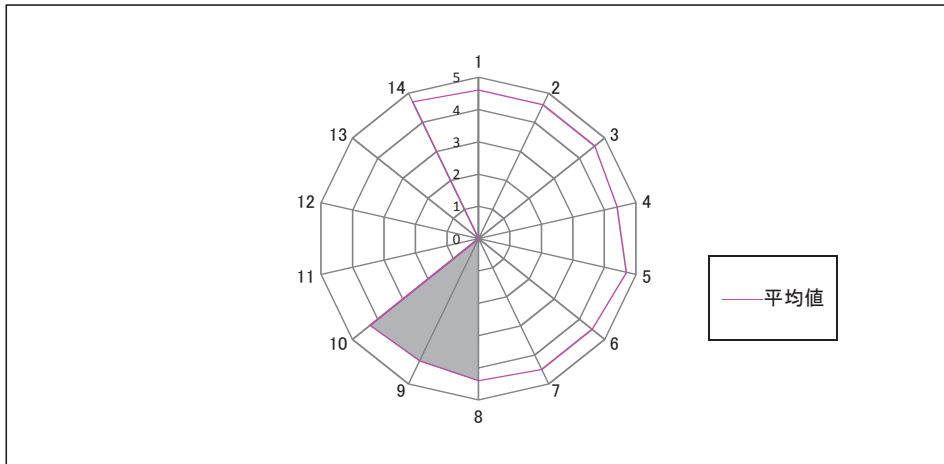
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 中等国語科教材論  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 34名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



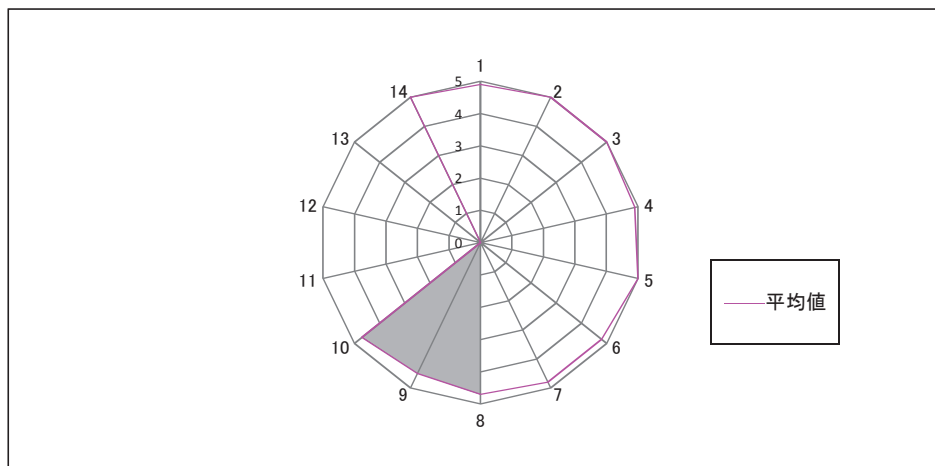
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科授業論  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



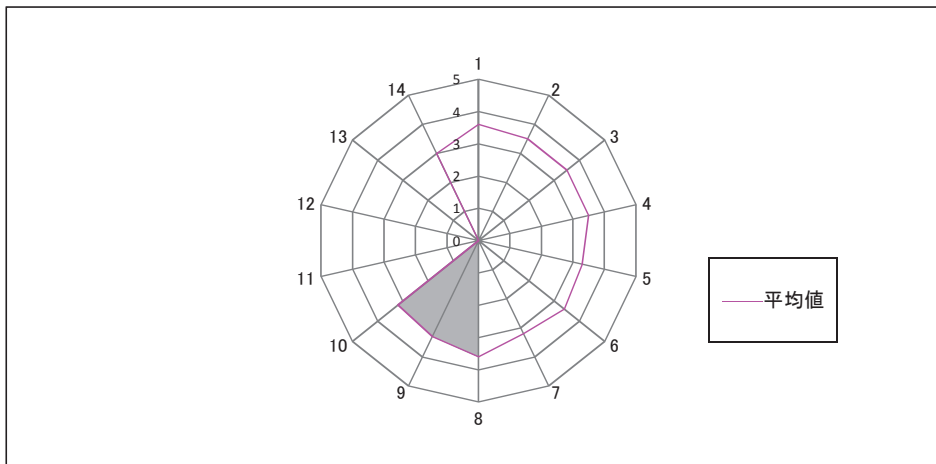
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月5日  
 担当教員名 石濱 博之

回答者数 29名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	8	7	4	2	0	3.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	5	10	4	2	0	3.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	7	9	5	1	0	3.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	9	9	3	2	0	3.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	8	5	7	3	0	3.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	5	8	7	1	1	3.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	5	8	8	2	0	3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	12	6	3	2	0	3.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	7	10	4	3	0	3.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	12	3	4	0	3.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	6	3	8	5	2	3.0



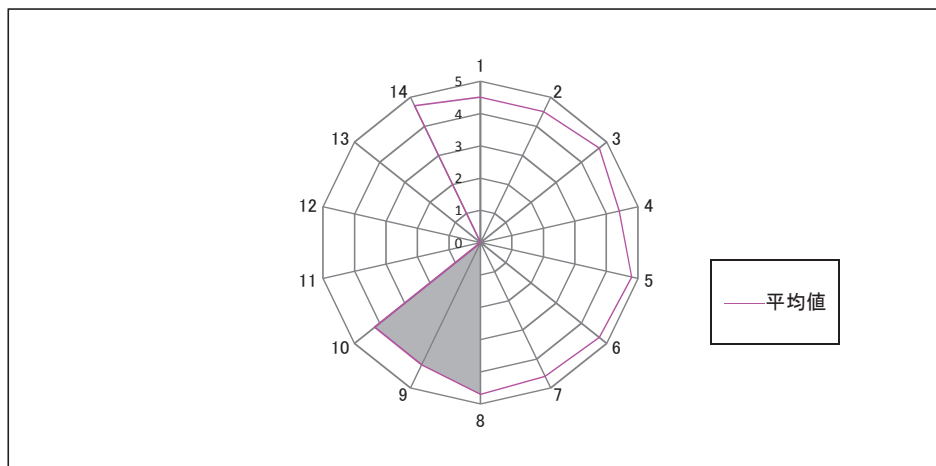
総合評価 **3.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等社会科教育論  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 梅津 正美

回答者数 34名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



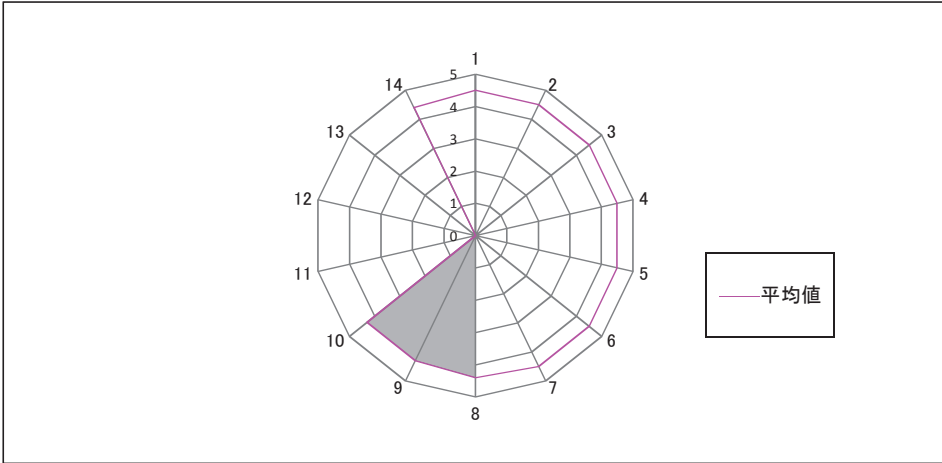
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会科・地理歴史科教材論  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	4	0	1	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	1	1	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	5	0	1	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	1	1	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	5	0	1	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	3	1	1	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	4	0	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	7	1	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	9	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	6	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について （コア科目以外の場合は(14)へ）	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	5	0	1	0	1	4.4



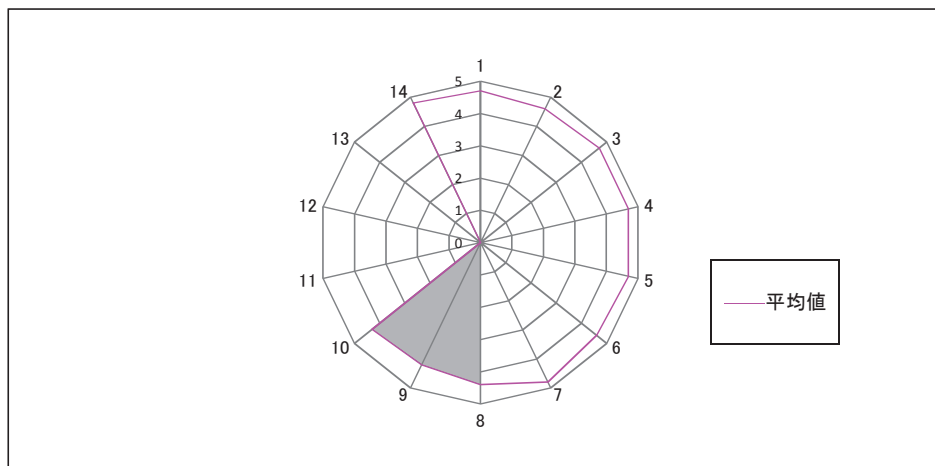
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教育論  
 評価実施日 平成28年2月16日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.7**

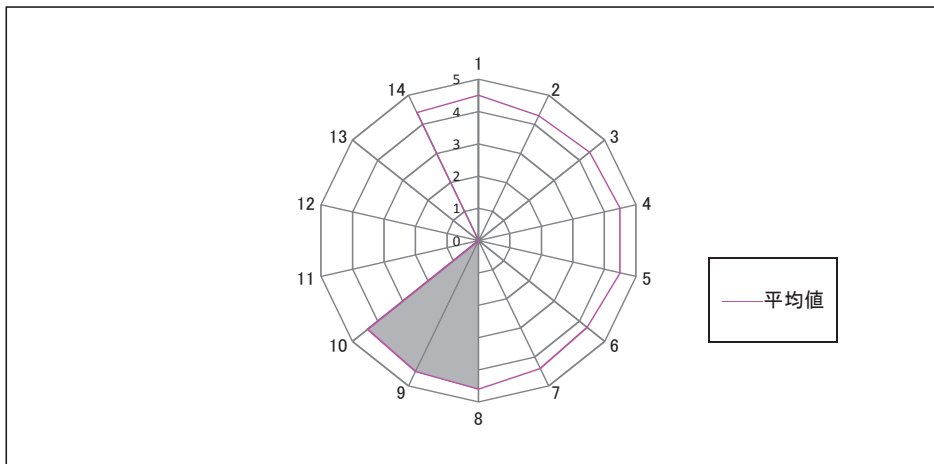
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科教育論 I

評価実施日 平成28年2月10日

担当教員名 佐藤 勝幸, 香西 武, 早藤 幸隆, 寺島 幸生 回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は,シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 4.4

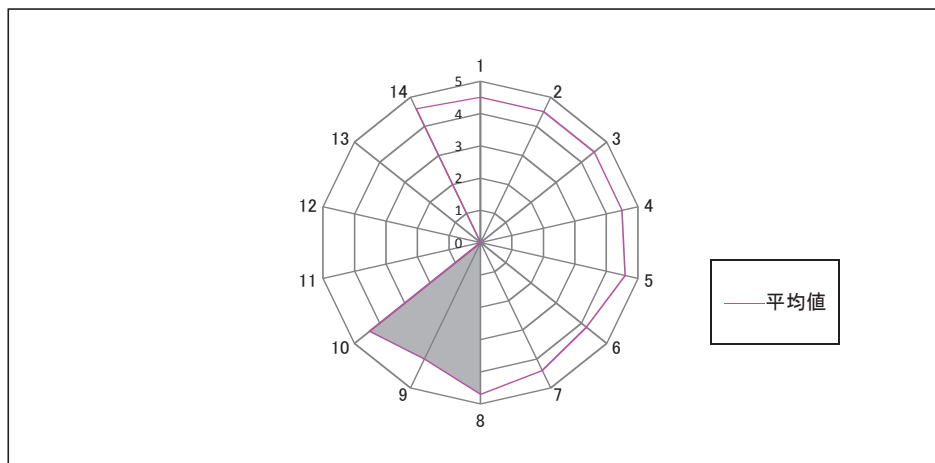
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 中等音楽科教育論  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 長島 真人

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	2	2	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	3	1	0	0	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	1	2	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	5	4	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	3	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	2	2	0	0	0	4.6



総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科授業論  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



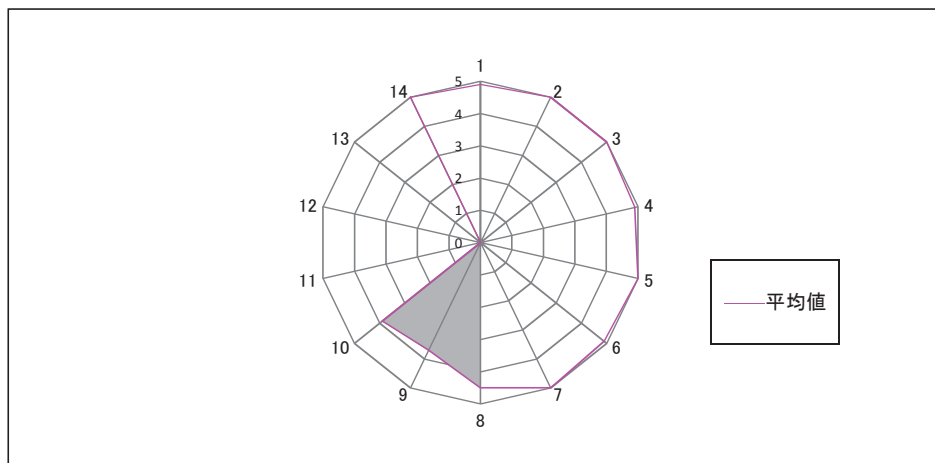
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教材論  
 評価実施日 平成28年2月5日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	3	1	1	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	4	0	1	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



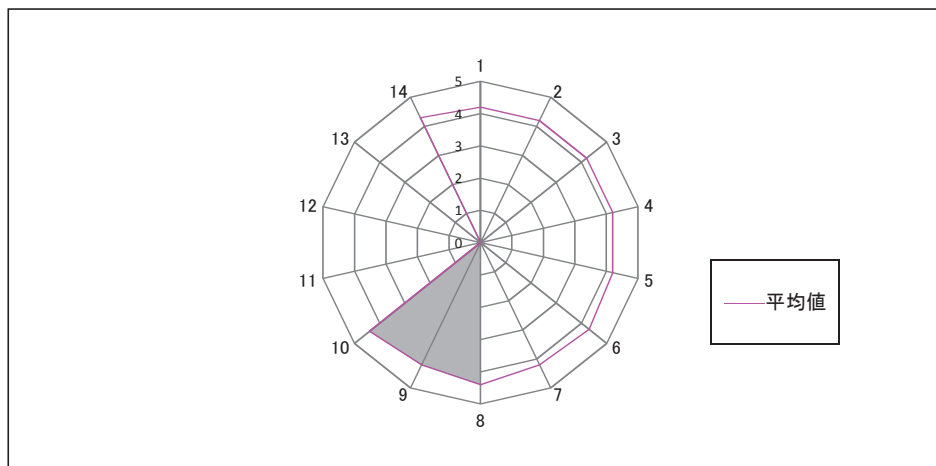
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保健体育科教育論Ⅲ  
 評価実施日 平成28年1月28日  
 担当教員名 吉本 佐雅子

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	1	4	0	1	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	4	0	1	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	0	3	1	1	0	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	3	1	1	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	2	2	1	1	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	1	2	1	1	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	2	1	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	1	1	1	1	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	1	1	2	1	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	2	0	1	1	2	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	2	1	1	1	2	4.3



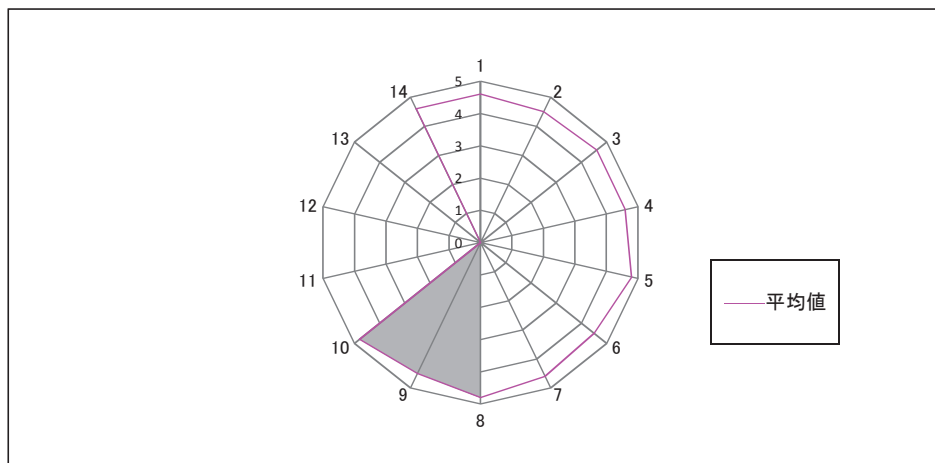
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 技術科教育論 I  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 尾崎 士郎

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



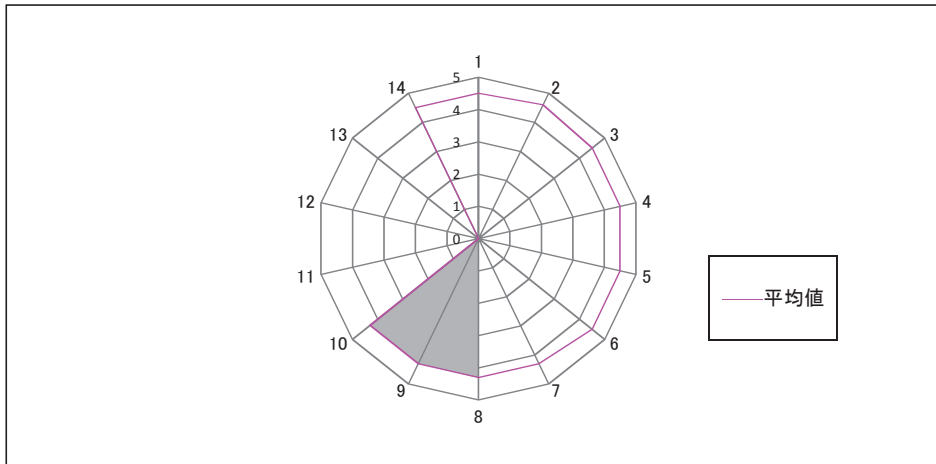
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 技術科教育論Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 尾崎 士郎, 宮下 晃一

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



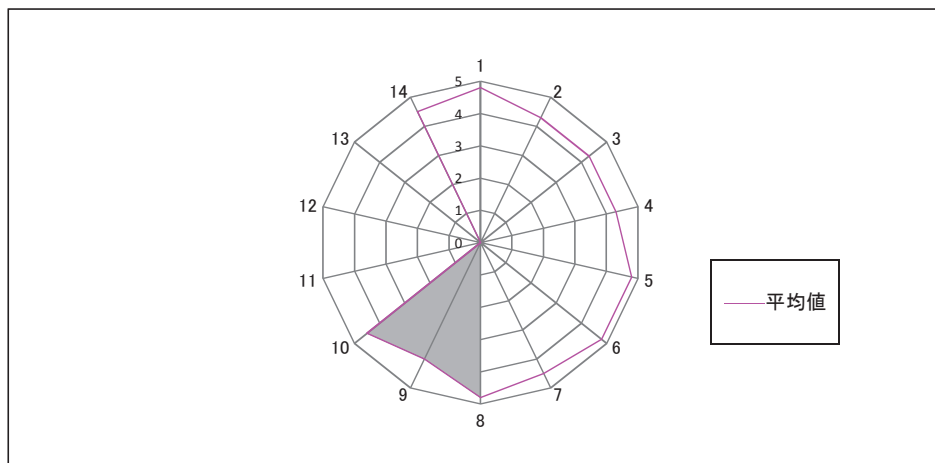
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工業科教育論Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 尾崎 士郎, 宮下 晃一, 米延 仁志

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	1	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	2	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



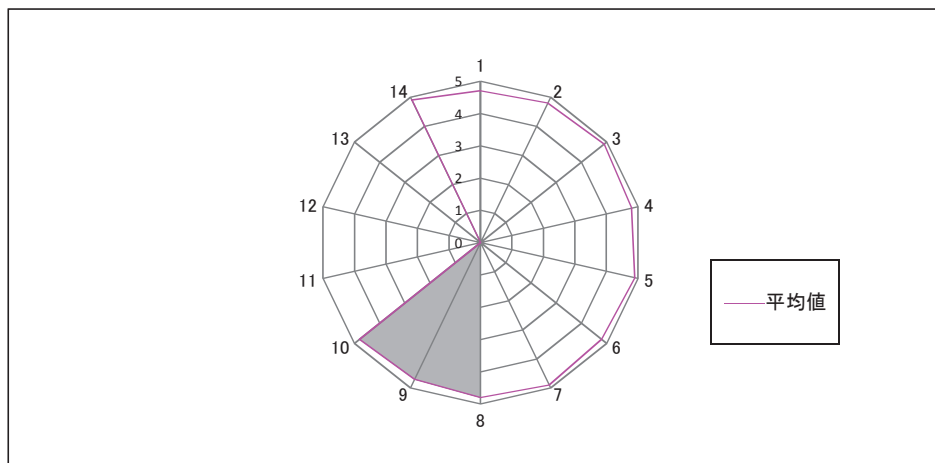
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科授業論  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



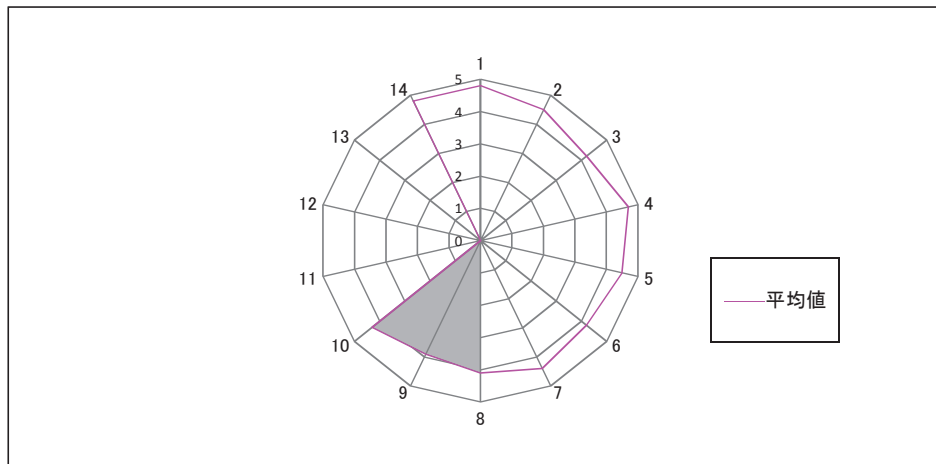
授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(算数・数学)

評価実施日 平成27年12月21日

担当教員名 成川 公昭, 坂井 武司

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(理科)

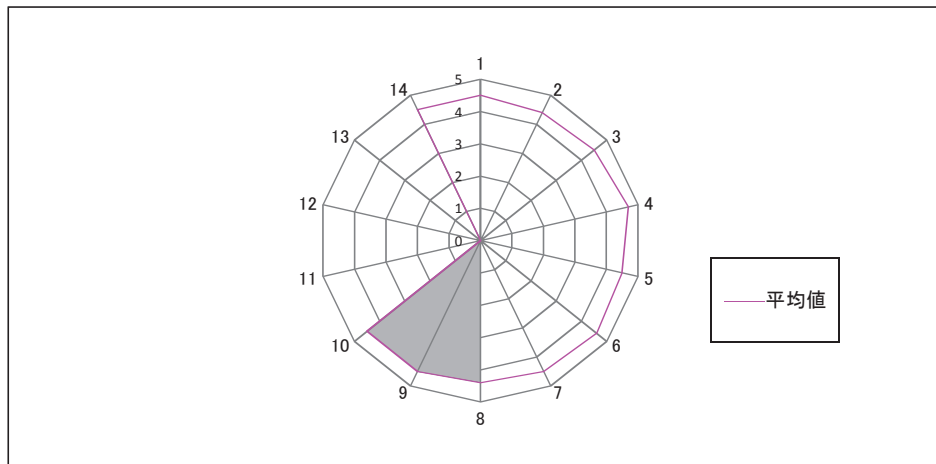
評価実施日 平成28年1月19日

担当教員名 香西 武, 寺島 幸生, 早藤 幸隆, 工藤 慎一

回答者数

11名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	2	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	3	1	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	4	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	3	2	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	3	1	0	0	1	4.5



総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

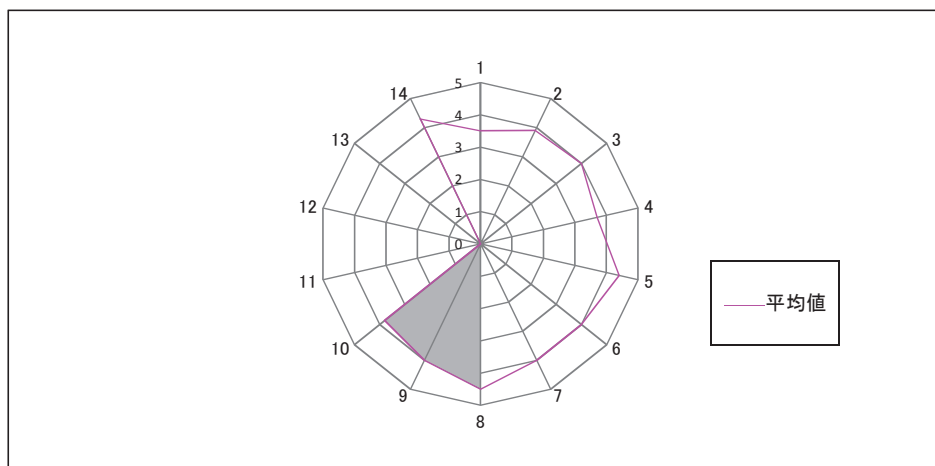
授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(図工・美術)

評価実施日 平成28年1月22日

担当教員名 山木 朝彦, 山田 芳明, 小川 勝, 鈴木 久人, 野崎 窮, 栗原 慶, 内藤 隆

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.3



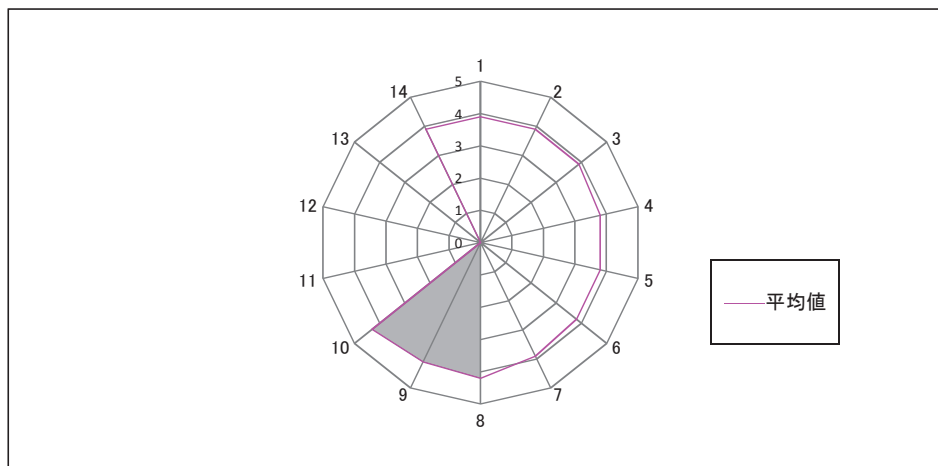
総合評価	4.0
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(特別支援教育)  
 評価実施日 平成27年12月14日  
 担当教員名 津田 芳見, 高橋 眞琴

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	5	3	0	0	0	3.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	4	0	0	0	3.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	4	0	0	0	3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	4	4	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	2	2	2	0	0	3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	2	5	0	0	0	3.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	4	2	1	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	2	3	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	2	2	1	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	3	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	4	2	1	0	0	3.9



総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

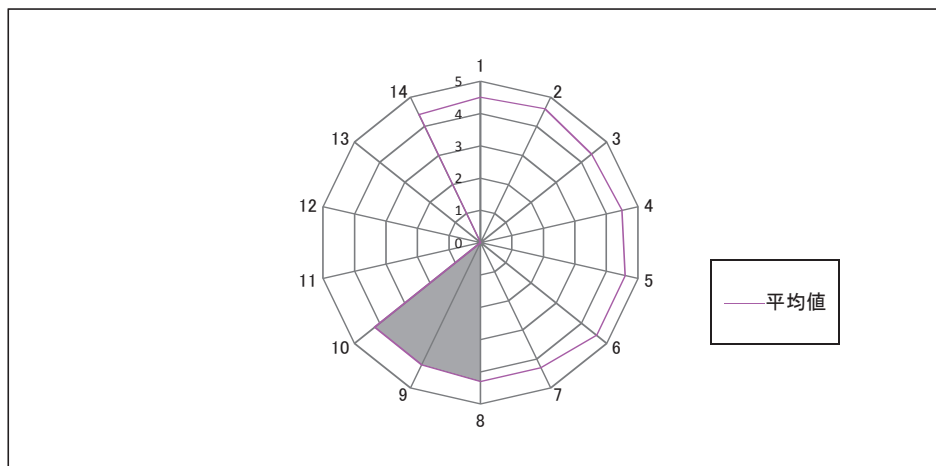


# 專 修 專 門 科 目

授業科目名 学校制度と教育法規  
 評価実施日 平成27年8月3日  
 担当教員名 石村 雅雄, 大林 正史

回答者数 30名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



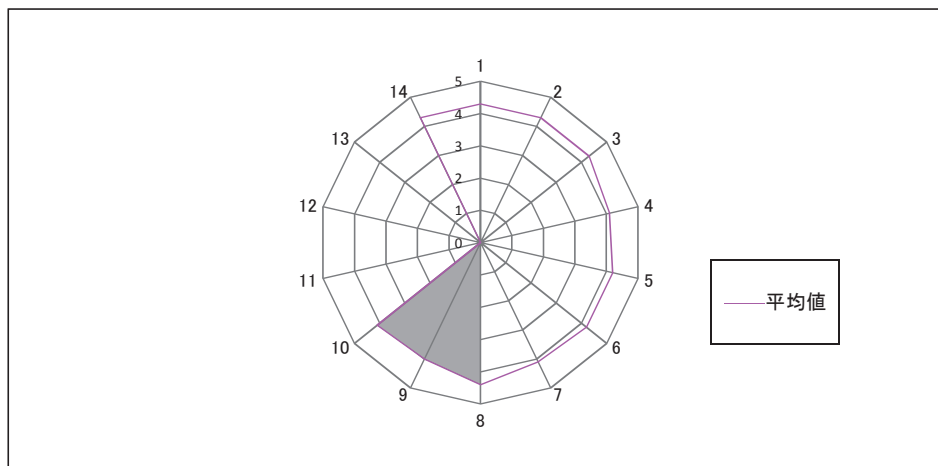
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校の組織と集団  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 芝山 明義, 久我 直人, 佐古 秀一

回答者数 41名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.3



総合評価 **4.2**

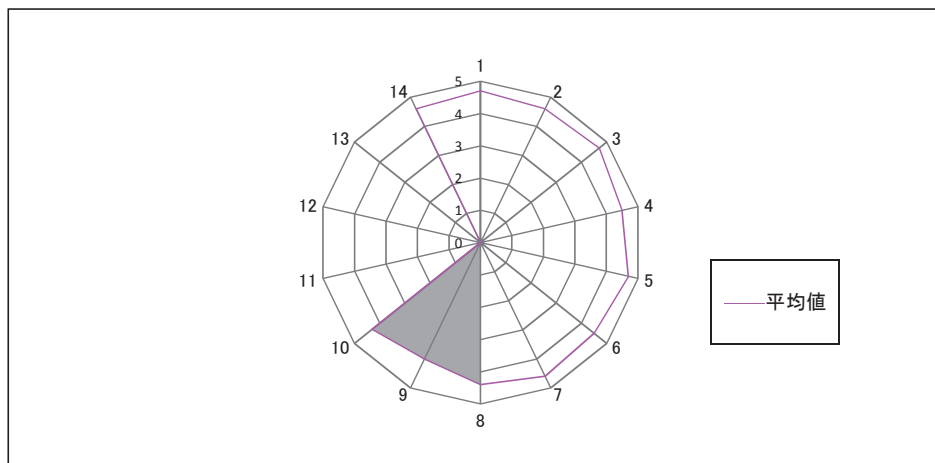
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 予防教育科学と学校教育  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 内田 香奈子

回答者数 38名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	24	13	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	22	14	2	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	25	12	1	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	19	14	3	0	0	2	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	26	10	2	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	24	9	5	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	25	10	3	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	20	2	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	20	7	1	1	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	19	11	7	0	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	22	10	3	0	0	3	4.6



総合評価 4.6

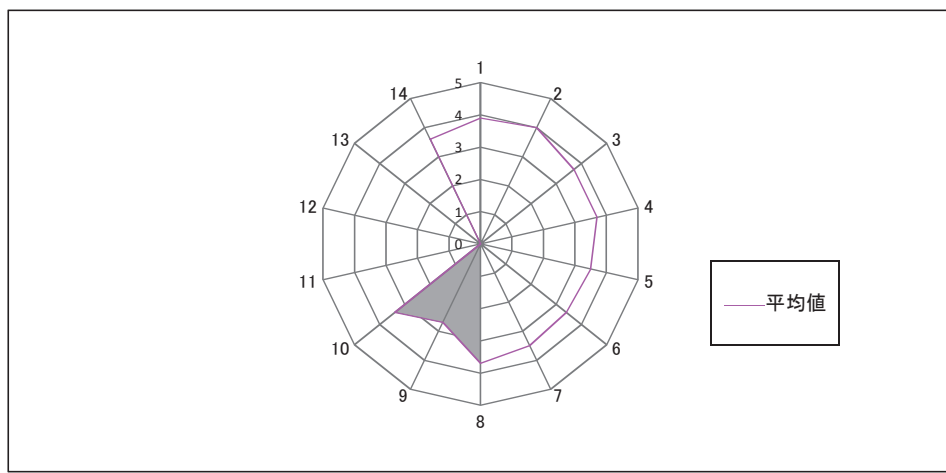
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生徒指導・教育相談演習

評価実施日 平成27年7月14日

担当教員名 葛上 秀文, 阿形 恒秀, 江川 克弘, 川上 綾子, 木下 光二, 佐古 秀一, 藤原 伸彦, 前田 洋一 回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						3.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						2.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.6



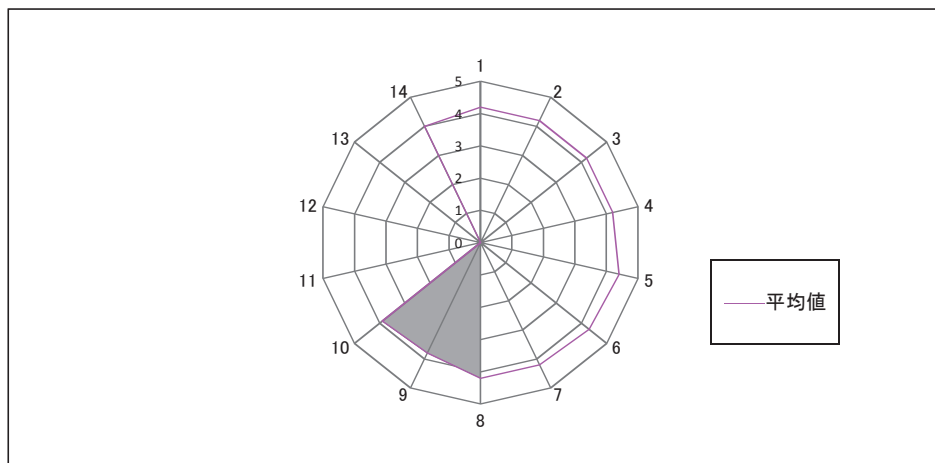
総合評価 3.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等社会  
 評価実施日 平成27年8月3日  
 担当教員名 坂田 大輔

回答者数 106名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	41	44	16	3	2	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	46	41	14	4	1	0	4.2
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	47	38	15	5	1	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	45	33	17	7	1	3	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	58	32	13	2	1	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	52	37	14	2	1	0	4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	44	34	23	2	2	1	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	36	50	17	3	0	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	27	39	32	6	2	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	27	46	24	5	3	1	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	35	40	19	6	4	2	4.0



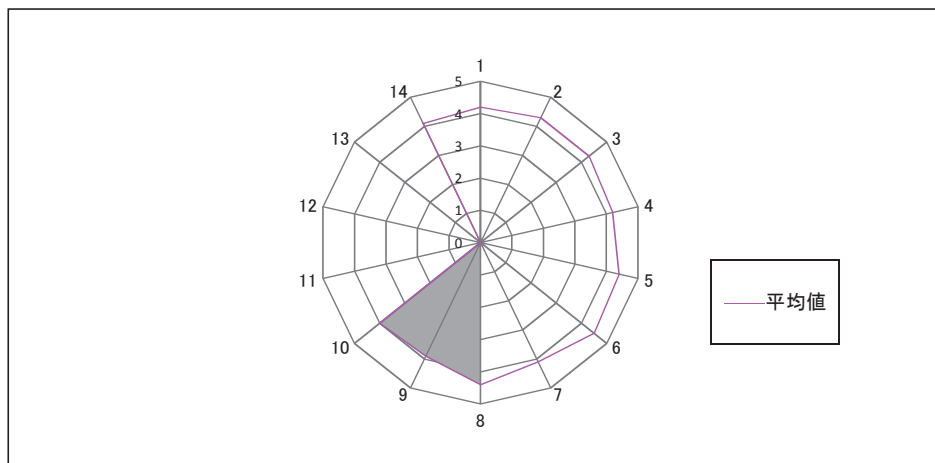
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数A  
 評価実施日 平成27年8月4日  
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 58名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	22	29	4	2	1	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	29	7	1	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	25	23	8	2	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	21	25	10	1	1	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	27	24	7	0	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	33	19	4	1	1	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	27	7	3	1	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	28	23	7	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	16	23	12	4	2	1	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	21	19	13	4	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	21	22	10	4	0	1	4.1



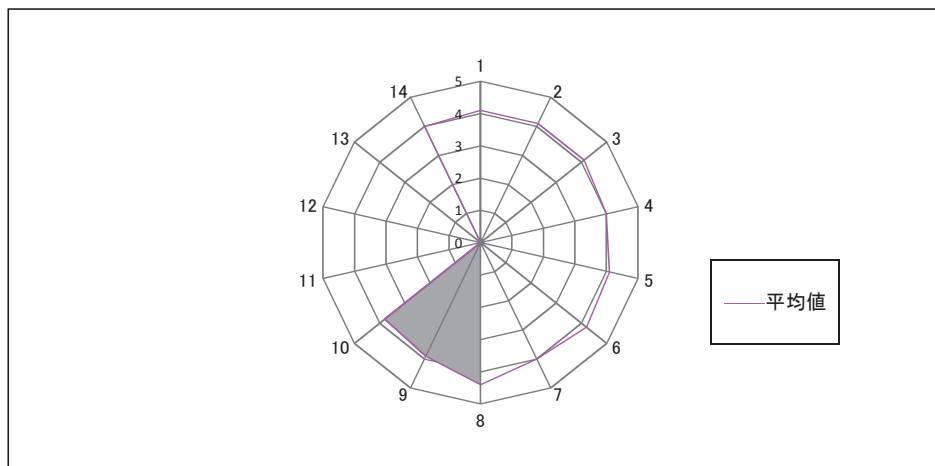
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数B  
 評価実施日 平成27年8月4日  
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 41名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



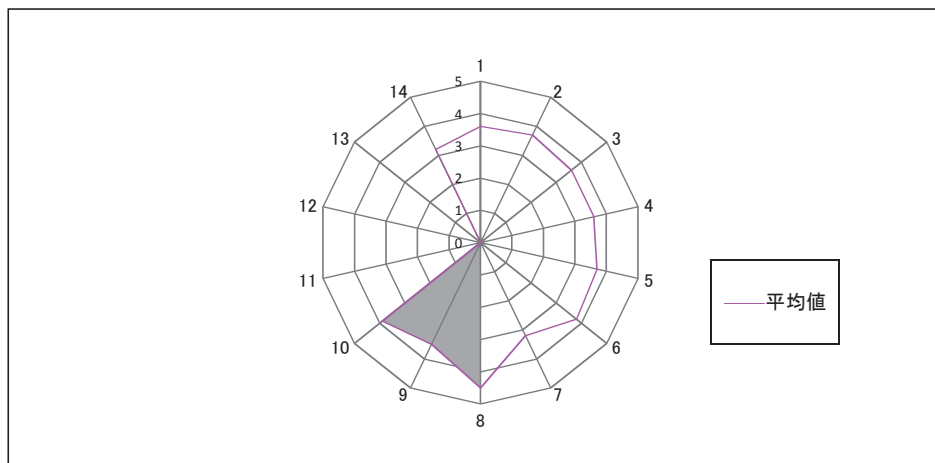
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活A  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 檜 幸正

回答者数 108名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	47	28	7	9	1	3.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	39	31	7	7	0	3.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	23	36	31	9	9	0	3.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	14	52	29	6	7	0	3.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	25	44	27	5	7	0	3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	27	43	25	7	6	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	28	35	14	15	0	3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	62	30	15	0	1	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	24	26	40	10	8	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	35	41	21	6	5	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	37	32	13	12	4	3.2



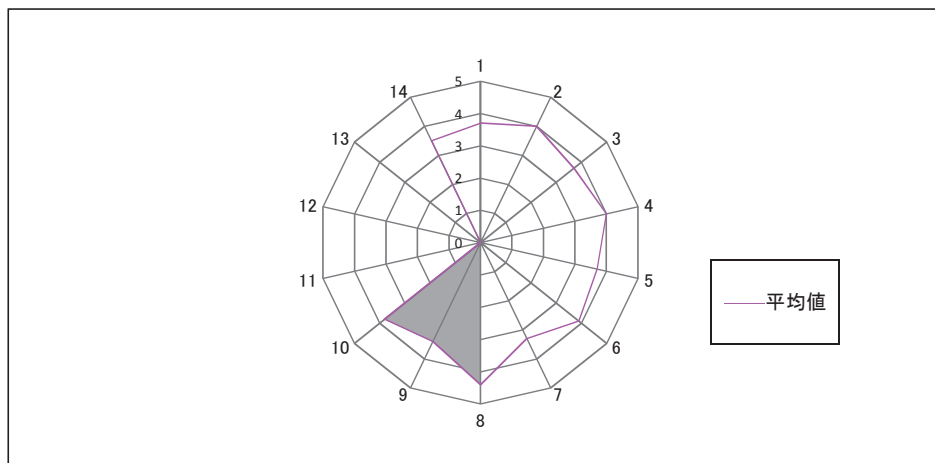
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活B  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 檜 幸正

回答者数 53名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.5



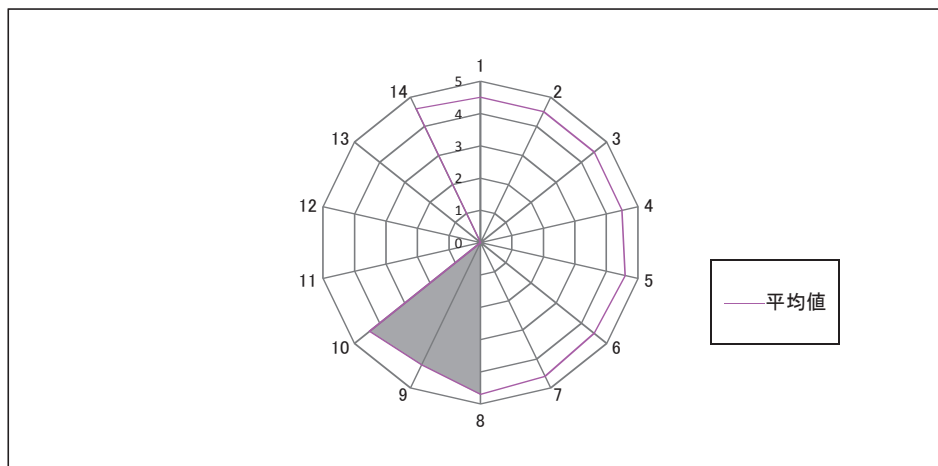
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I A  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 鈴木 久人, 栗原 慶

回答者数 53名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	29	21	2	0	1	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	19	3	0	1	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	31	17	3	1	1	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	28	22	2	0	1	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	33	16	3	0	1	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	31	17	4	0	1	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	34	15	3	0	1	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	36	15	1	0	1	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	24	15	11	2	1	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	29	16	6	1	1	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	33	13	1	1	1	4	4.6



総合評価 **4.5**

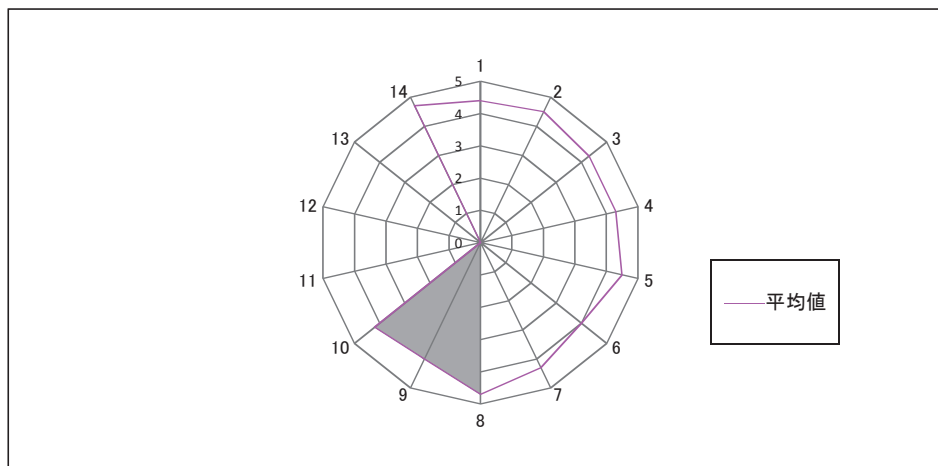
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 図画工作 I B  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 内藤 隆, 野崎 窮

回答者数 50名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)						
	5	4	3	2	1	N.A							
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						23	22	5	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						26	19	5	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						18	26	6	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						19	23	8	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						24	24	2	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						16	20	11	3	0	0	4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						19	26	3	2	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						36	13	1	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						19	16	11	2	2	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						20	20	7	2	1	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。												
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。												
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。												
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						30	16	1	0	0	3	4.7



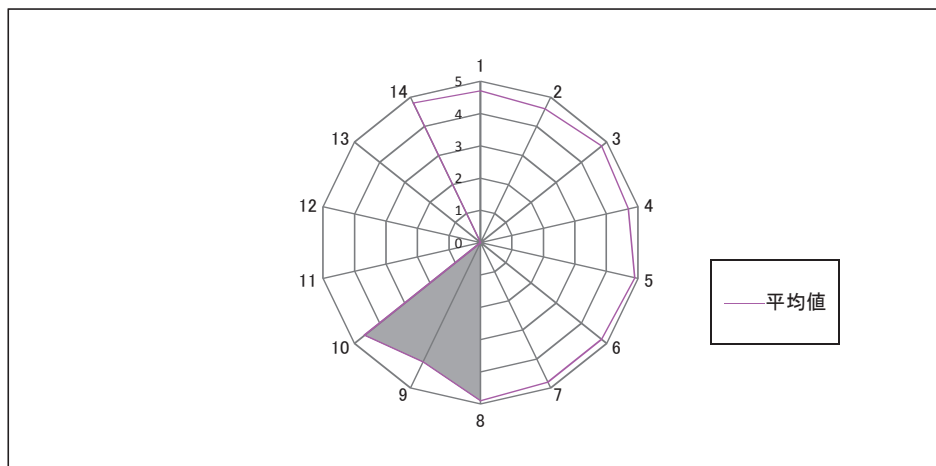
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名          図画工作 I C  
 評価実施日          平成27年7月31日  
 担当教員名          手塚 てる子

回答者数          21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	5	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	7	1	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	5	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	5	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	4	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	3	1	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	4	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	3	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	6	2	2	1	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	14	6	0	1	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	4	0	0	0	1	4.8



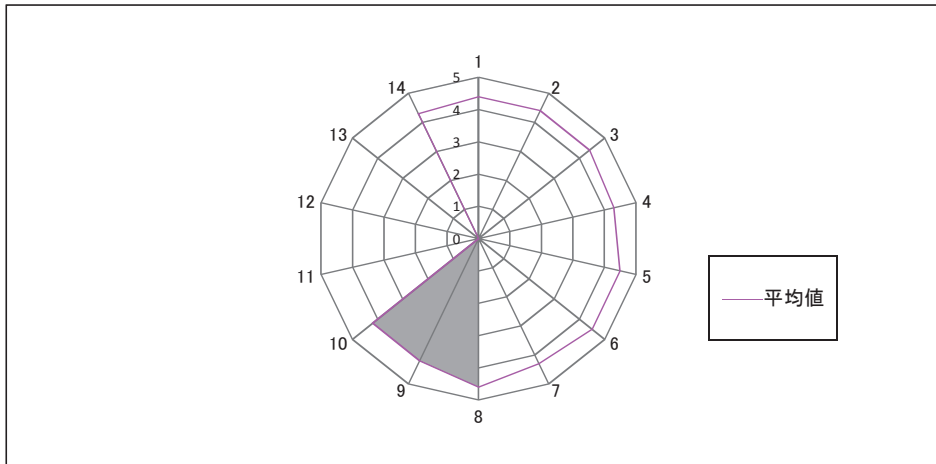
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名          図画工作 I D  
 評価実施日          平成27年7月31日  
 担当教員名          釜床 育子

回答者数          21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	4	5	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	4	3	1	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	5	3	1	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	4	5	0	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	6	3	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	4	2	1	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	7	2	0	1	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	4	3	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	5	6	0	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	7	5	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	4	3	0	1	1	4.3



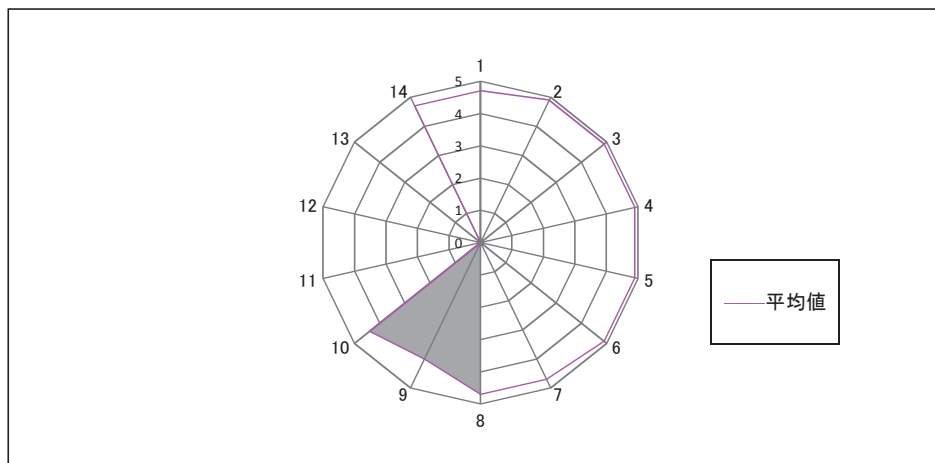
総合評価          4.4

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等体育Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月8日  
 担当教員名 南 隆尚

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	4	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	1	0	0	0	4.7



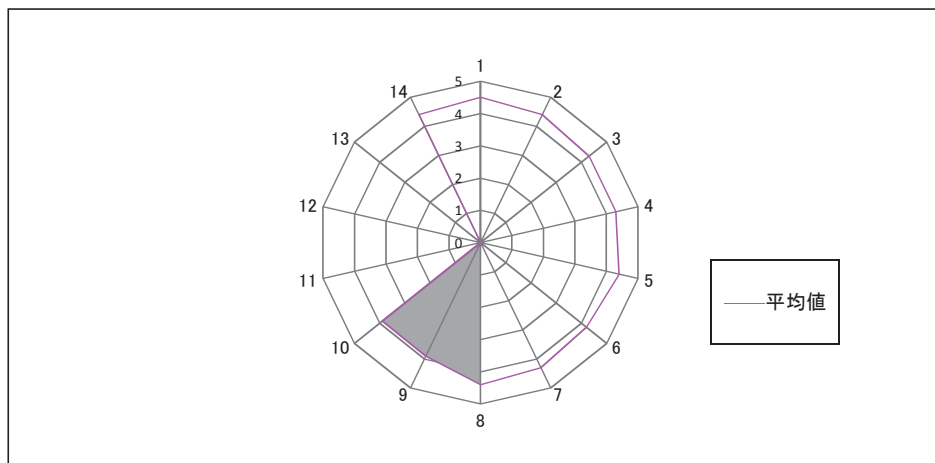
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭  
 評価実施日 平成27年8月6日  
 担当教員名 福井 典代, 金 貞均, 松永 哲郎, 坂本 有芳

回答者数 88名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



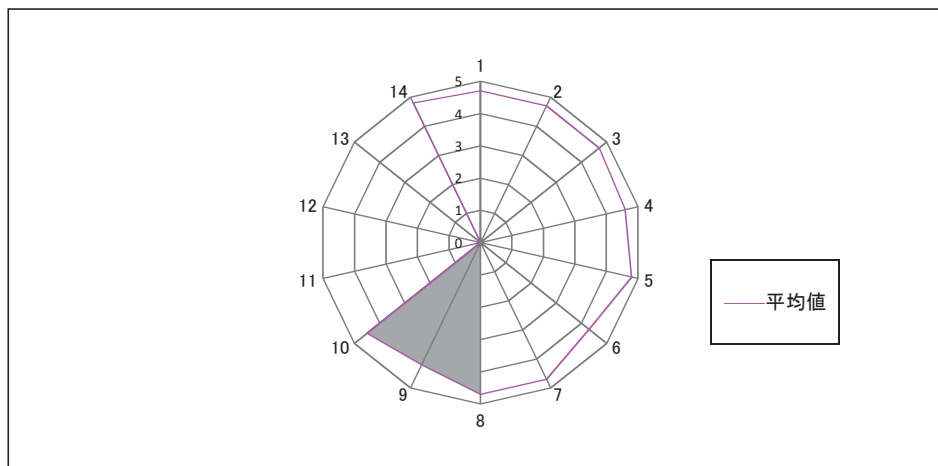
総合評価 4.4

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 国語学概論(音声言語・文章表現を含む。)  
 評価実施日 平成27年8月26日  
 担当教員名 茂木 俊伸

回答者数 43名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



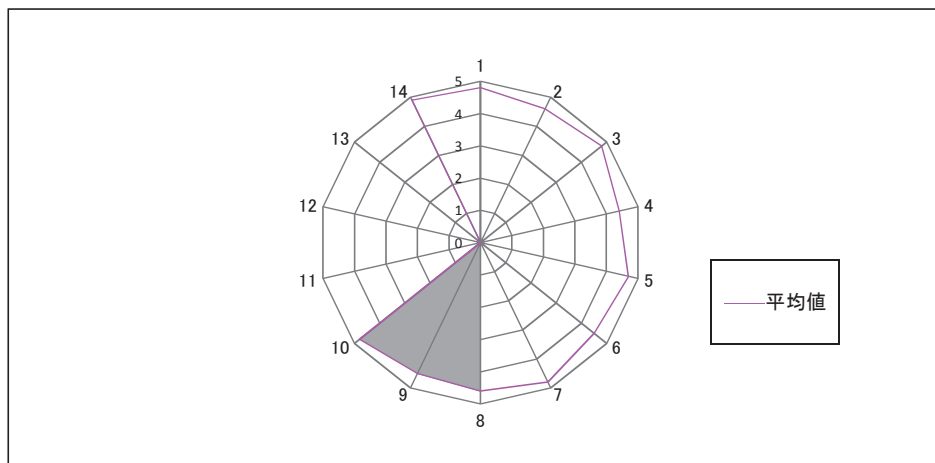
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年8月4日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



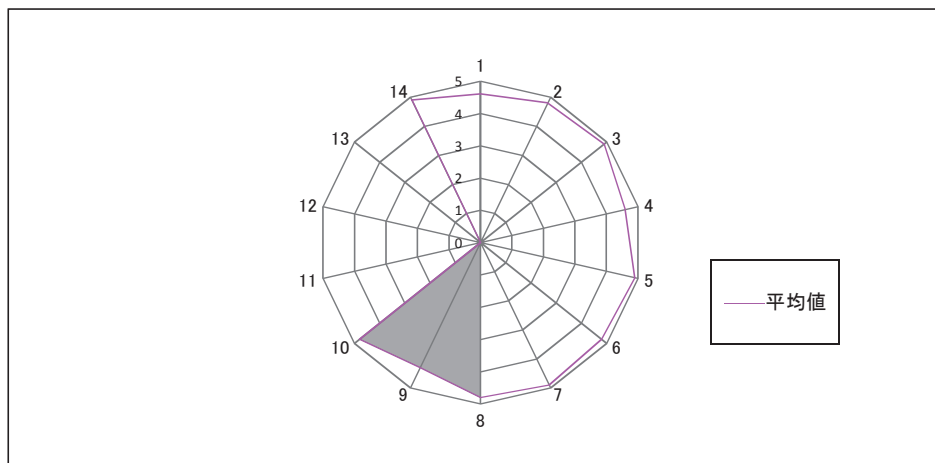
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.8**

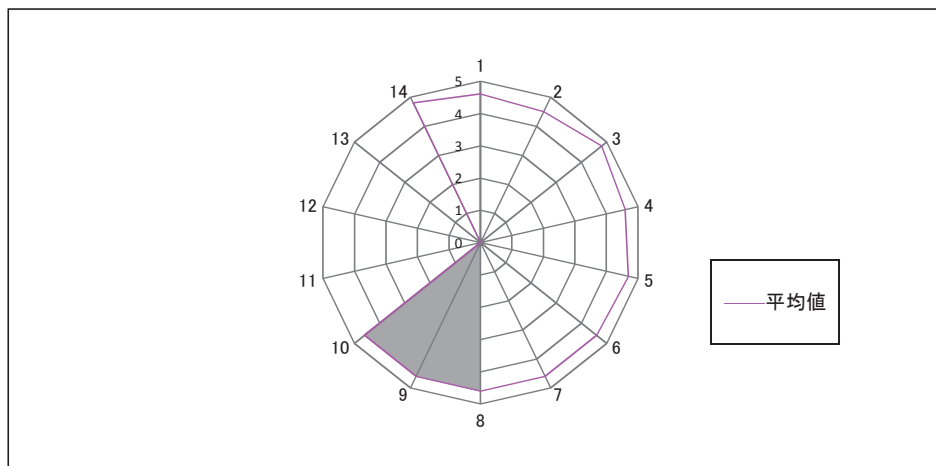
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 語学・文学総合演習 I (国語学)  
 評価実施日 平成27年8月6日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	5	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	4	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	4	0	0	0	0	4.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	5	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	7	0	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	3	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	7	0	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	4	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	6	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	4	0	0	0	1	4.8



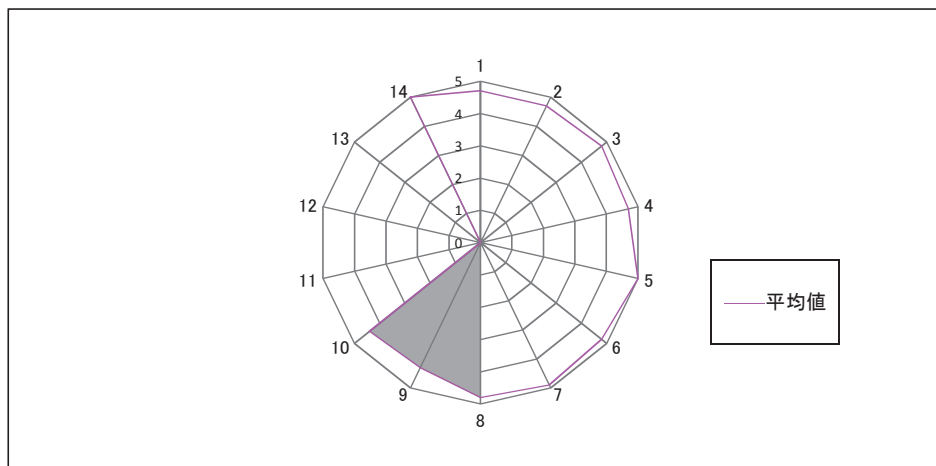
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学 I  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



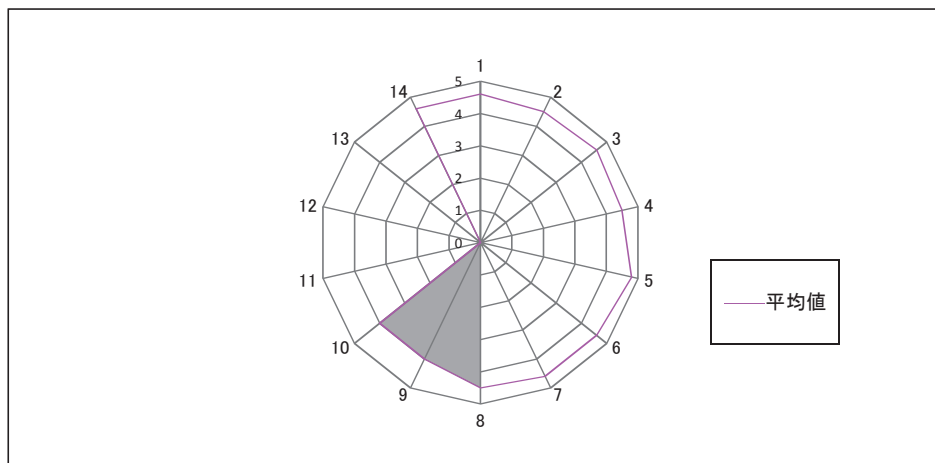
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 小島 明子

回答者数 18名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	6	1	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	5	2	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	6	1	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	6	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	6	1	0	0	1	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	6	1	0	0	1	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	7	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	7	6	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	4	3	3	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	5	1	0	0	2	4.6



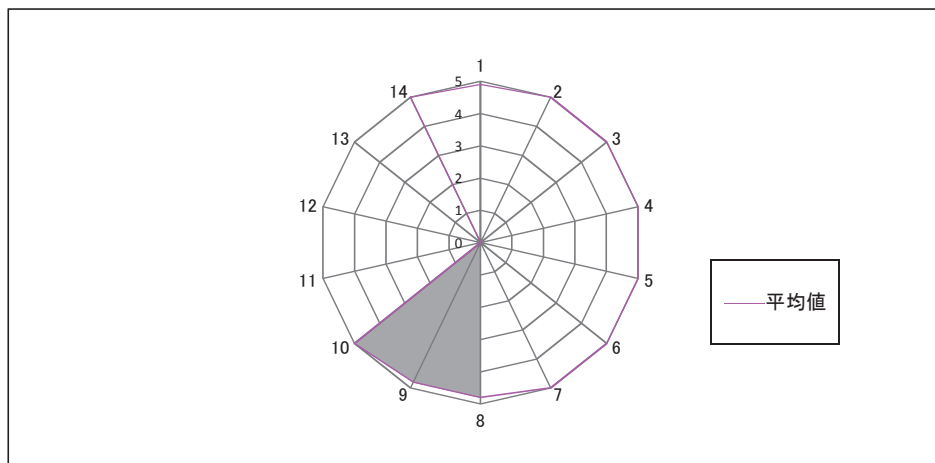
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 小島 明子

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



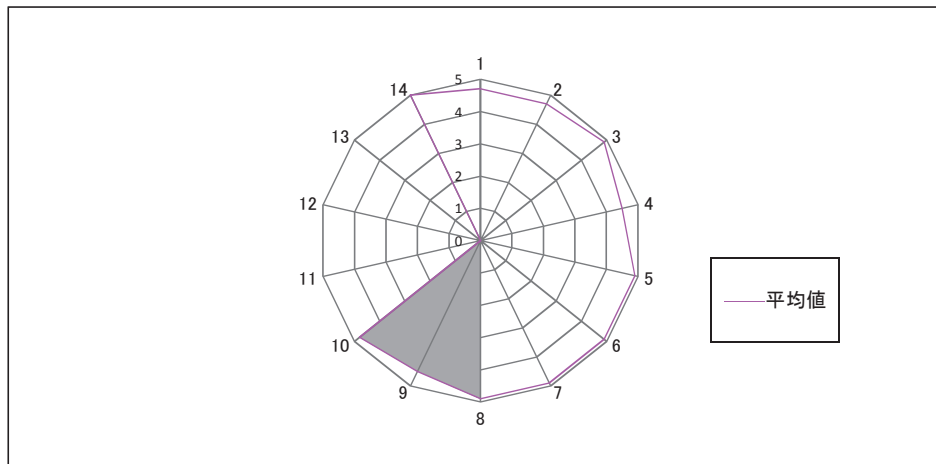
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学演習B  
 評価実施日 平成27年7月8日  
 担当教員名 小島 明子

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



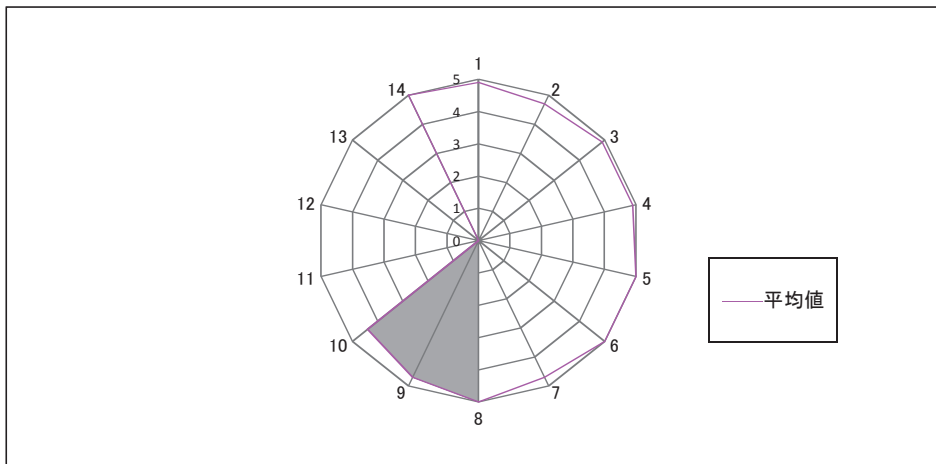
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)  
 評価実施日 平成27年8月26日  
 担当教員名 高西 成介

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



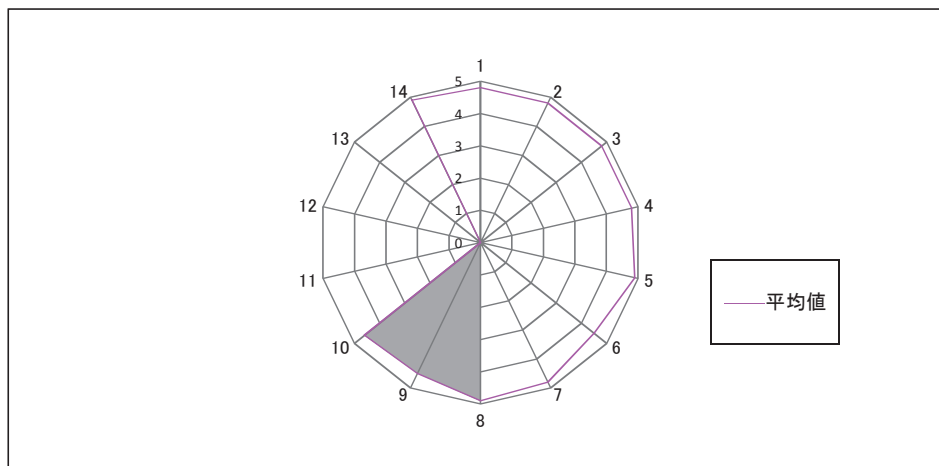
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写Ⅲ  
 評価実施日 平成27年8月5日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



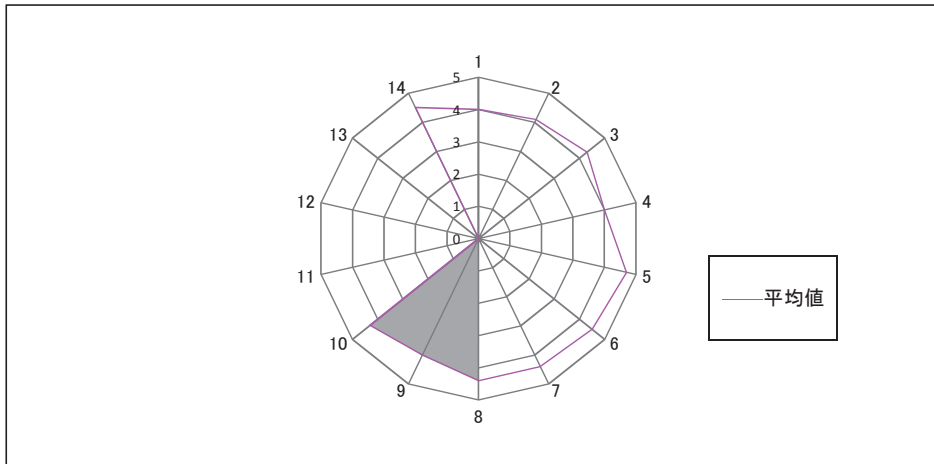
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学習英文法  
 評価実施日 平成27年7月23日  
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 **4.3**

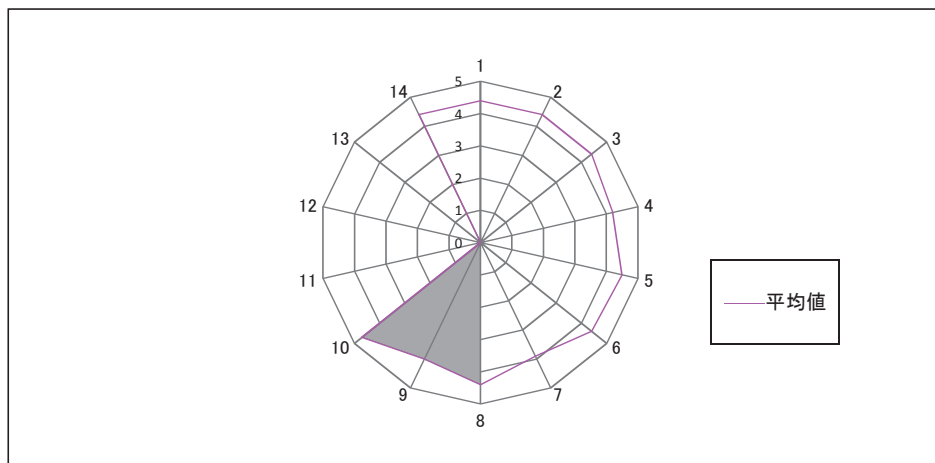
※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語学研究 I  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	1	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	0	0	1	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	1	1	1	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	1	0	0	0	4.4



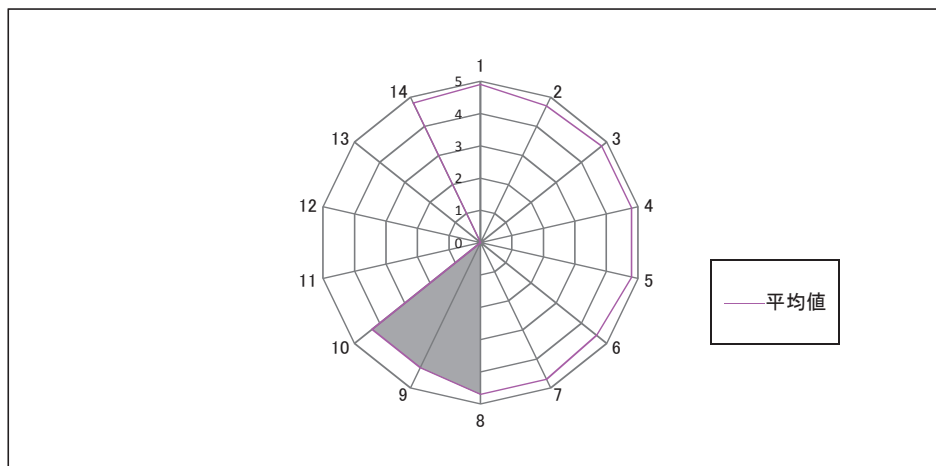
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英文講読  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



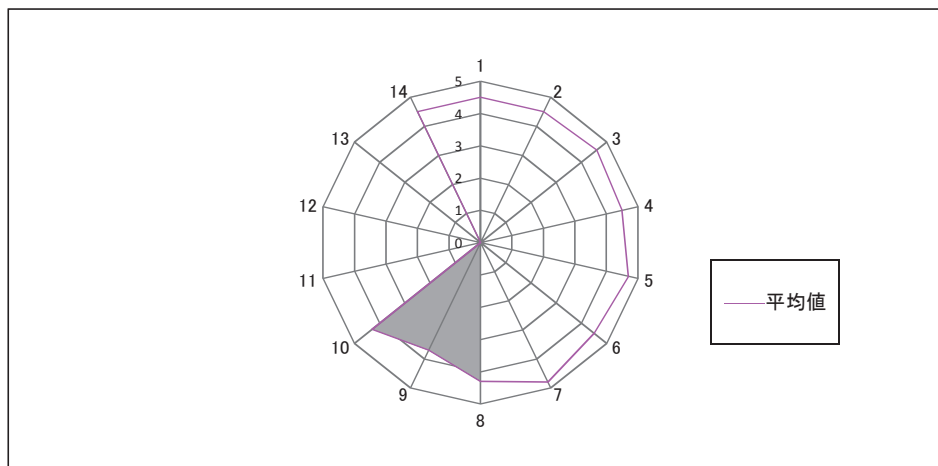
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語オーラルコミュニケーションⅡ  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 22名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	6	3	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	4	4	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	4	3	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	6	3	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	4	2	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	7	3	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	2	2	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	6	2	2	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	4	5	5	0	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	6	4	0	0	2	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	8	2	0	0	1	4.5



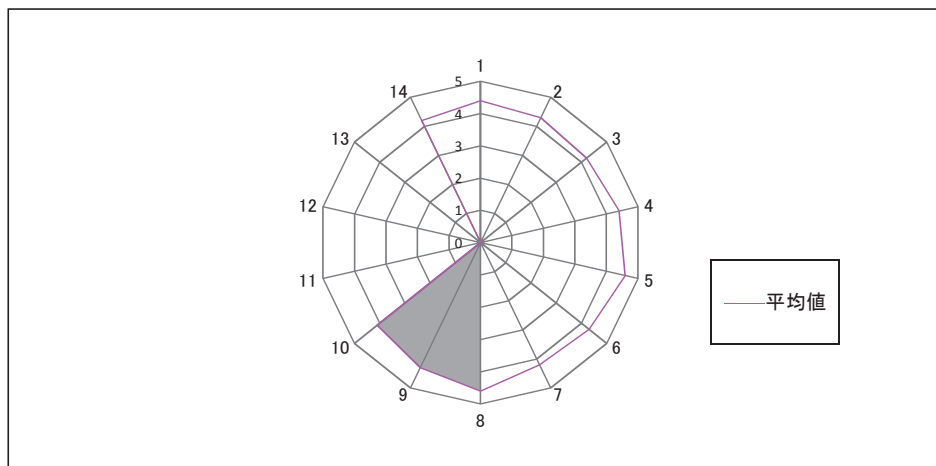
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学概論  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 大石 雅章

回答者数 29名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	13	1	0	1	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	14	3	1	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	15	4	1	0	0	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	14	1	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	12	1	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	11	4	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	15	2	1	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	8	3	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	12	3	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	12	6	1	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	12	3	1	1	1	4.2



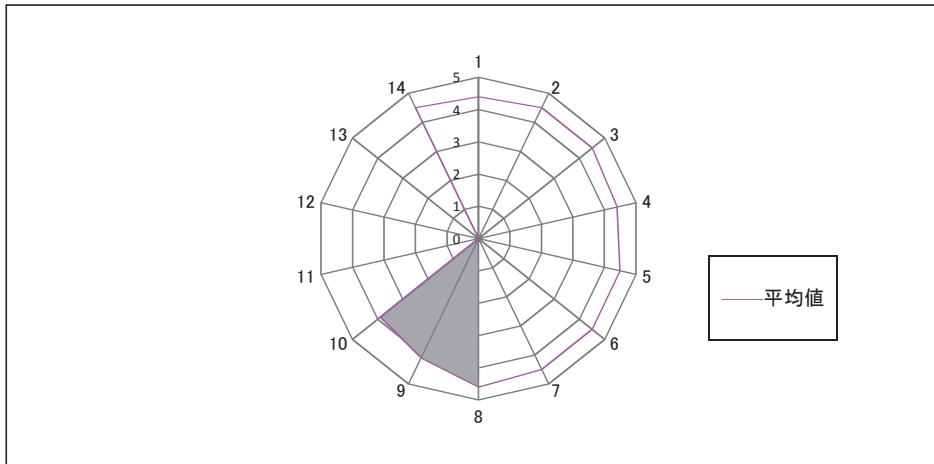
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論 I (古代・中世)  
 評価実施日 平成27年7月23日  
 担当教員名 大石 雅章

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	8	2	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	7	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	5	3	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	6	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	5	3	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	5	1	1	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	3	2	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	4	2	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	9	3	1	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	9	4	1	0	1	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	5	1	1	0	1	4.5



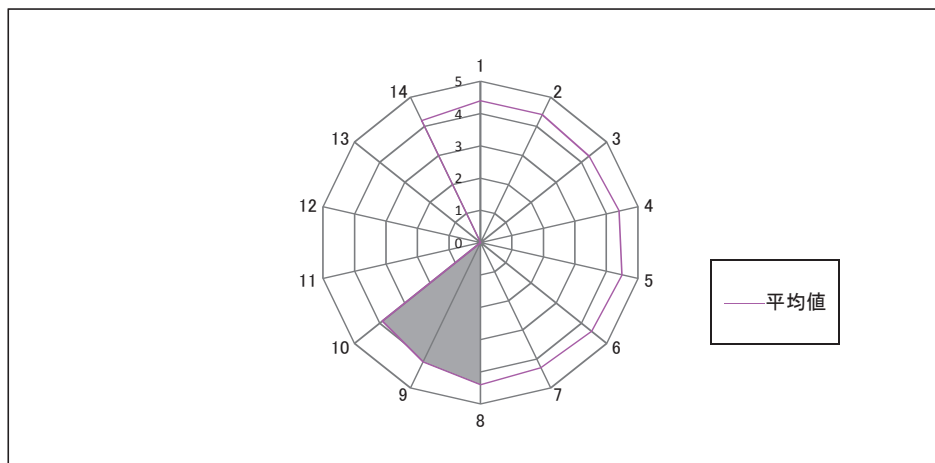
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論Ⅱ(近世・近代)  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 町田 哲

回答者数 20名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	9	2	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	8	2	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	6	4	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	8	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	5	3	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	8	2	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	4	4	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	6	3	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	3	8	0	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	5	7	1	0	1	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	6	5	0	0	1	4.2



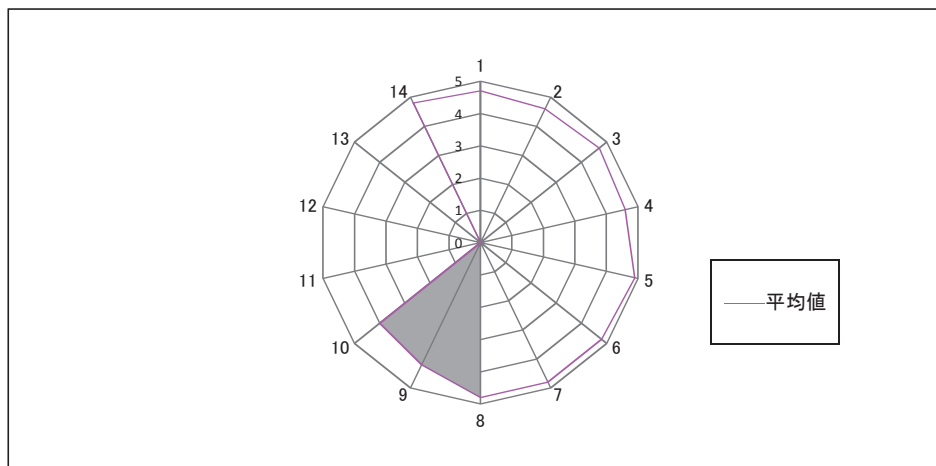
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 外国史概論  
 評価実施日 平成27年6月11日  
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 35名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



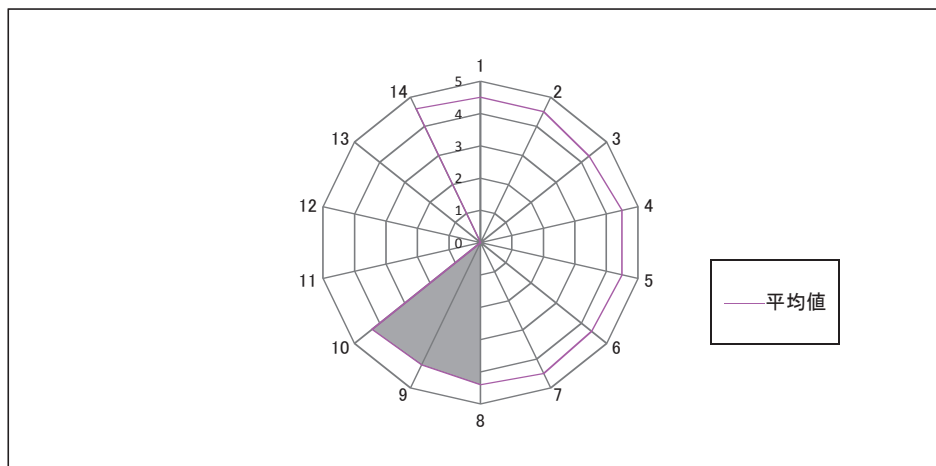
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 史学演習  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 大石 雅章, 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6



総合評価 **4.5**

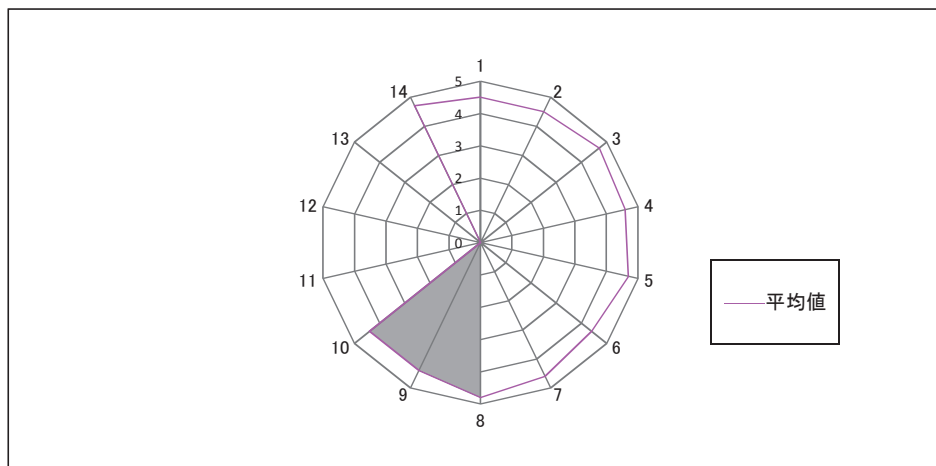
※上記項目の平均値(大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 人文地理学特論  
 評価実施日 平成27年8月6日  
 担当教員名 畠山 輝雄

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



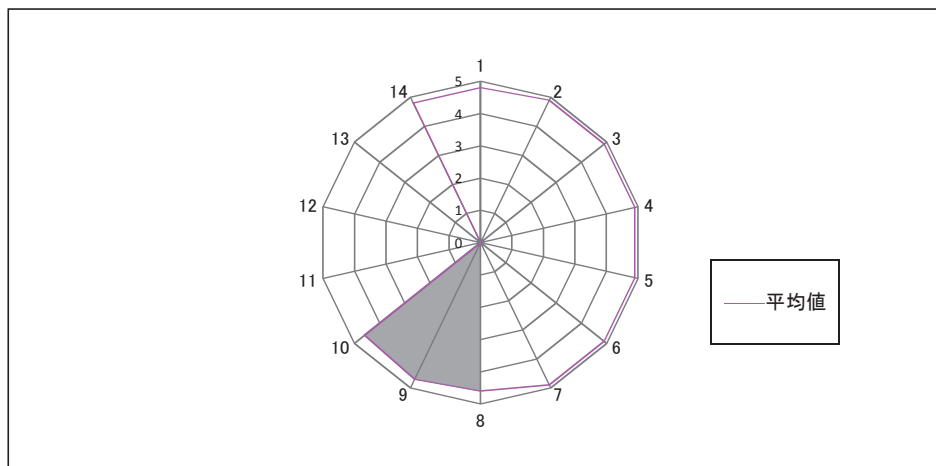
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学特論  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



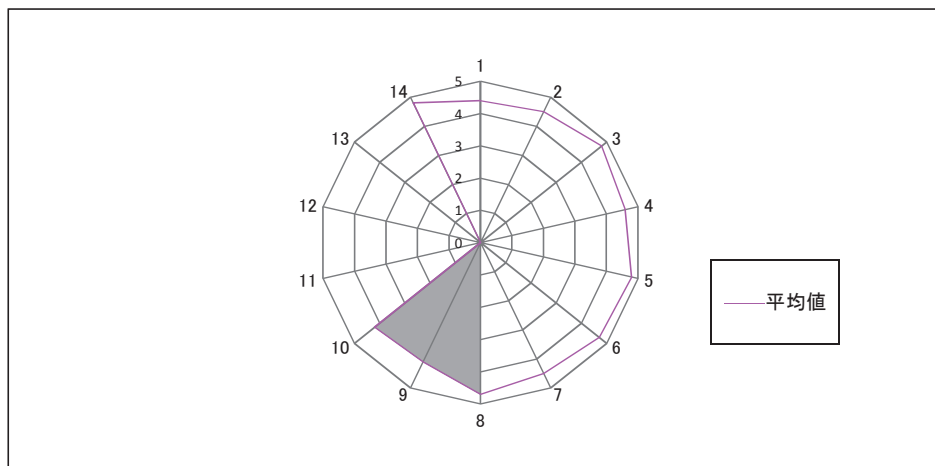
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会学概論  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 山本 準

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



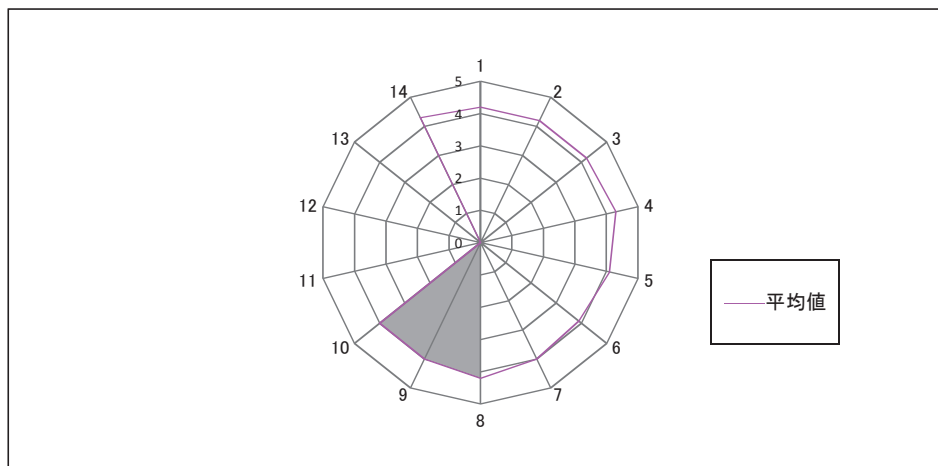
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年8月4日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 26名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	14	4	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	14	4	0	0	0	4.2
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	13	4	0	0	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	12	3	0	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	14	5	0	0	0	4.1
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	9	7	2	0	0	3.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	15	5	1	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	10	6	0	0	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	11	7	1	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	10	7	0	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	13	3	0	0	1	4.3



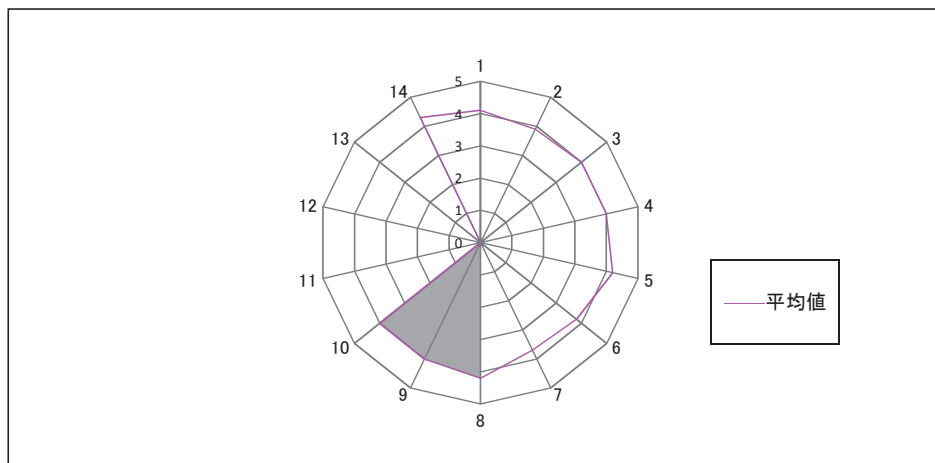
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅲ  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	7	2	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	6	4	0	0	0	3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	5	4	0	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	6	3	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	4	3	0	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	4	4	1	0	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	4	3	2	0	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	6	2	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	4	4	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	6	3	0	0	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	6	1	0	0	1	4.3



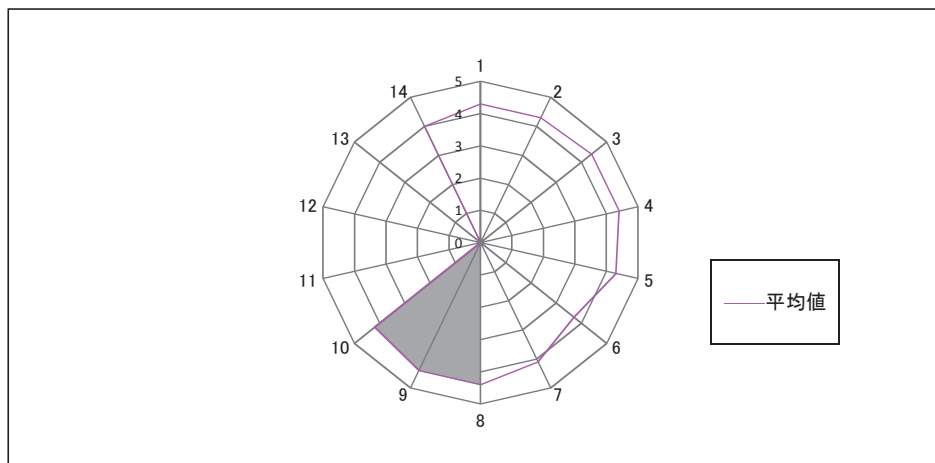
総合評価 4.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学 I  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 28名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



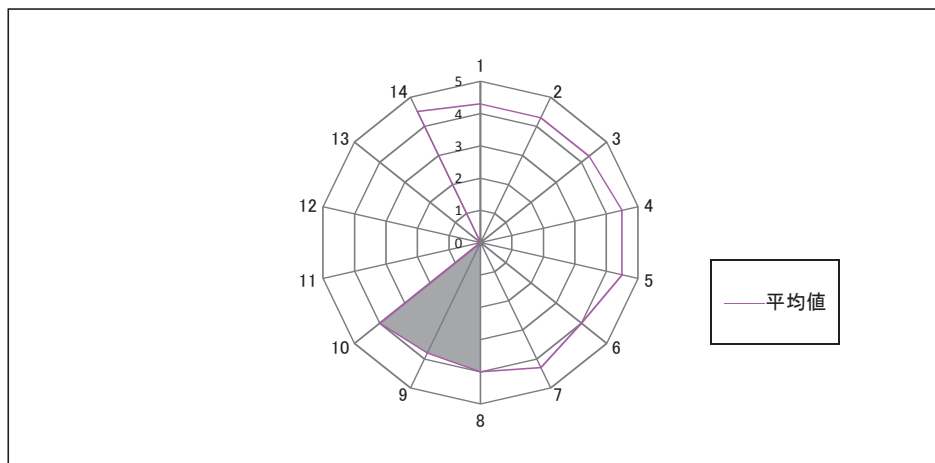
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅲ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



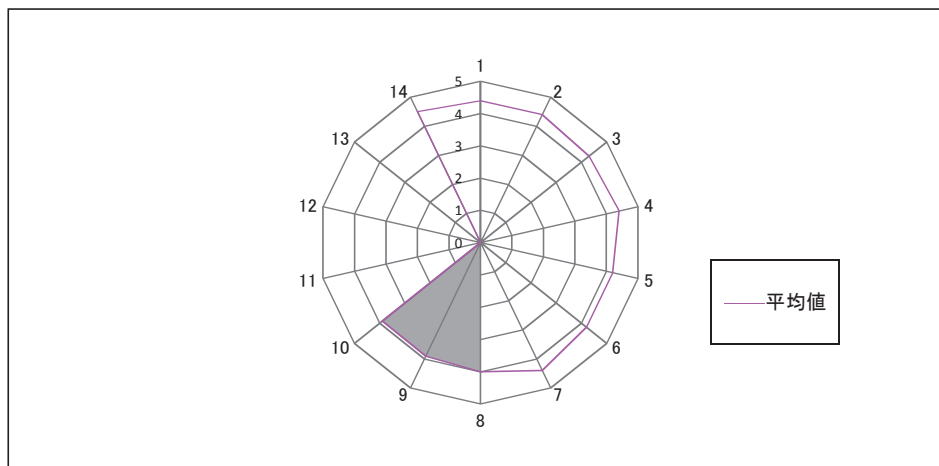
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学特論  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 **4.4**

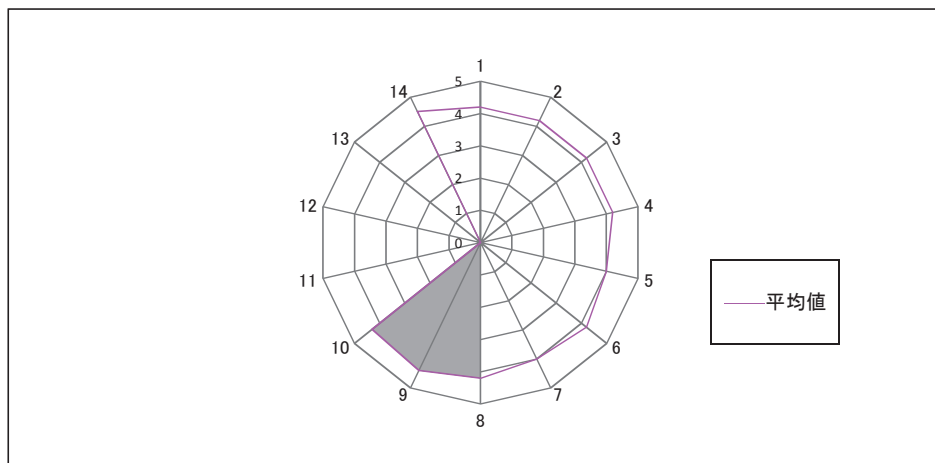
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 解析学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年8月4日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



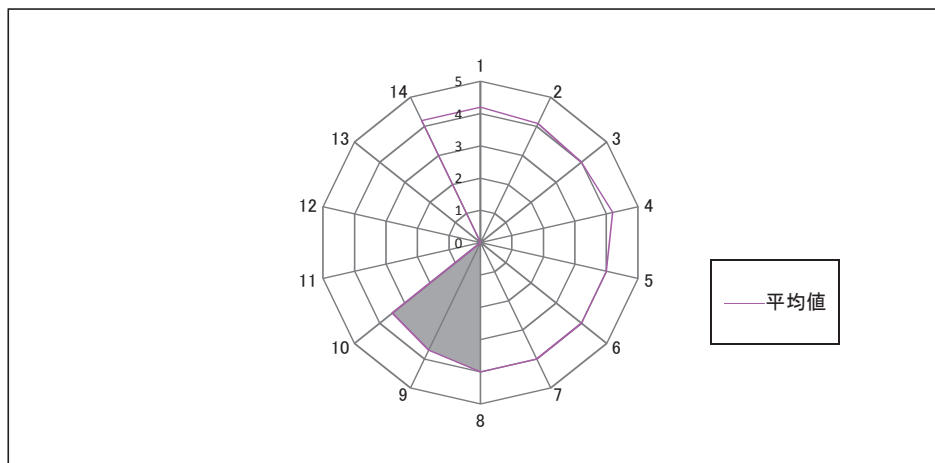
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 確率・統計学  
 評価実施日 平成27年8月5日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



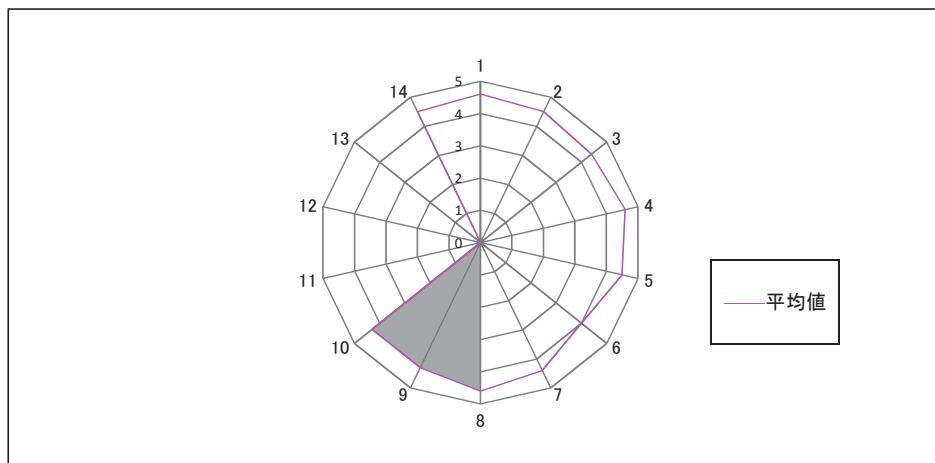
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 基礎数学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年8月7日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



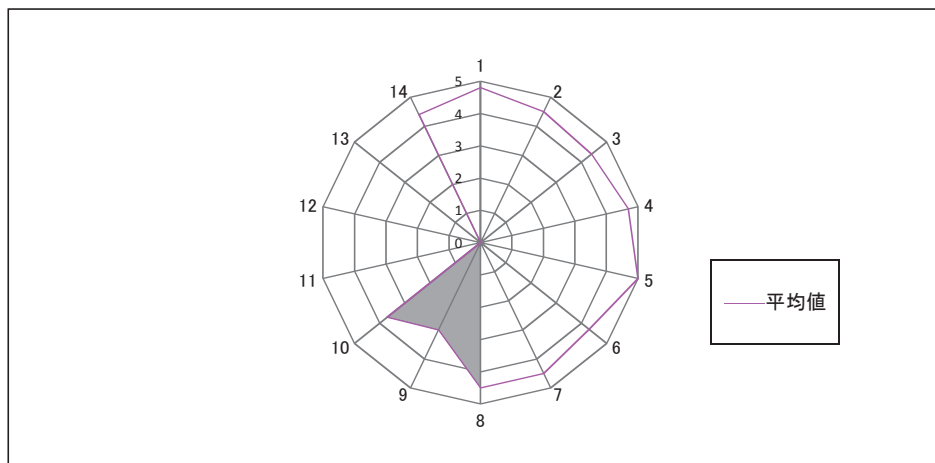
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学の基礎  
 評価実施日 平成27年6月11日  
 担当教員名 寺島 幸生

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



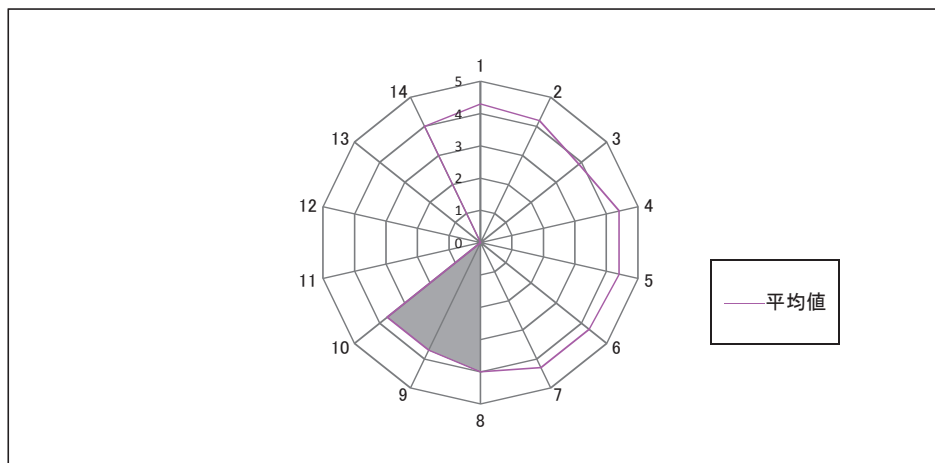
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 化学の基礎  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 胸組 虎胤

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



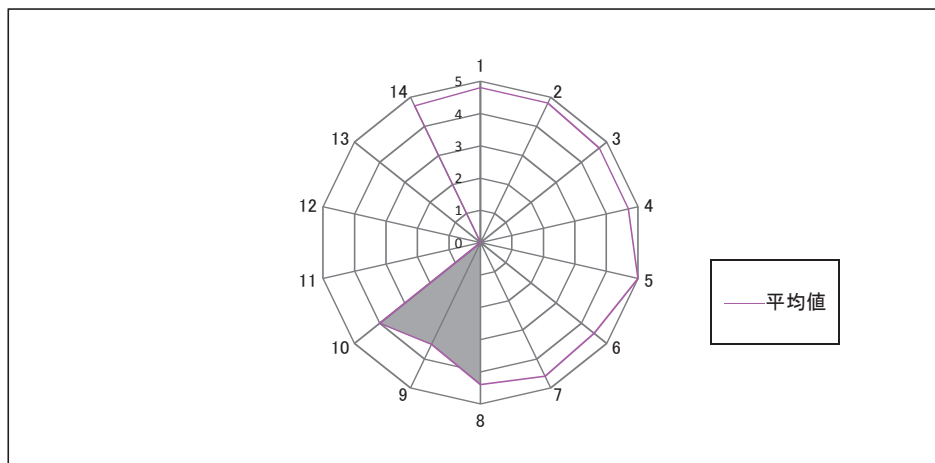
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学の基礎  
 評価実施日 平成27年6月8日  
 担当教員名 小汐 千春

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



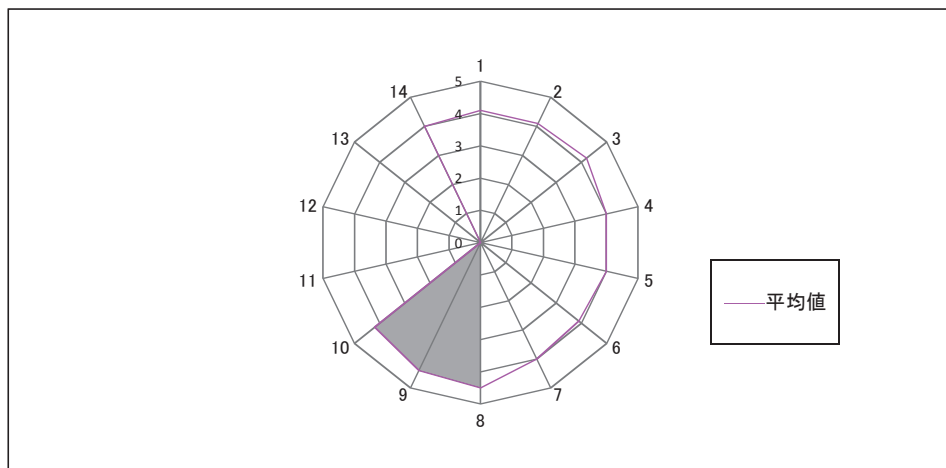
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学 I  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 米澤 義彦

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



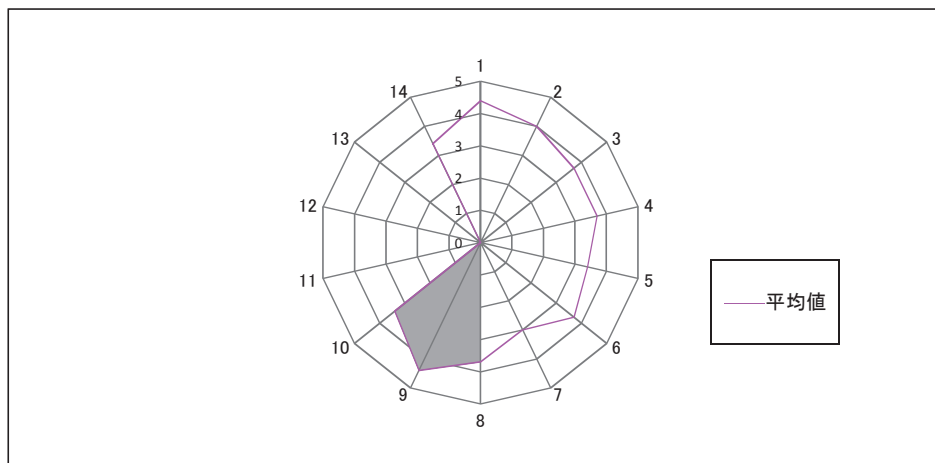
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学の基礎  
 評価実施日 平成27年8月6日  
 担当教員名 村田 守

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.4



総合評価 **3.7**

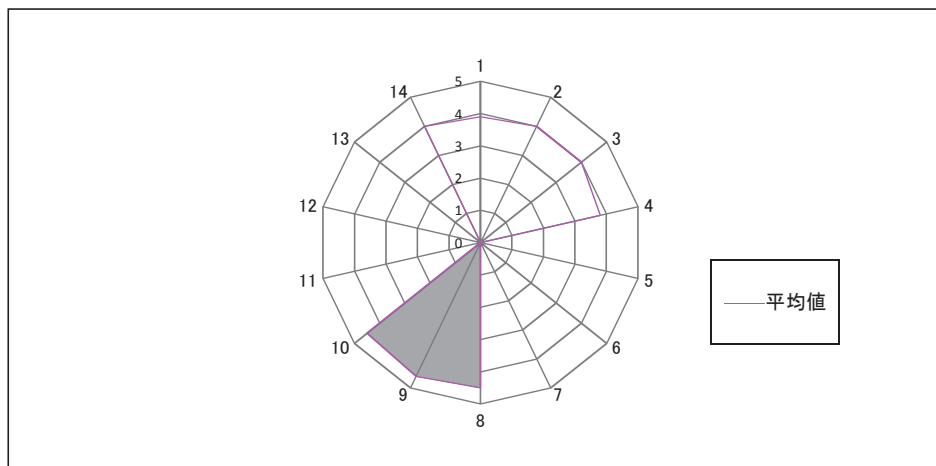
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 地学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 村田 守, 香西 武, 足立 奈津子

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	2	1	1	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	4	0	1	1	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	1	1	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	0	2	1	0	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。							
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。							
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。							
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	5	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	4	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	1	2	0	4.0



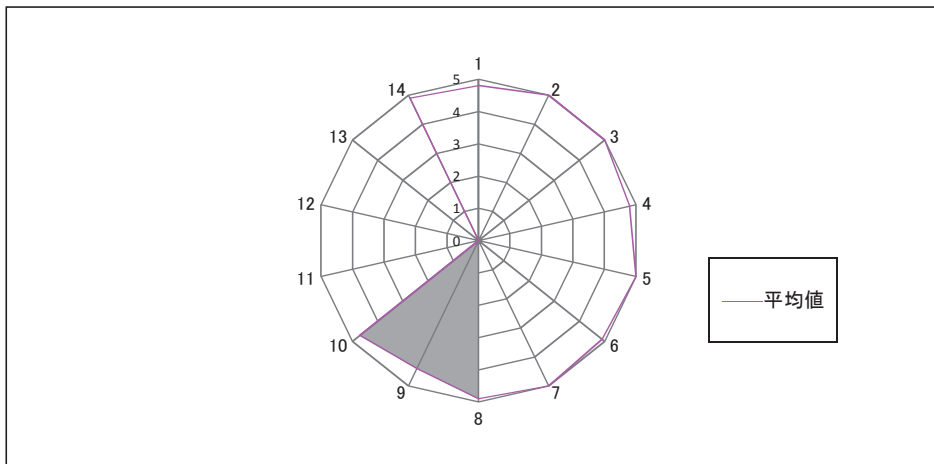
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ソルフェージュ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	4	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	2	0	0	0	0	4.9



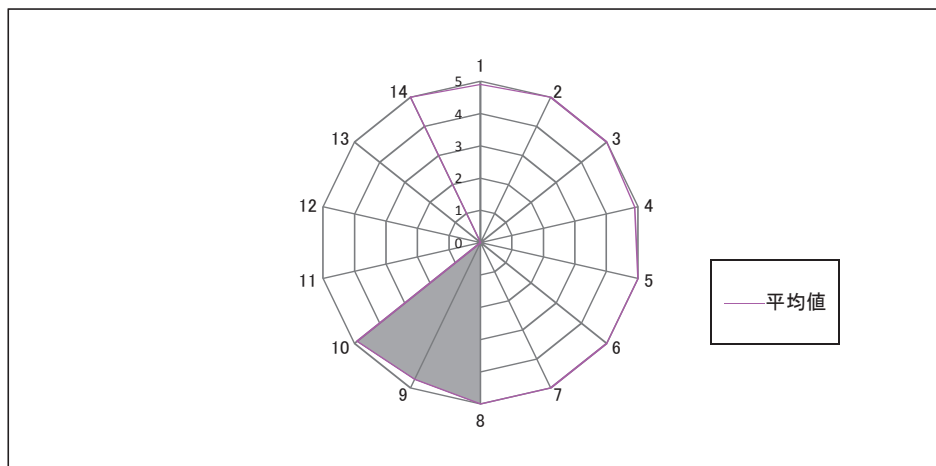
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽(合唱を含む。)  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 頃安 利秀, 真鍋 美恵

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



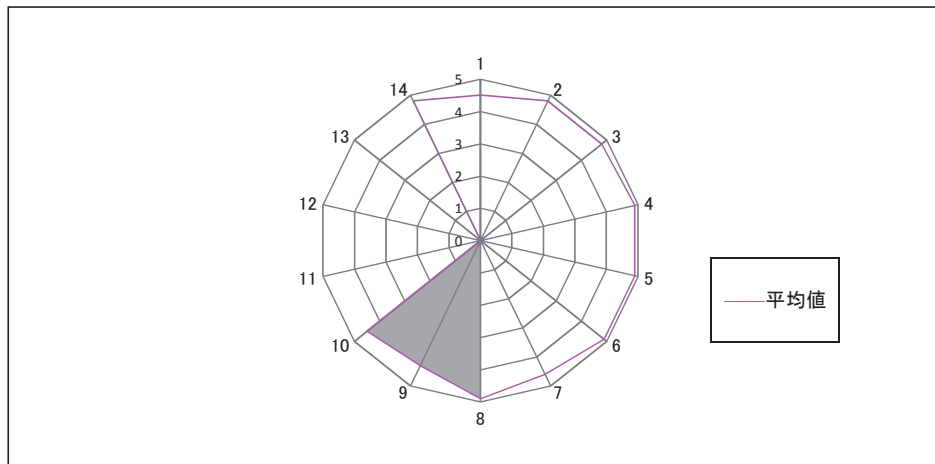
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 声楽基礎Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



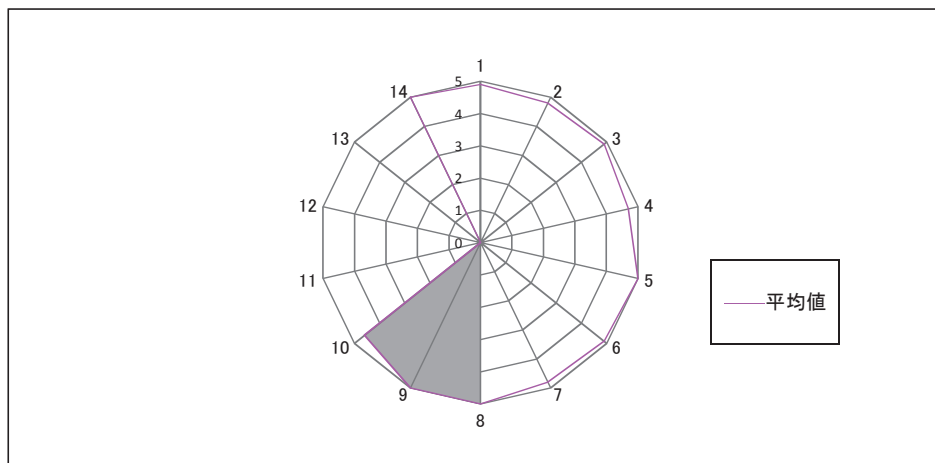
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 器楽(合奏及び伴奏を含む。)  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 森 正, 山根 秀憲, 米田 佳子

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



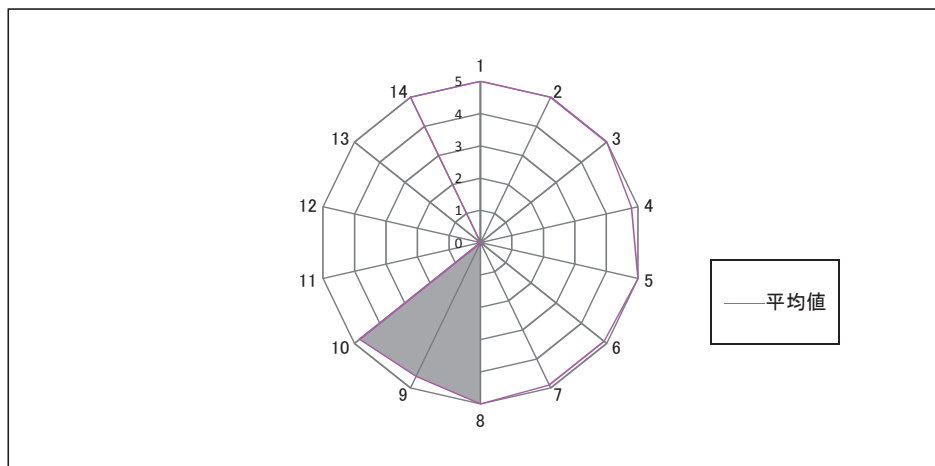
総合評価 4.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 ピアノ基礎Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 森 正, 田中 巳穂

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



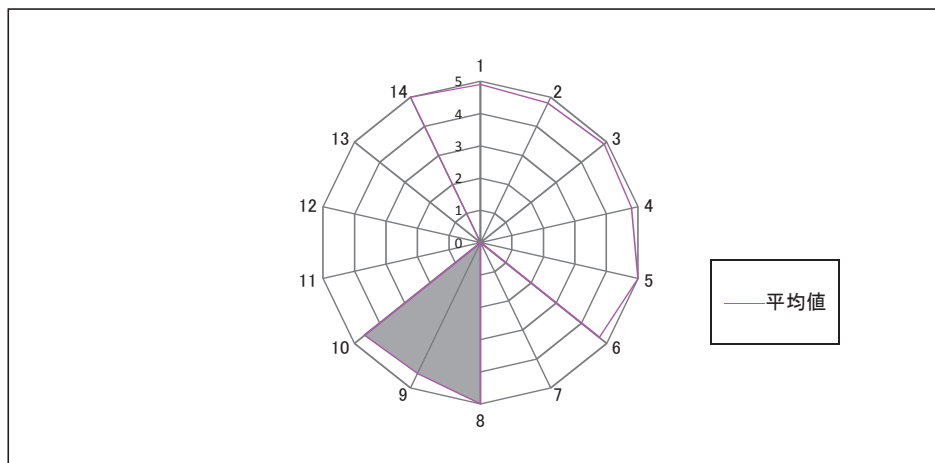
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器基礎Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	1	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	0	0	0	1	4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。							
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



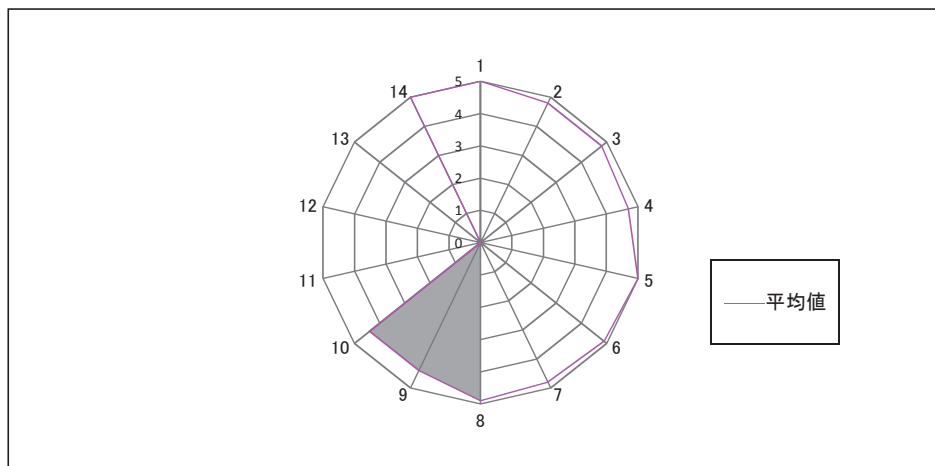
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮法  
 評価実施日 平成27年8月6日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

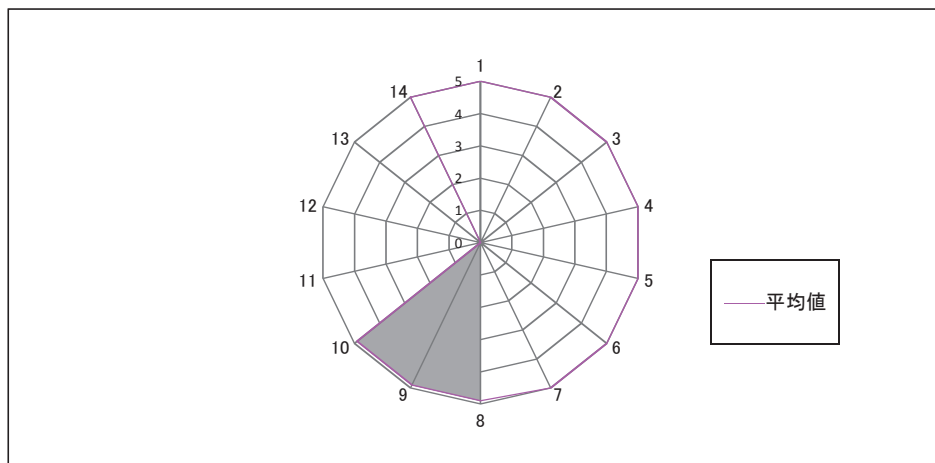
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 指揮 I  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



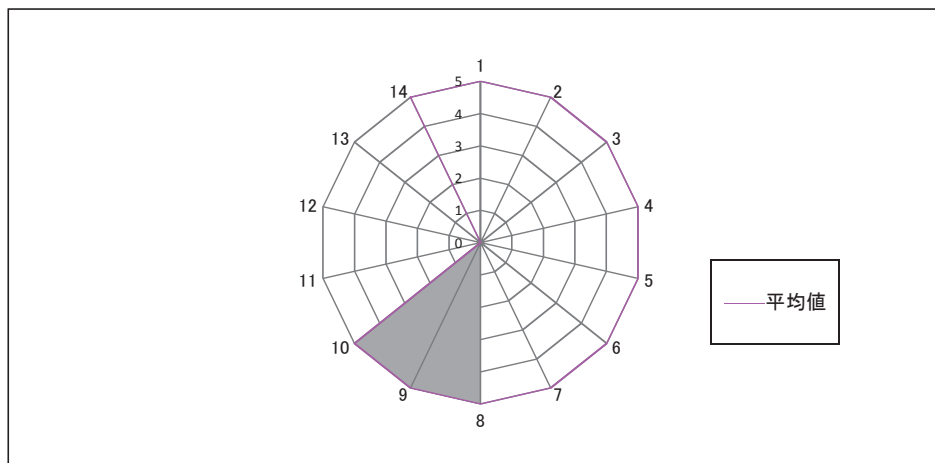
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 合唱  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



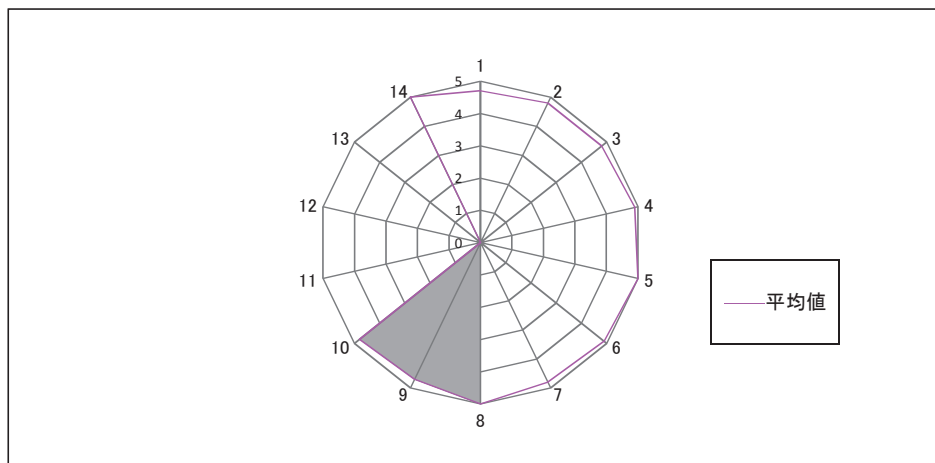
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 音楽の理論と歴史  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 松岡 貴史, 片桐 功

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



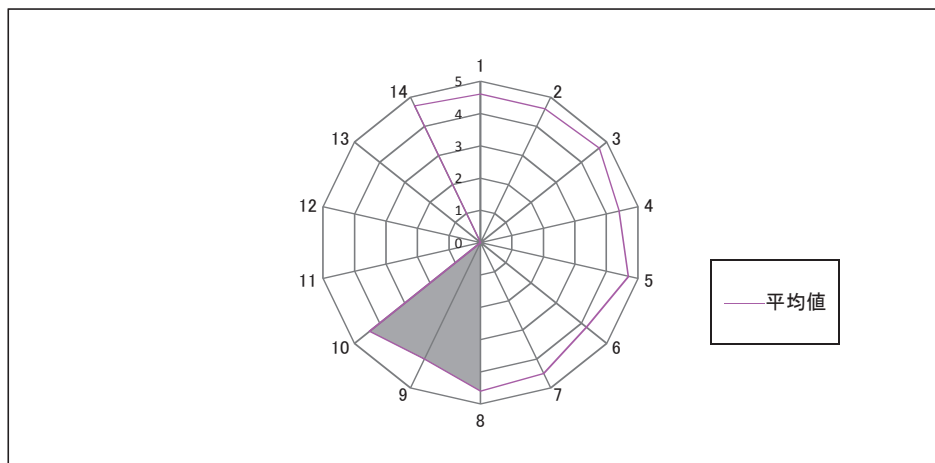
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 音楽通論Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 長島 真人

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



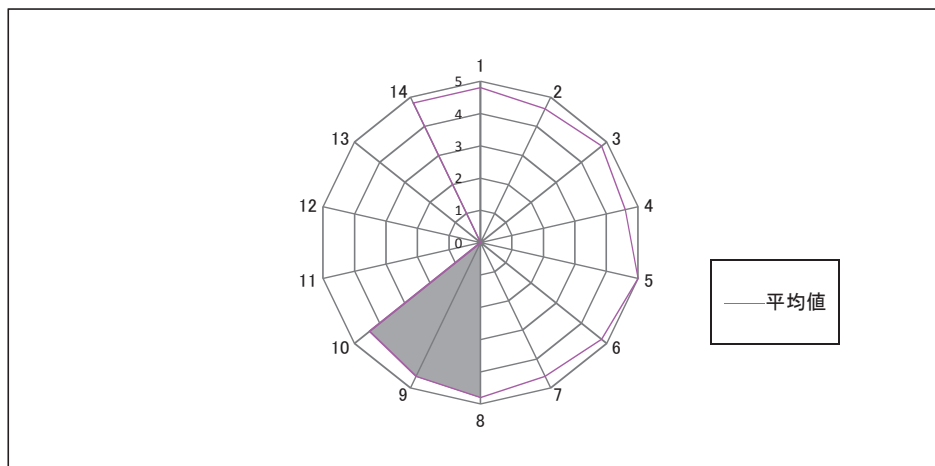
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 作曲法 I  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 松岡 貴史

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



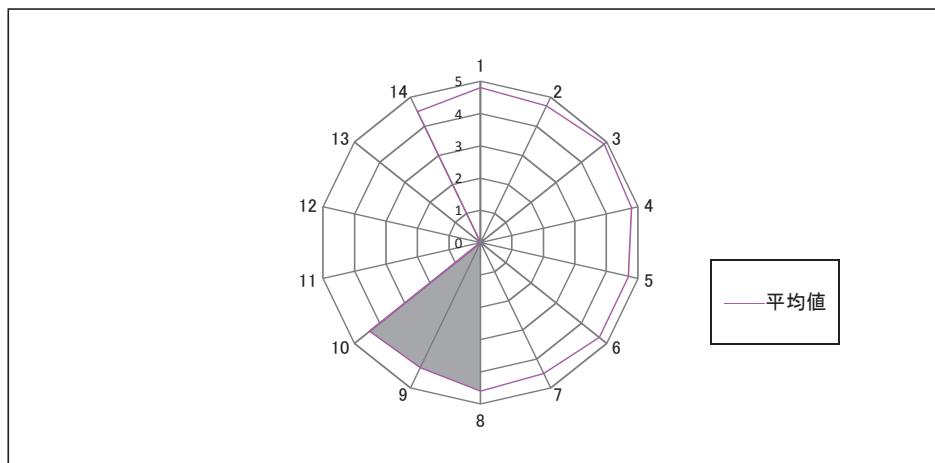
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画 I  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



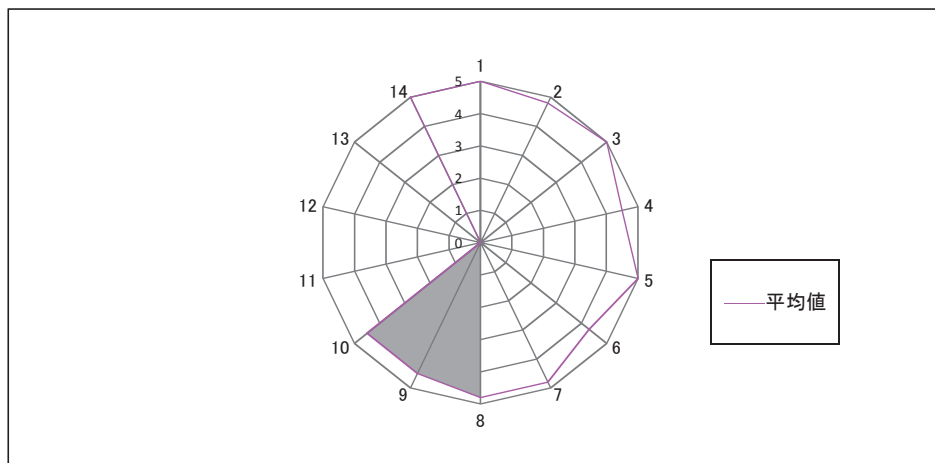
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画特別演習Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 鈴木 良治

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



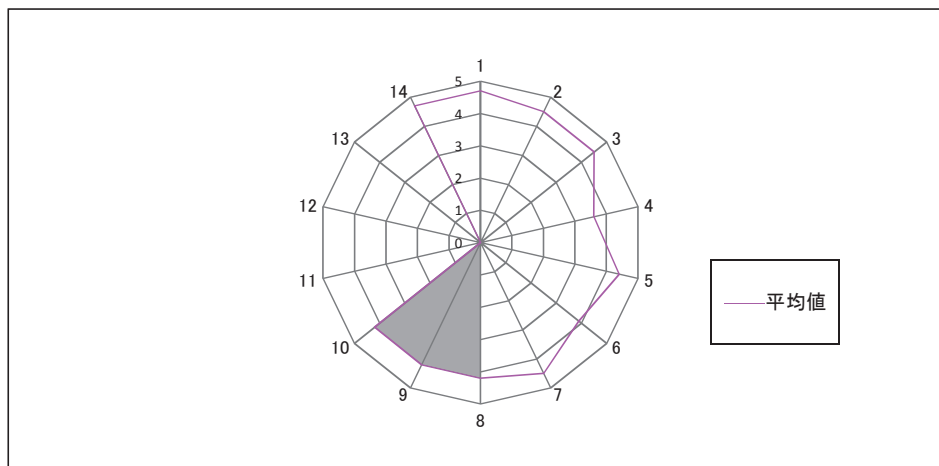
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.4

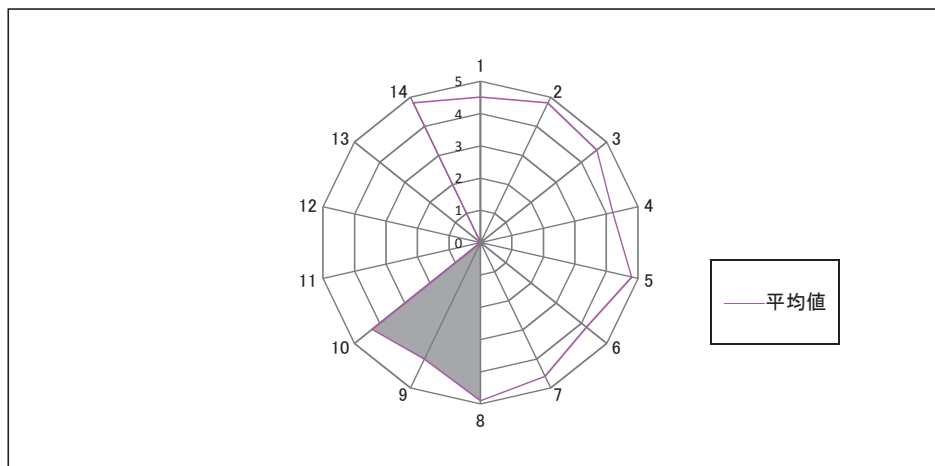
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 彫刻特別演習  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



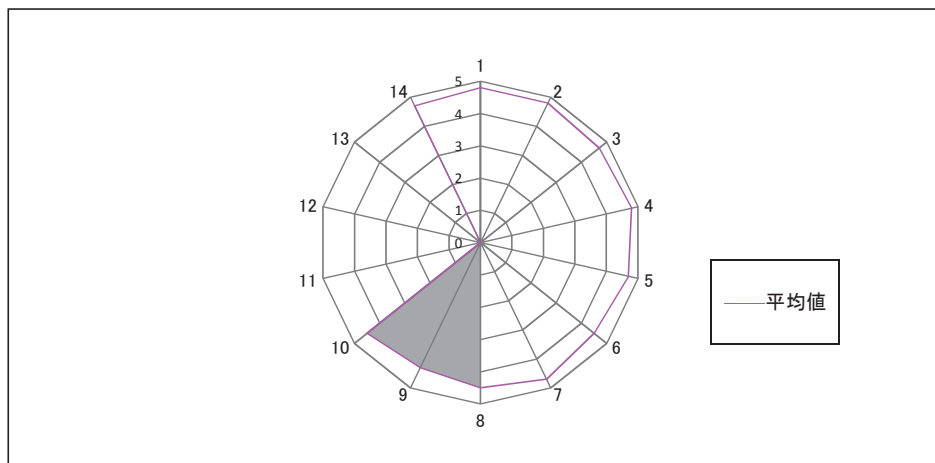
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザイン I  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	5	0	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	2	1	1	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	3	0	0	0	0	4.7



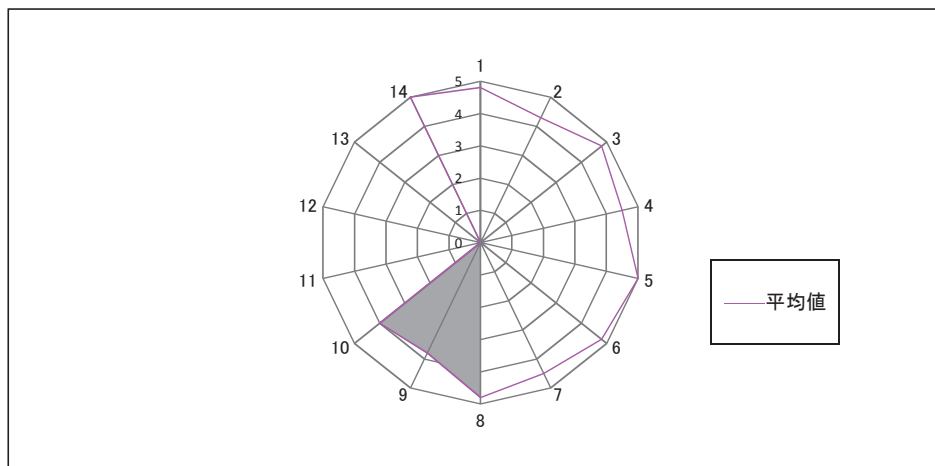
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



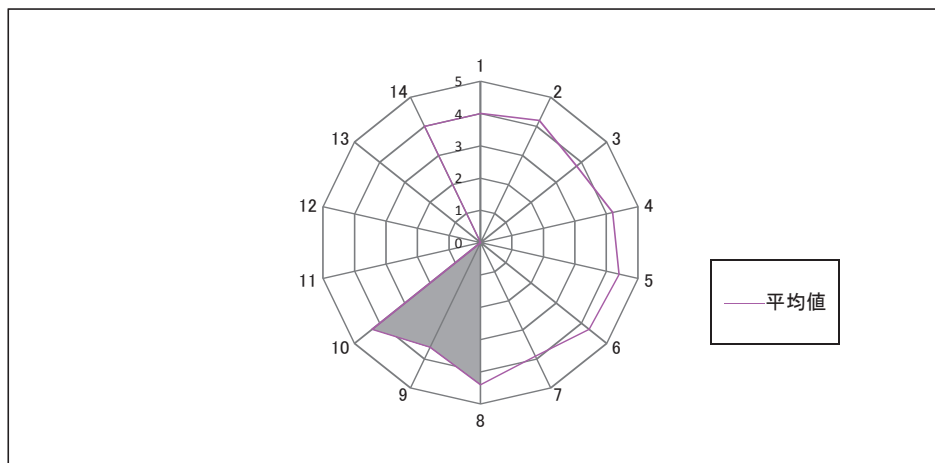
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育心理学 I・II  
 評価実施日 平成27年7月23日  
 担当教員名 乾 信之

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	7	5	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	8	3	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	8	0	0	0	3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	6	4	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	7	2	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	8	2	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	4	4	1	1	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	5	1	1	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	5	1	4	1	0	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	12	0	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	5	4	1	0	0	4.0



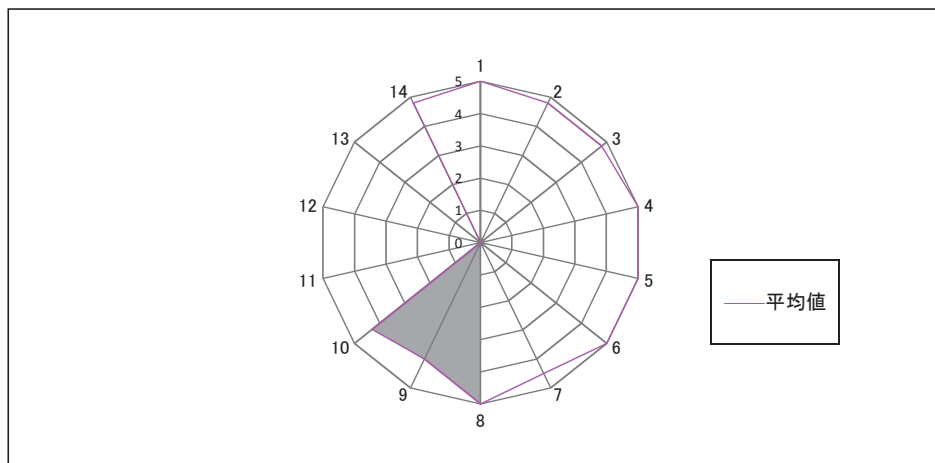
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育社会学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 木原 資裕

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



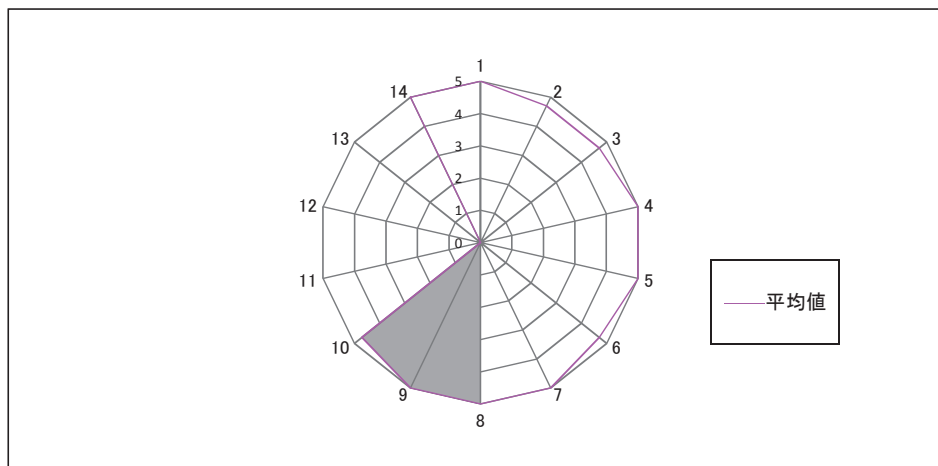
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 バイオメカニクス  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 松井 敦典

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



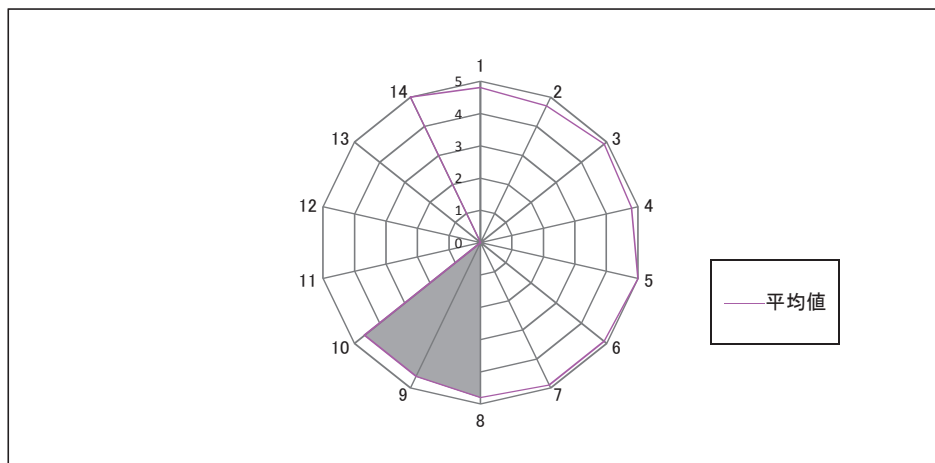
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 スポーツトレーニング論  
 評価実施日 平成27年7月7日  
 担当教員名 南 隆尚

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	2	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	3	1	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	2	0	0	0	1	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	4	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	2	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	4	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	5	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	0	0	0	0	0	5.0



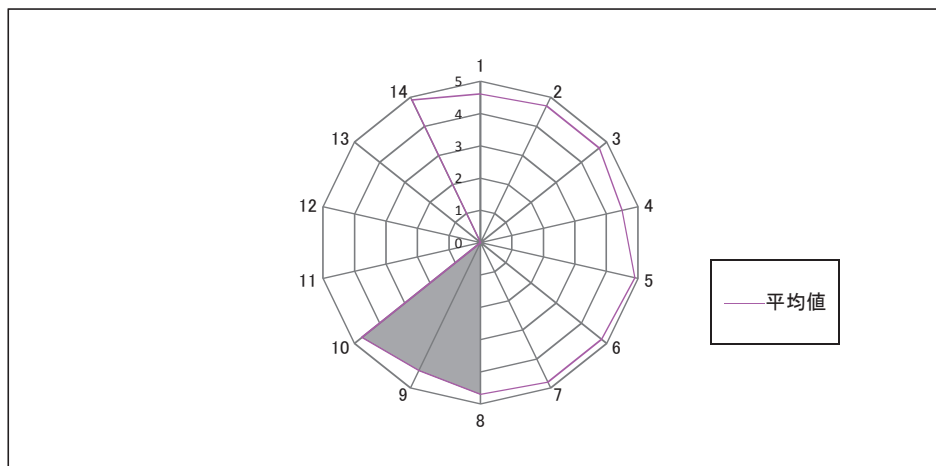
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 材料加工学 I  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 米延 仁志, 尾崎 士郎

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 4.7

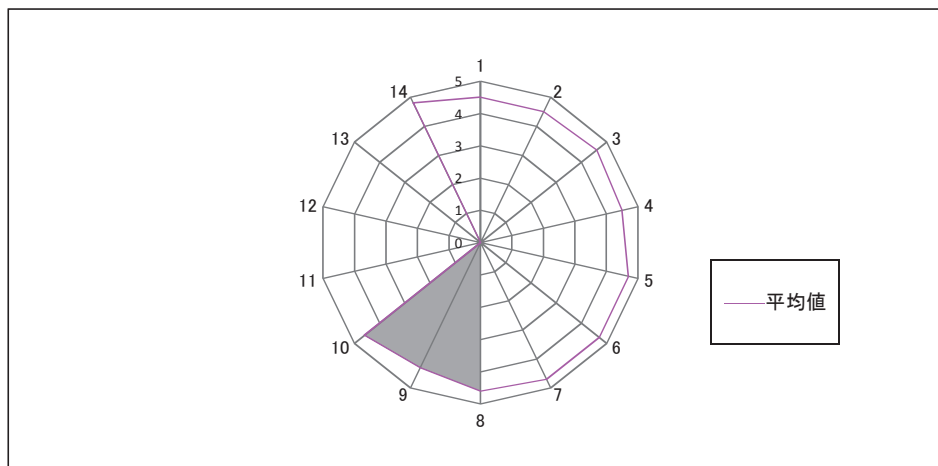
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 材料加工学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



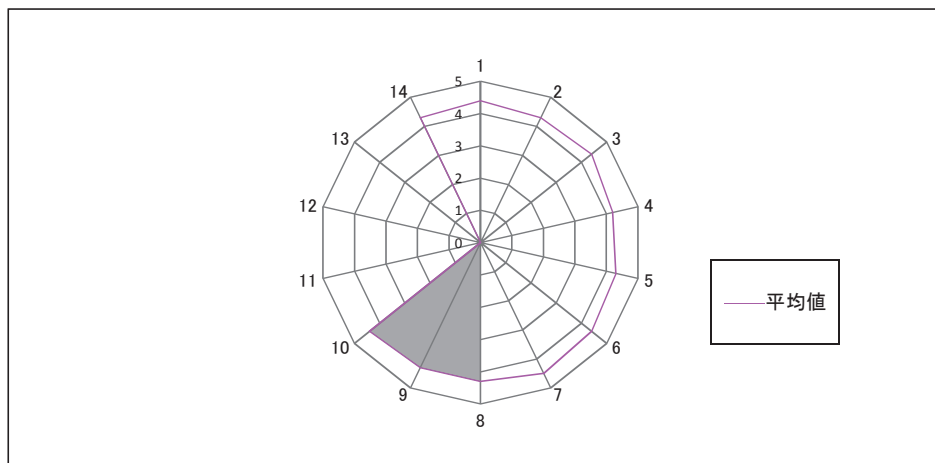
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械の力学Ⅱ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 畑中 伸夫

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



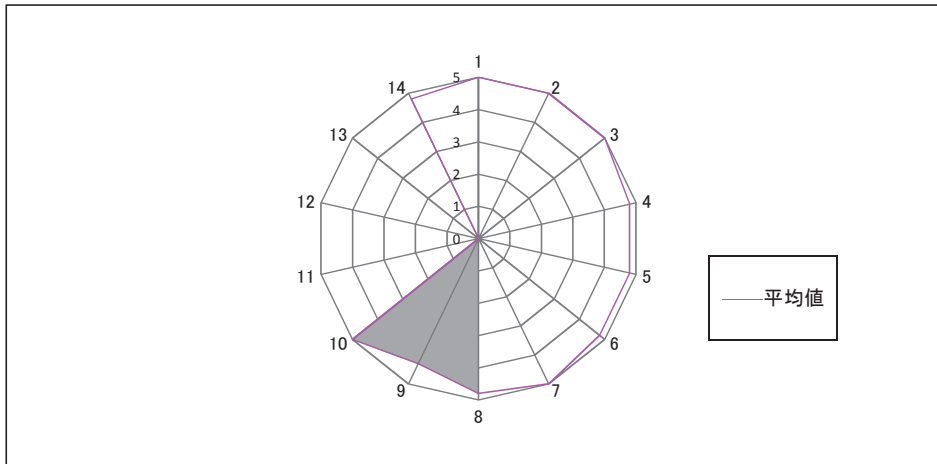
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 設計製図  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 畑中 伸夫

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



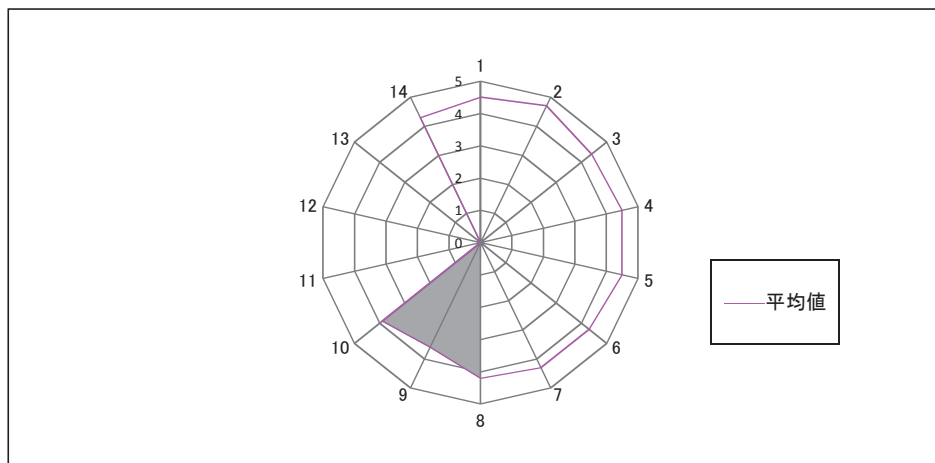
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電気工学  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



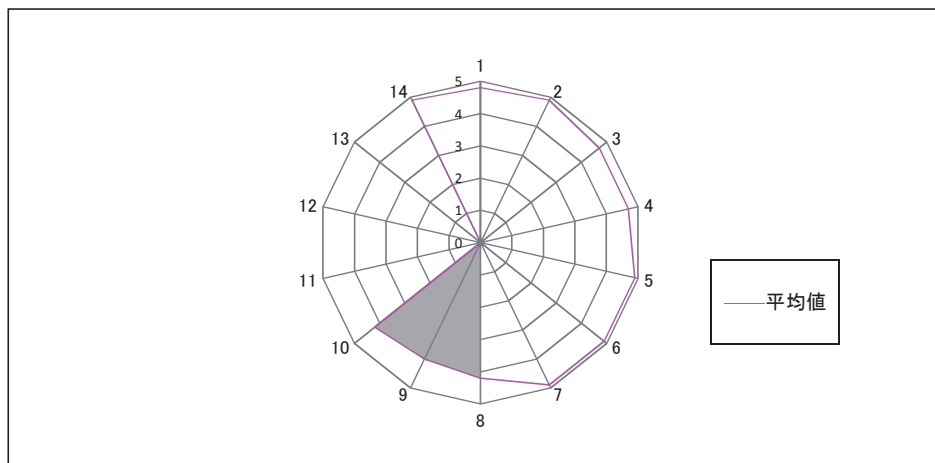
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電子工学  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	2	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	2	3	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	3	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



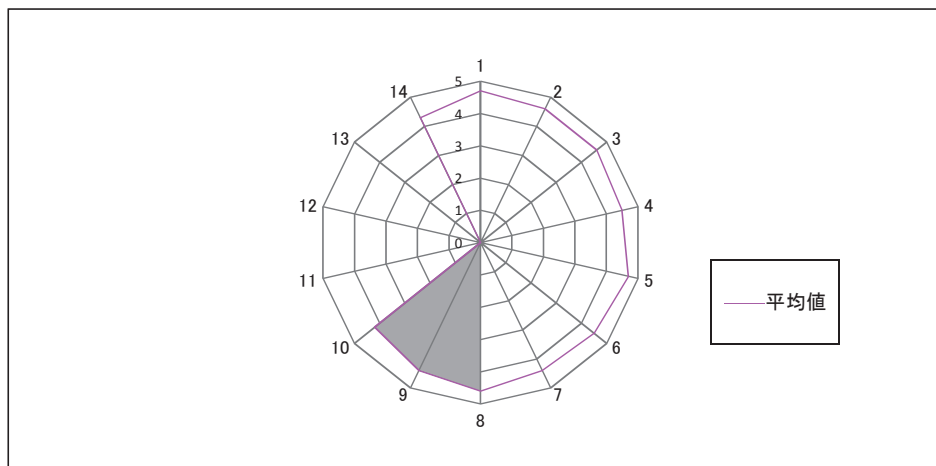
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報技術基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	6	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	5	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	6	1	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	7	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	4	1	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	6	2	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	8	0	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	6	1	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	7	2	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	5	1	1	1	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	6	1	0	1	1	4.3



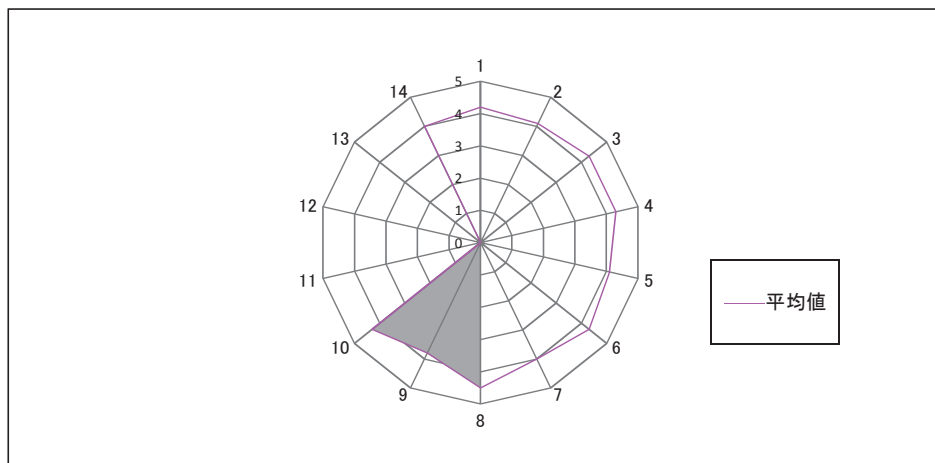
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報処理  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



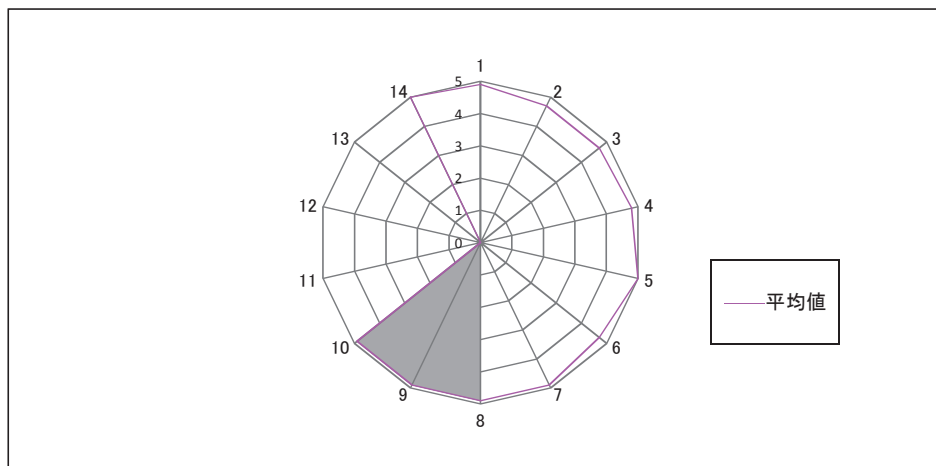
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 栽培(実習を含む。)  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 金磯 泰雄

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	1	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	1	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	2	1	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	2	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	1	0	0	0	1	5.0



総合評価 4.8

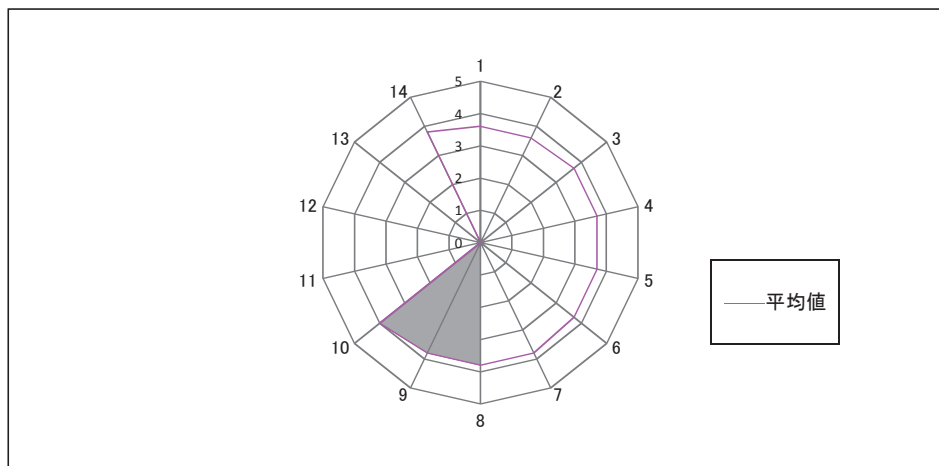
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 職業指導  
 評価実施日 平成27年8月26日  
 担当教員名 城 仁士

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.8



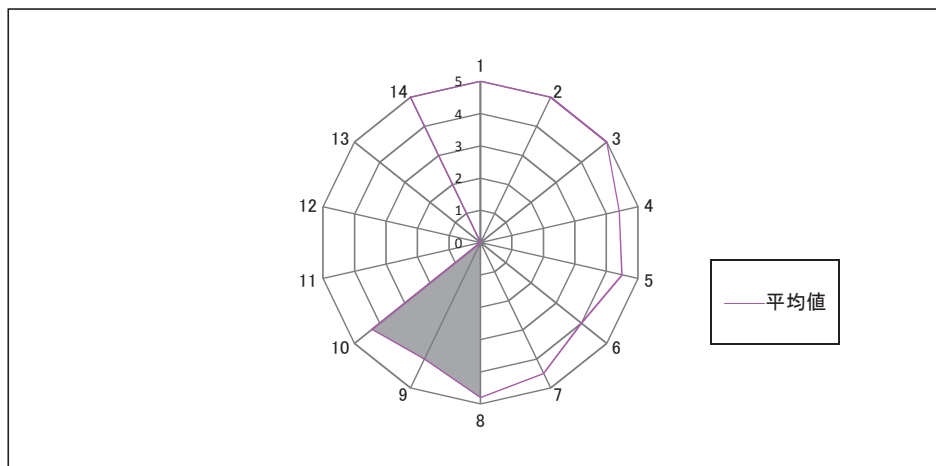
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報エレクトロニクスとコンピュータ  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 宮本 賢治, 伊藤 陽介

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



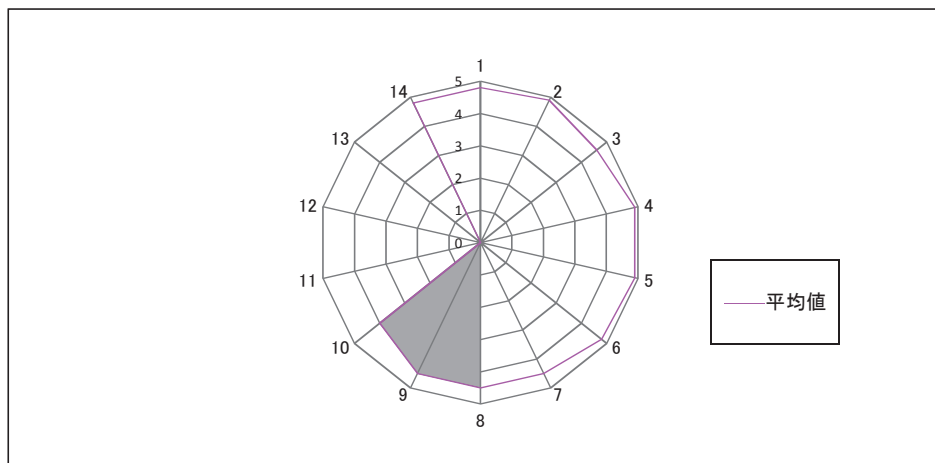
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 情報回路(実習を含む。)  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	1	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	0	2	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	2	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.8



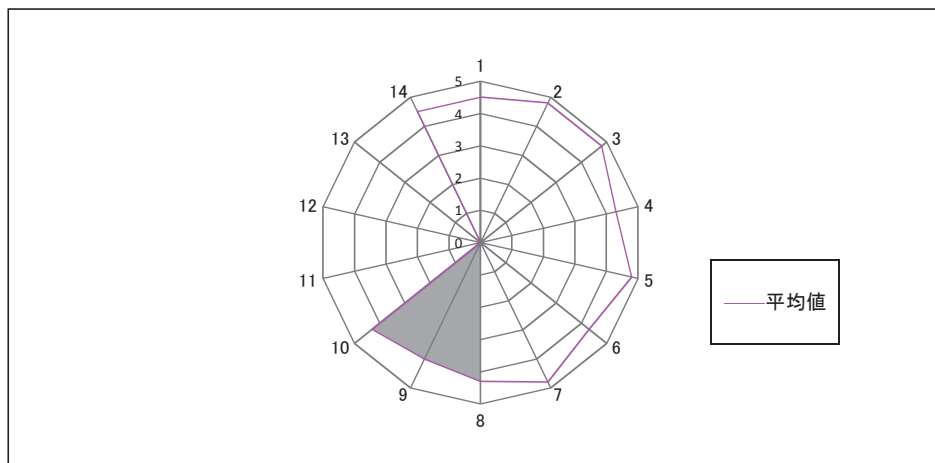
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報技術(実習を含む。)  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	1	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



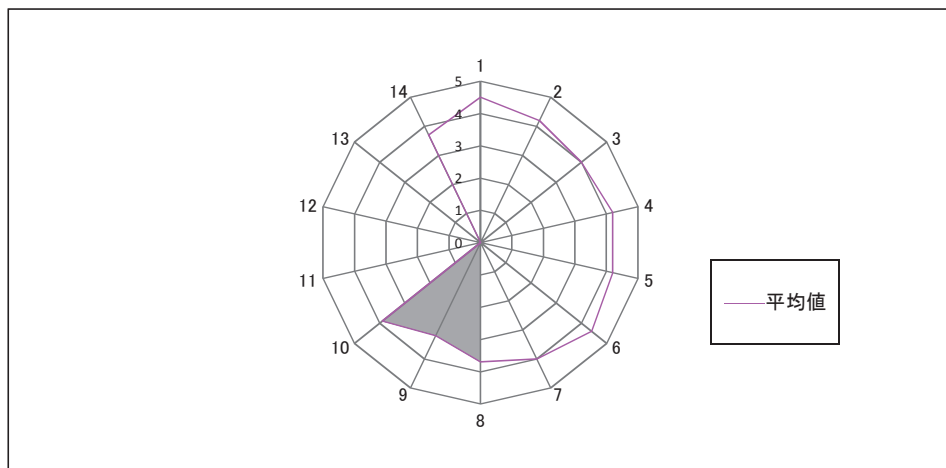
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報通信(実習を含む。)  
 評価実施日 平成27年7月21日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.7



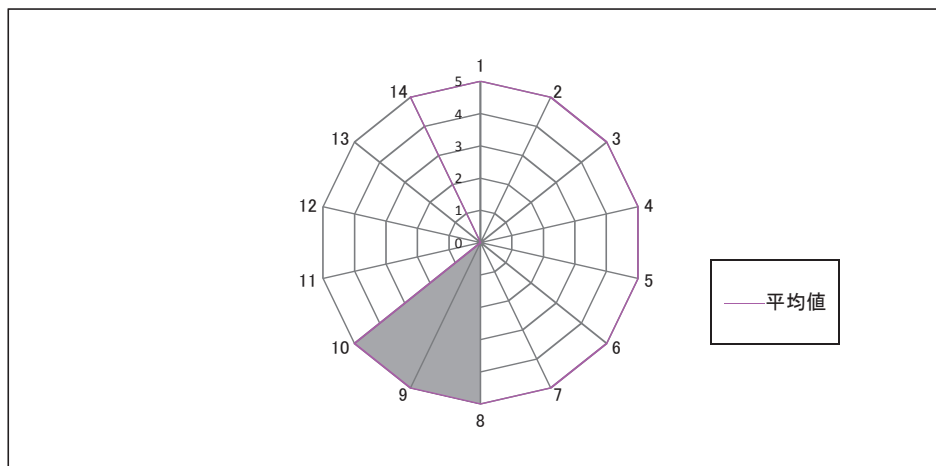
**総合評価** 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 マルチメディアと教育技術(実習を含む。)  
 評価実施日 平成27年8月26日  
 担当教員名 林 秀彦

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



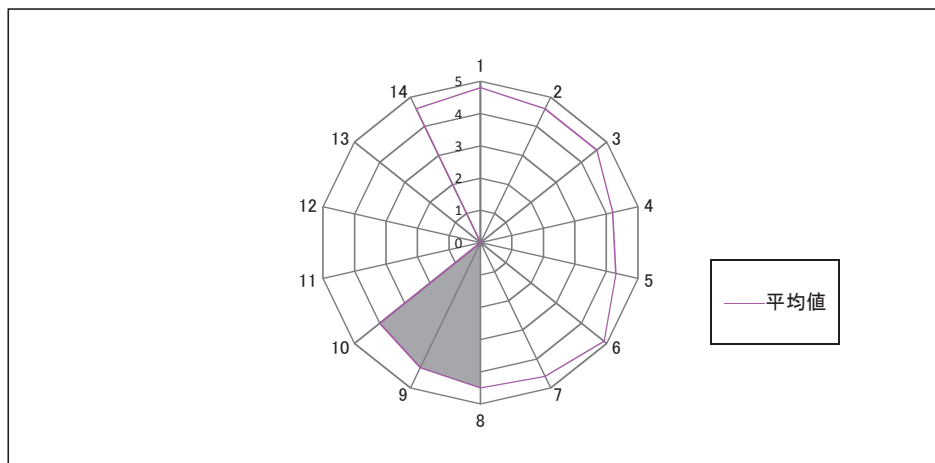
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家族論  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	1	0	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	2	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	3	0	0	0	0	4.6



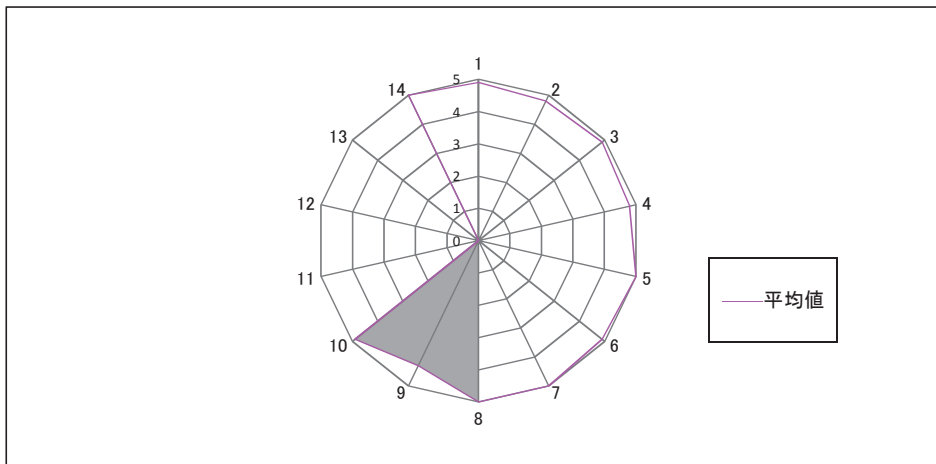
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 被服学概論(被服製作実習を含む。)  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 福井 典代

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



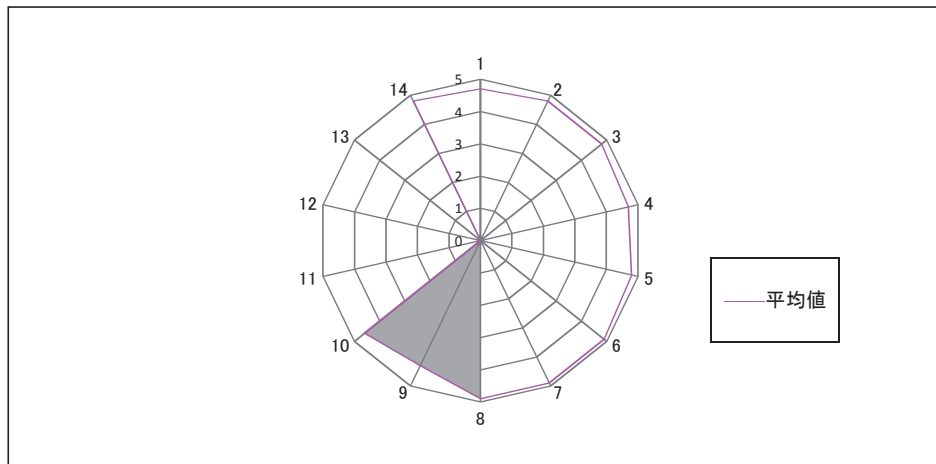
授業科目名 食物学概論(栄養学,食品学及び調理実習を含む)

評価実施日 平成27年8月6日

担当教員名 西川 和孝, 松永 哲郎

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は,シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.8



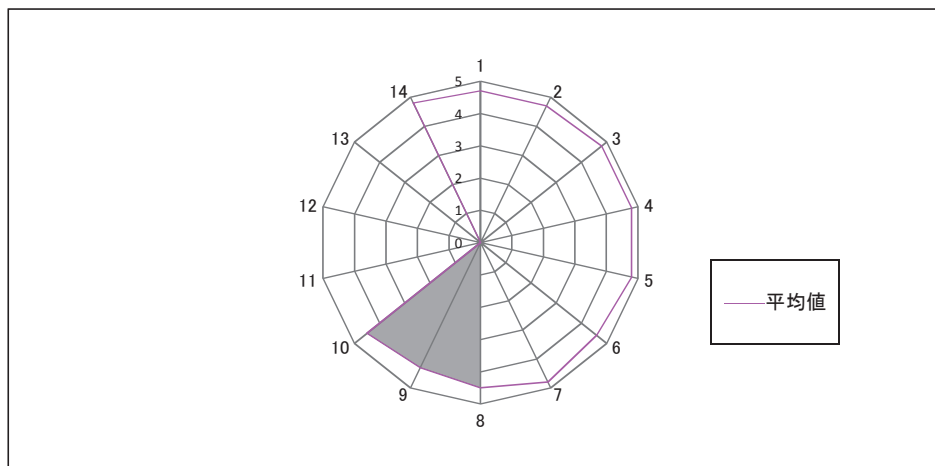
総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 食品学  
 評価実施日 平成27年8月6日  
 担当教員名 松永 哲郎

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



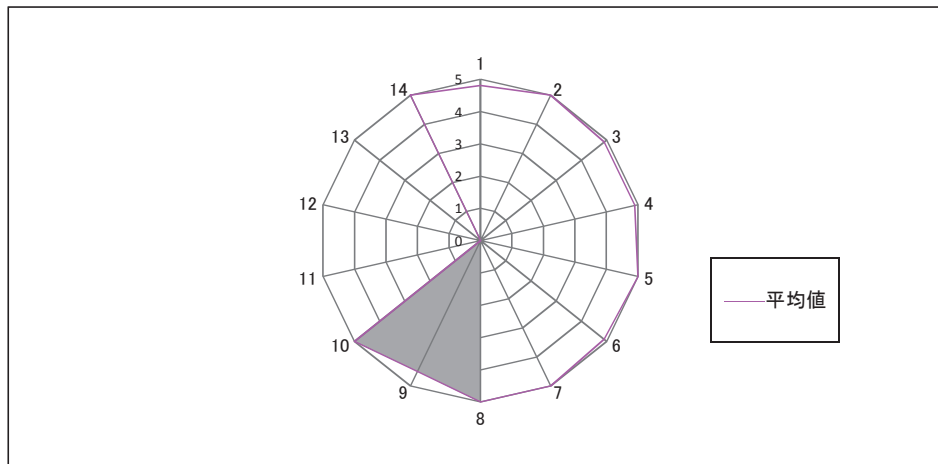
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 調理実習  
 評価実施日 平成27年6月11日  
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



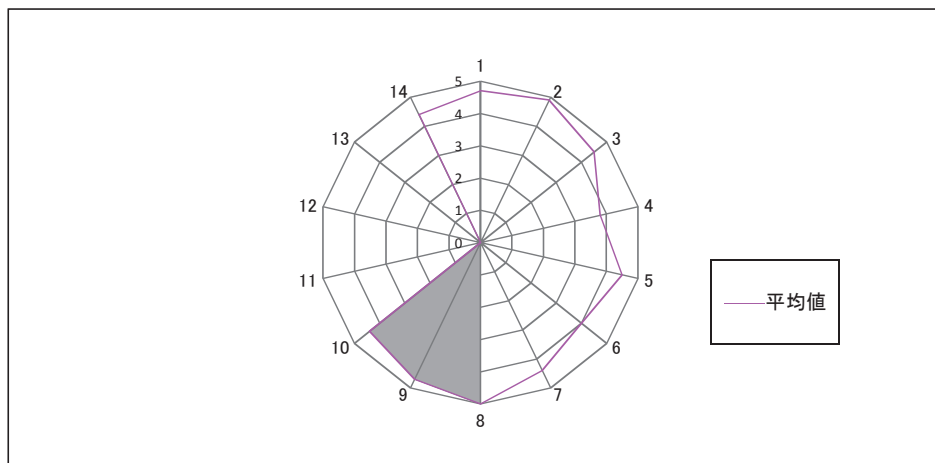
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住生活学  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



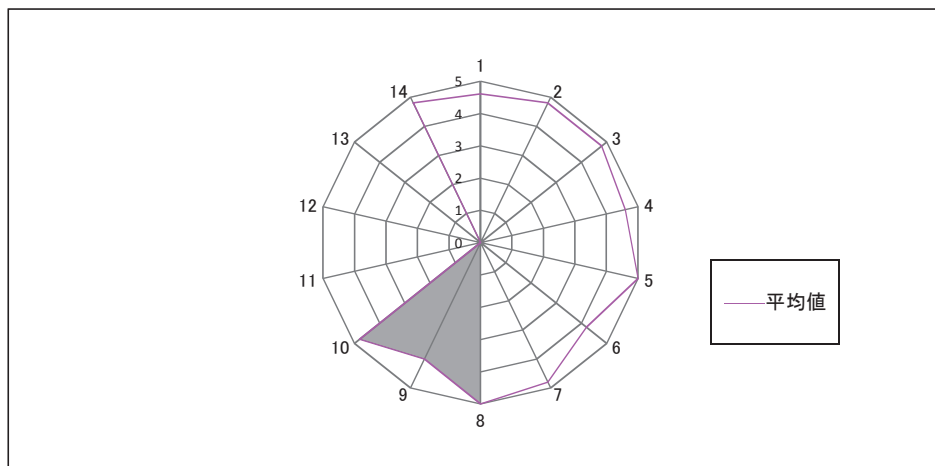
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会福祉論  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



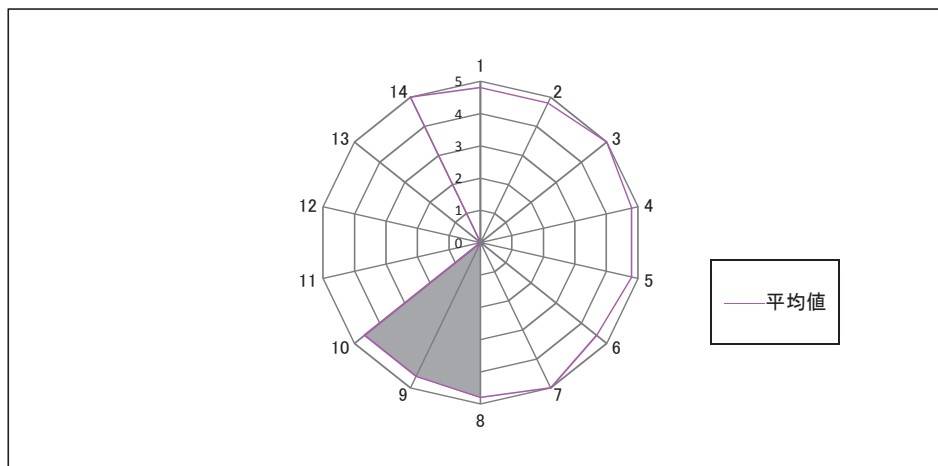
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 児童家庭福祉論  
 評価実施日 平成27年7月28日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



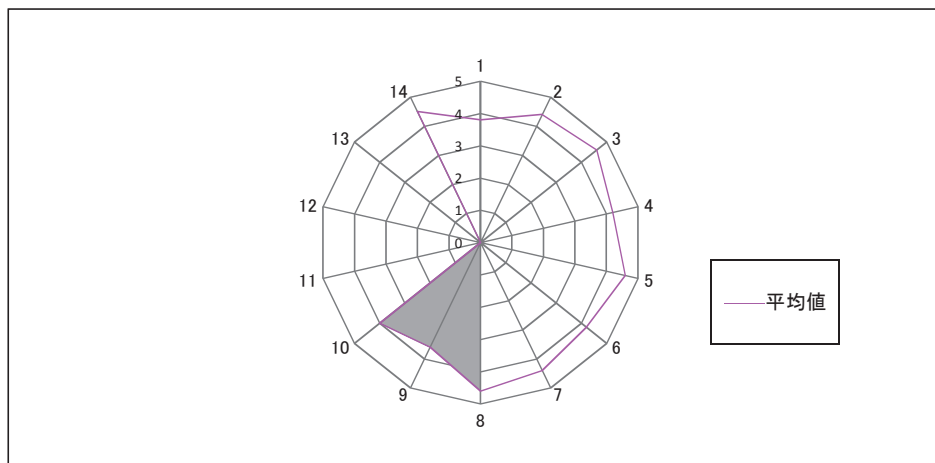
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの保健Ⅱ  
 評価実施日 平成27年5月19日  
 担当教員名 小川 由紀子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



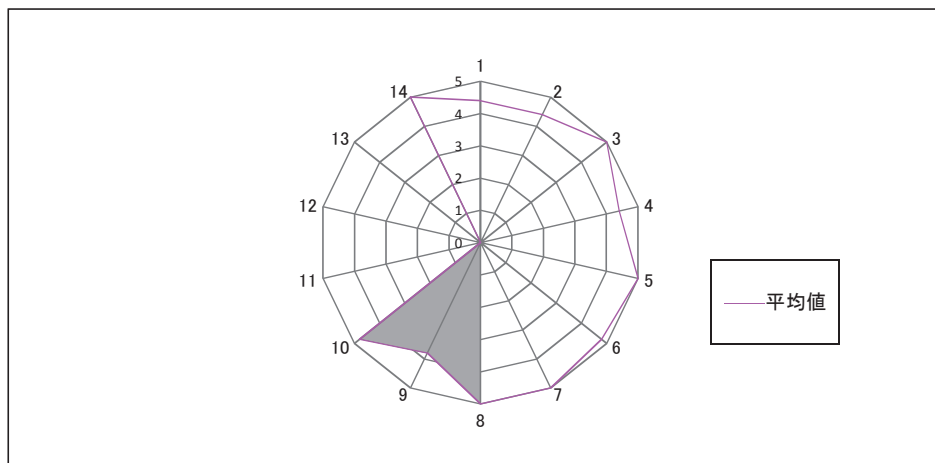
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳児保育  
 評価実施日 平成27年7月29日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.8**

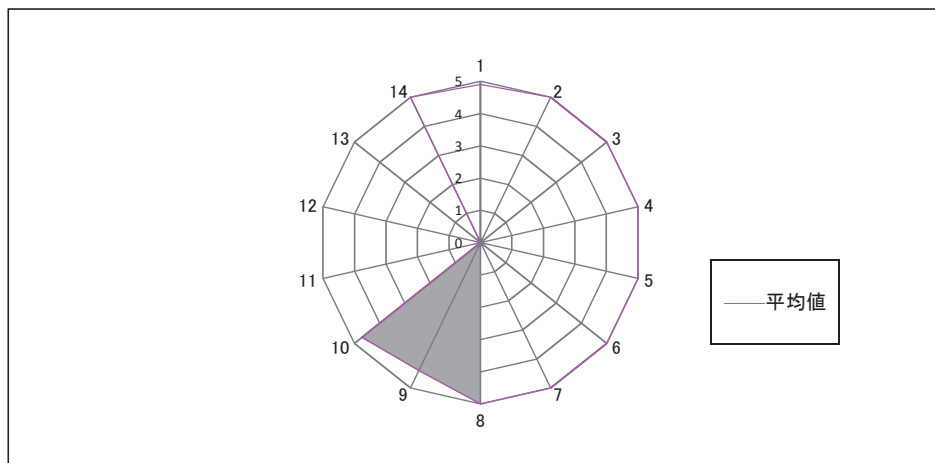
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 家庭支援論  
 評価実施日 平成27年8月24日  
 担当教員名 田辺 昌吾

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



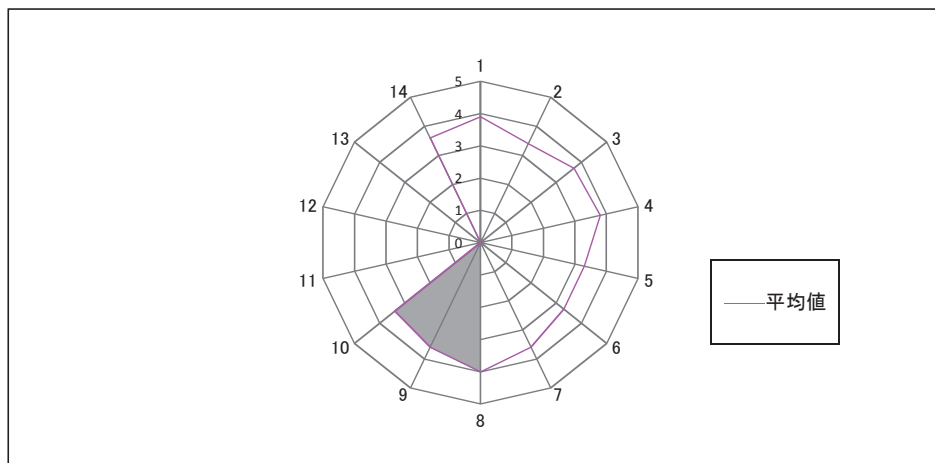
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害者の生理・病理  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 田中 淳一

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	6	5	0	2	0	3.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	7	2	3	0	3.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	7	5	0	3	0	3.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	6	5	1	2	0	3.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	3	6	3	3	0	3.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	5	5	2	4	0	3.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	5	3	2	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	6	4	1	1	0	4.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	3	9	2	1	0	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	10	1	2	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	7	3	1	3	1	3.6



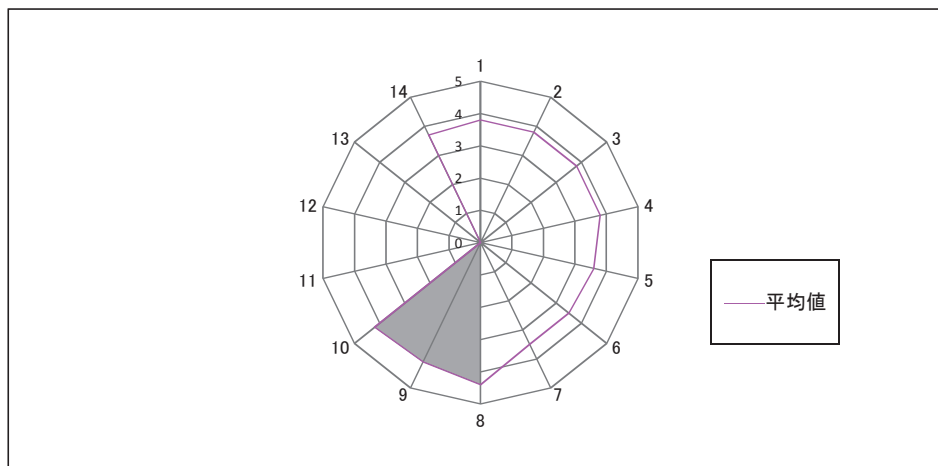
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 病弱者の心理・生理・病理  
 評価実施日 平成27年7月27日  
 担当教員名 津田 芳見

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.7



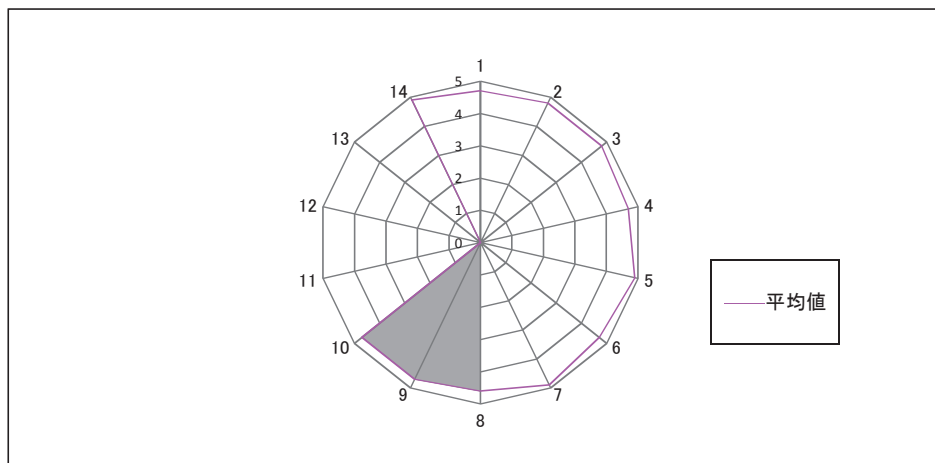
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等教育総論  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 井上 とも子

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



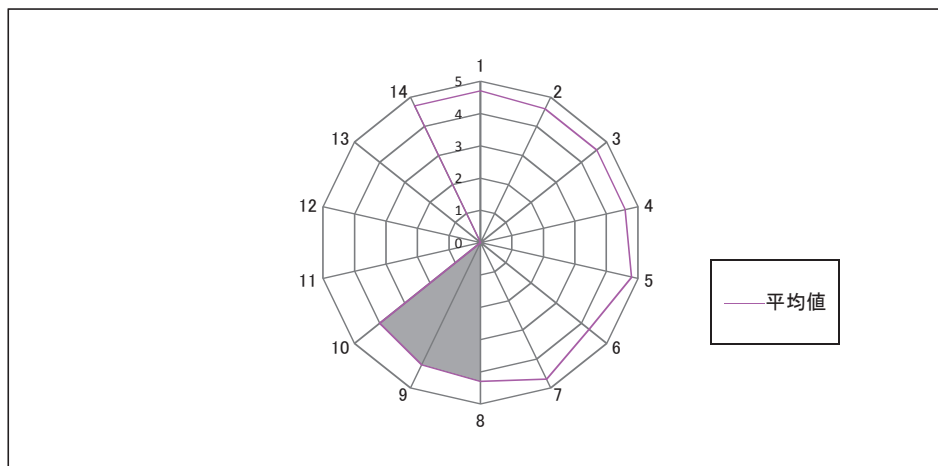
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 視覚障害者の心理・生理・病理  
 評価実施日 平成27年7月30日  
 担当教員名 高原 光恵

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



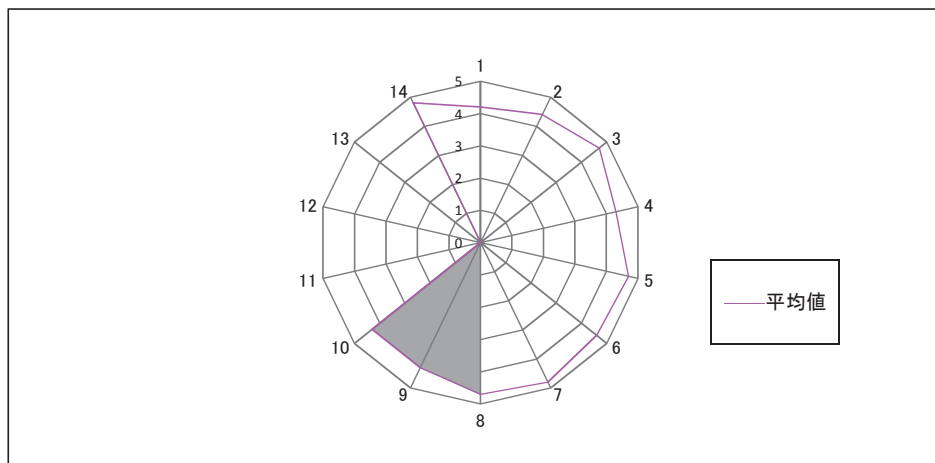
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 視覚障害者教育論  
 評価実施日 平成27年8月30日  
 担当教員名 牟田口 辰巳

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



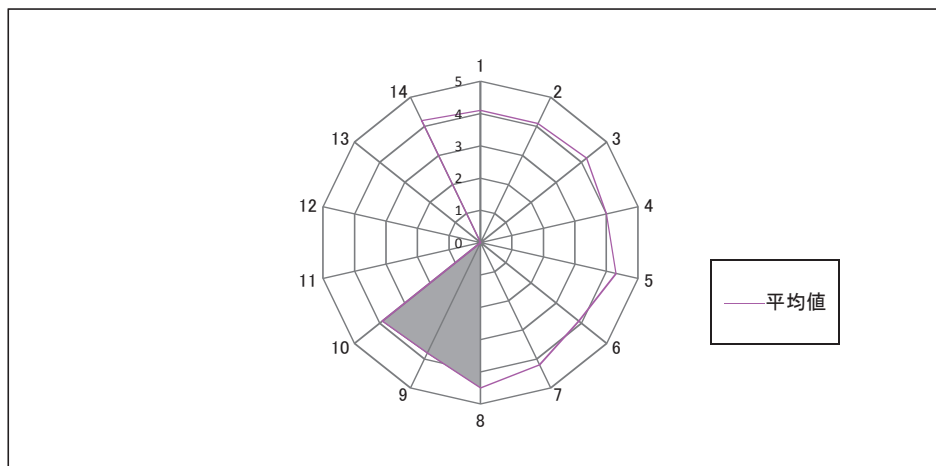
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者の心理・生理・病理  
 評価実施日 平成27年8月30日  
 担当教員名 宇高 二良

回答者数 32名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



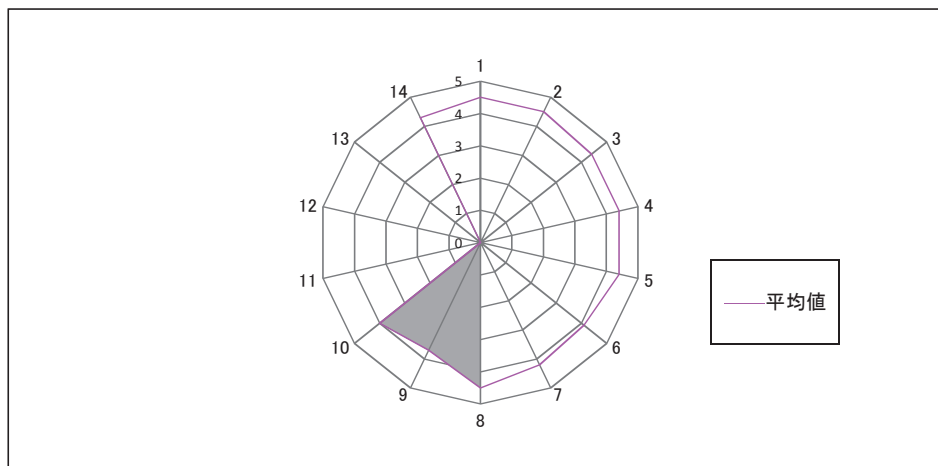
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校経営と学校図書館  
 評価実施日 平成27年7月31日  
 担当教員名 谷木 由利

回答者数 46名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	24	18	4	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	19	3	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	23	16	6	0	0	1	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	23	17	5	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	18	7	0	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	18	7	3	1	0	4.1
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	16	9	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	25	16	4	1	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	15	8	13	10	0	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	13	11	4	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	20	16	8	0	0	2	4.3



総合評価 **4.4**

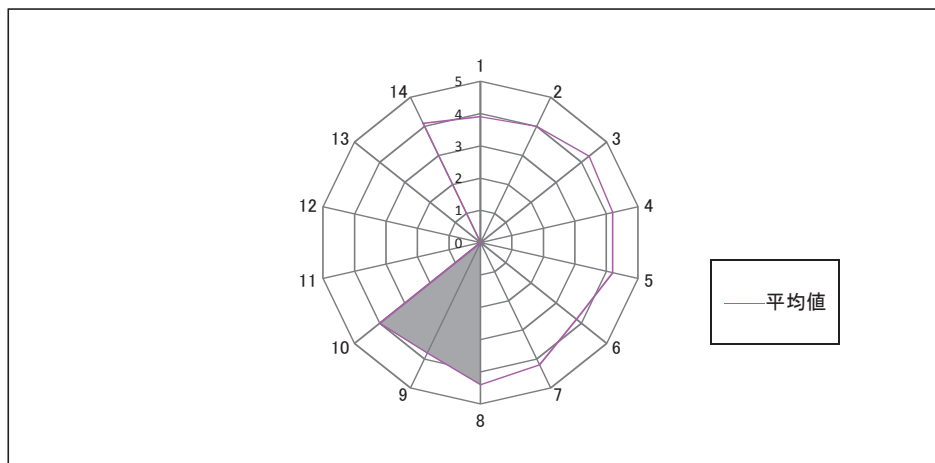
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 生涯学習論  
 評価実施日 平成27年8月30日  
 担当教員名 立田 慶裕

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	4	3	1	0	0	3.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	4	2	1	0	0	4.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	1	1	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	3	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	2	1	0	0	4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	3	3	1	0	1	3.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	6	0	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	2	1	1	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	5	3	1	0	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	4	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	4	1	0	1	0	4.1



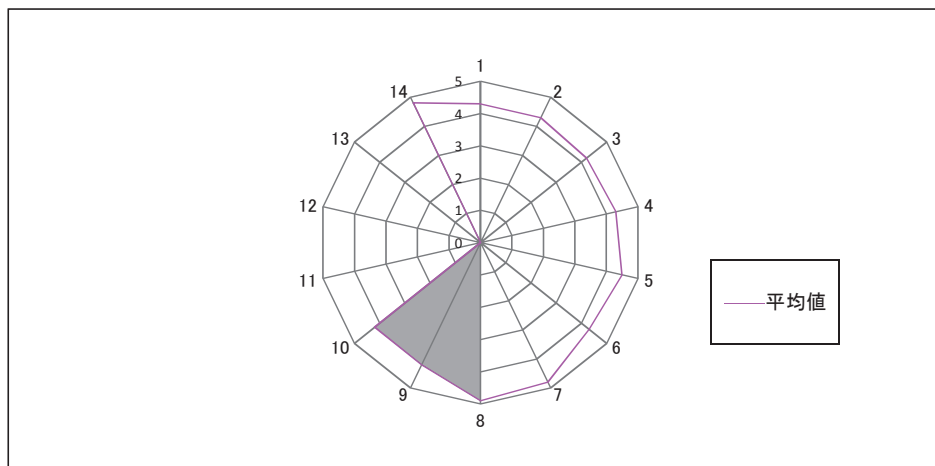
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 博物館概論  
 評価実施日 平成27年7月24日  
 担当教員名 町田 哲

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



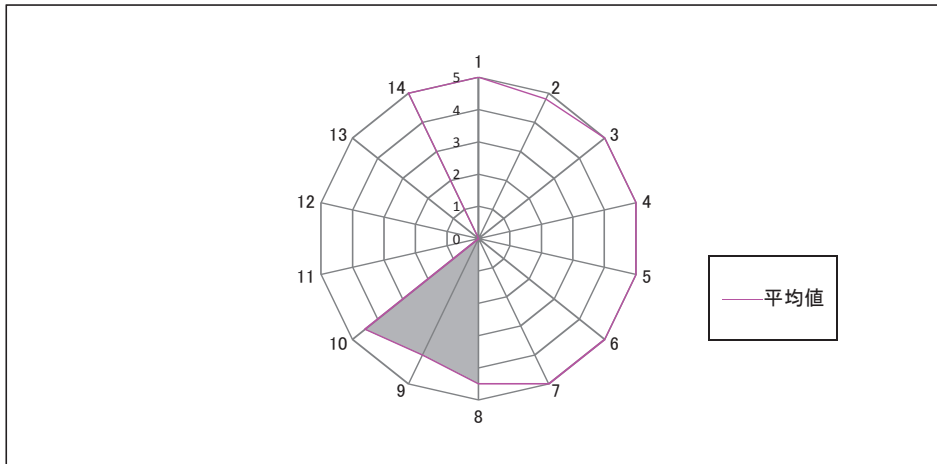
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校と人間形成  
 評価実施日 平成28年2月1日  
 担当教員名 木内 陽一

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



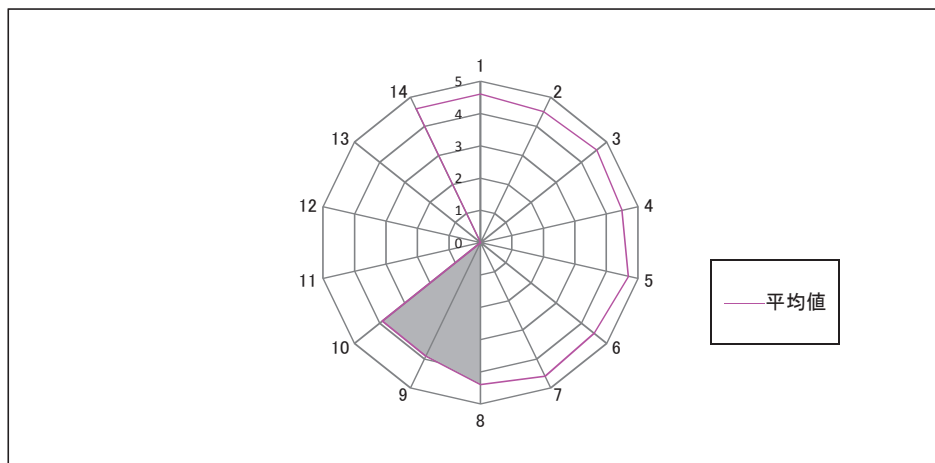
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校の危機管理  
 評価実施日 平成28年1月25日  
 担当教員名 阪根 健二

回答者数 79名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	48	24	7	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	46	25	8	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	50	21	8	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	42	26	10	0	0	1	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	58	15	6	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	48	20	11	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	50	22	6	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	43	21	14	1	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	23	25	26	3	2	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	24	28	22	3	2	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	53	16	8	1	0	1	4.6



総合評価 **4.6**

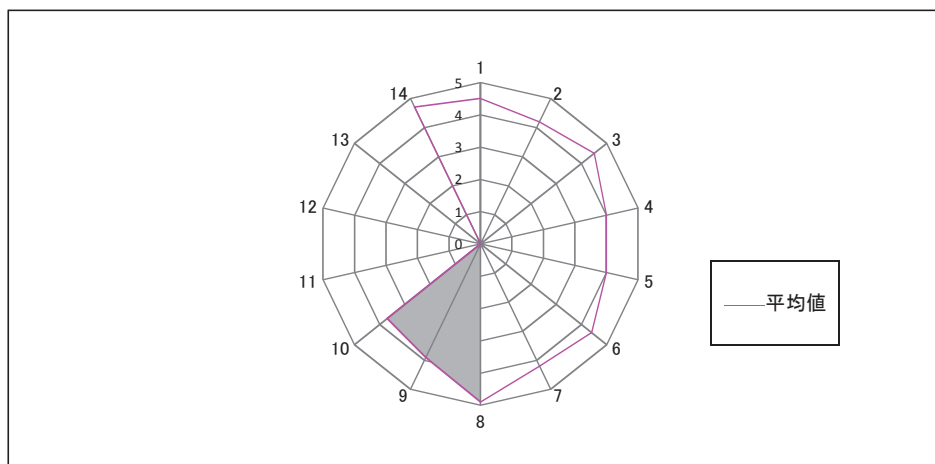
※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 発達臨床心理アセスメント

評価実施日 平成28年2月12日

担当教員名 久米 禎子, 今田 雄三, 栗飯原 良造, 吉井 健治, 中津 郁子, 小倉 正義 回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



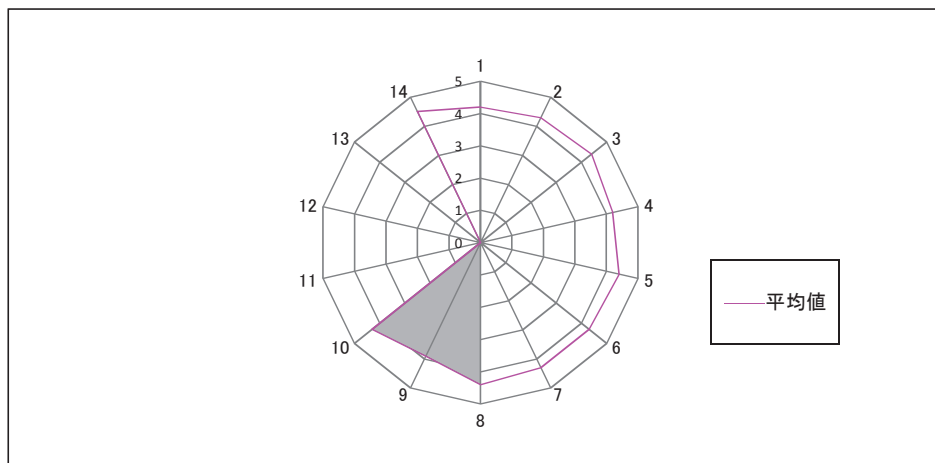
総合評価	4.3
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 総合学習論  
 評価実施日 平成27年12月25日  
 担当教員名 村川 雅弘

回答者数 40名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



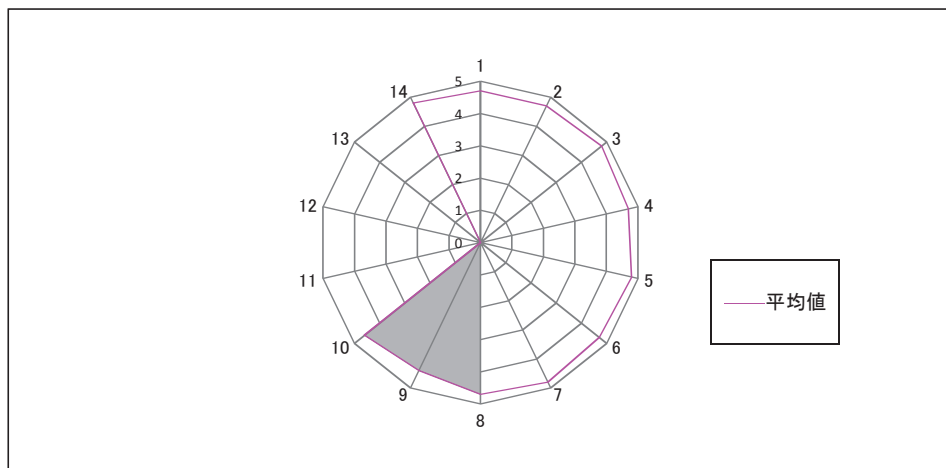
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語A  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 111名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



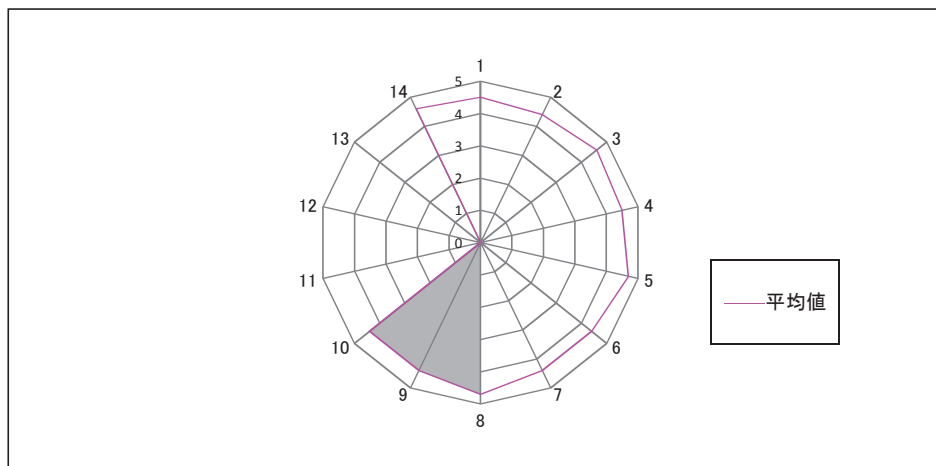
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語B  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



総合評価 **4.5**

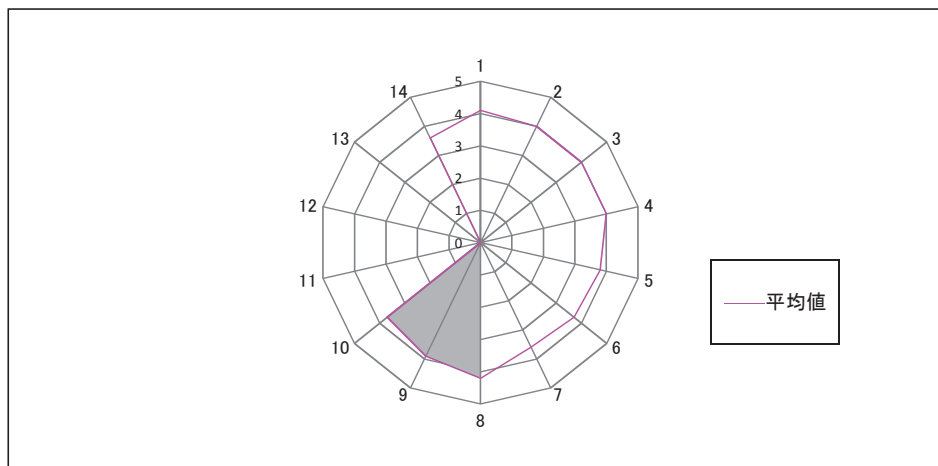
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等理科  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 本田 亮, 武田 清, 村田 守, 佐藤 勝幸

回答者数 76名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.7
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.6



総合評価 **3.9**

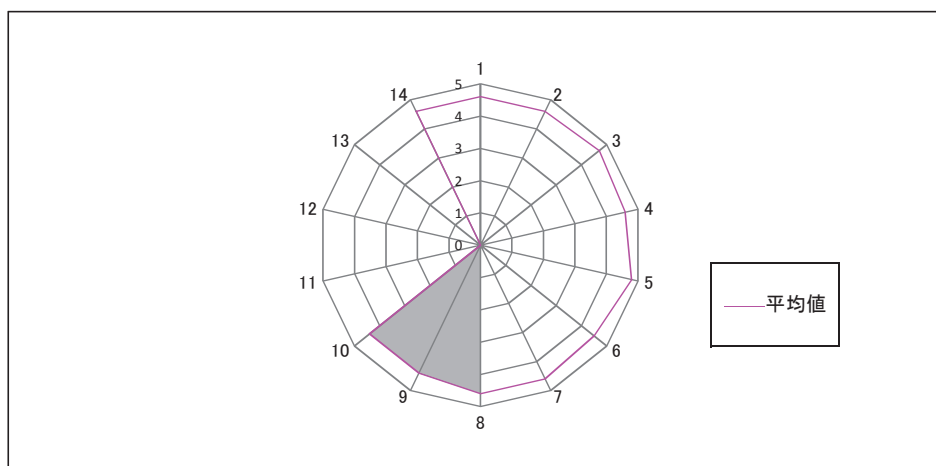
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等音楽 I

評価実施日 平成28年2月12日

担当教員名 山田 啓明, 松岡 貴史, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀  
 憲, 長島 真人, 小山 英恵, 真鍋 美恵 回答者数 106名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6

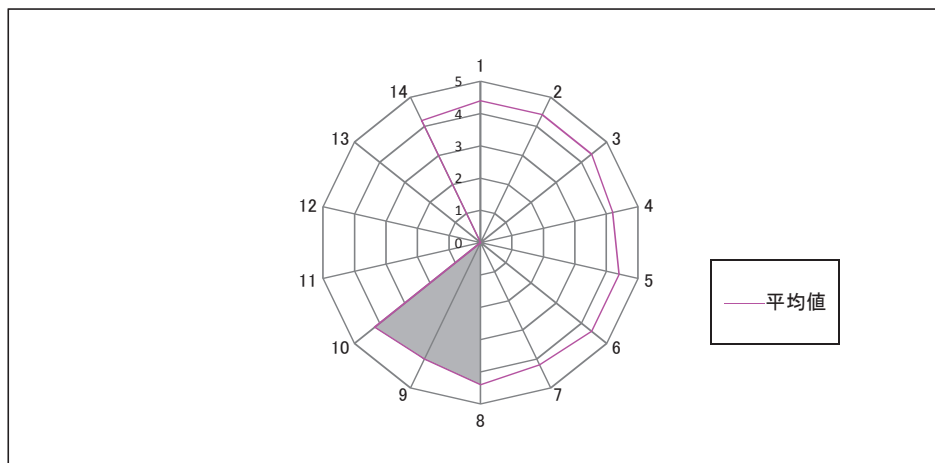


総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等音楽Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月22日  
 担当教員名 山田 啓明, 松岡 貴史, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲 回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



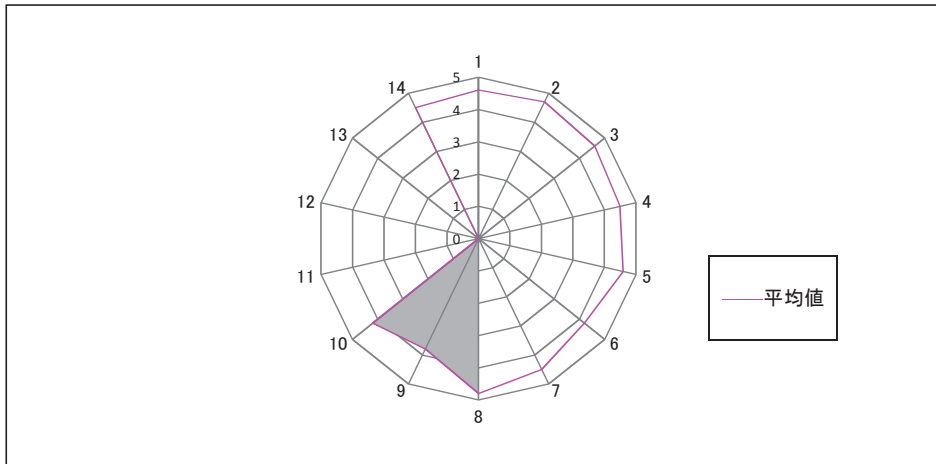
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名          図画工作Ⅱ  
 評価実施日          平成28年2月4日  
 担当教員名          野崎 窮, 内藤 隆

回答者数          12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	6	0	0	1	0	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	1	1	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	4	4	1	0	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	4	3	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	3	1	0	0	2	4.5



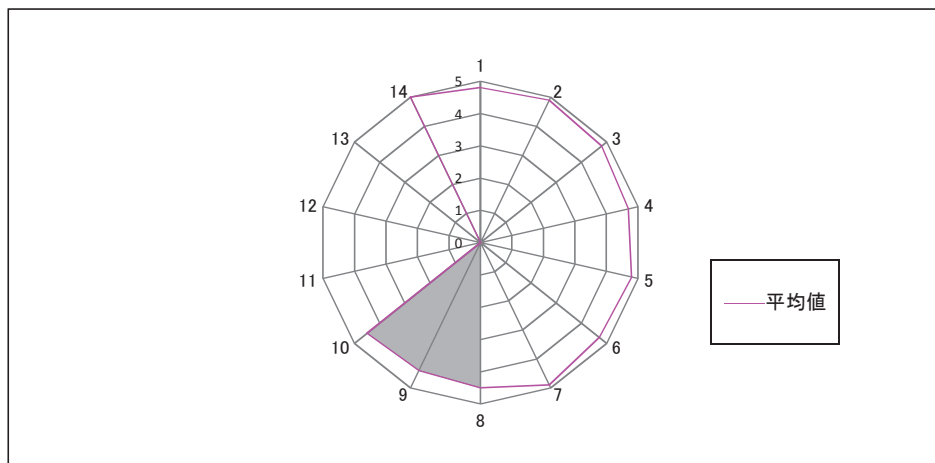
総合評価          4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学 I  
 評価実施日 平成27年12月21日  
 担当教員名 茂木 俊伸

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



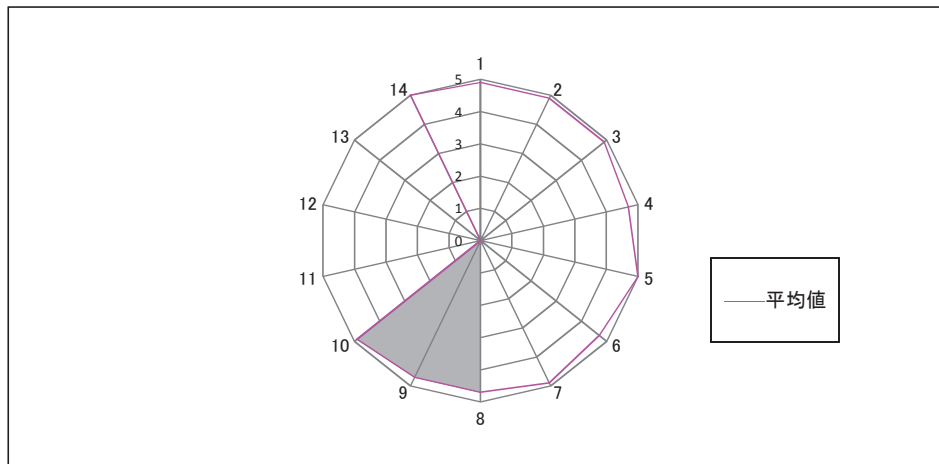
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論 I  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



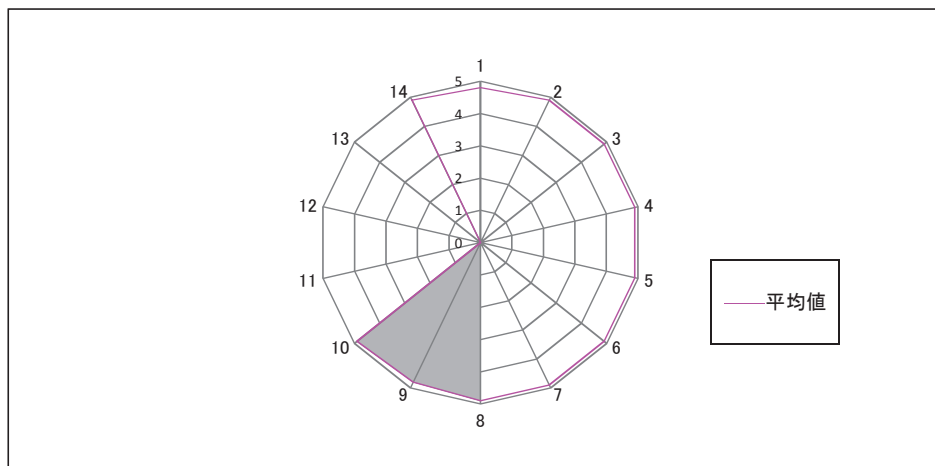
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学概論(国文学史を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 28名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	22	6	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	4	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	24	3	1	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	25	3	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	24	4	0	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	24	3	1	0	0	0	4.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	4	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	25	3	0	0	0	0	4.9
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	22	6	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	23	5	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	21	4	0	0	0	3	4.9



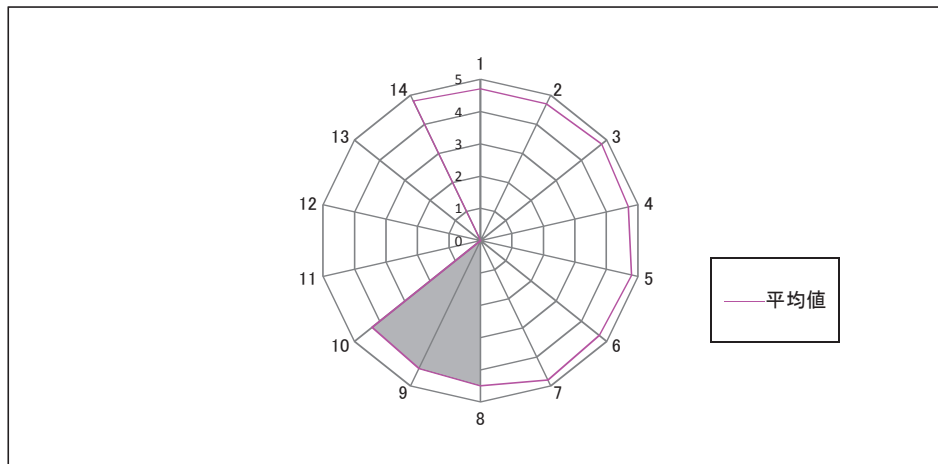
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論 I  
 評価実施日 平成28年2月2日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.8**

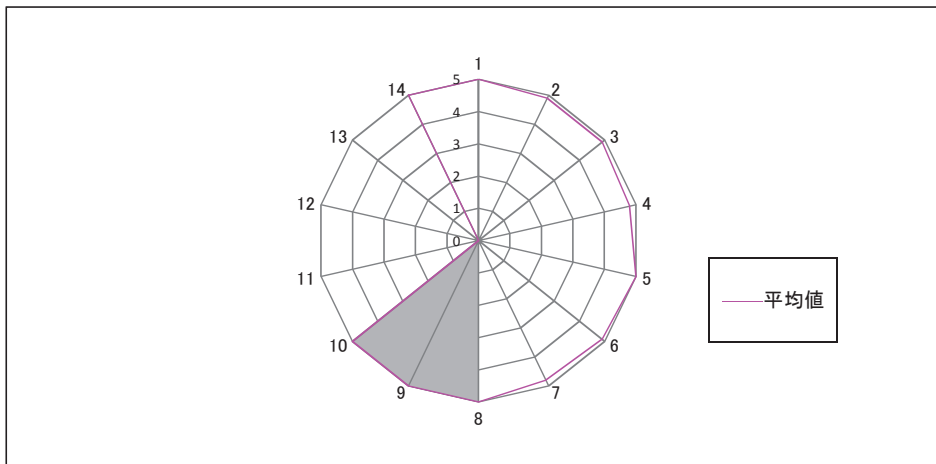
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 小島 明子, 黒田 俊太郎

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



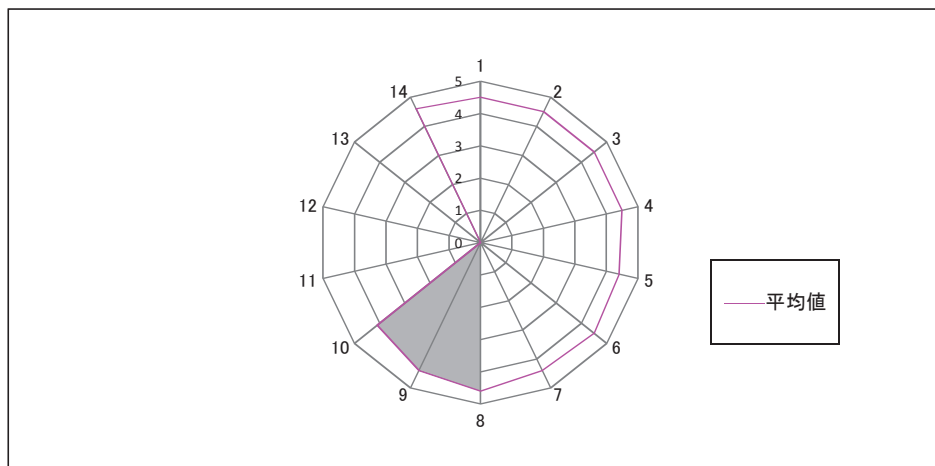
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 漢文学概論  
 評価実施日 平成28年2月22日  
 担当教員名 佐伯 雅宣

回答者数 30名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



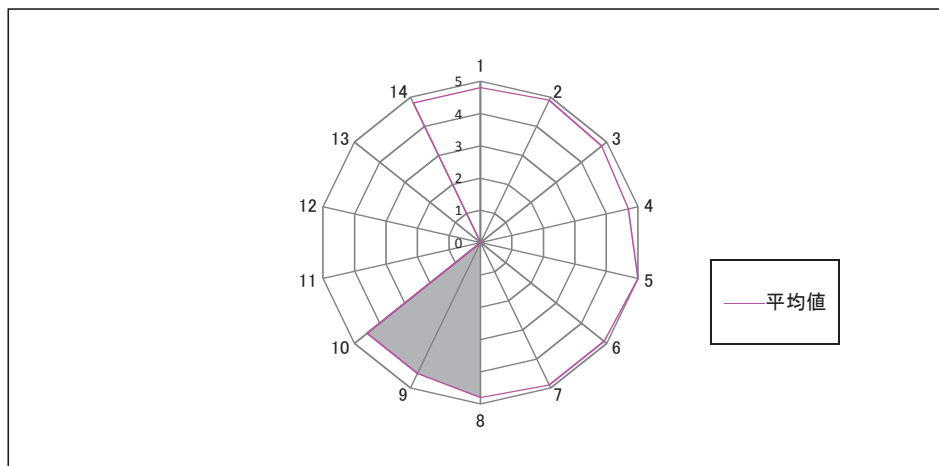
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写 I  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 40名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



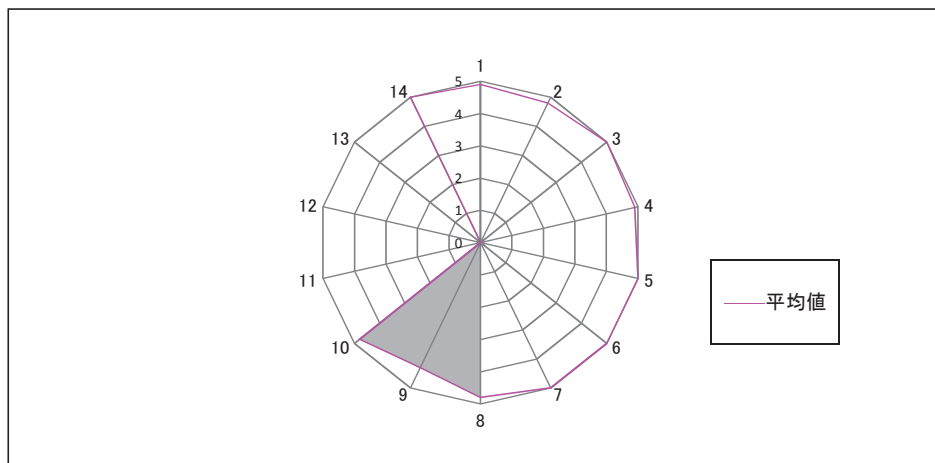
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



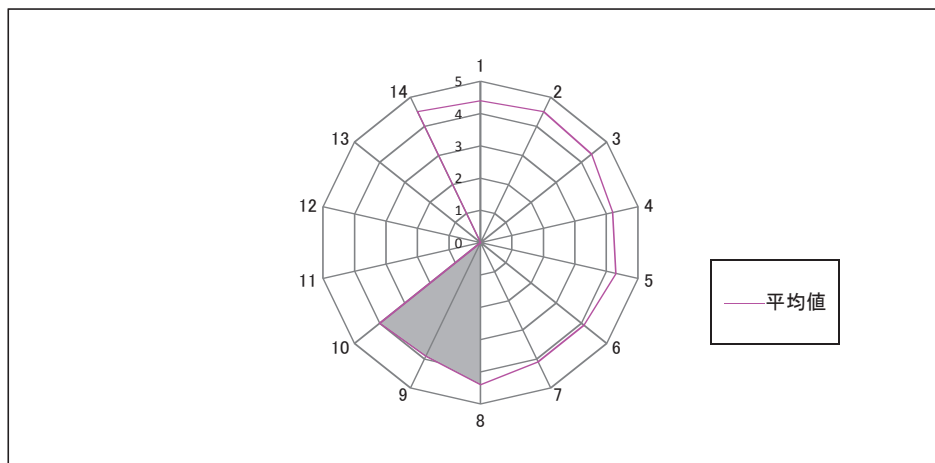
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語音声学  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



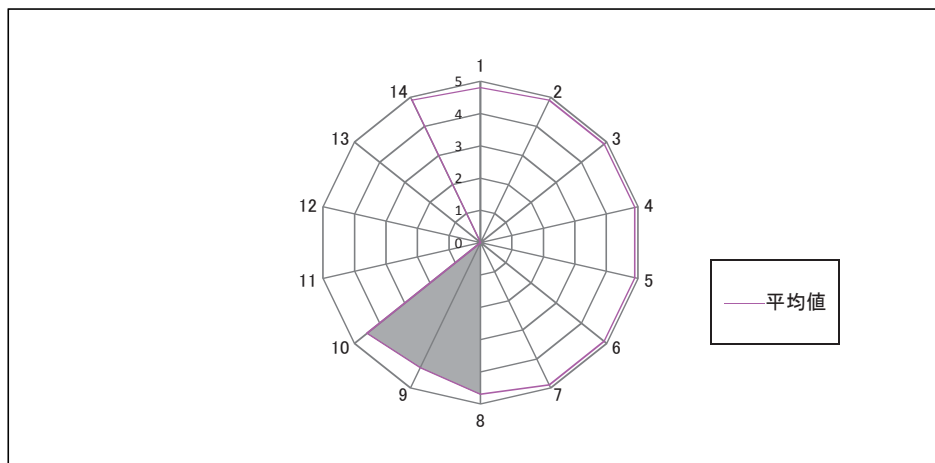
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学研究Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



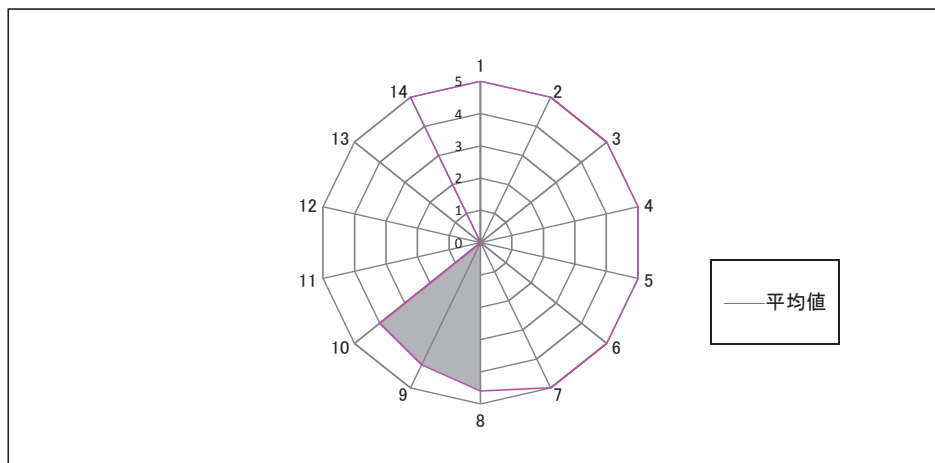
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英米文学研究Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



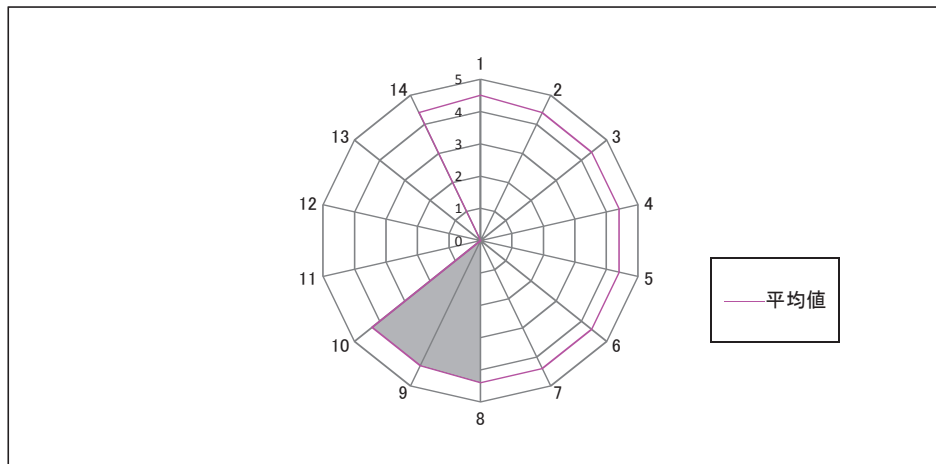
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語オーラルコミュニケーション I  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 26名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 **4.4**

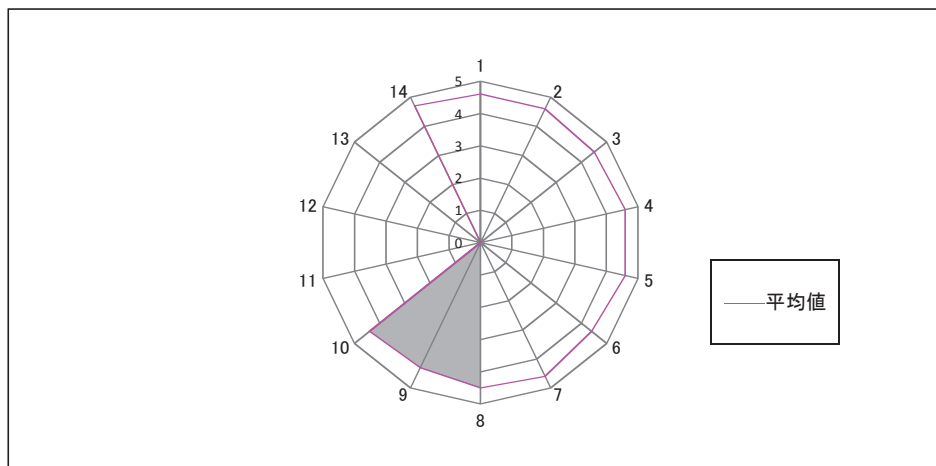
※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 ライティング I  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



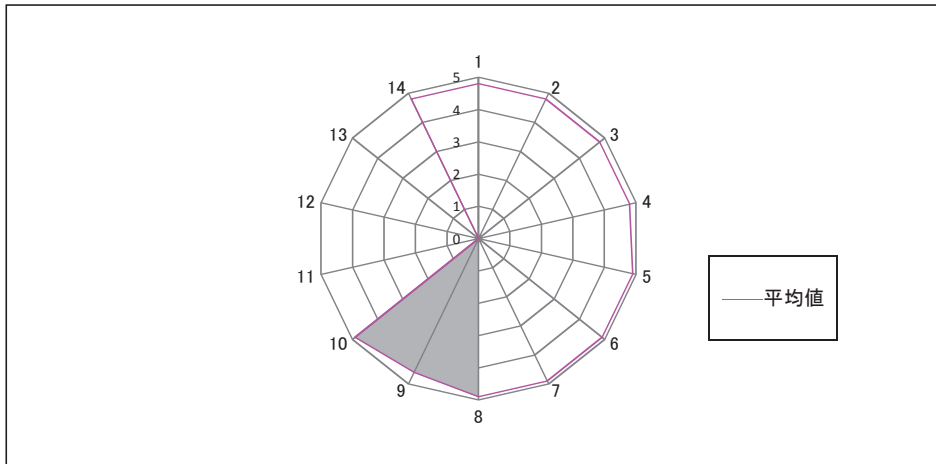
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ライティングⅡ  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



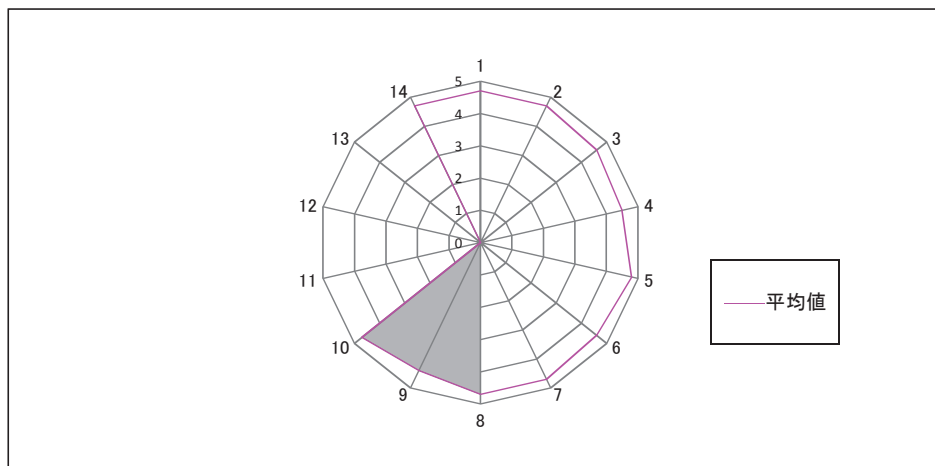
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 比較文化研究 I  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 26名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	6	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	7	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	18	5	3	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	17	6	2	0	1	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	2	2	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	6	3	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	6	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	6	2	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	15	7	3	1	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	6	2	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	6	1	0	0	2	4.7



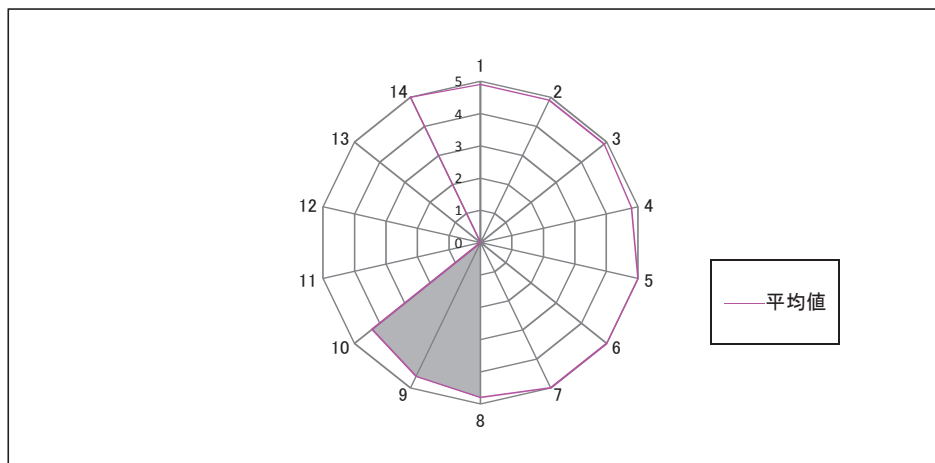
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 外国史特論  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



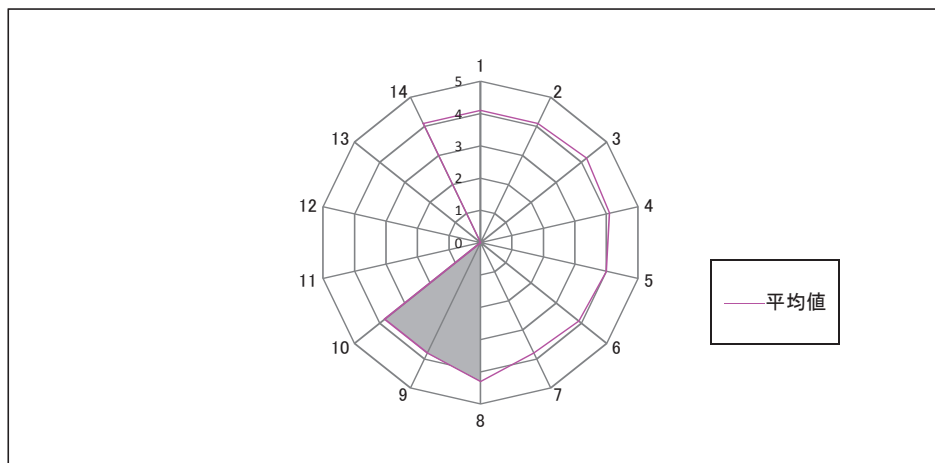
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 考古学  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 菅原 康夫

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



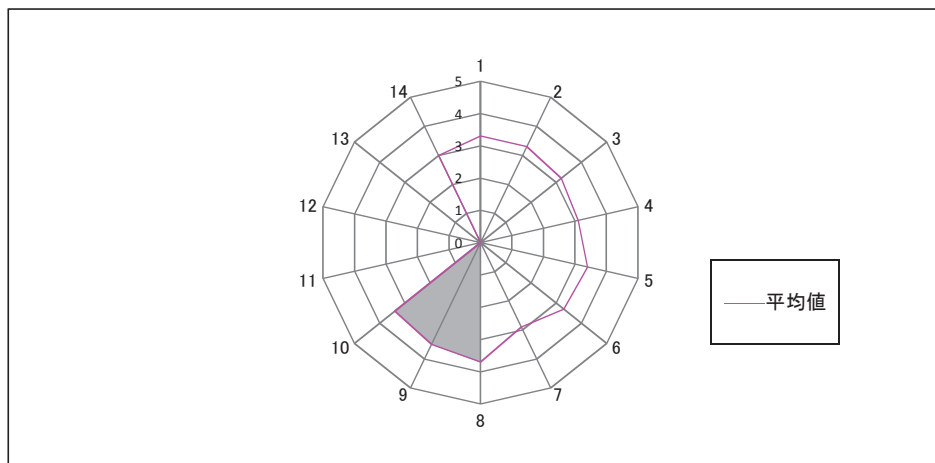
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 自然地理学特論  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 古田 昇

回答者数 40名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.1
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						2.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.0



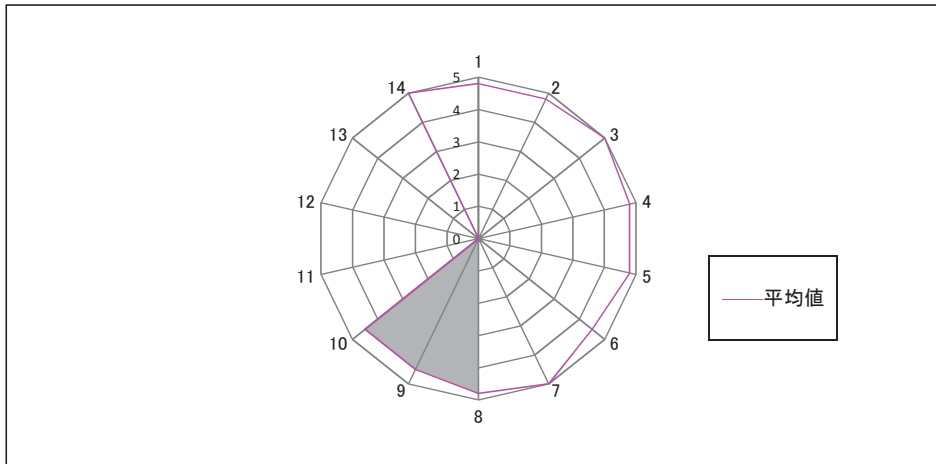
総合評価 **3.2**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理学実習  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 立岡 裕士, 畠山 輝雄

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



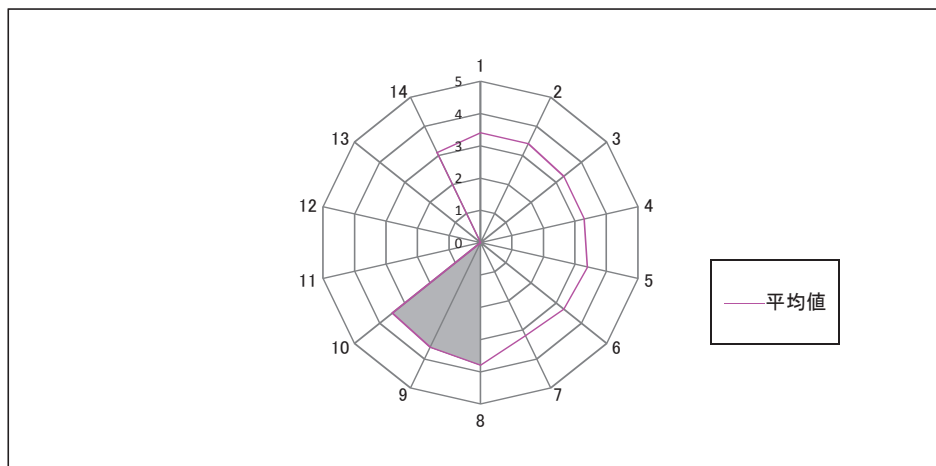
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地誌学概論  
 評価実施日 平成28年2月17日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 38名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.1



総合評価 **3.3**

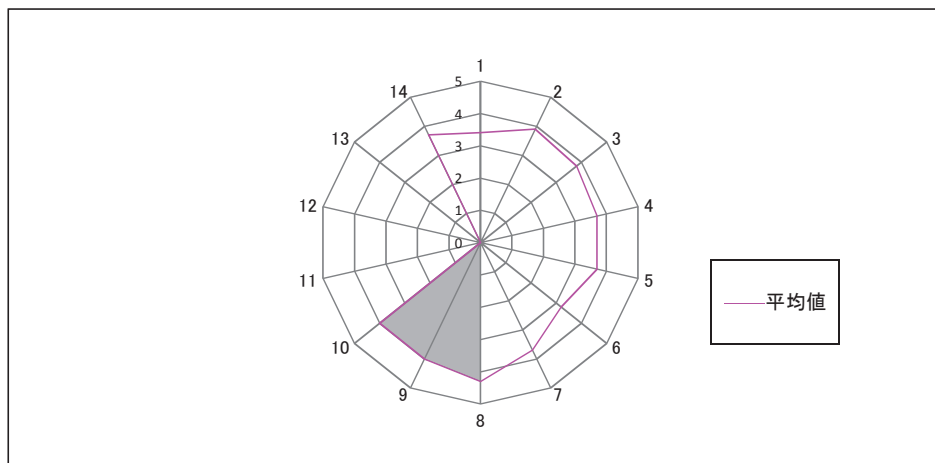
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 地図学概論  
 評価実施日 平成28年2月16日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.7



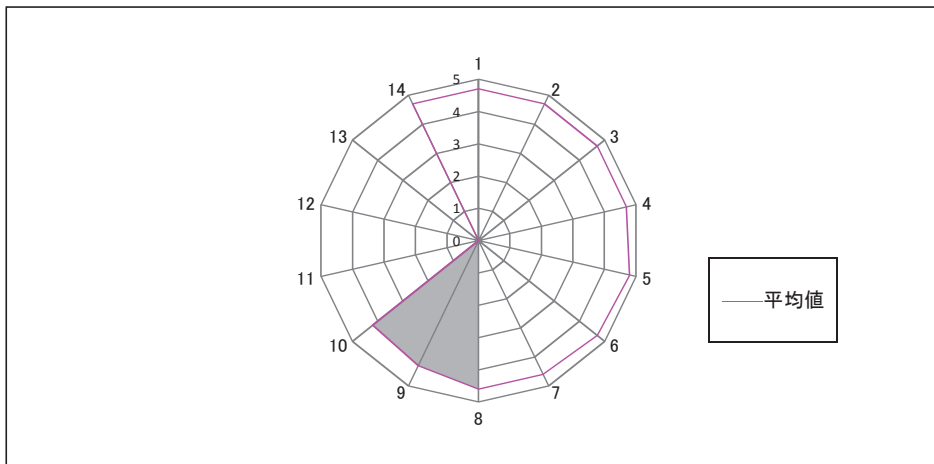
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学概論(国際法を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	12	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	12	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	11	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	20	11	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	23	8	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	21	10	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	9	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	19	9	3	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	15	9	6	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	13	4	0	1	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	20	10	1	0	0	0	4.7



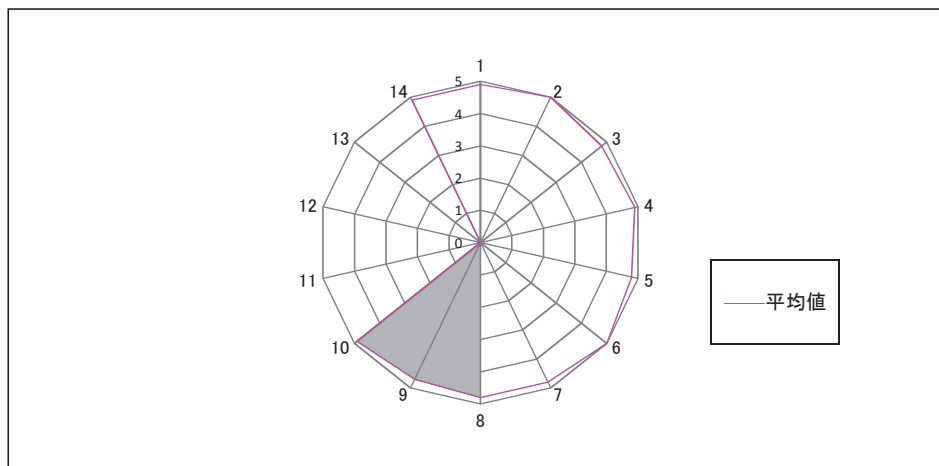
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学演習  
 評価実施日 平成28年2月19日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



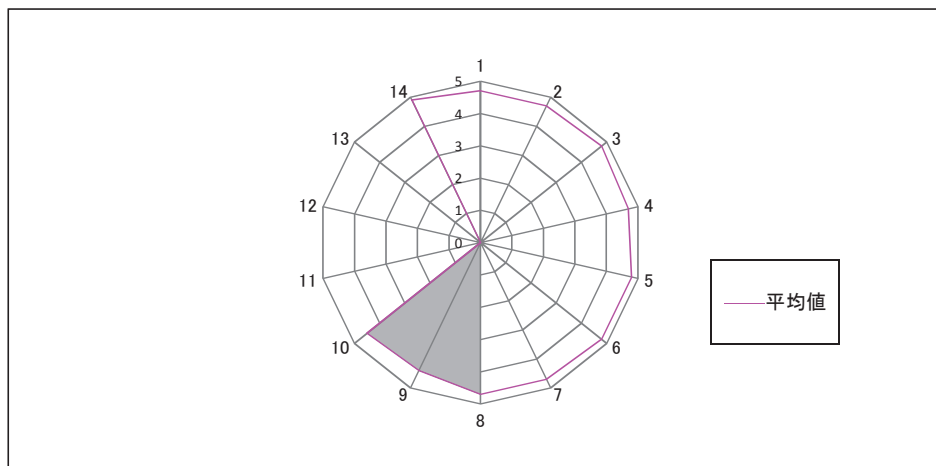
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会学特論  
 評価実施日 平成28年1月19日  
 担当教員名 山本 準

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



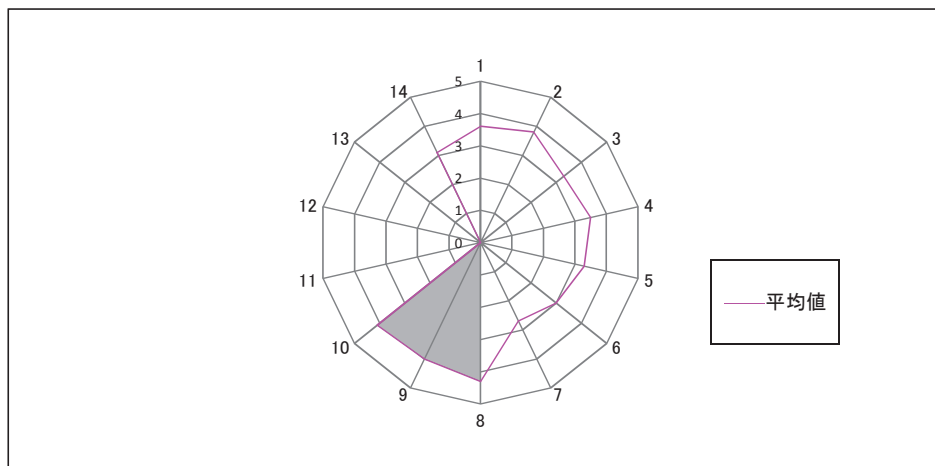
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学 I  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 27名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	10	5	0	5	0	3.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	11	6	0	3	0	3.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	11	6	3	4	0	3.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	9	10	0	3	0	3.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	7	7	3	4	0	3.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	6	8	7	3	0	3.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	6	5	8	6	0	2.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	5	4	1	1	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	10	7	0	1	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	8	4	2	1	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	7	10	2	5	0	3.1



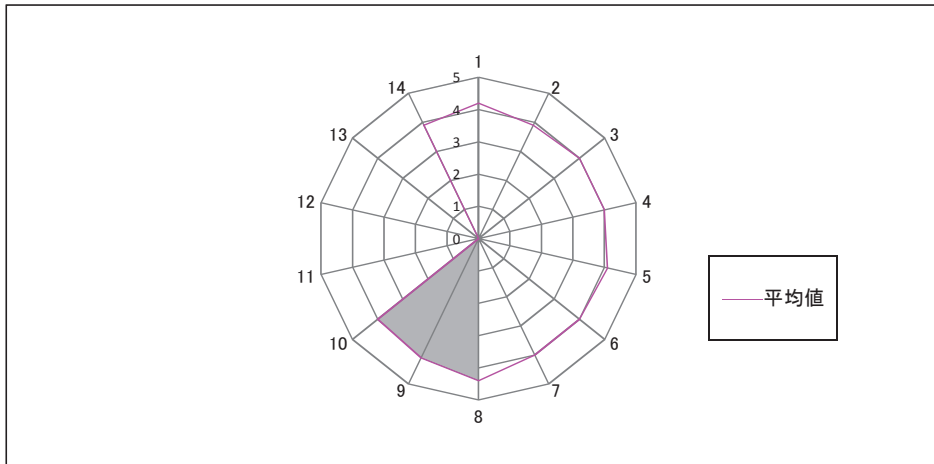
総合評価 **3.3**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学特論  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	3	3	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	5	0	0	0	3.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	4	4	0	0	0	4.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	4	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	4	0	0	0	4.1
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	4	0	0	0	4.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	4	0	0	1	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	3	2	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	2	4	0	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	3	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	4	0	0	2	3.9



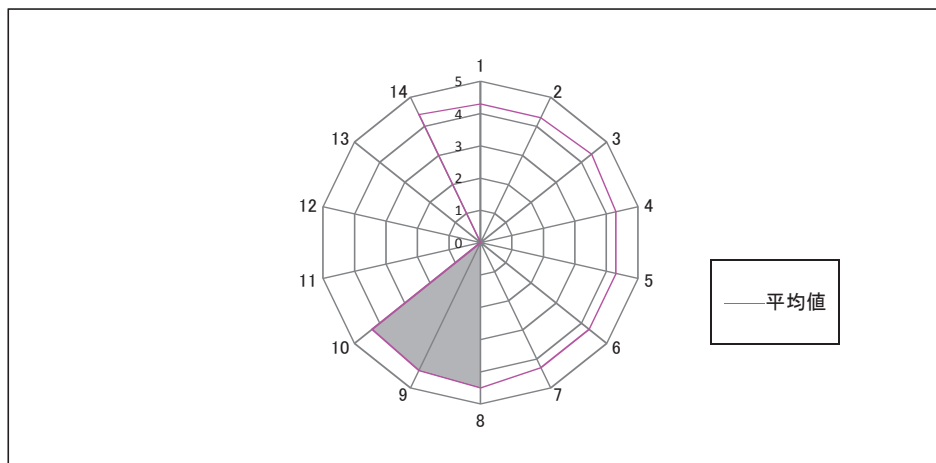
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月3日  
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



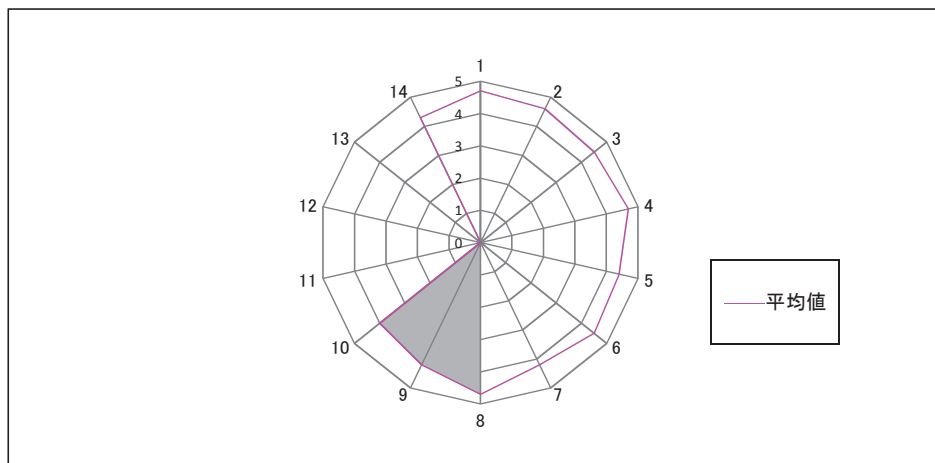
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学 I  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



総合評価 **4.5**

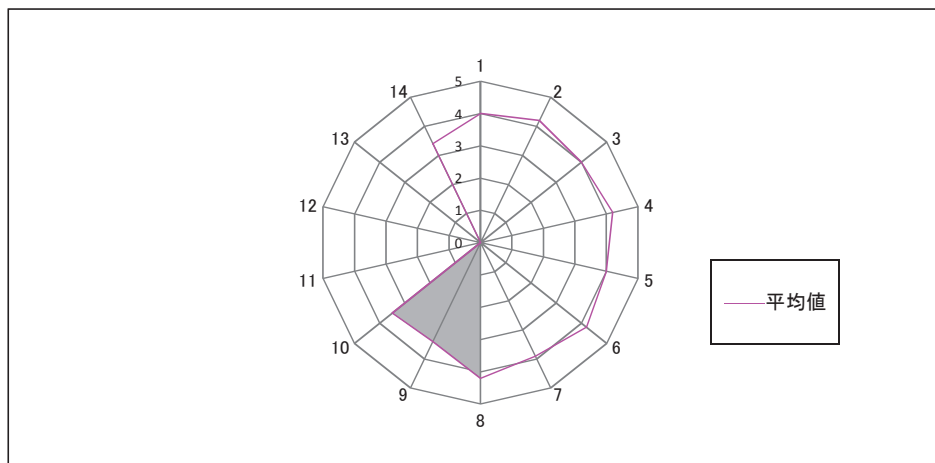
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 解析学Ⅲ  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	4	1	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	4	1	0	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	4	1	0	0	0	4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	3	2	0	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	1	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	1	2	0	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	2	1	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	2	3	0	0	1	3.4



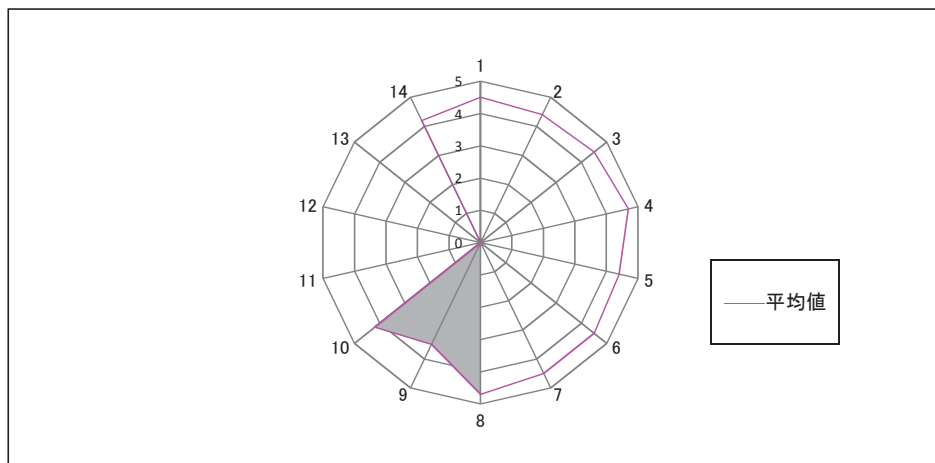
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学特論  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



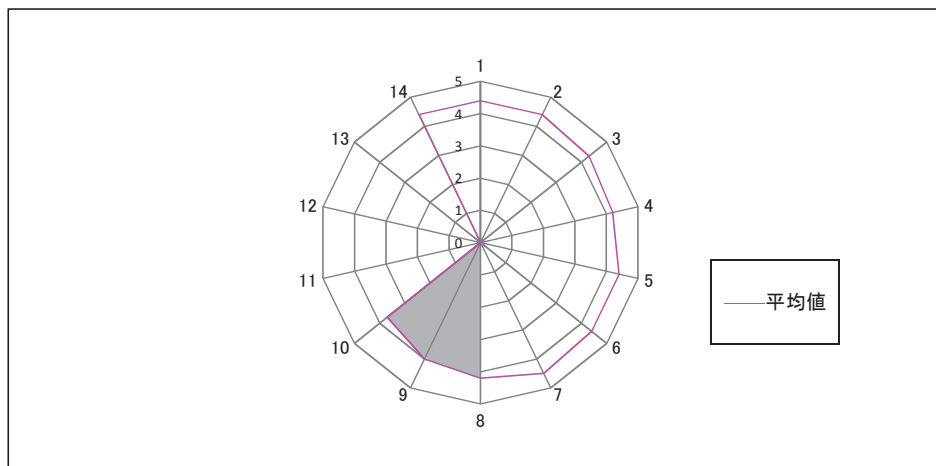
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 計算数学特論  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	5	3	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	5	3	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	4	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	5	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	3	4	0	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	4	3	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	1	4	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	5	4	0	0	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	5	6	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	7	1	0	1	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	3	3	0	0	1	4.4



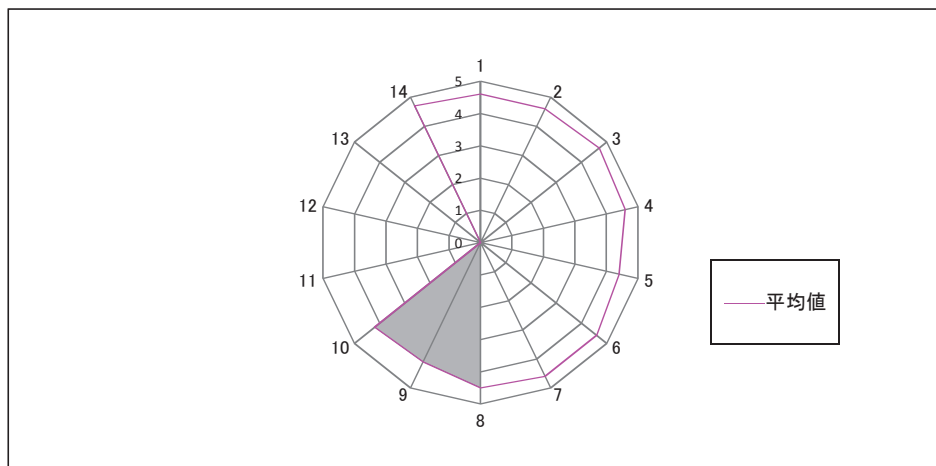
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(物理学分野)  
 評価実施日 平成27年11月26日  
 担当教員名 粟田 高明

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	2	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	4	2	0	1	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	6	1	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	5	0	0	0	0	4.7



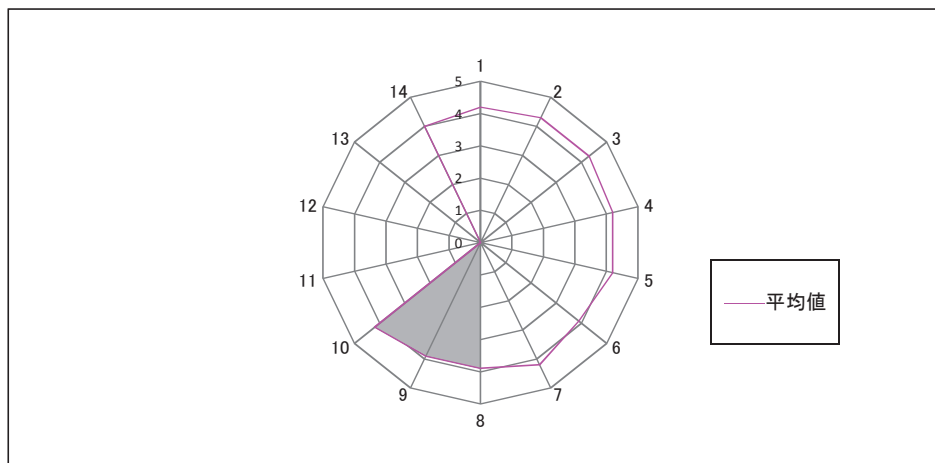
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 本田 亮

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



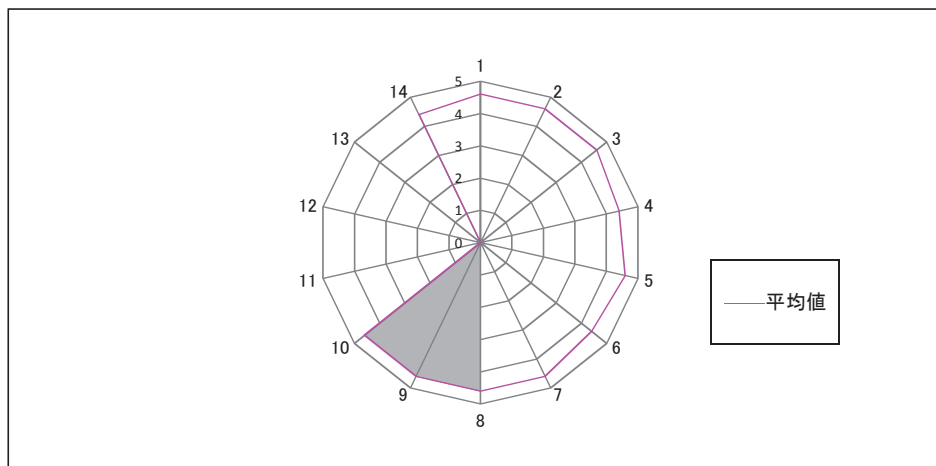
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学実験Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 粟田 高明, 本田 亮, 寺島 幸生

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(生物学分野)  
 評価実施日 平成27年11月26日  
 担当教員名 小汐 千春

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



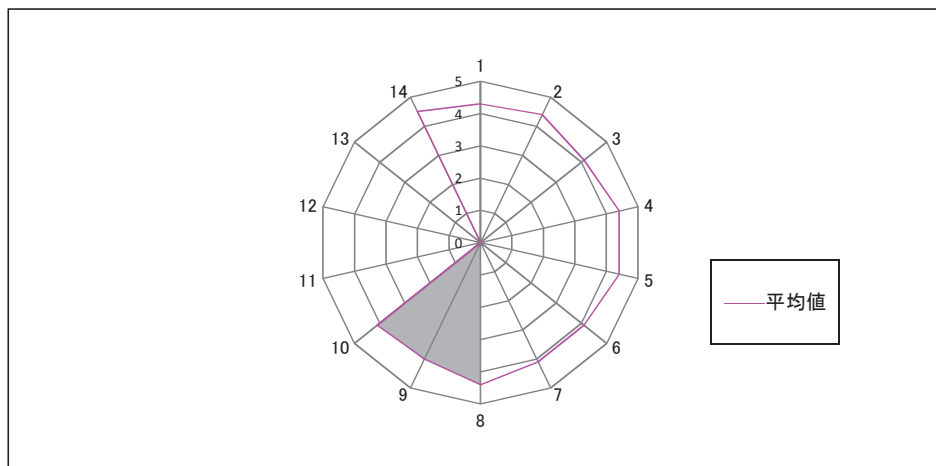
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(地学分野)  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 西村 宏

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 **4.3**

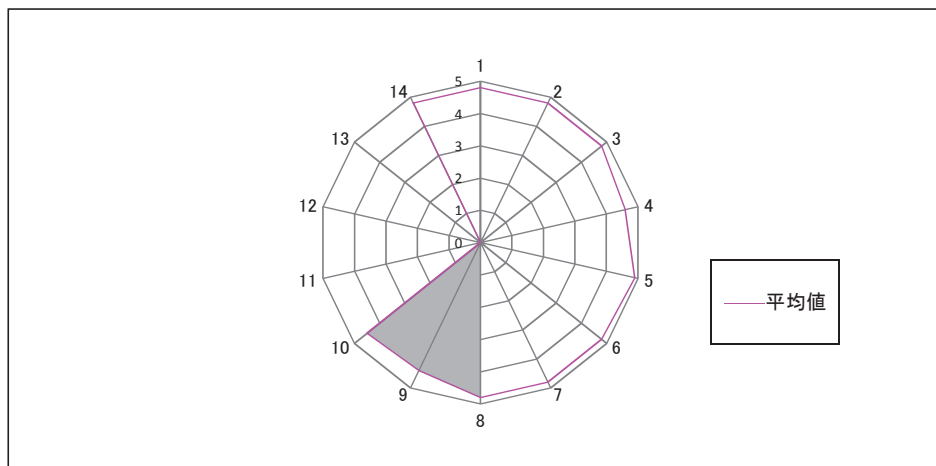
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 地学 I  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 香西 武, 村田 守, 足立 奈津子

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



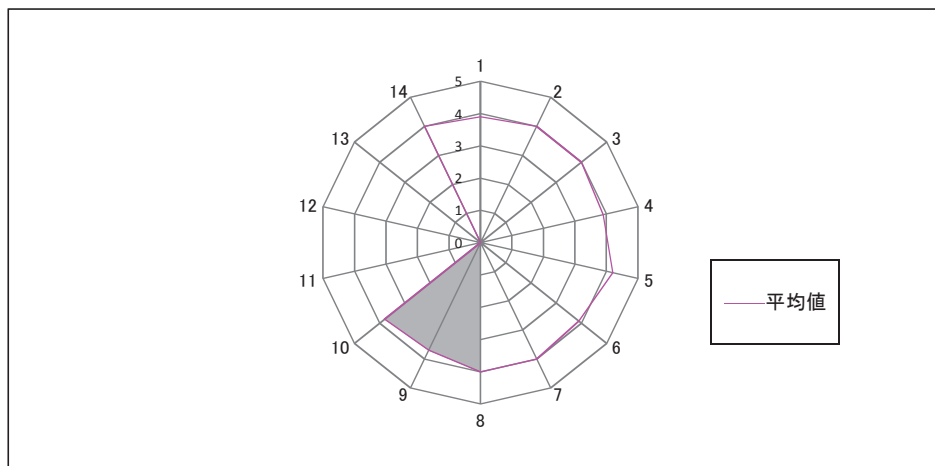
総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 地学実験 I (野外実習)  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 村田 守, 香西 武, 小澤 大成, 足立 奈津子

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	5	2	0	0	0	3.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	6	1	0	0	0	4.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	4	2	0	0	0	4.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	3	0	0	0	3.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	3	2	0	0	0	4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	3	0	0	0	3.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	4	2	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	4	2	0	0	0	4.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	3	4	0	0	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	4	3	0	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	3	2	0	0	1	4.0



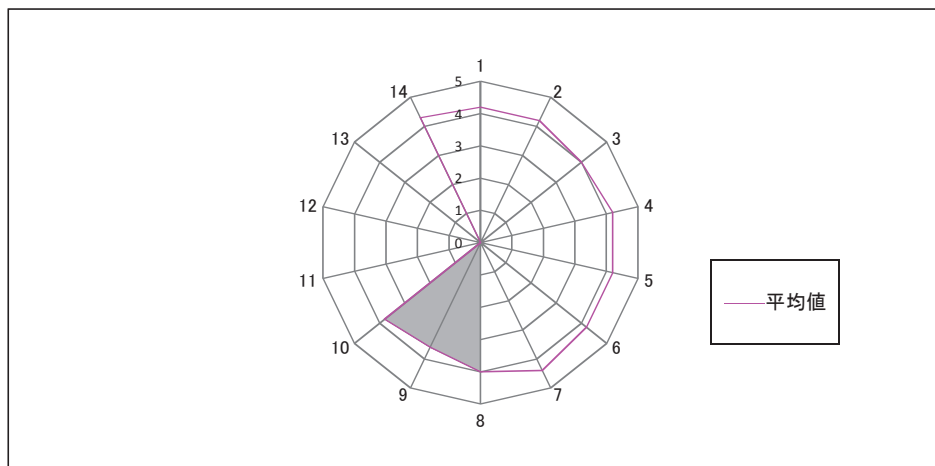
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学実験Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 村田 守, 香西 武, 小澤 大成, 足立 奈津子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	3	0	0	0	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	2	0	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	3	0	0	0	1	4.3



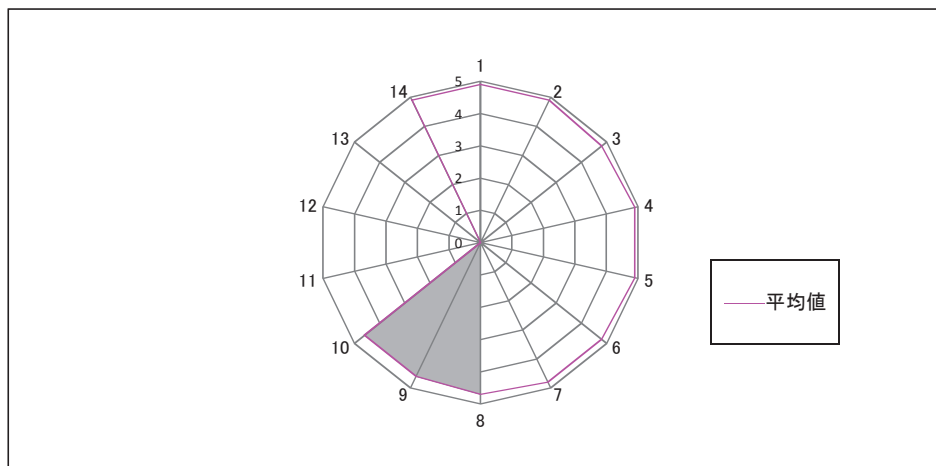
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽基礎 I  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



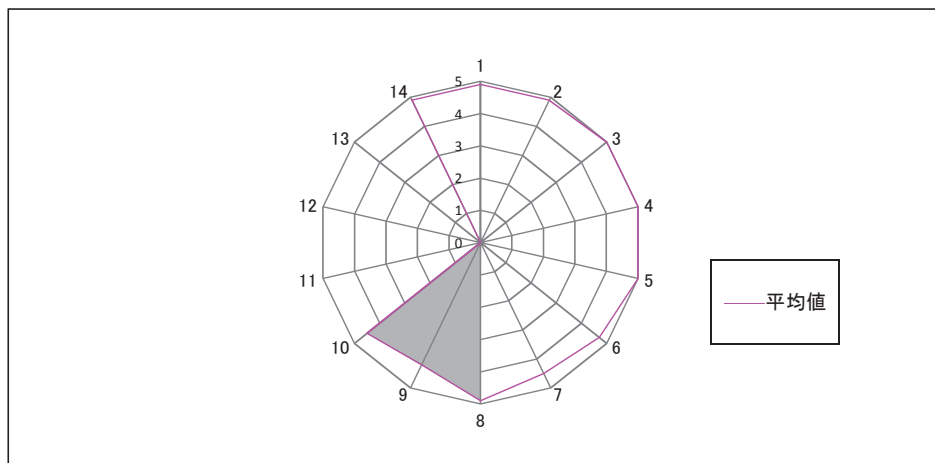
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 歌唱法 I  
 評価実施日 平成28年2月12日  
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



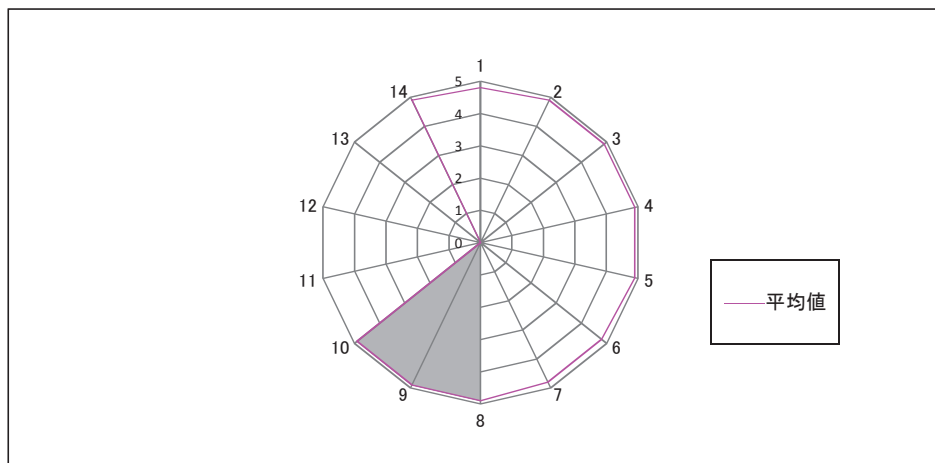
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ基礎 I  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 森 正, 米田 佳子

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



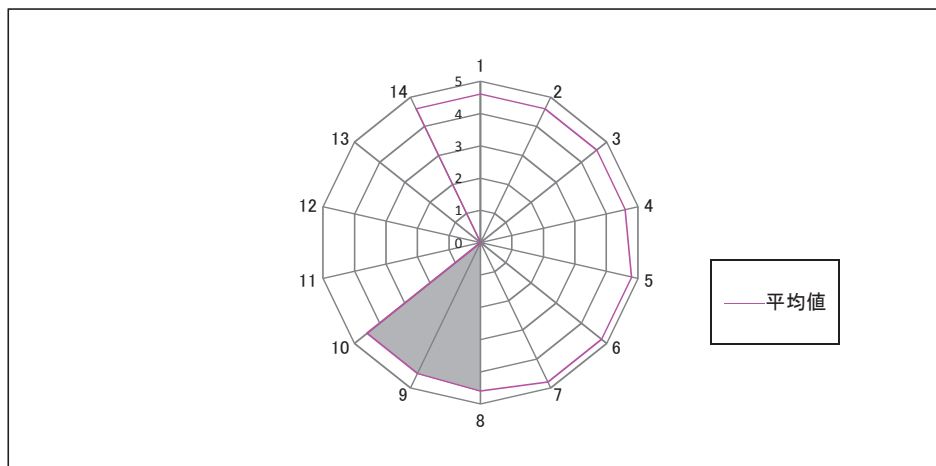
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ I  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 森 正, 田中 巳穂

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	0	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	1	0	0	1	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	1	0	0	0	4.6



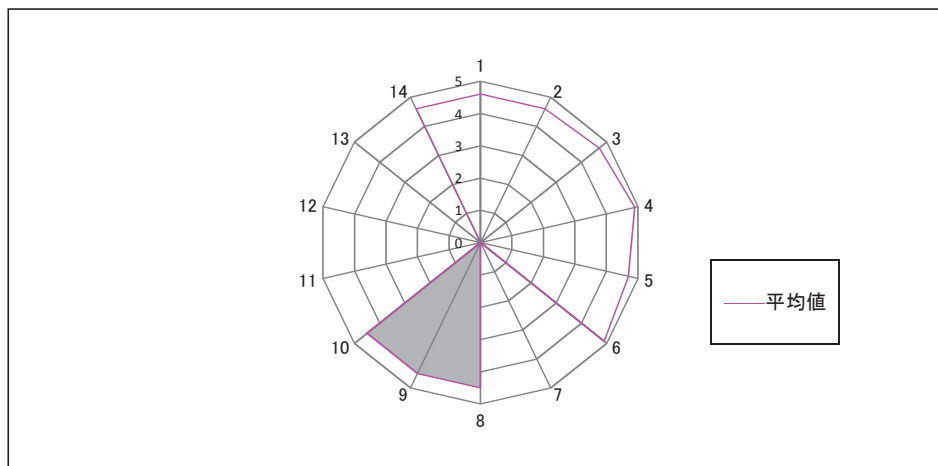
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器基礎 I  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	0	0	0	2	4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	1	0	0	0	1	4.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。							
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	1	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	3	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	4	0	0	0	0	4.6



総合評価 **4.7**

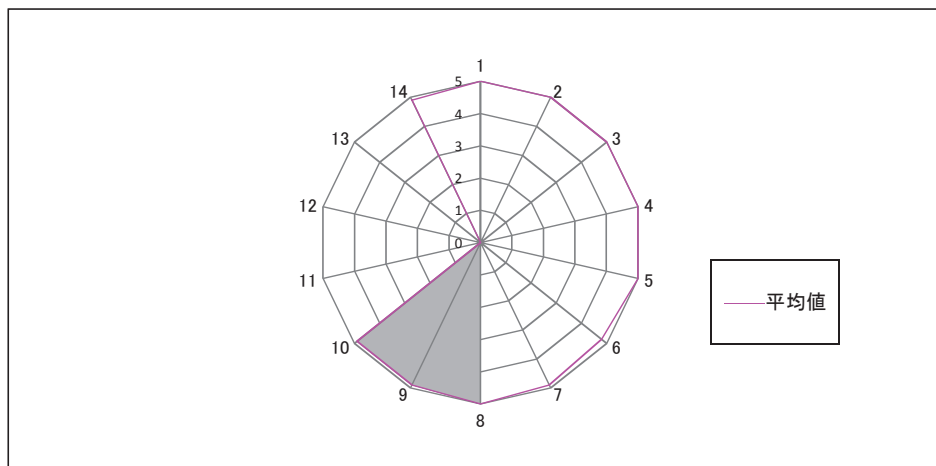
※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 音楽通論 I  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 長島 真人, 松岡 貴史

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



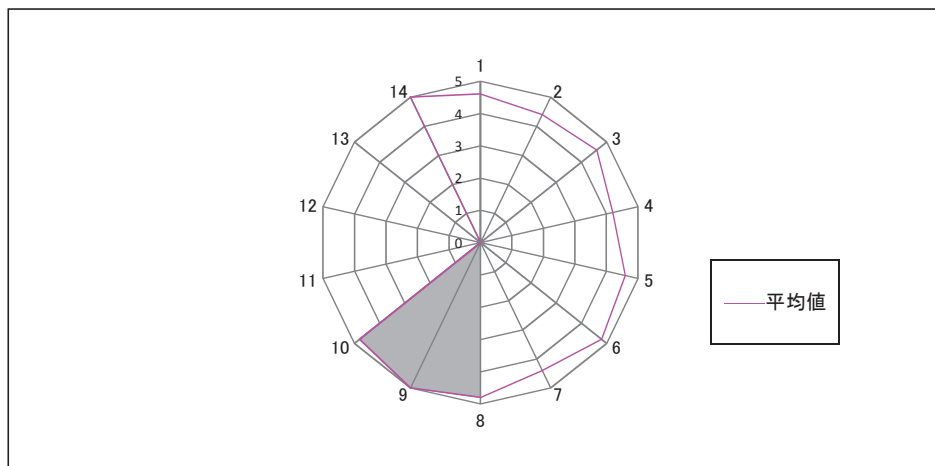
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	1	5.0



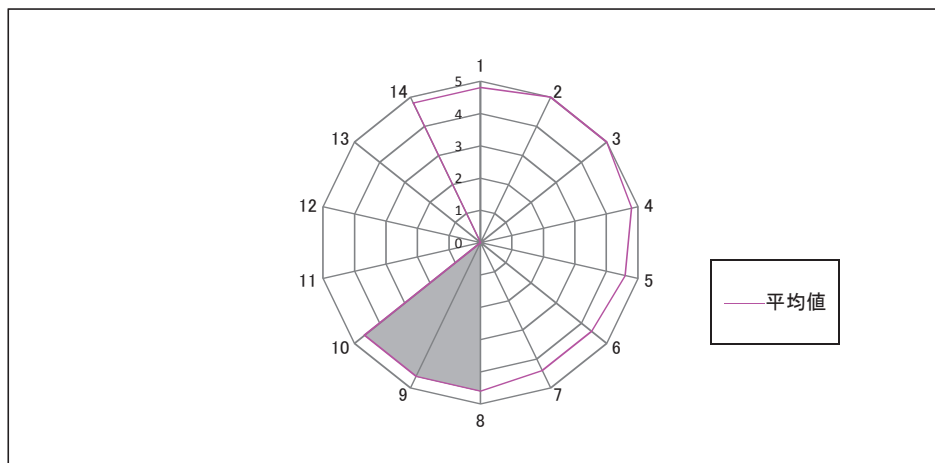
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画材料研究  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



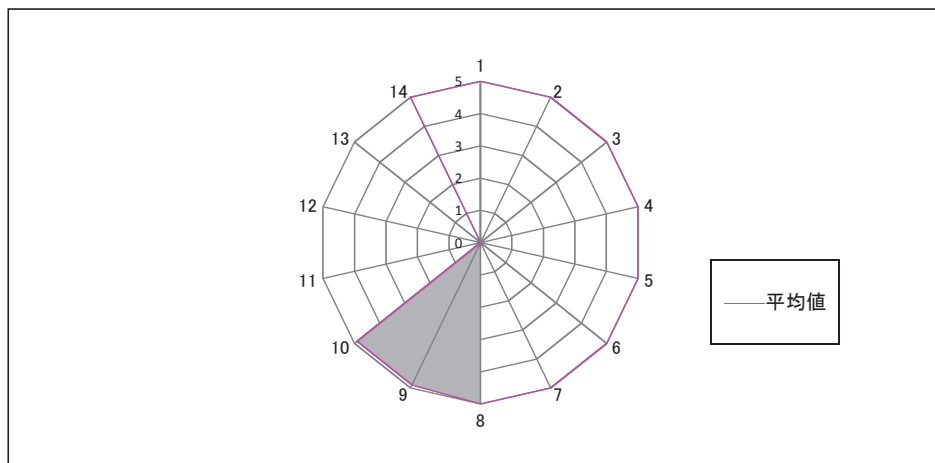
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 素描  
 評価実施日 平成28年2月2日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



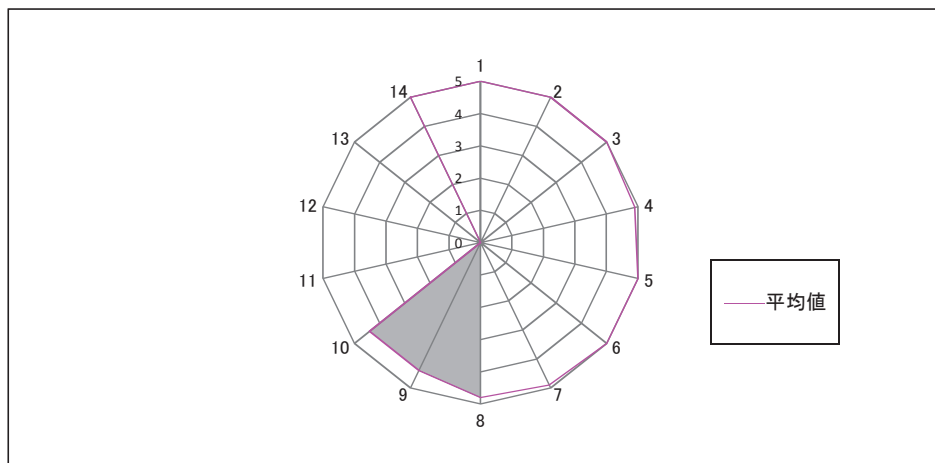
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻 I  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



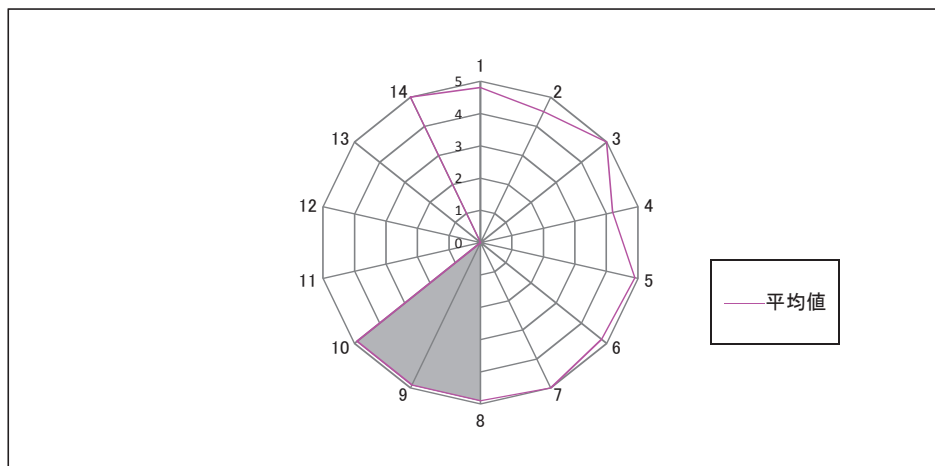
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザインⅡ  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



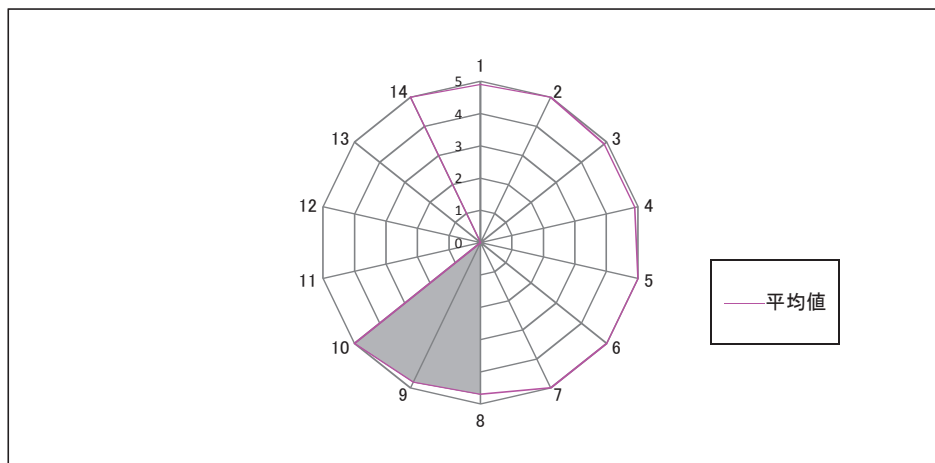
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名        工芸 I  
 評価実施日        平成28年2月4日  
 担当教員名        栗原 慶

回答者数        9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



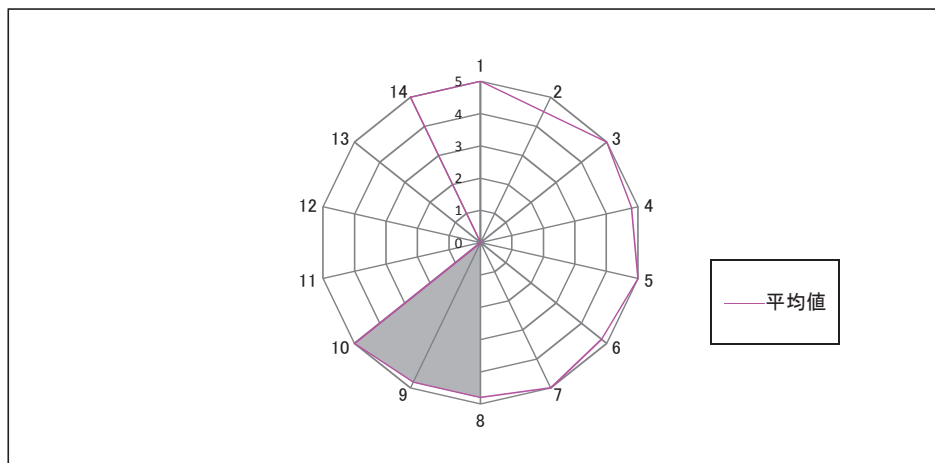
総合評価        5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸材料研究  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

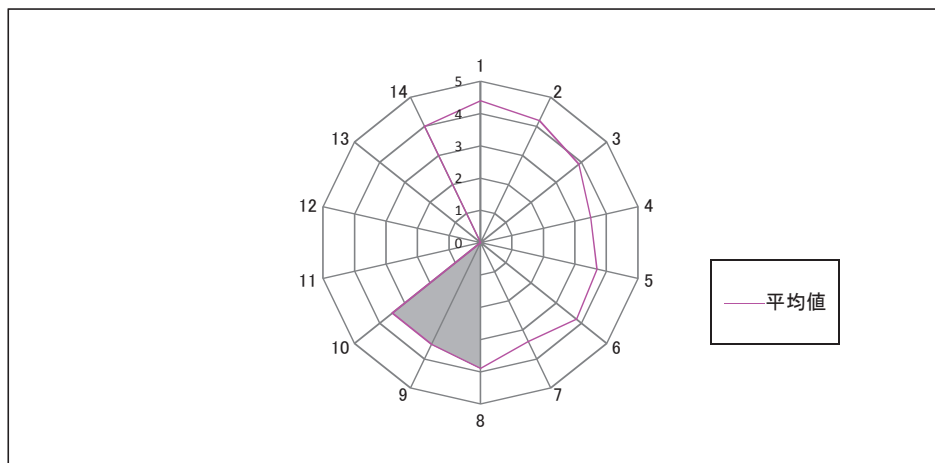
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 美術理論・美術史 I  
 評価実施日 平成28年2月16日  
 担当教員名 小川 勝

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	7	0	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	5	2	0	0	0	3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	5	0	0	0	3.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	4	2	1	0	0	3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	6	2	0	0	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	4	3	1	0	0	3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	7	1	0	0	0	3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	4	1	2	0	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	6	1	0	1	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	5	0	1	0	0	4.0



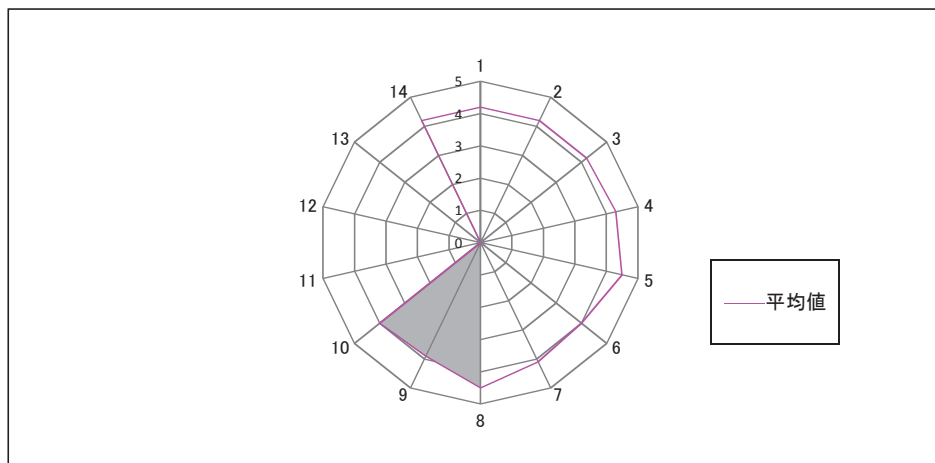
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動学Ⅰ・運動学Ⅱ  
 評価実施日 平成28年1月18日  
 担当教員名 乾 信之

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



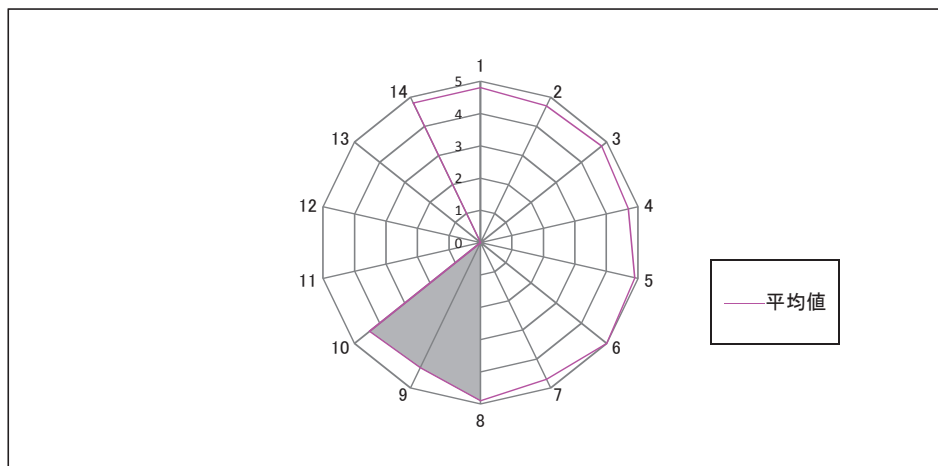
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生理学Ⅰ・生理学Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 田中 弘之

回答者数 18名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	5	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	5	1	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	5	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	4	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	1	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	4	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	7	3	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	7	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	5	0	0	0	1	4.8



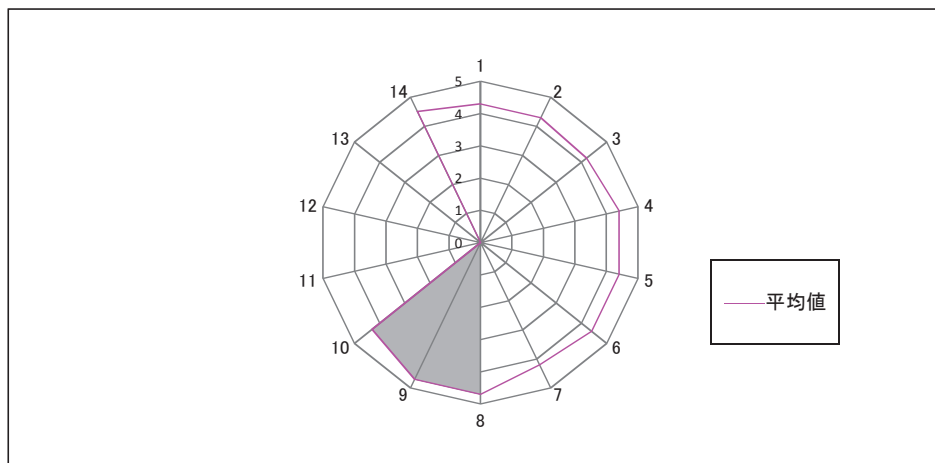
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衛生学・公衆衛生学Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月2日  
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	7	1	0	0	0	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	5	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	7	0	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	7	0	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	7	1	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	2	1	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	3	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	5	0	0	0	1	4.5



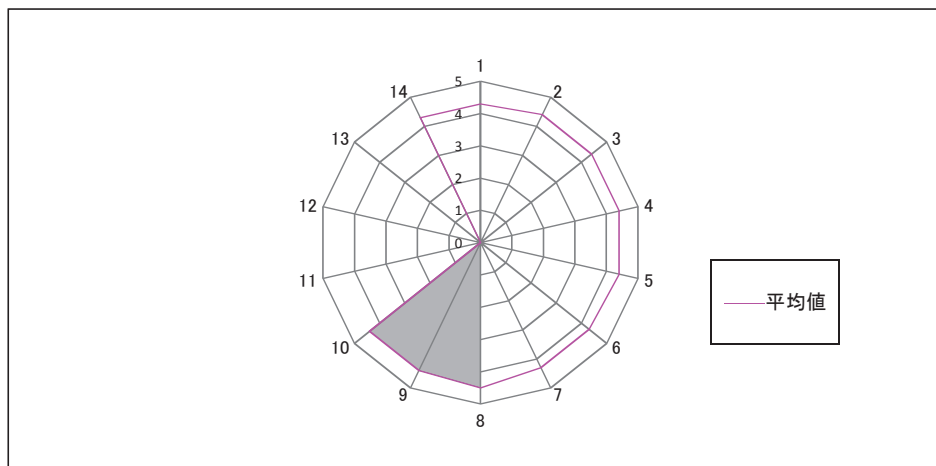
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校保健Ⅱ  
 評価実施日 平成28年1月28日  
 担当教員名 吉本 佐雅子

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	6	3	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	8	1	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	5	3	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	4	3	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	6	3	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	4	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	5	2	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	5	3	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	6	2	0	0	1	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	3	4	0	0	2	4.3



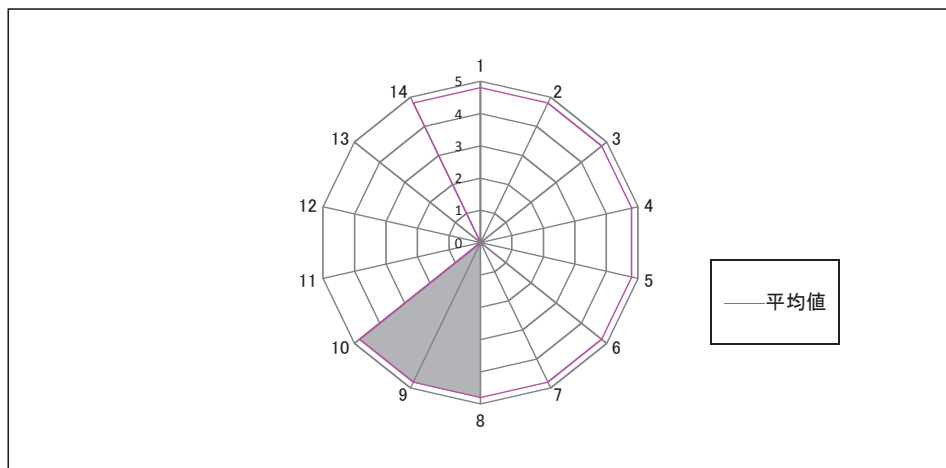
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 木材及び木質材料学  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8

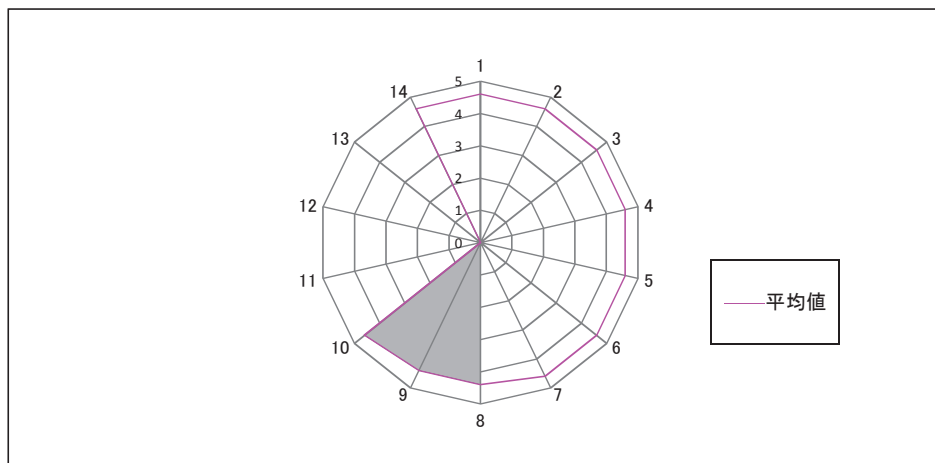


総合評価 **4.8**  
 ※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工業材料概論  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



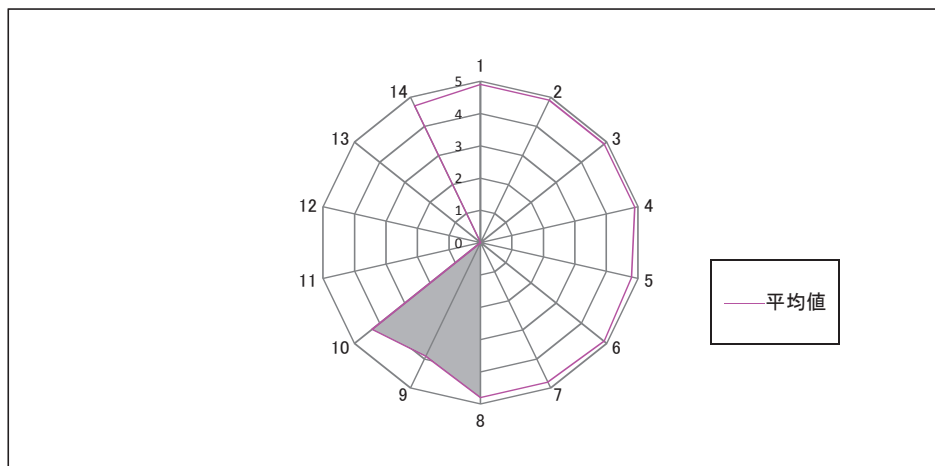
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械加工学  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 **4.9**

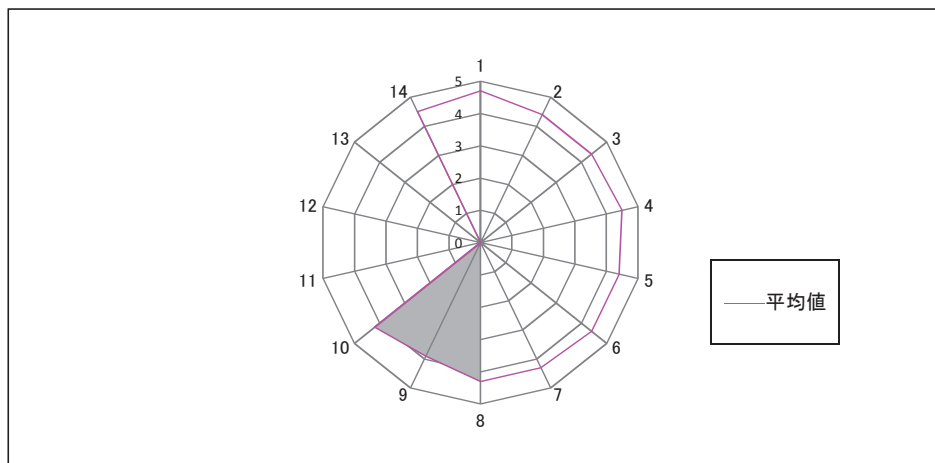
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 機械基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	4	1	0	0	1	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	6	1	1	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	7	2	0	0	1	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	5	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	7	2	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	5	3	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	6	3	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	6	3	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	6	4	2	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	7	2	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	5	2	0	0	0	4.5



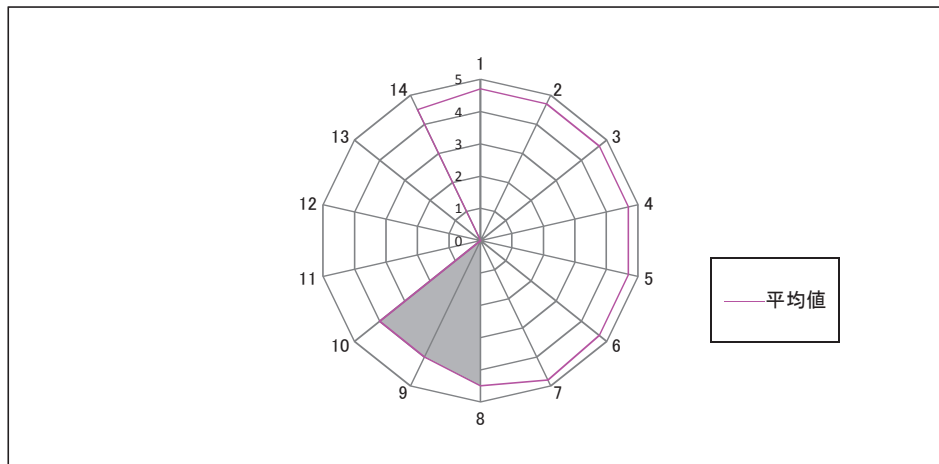
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械の力学 I  
 評価実施日 平成28年2月17日  
 担当教員名 宮下 晃一, 米延 仁志

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



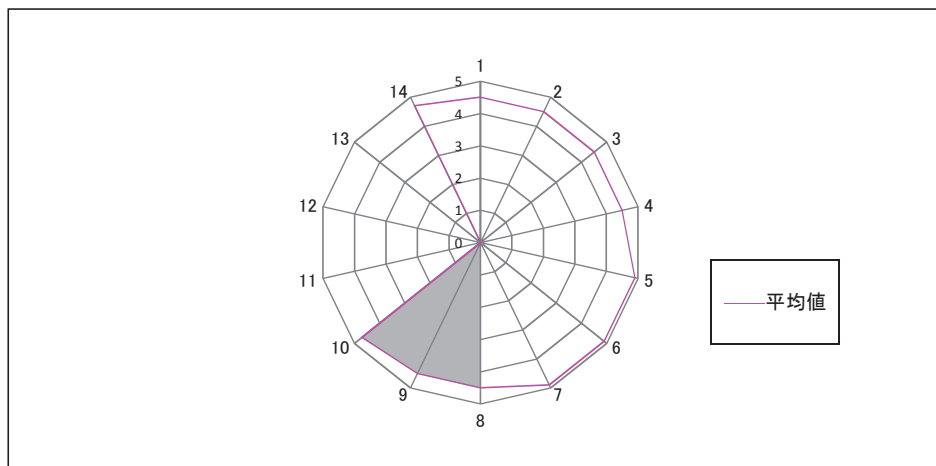
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 機械工学演習  
 評価実施日 平成28年2月9日  
 担当教員名 長谷崎 和洋, 草野 剛嗣

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7



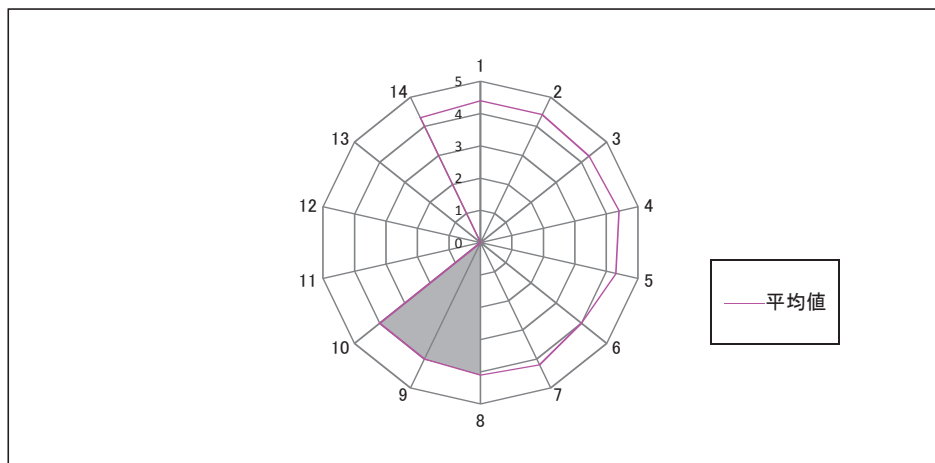
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電気基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	4	3	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	4	3	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	2	1	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	5	3	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	5	5	0	0	0	4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	6	3	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	6	4	0	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	7	3	1	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	7	4	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	6	2	0	0	1	4.3



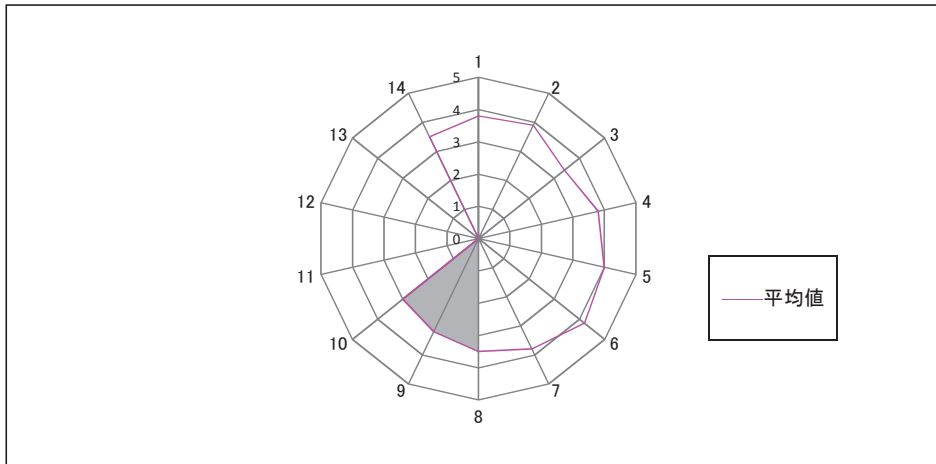
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ソフトウェア演習(実習を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月19日  
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	4	1	0	1	0	3.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	5	2	0	0	0	3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	3	3	0	1	0	3.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	4	3	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	6	1	0	0	0	4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	5	1	0	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	2	1	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	4	4	0	0	0	3.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	3	4	0	1	0	3.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	5	1	0	1	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	3	2	0	1	1	3.5



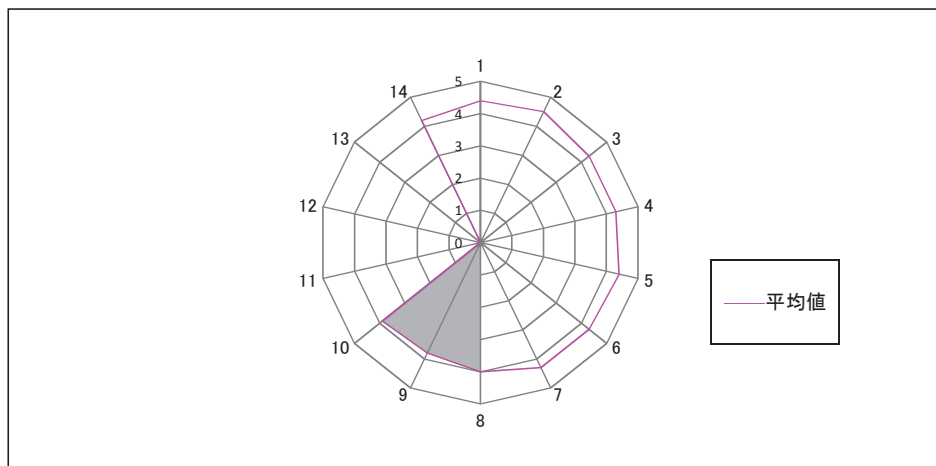
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報システム(実習を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月19日  
 担当教員名 伊藤 陽介, 宮本 賢治

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



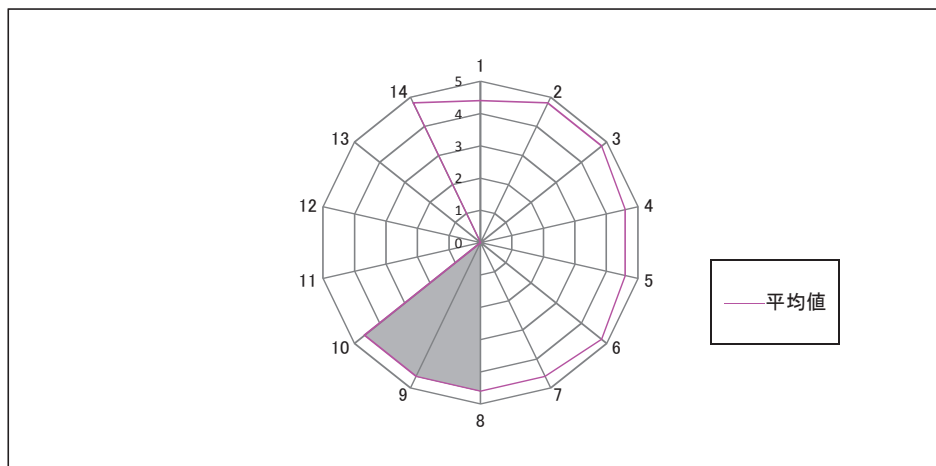
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報ネットワーク演習(実習を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月19日  
 担当教員名 曽根 直人

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	3	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	2	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	4.8



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

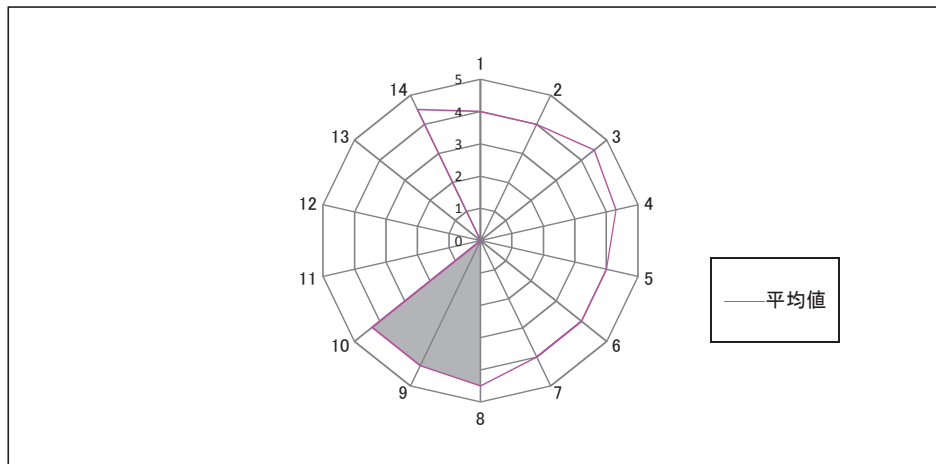
授業科目名 マルチメディアとシミュレーション(実習を含む。)

評価実施日 平成28年2月8日

担当教員名 菊地 章

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 4.2

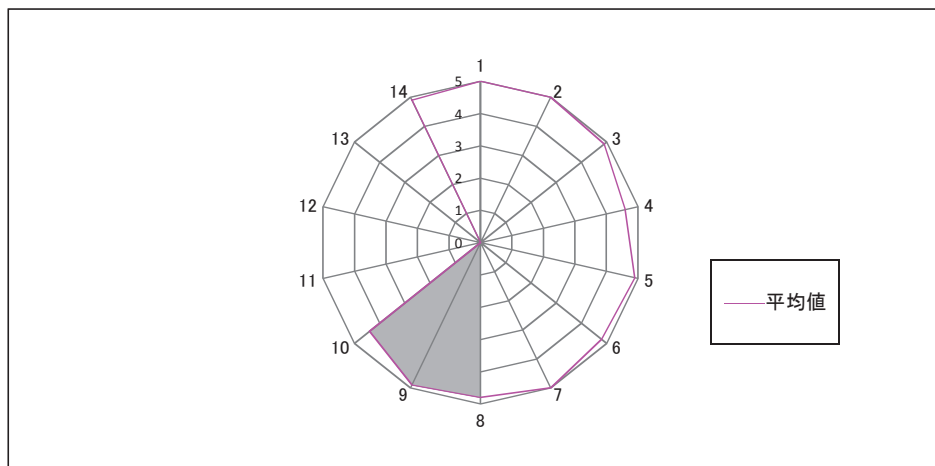
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 情報と職業  
 評価実施日 平成27年12月21日  
 担当教員名 豊永 昌彦

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



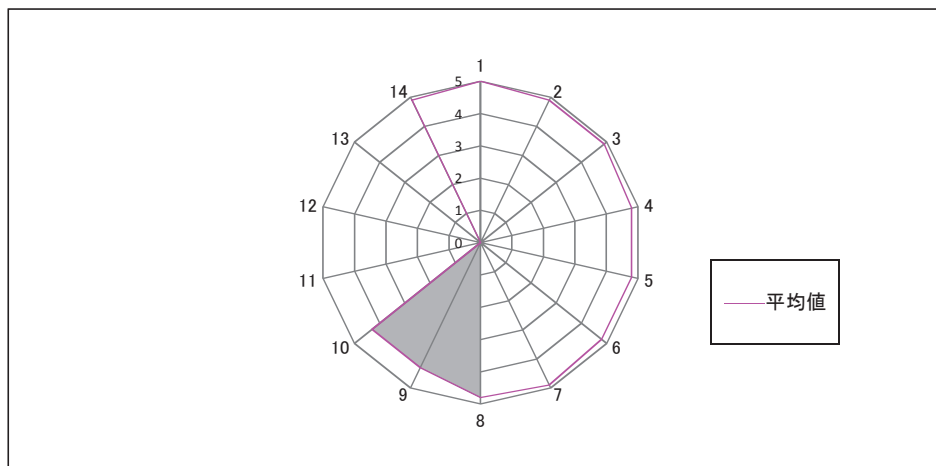
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭経営学概論  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 黒川 衣代, 坂本 有芳

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	1	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	1	1	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	2	0	0	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	2	0	0	0	0	4.9



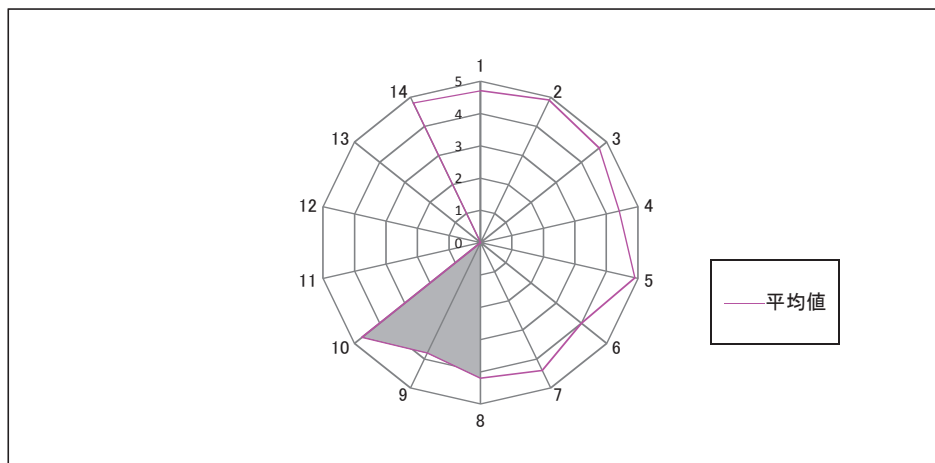
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭経営学演習  
 評価実施日 平成28年2月5日  
 担当教員名 坂本 有芳

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	4	1	0	0	0	4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	0	0	0	1	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	2	0	0	1	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	1	4.8



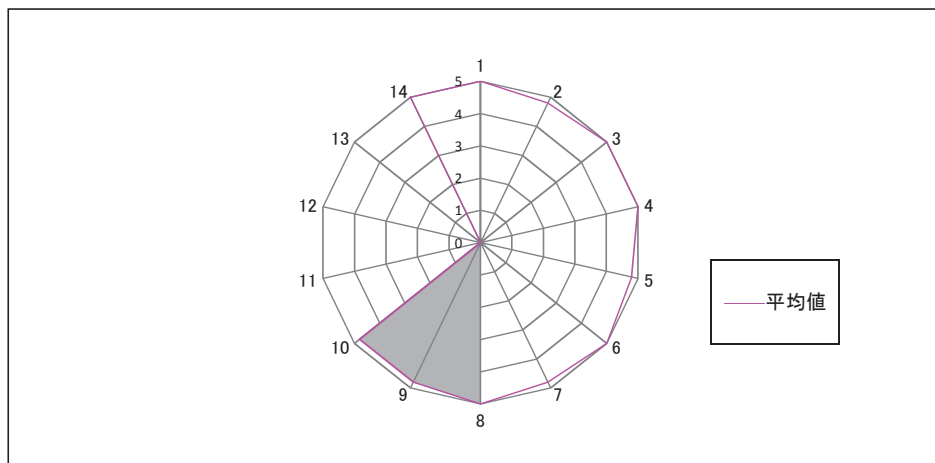
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衣生活学  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 福井 典代

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



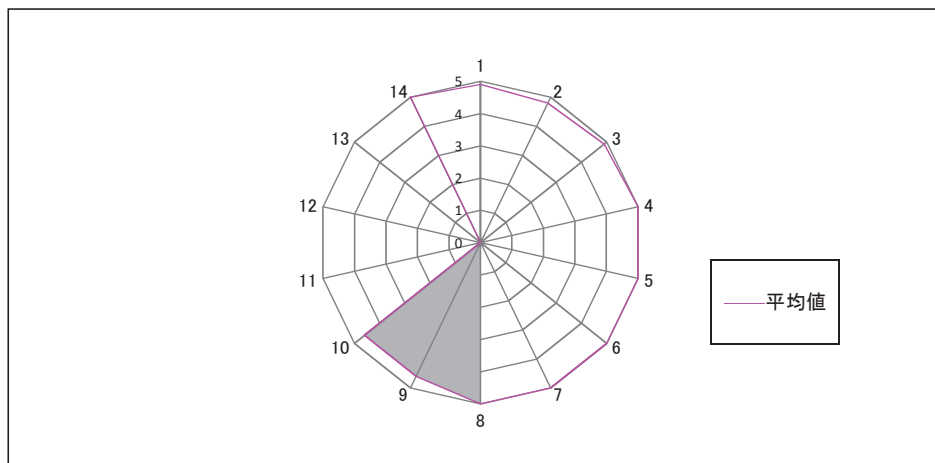
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住居学概論(製図を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



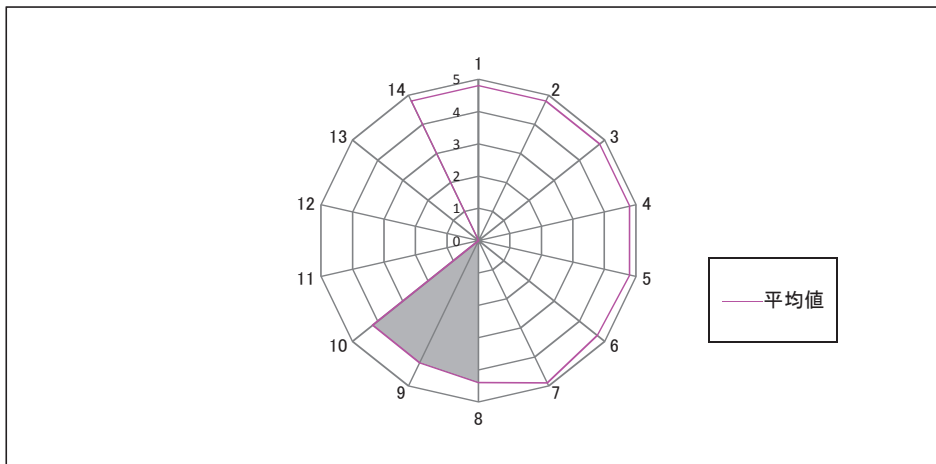
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育学(実習及び家庭看護を含む。)  
 評価実施日 平成28年2月16日  
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	1	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	4	1	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	4	2	0	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	4	2	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	1	4.8



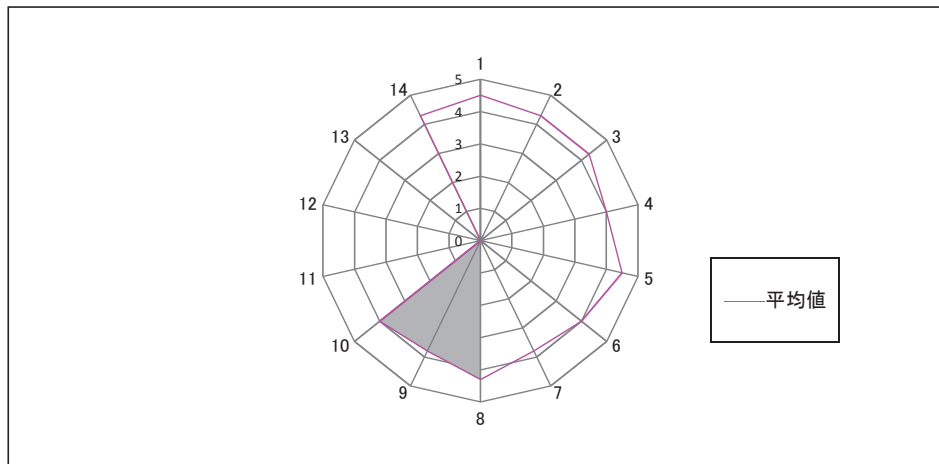
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭電気・機械及び情報処理  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 山本 耕司

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	2	0	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	2	0	0	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	3	0	0	0	0	4.3



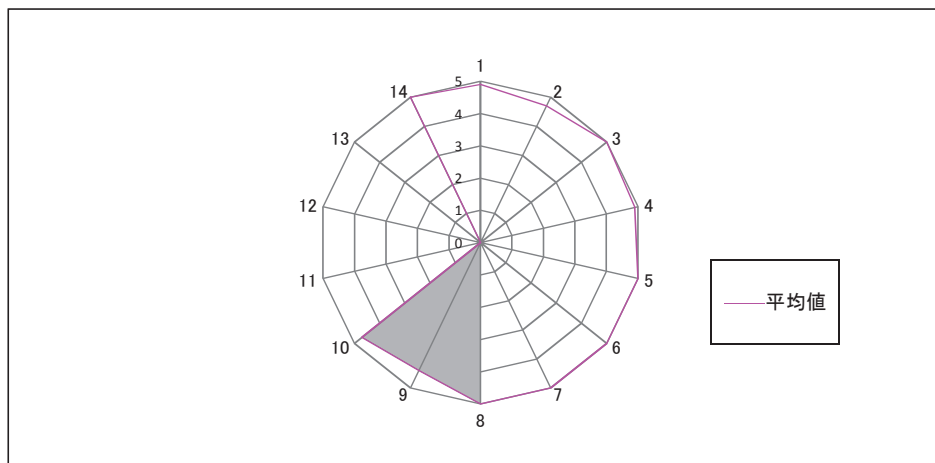
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育原論  
 評価実施日 平成28年2月18日  
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 4.9

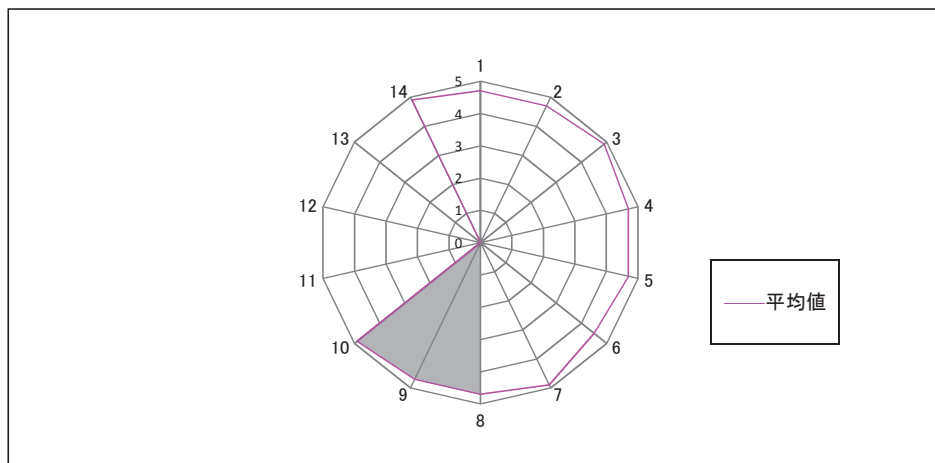
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 社会的養護  
 評価実施日 平成28年2月17日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



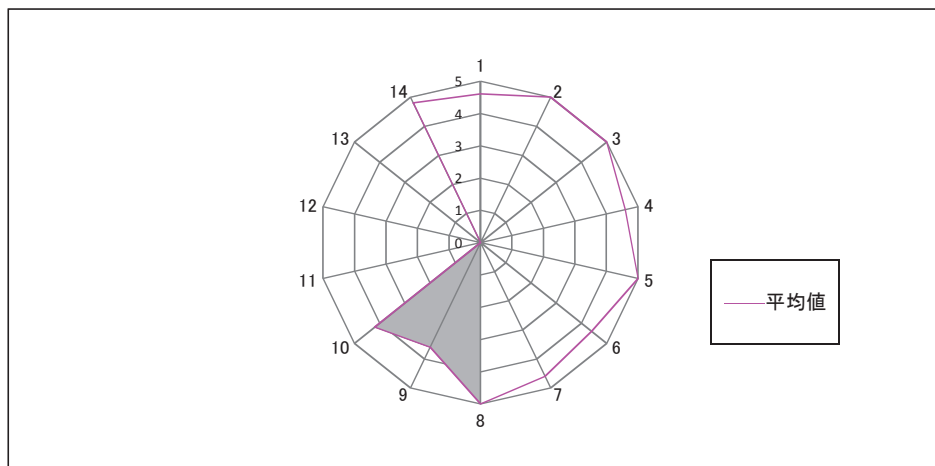
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 相談援助・保育相談支援  
 評価実施日 平成28年1月27日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



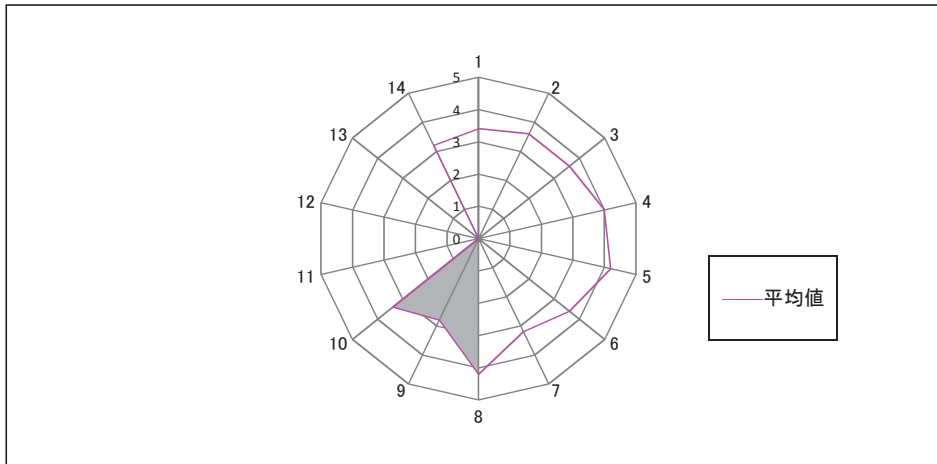
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの保健 I  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						2.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.2



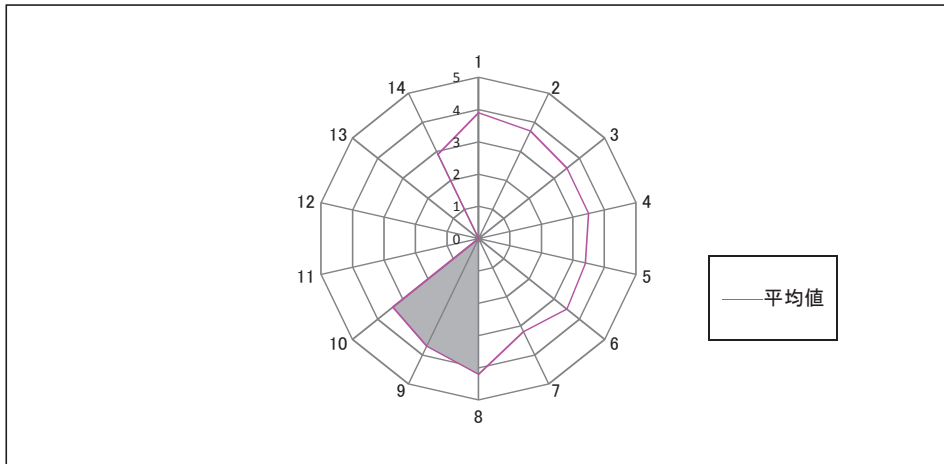
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの地域保健  
 評価実施日 平成28年2月2日  
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						2.9



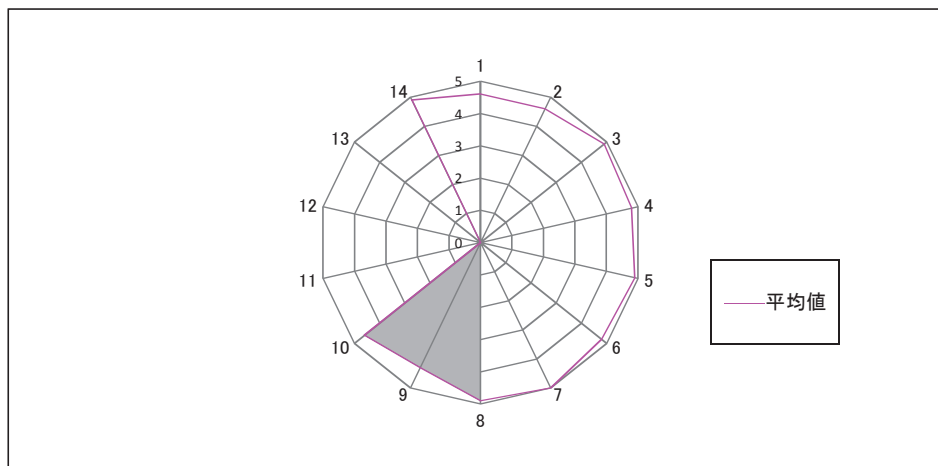
総合評価 **3.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの食と栄養  
 評価実施日 平成27年12月21日  
 担当教員名 馬場 公恵

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



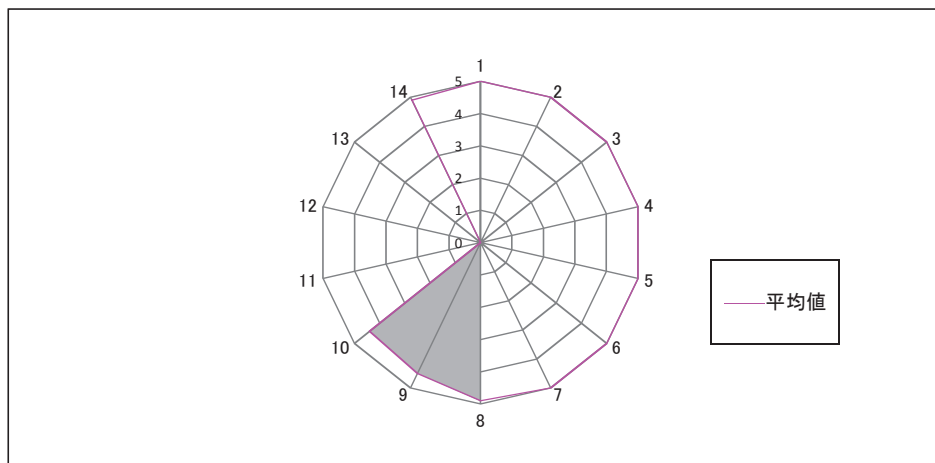
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会的養護内容  
 評価実施日 平成27年12月23日  
 担当教員名 吉田 耕平

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



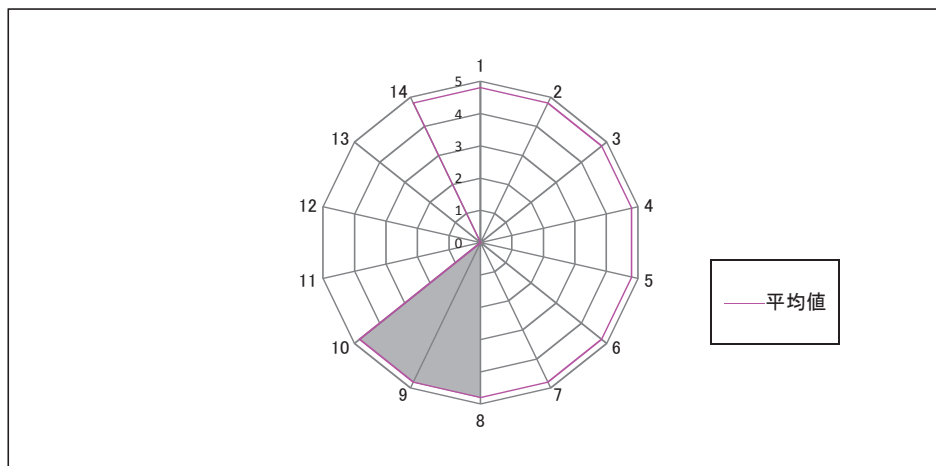
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳幼児教育研究法 I  
 評価実施日 平成28年2月10日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 5名

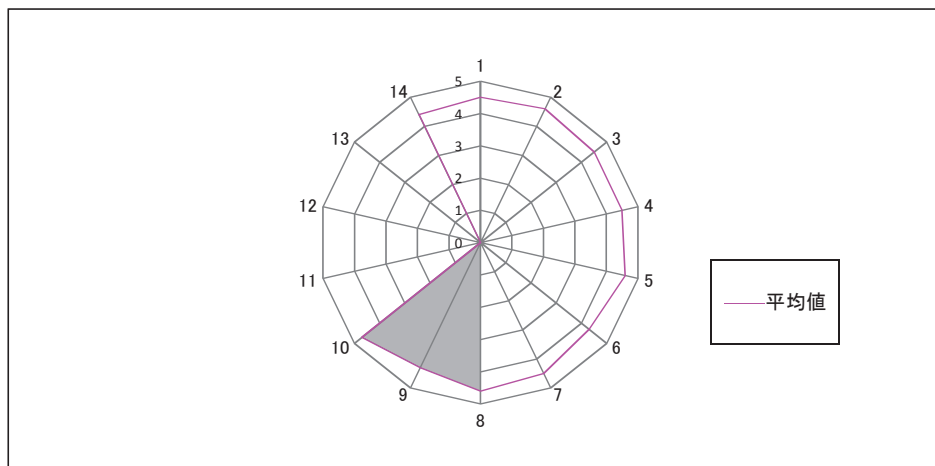
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



授業科目名 障害児教育概説 I  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 高橋 眞琴

回答者数 34名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 **4.5**

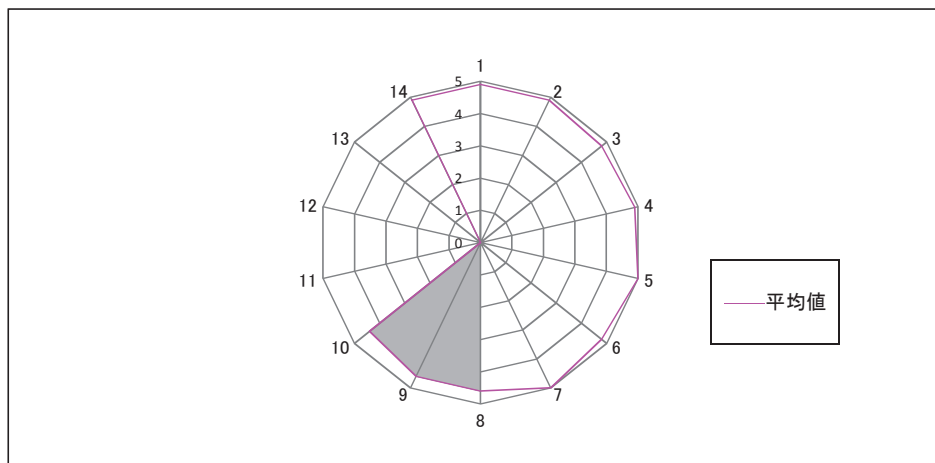
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 障害児教育概説Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



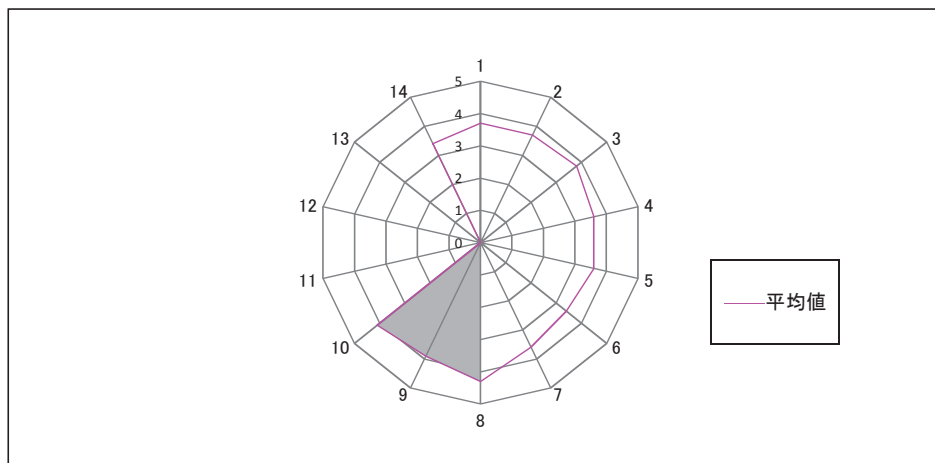
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害者の心理  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 島田 恭仁

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.4



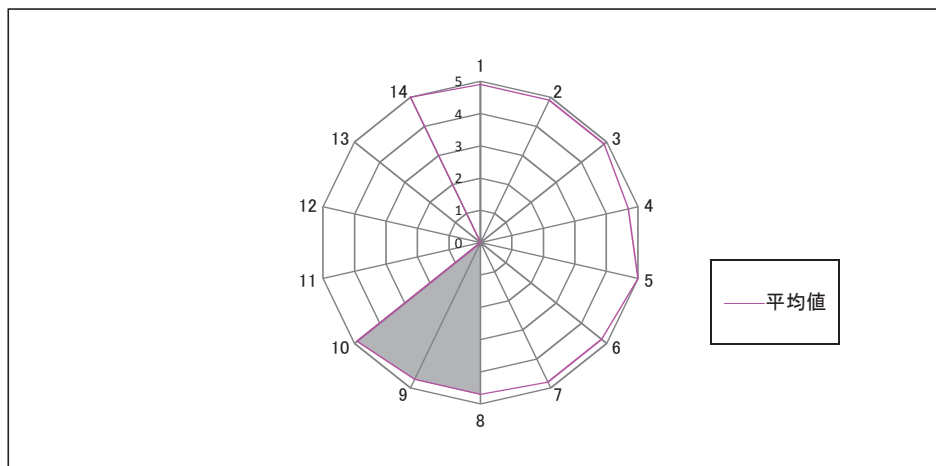
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害教育 I  
 評価実施日 平成28年2月5日  
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	25	6	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	26	5	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	27	4	0	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	21	8	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	29	2	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	24	5	2	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	25	5	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	19	12	0	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	20	10	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	28	2	1	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	28	1	0	0	0	2	5.0



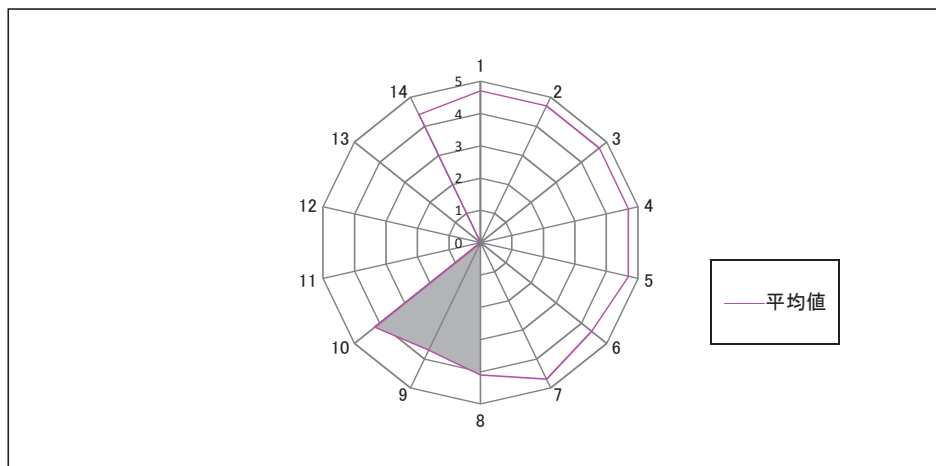
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害教育Ⅱ  
 評価実施日 平成28年2月4日  
 担当教員名 高橋 眞琴

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



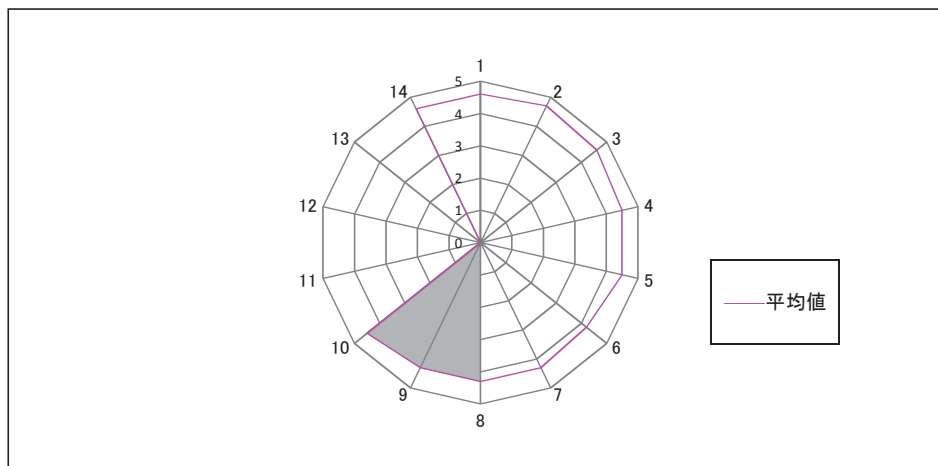
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 肢体不自由者の心理・生理・病理  
 評価実施日 平成28年1月29日  
 担当教員名 高原 光恵, 津田 芳見

回答者数 26名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



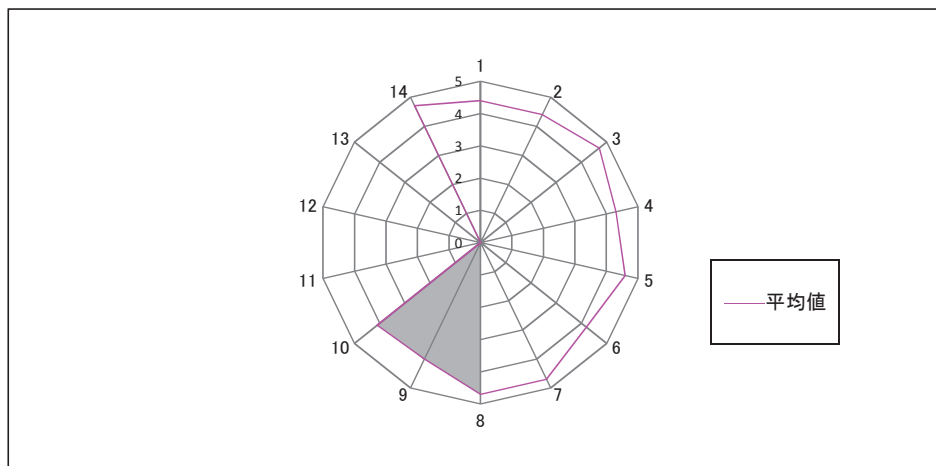
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 肢体不自由教育  
 評価実施日 平成27年12月21日  
 担当教員名 須田 正信

回答者数 26名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



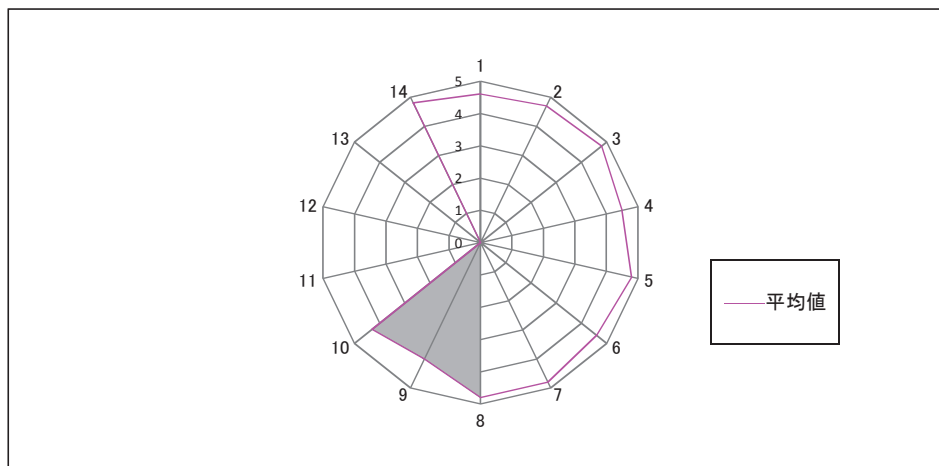
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 病弱教育  
 評価実施日 平成27年12月21日  
 担当教員名 武田 鉄郎

回答者数 34名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



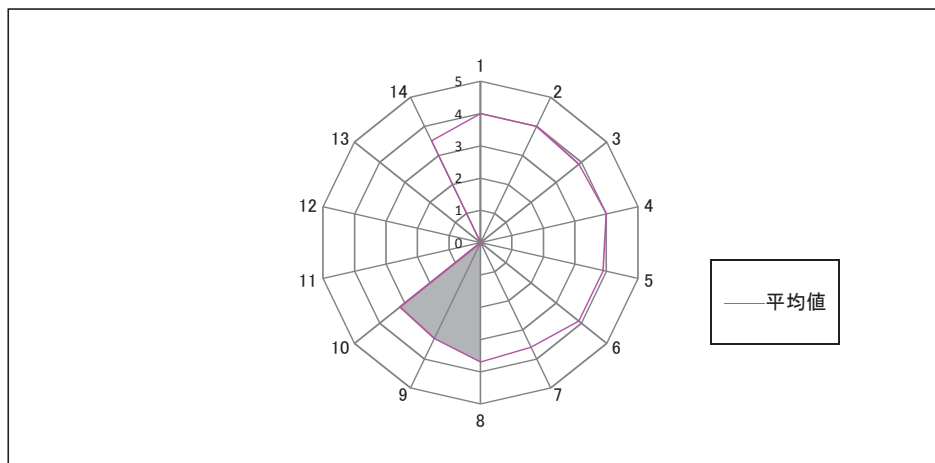
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等の特性  
 評価実施日 平成28年2月12日  
 担当教員名 島田 恭仁

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	6	6	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	5	6	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	6	7	0	0	0	3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	5	5	0	0	2	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	4	6	1	0	0	3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	7	1	0	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	8	2	0	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	5	6	2	0	0	3.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	3	7	4	0	0	3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	4	6	5	0	0	3.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	11	0	0	1	3.5



総合評価 **3.9**

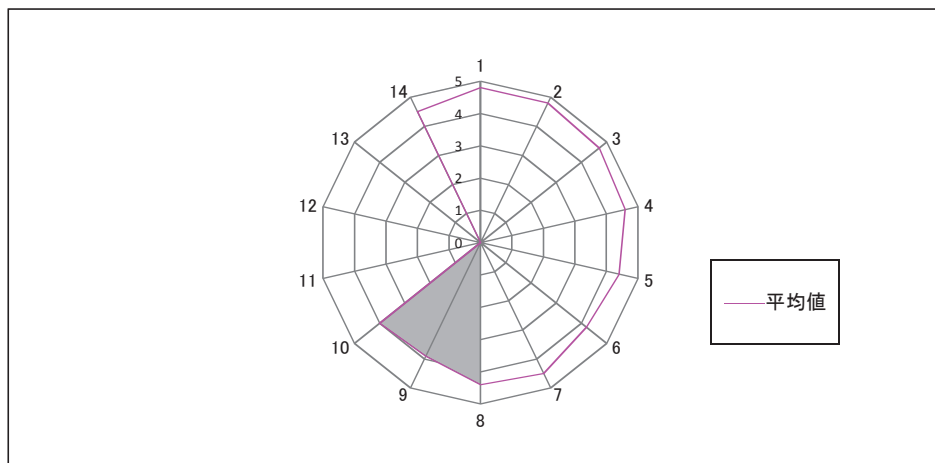
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 学校図書館メディアの構成  
 評価実施日 平成28年2月19日  
 担当教員名 平川 恵実子

回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	23	7	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	6	1	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	22	7	2	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	20	8	3	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	18	8	4	1	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	16	8	4	3	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	5	5	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	8	4	1	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	5	8	4	1	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	14	5	10	1	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	19	8	3	1	0	0	4.5



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学習指導と学校図書館  
 評価実施日 平成28年2月12日  
 担当教員名 谷木 由利

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	6	2	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	6	2	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	3	2	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	3	5	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	4	3	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	6	3	0	1	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	4	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	5	4	1	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	3	5	3	1	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	4	5	1	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	5	2	0	0	0	4.6



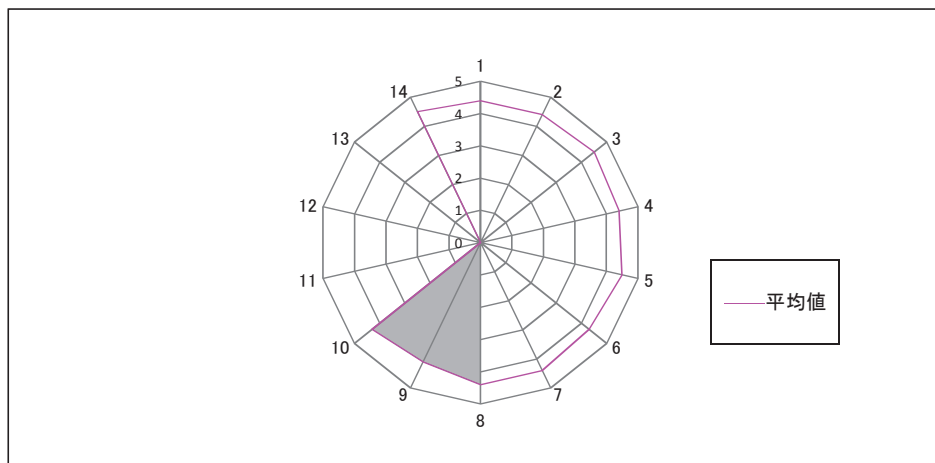
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 読書と豊かな人間性  
 評価実施日 平成28年2月8日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 28名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



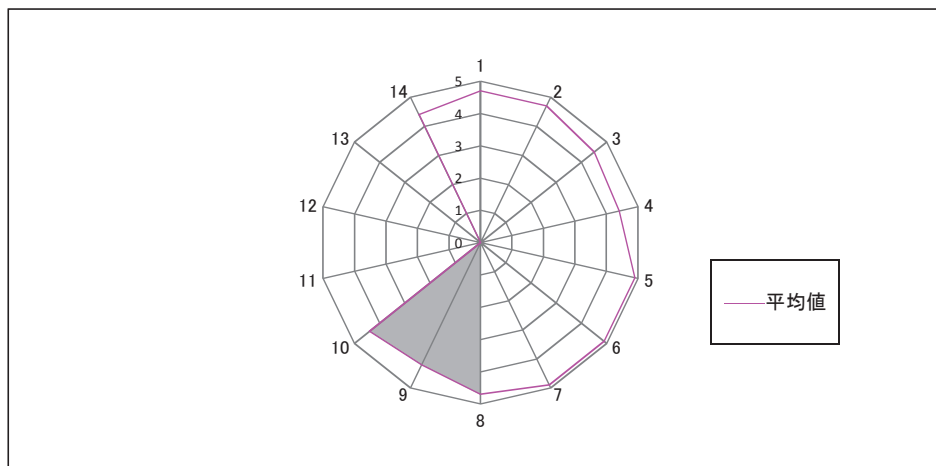
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 博物館経営論  
 評価実施日 平成28年2月15日  
 担当教員名 辻野 泰之

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



## あとがき

「学生による授業評価」の結果、例年と同様の傾向を見て取ることができる。それは大項目の「1 授業の計画と内容について」、「2 授業の進め方について」、「4 教育実践コア科目について(コア科目のみ回答)」、「5 授業に対する総合的評価」に対する評価が満足度の高い傾向にあること。それに比較すると「3 あなたの授業への取り組みについて」の中の、(9) (10) は低い傾向にあることである。このことについてはそれぞれの科目に関する評価結果の概要と特徴でふれられている。(9) (10) の質問とは具体的には次のとおりである。

(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。

(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。

前年度のあとがきにもふれられているとおり、アクティブラーニングの問題として(9)、(10)の質問項目に対する改善が今後の課題と言えるだろう。但し、留意点として昨年度と比較して改善されてきている科目があること。他の項目のように授業者(授業)を評価するのではなく、学生自身の自己評価である点がある。全体的な学生生活(勉学、ボランティア、部活動など)を注意深く見ていく必要があるし、その意味では学生生活全般のアンケートや学長と学生による懇談会等での調査と連動して数的な観点だけでなく、質的な観点により捉える必要を感じる。

また、前述されたそれぞれの課題として次の事柄が挙げられている。一つは授業評価実施率の低い科目があり、実施の徹底を呼びかける必要があること。もう一つは質問項目によっては極端に無回答者の多い科目があることである。その原因の究明が挙げられている。

総括として、素直に数値的結果を信用するならば概ね高いレベルになっていることから学生は授業にそれなりに満足していると考えるのが一般的なおとらえ方であろう。但し、長年の実施によりマンネリ化ととれる課題も見られることから授業評価の意義について教員各自がさらに認識を強める時期にあると考える。

平成 27 年度学校教育学部教務委員会  
学生による授業評価専門部会 主査  
野崎 窮

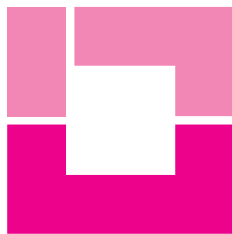
鳴門教育大学学校教育学部教務委員会 委員名簿  
(平成27年度)

委員長	西園芳信	副学長	
副委員長	木原資裕	生活・健康系コース (保健体育)	教授
委員	山崎勝之	人間形成コース (学生による授業評価専門部会委員)	教授
〃	江川克弘	教員養成特別コース	講師
〃	木村直子	幼年発達支援コース	准教授
〃	高橋眞琴	特別支援教育専攻	准教授
〃	余郷裕次	言語系コース (国語)	教授
〃	眞野美穂	言語系コース (英語) (学生による授業評価専門部会委員)	准教授
〃	立岡裕士	社会系コース	教授
〃	秋田美代	自然系コース (数学) (学生による授業評価専門部会委員)	教授
〃	寺島幸生	自然系コース (理科)	講師
〃	米延仁志	生活・健康系コース (技・工・情)	教授
〃	松永哲郎	生活・健康系コース (家庭)	講師
〃	山野田啓明	芸術系コース (音楽)	准教授
〃	野崎明窮	芸術系コース (美術) (学生による授業評価専門部会委員)	教授
〃	秋田美代	教職キャリア支援センター	所長
〃	湯戸口美史	教職キャリア支援センター	准教授
〃	戸田雅陽	教務企画課長	

平成27年度 学生による授業評価実施報告書

平成29年3月発行

編集 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会  
発行 鳴門教育大学  
〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748  
電話 088-687-6093  
FAX 088-687-6107



国立大学法人  
**鳴門教育大学**

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748番地  
<http://www.naruto-u.ac.jp/>

